

令和7年度 第1回 長野県道路メンテナンス会議

日時：令和7年10月21日(火)

15:00～16:30 (予定)

場所：長野国道事務所

第一・二会議室

(WEB併用会議)

議 事 次 第

1. 開会

2. あいさつ

3. 議事

- 1) 長野県道路メンテナンス会議の経緯・取り組み
- 2) 長野県の令和6年度の点検状況
- 3) 道路メンテナンス年報より
- 4) 関東MCからの情報提供
- 5) 関東地方整備局からの情報提供
- 6) その他情報共有、意見交換
 - ・長野県における二巡目、三巡目の点検進捗結果
 - ・長野県老朽化対策進捗状況
 - ・合意形成を図る事項及び議論する事項
 - ・長野県及び関係機関からの情報共有やお知らせ
 - ・規約改正

4. 閉会

令和7年度 第1回 長野県道路メンテナンス会議

令和7年 10 月 21 日

長野県道路メンテナンス会議事務局

もくじ

- 1.長野県道路メンテナンス会議の経緯・取り組み
- 2.長野県の令和6年度の点検状況
- 3.令和5年度道路メンテナンス年報より
- 4.関東M Cからの情報提供

1. 長野県道路メンテナンス会議の経緯

- ・ 道路メンテナンス会議の概要
- ・ 長野県道路メンテナンス会議のこれまでの経緯（H26～R 6 年度）
- ・ 長野県道路メンテナンス会議の令和 6 年度の主な取り組み

道路メンテナンス会議の概要

関係機関の連携による検討体制を整え、課題の状況を継続的に把握・共有し、効果的な老朽化対策の推進を図ることを目的に、平成26年7月までに各都道府県で「道路メンテナンス会議」を設置

体制

- 地方整備局（直轄事務所）
- 地方公共団体（都道府県、市町村）
- 高速道路会社（NEXCO、首都高速、阪神高速、本四高速、指定都市高速等）
- 道路公社

役割

1. 研修、基準類の説明会等の調整
2. 点検、修繕において、有線順位等の考え方に該当する路線の選定、確認
3. 点検、措置状況の集約、評価、公表
4. 点検業務の発注支援（地域一括発注等）
5. 技術的な相談対応

等

上の管理者 下の管理者		高速会社	直轄	公社	都道府県 市区町村	道路法外	
						その他	鉄道
高速会社						跨道橋 連絡会議	道路鉄道 連絡会議
直轄		道路メンテナンス会議 【都道府県単位で設置済み】				【道路メンテ ナンス会議の 下部組織】	【道路メンテナ ンス会議の下部組織】
公社							
都道府県 市区町村							
道路 法外	その他	個別協議				—	—
	鉄道	道路鉄道連絡会議 【道路メンテナンス会議の下部組織】				—	—

対象施設

- 鉄道を跨ぐ全ての道路橋（跨線橋）
 - 道路を跨ぐ全ての鉄道橋（跨道鉄道橋※）
- ※ 跨道鉄道橋は、道路鉄道連絡会議では必要に応じて対象とする

構成員

- 地方整備局（道路部、直轄事務所）
- 地方運輸局（鉄道部）
- 地方公共団体（都道府県、政令市、市町村）
- 高速道路会社（NEXCO、首都高速、阪神高速、本四高速）
- 鉄道事業者

役 割

- 点検計画、修繕、耐震補強計画等の調整
- メンテナンスに関する情報共有
- 耐震補強に関する情報共有
- その他要望、要請事項、意見交換等

長野県道路メンテナンス会議のこれまでの経緯（１）

平成26年度	4月14日	社会資本整備審議会道路分科会建議 「道路の老朽化対策の本格実施に関する提言」
	5月28日	平成26年度 第1回長野県道路メンテナンス会議開催
	6月25日	定期点検要領を策定 ・道路橋定期点検要領 ・道路トンネル定期点検要領 ・シェッド,大型カルバート等定期点検要領 ・横断歩道橋定期点検要領 ・門型標識等定期点検要領
	7月1日	維持修繕に関する奨励・告示施行 [国土交通省令] ・道路の維持又は修繕に関する技術的基準類 [告示] ・トンネル等の健全性の診断結果の分類に関する告示
	9月26日	長野県道路メンテナンス会議第1回幹事会開催
	10月20日	平成26年度 第2回長野県道路メンテナンス会議開催
	12月25日	平成26年度 第3回長野県道路メンテナンス会議開催

長野県道路メンテナンス会議のこれまでの経緯（２）

	3月13日	第 1 回長野県跨道橋連絡会議開催
平成27年度	6月9日	平成27年度 第 1 回長野県道路メンテナンス会議開催
	8月25日	平成27年度 第 2 回長野県道路メンテナンス会議開催
	12月24日	平成27年度 第 3 回長野県道路メンテナンス会議開催
平成28年度	7月14日	平成28年度 第 1 回長野県道路メンテナンス会議開催
	7月14日	第 2 回長野県跨道橋連絡会議開催
	10月31日	平成28年度 第 2 回長野県道路メンテナンス会議開催
	1月26日	第 1 回長野県道路鉄道連絡会議開催
	2月28日	平成28年度 第 3 回長野県道路メンテナンス会議開催
平成29年度	6月22日	平成29年度 第 1 回長野県道路鉄道連絡会議開催
	6月22日	平成29年度 第 1 回長野県道路メンテナンス会議開催
	12月20日	平成29年度 第 2 回長野県道路メンテナンス会議開催
	3月14日	平成29年度 第 3 回長野県道路メンテナンス会議開催
平成30年度	6月21日	平成30年度 第 1 回長野県道路鉄道連絡会議開催
	6月21日	平成30年度 第 2 回長野県道路メンテナンス会議開催
	12月13日	平成30年度 第 3 回長野県道路メンテナンス会議開催
令和元年度	7月9日	令和元年度 第 1 回長野県道路メンテナンス会議開催
	7月9日	令和元年度 第 1 回長野県道路鉄道連絡会議開催

長野県道路メンテナンス会議のこれまでの経緯（3）

令和2年度	2月17日	令和2年度第1回長野県道路メンテナンス会議開催
	2月17日	令和2年度第1回長野県道路鉄道連絡会議開催
令和3年度	7月30日	令和3年度第1回長野県道路メンテナンス会議開催
	7月30日	令和3年度第1回長野県道路鉄道連絡会議開催
	11月2日	令和3年度第2回長野県道路鉄道連絡会議開催
	11月2日	令和3年度第1回長野県跨道橋連絡会議開催
令和4年度	8月2日	令和4年度第1回長野県道路メンテナンス会議開催
	8月2日	令和4年度第1回長野県道路鉄道連絡会議開催
令和5年度	8月4日	令和5年度第1回長野県道路メンテナンス会議開催
	8月4日	令和5年度第1回長野県道路鉄道連絡会議開催
令和6年度	8月2日	令和6年度第1回長野県道路メンテナンス会議開催
	8月2日	令和6年度第1回長野県道路鉄道連絡会議開催

長野県道路メンテナンス会議の令和6年度の主な取り組み

【令和6年度開催状況】

令和6年8月2日	第1回長野県道路メンテナンス会議
令和6年8月2日	第1回長野県道路鉄道連絡会議
令和7年1月8日	橋梁点検に関する講習会

【Web会議による長野県メンテナンス会議開催状況】



【その他の活動】

道路管理 初心者歓迎！！ 橋梁点検に関する講習会

道路管理初心者でもわかりやすく、橋梁点検について学べる講習会を行います！
橋梁や橋梁点検について学びたい方、VRを体験してみたい方等、興味のある方は
お気軽にご参加ください。

【講習内容（案）】

- ①橋の構造の基本
- ②橋梁点検のポイント
- ③VR機器による模擬橋梁点検
- ④橋梁補修D I Yの解説



橋梁補修D I Y（イメージ）



VR機器による模擬橋梁点検

日 程 令和7年1月8日（水）

時 間 13：30～16：00

会 場 飯田国道事務所 2階会議室

定 員 20名
※応募者多数の場合は、調整させていただきます。

申込み <https://forms.office.com/r/SytfY6cg6q?origin=lprLink>

※申込み期限：令和6年12月20日（金）



QRコードからの
申し込みも可能です

中部地方整備局
飯田国道事務所

〒395-0024 長野県飯田市東栄町3350番地
TEL 0265-53-7200（代表）

【その他の活動】 橋梁点検に関する講習会 主催 飯田国道事務所

【機密性2】

20250107_部監道メ 技_職員説明資料_1 年未満（事業終了後）

橋梁点検に関する講習会 計画書【最終】

- 開催日時：令和7年1月8日(水) 13:30～16:00
- 開催場所：飯田国道事務所 2階会議室
- 目的：地方公共団体への技術支援および橋梁点検の知見を広める
- 対象者：飯田国道管内の自治体職員（特に道路管理の初心者ターゲット）
- 参加人数：15名（募集は20名）

6. 内 容：

講習会 概要			
13:30 1 13:35	開 会	国土交通省中部地方整備局飯田国道事務所 事業対策官 【司会兼務】	横 原 裕 二
13:35 1 14:25	【中学】橋梁点検に必要な基礎知識について ～標に関する基礎知識、橋梁点検のポイント～	国土交通省中部地方整備局中部道路メンテナ スセンター 事業対策官	山 田 光 希
14:30 1 15:20	【実習】VR機器による模擬橋梁点検	国土交通省中部地方整備局中部道路メンテナ スセンター	山 田 光 希 河 合 孝 之 林 祥 英 平 橋 玄 規
15:30 1 15:50	【実演・座学】予防保全型メンテナンスに向けた 「橋梁補修D1Y」	国土交通省中部地方整備局中部道路メンテナ スセンター 技術第一課長	河 合 孝 之
15:50 3 16:00	閉 会	国土交通省中部地方整備局飯田国道事務所 事業対策官 【司会兼務】	横 原 裕 二

7. 講習会 概要：

- ①模擬橋梁点検の進め方：50min
 - 参加者15名のため、1班5名の3班に分ける
 - 模擬体験は、1人あたり概ね10分程度

②橋梁補修DIYの進め方：20min

- 始めに車庫前でAsひび割れ補修を実演（休憩中に移動）
- その後、会議室でDIYについての説明
- 降雪など悪天候の場合は、事前に撮影した補修状況の動画を会議室にて視聴



【機密性2】

20250107_部監道メー技_職員説明資料_1 年未満（事業終了後）

③MCからの携行品：

- 配付資料（解説資料、MCパンフ等） 20セット
（ただし、MCパンフ等は自治体参加者のみ配布）
- VRゴーグル 4台（1台は予備機）
- クロームキャスト 3台
- ポケットWi-Fi 3台
- DIY用品（発泡ウレタン充填剤、防銹スプレー、シリコン製靴着テープ、As接着補修材 など） 1式

④飯田国道に準備してもらう物品：

- 座学説明用のパソコンと大型モニター（プロジェクターでも可） 各1台
- VR模擬点検用のモニター 2台（大型モニターも活用）

8. その他

- 13時に飯田国道へ到着し、会場準備（PC、Wi-Fiなど接続状況の確認）
- 会場の形状は教室形式で実施
- 服装については、上着は作業服（IFC服）、下は自由
- 司会進行は飯田国道へ依頼済み
- 開催状況の撮影は、千が空いている者が適宜実施
- 荒天により通行規制が予想される場合は、8日10時までに飯田国道と調整し実施可否を判断する

【その他の活動】 橋梁点検に関する講習会 実施状況



2.長野県の令和6年度の点検状況

長野県の点検状況は、橋梁が4,257橋、トンネルが83カ所、道路付属物が113施設である。

管理者	点検実施数		
	橋梁	トンネル	道路付属物等
国土交通省	141	11	32
高速道路会社	193	6	47
長野県 (公社含む)	807	41	11
市町村	3,116	25	23
合計	4,257	83	113

※令和7年6月末時点の全国道路施設点検データベース（XROAD・基礎情報）の掲載データを基に集計

3.道路メンテナンス年報より



令和6年8月26日

道路局 国道・技術課

橋梁等の2023年度(令和5年度)点検結果をとりまとめ
～道路メンテナンス年報(2巡目)の公表～

- 2013年度の道路法改正等を受け、2014年度より道路管理者は全ての橋梁、トンネル、道路附属物等について、5年に1度の点検が義務付けられています。2018年度に1巡目点検、2023年度に2巡目点検が完了し、2024年度から3巡目点検が実施されています。
- 今般、2023年度までの点検や診断結果、措置状況等を「道路メンテナンス年報」としてとりまとめましたのでお知らせいたします。

○主なポイント

1. 橋梁・トンネル・道路附属物等の点検実施状況(p1)

- 2巡目(2019～2023年度)の点検実施状況は、
橋梁:99.4%、トンネル:98.6%、道路附属物等:99.3%
と、概ね100%となっています。

2. 橋梁の修繕等措置の実施状況(p3～p4、p12)

- 1巡目(2014～2018年度)点検で、判定区分Ⅲ・Ⅳ*の橋梁における修繕等措置の着手率は、国、高速道路は100%の一方、地方公共団体は83%と約2割が未着手と低水準になっています。

※判定区分Ⅲ:早期に措置を講ずべき状態 判定区分Ⅳ:緊急に措置を講ずべき状態

- 1巡目点検で判定区分Ⅲ・Ⅳの橋梁を管理する地方公共団体1,712団体の修繕等措置の着手率は、
 - ・着手率100%が 894団体(52%)
 - ・着手率50%以上100%未満が 659団体(39%)
 - ・着手率50%未満が 159団体(9%)となっており、修繕が必要な橋梁に対する措置の実施状況に差がある状況です。
- 1巡目点検で、判定区分Ⅲ・Ⅳの橋梁における修繕等措置の完了率は、全体で67%と約3割で未完了、また、他の橋梁と比べて跨線橋は59%と低水準になっています。

3. 措置が必要な橋梁の状況(p8)

- 2巡目点検終了時で、1巡目点検終了時と比較して建設後50年を経過した橋梁数が増加(約13万橋⇒約21万橋)している一方、判定区分Ⅲ、Ⅳの橋梁数は着実に減少(約6.9万橋⇒約5.6万橋)しています。

道路メンテナンス年報は、以下のWebページにてご覧いただけます。

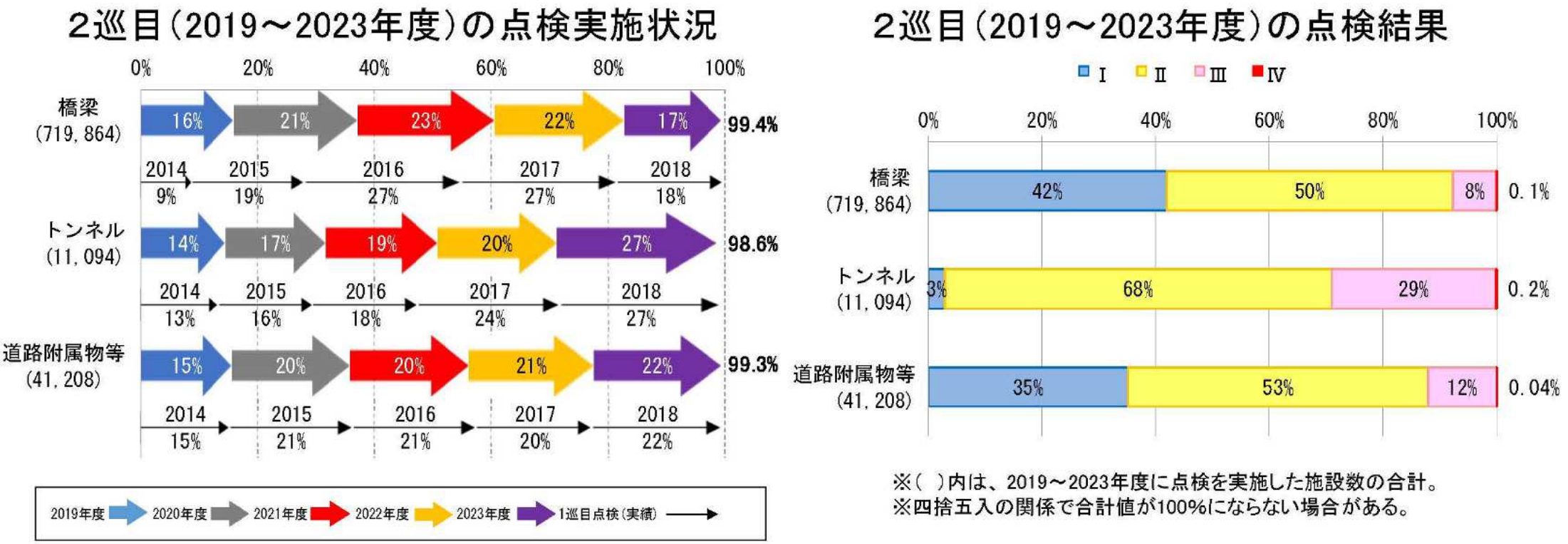
https://www.mlit.go.jp/road/sisaku/yobohozen/yobohozen_maint_index.html

<問い合わせ先>

道路局 国道・技術課 道路メンテナンス企画室 課長補佐 竹田、中村(内線 37892、37863)

(代表) 03-5253-8111 (直通) 03-5253-8494

- 全道路管理者の2巡目(2019～2023年度)の点検実施状況は、橋梁:99.4%、トンネル:98.6%、道路附属物等※:99.3%と、概ね100%となっている。
- 全道路管理者の2019～2023年度の点検において、早期又は緊急に措置を講ずべき状態(判定区分Ⅲ・Ⅳ)の割合は、橋梁:8%、トンネル:29%、道路附属物等:12%
- ※道路附属物等:シェッド、大型カルバート、横断歩道橋、門型標識等



判定区分		状態
I	健全	構造物の機能に支障が生じていない状態。
II	予防保全段階	構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。
III	早期措置段階	構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。
IV	緊急措置段階	構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態。

橋梁の損傷事例

判定区分Ⅲ

早期措置段階「構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態」



国管理 床版鉄筋露出

※床版:橋の裏側



地方自治体管理 主桁腐食



地方自治体管理 支承腐食

判定区分Ⅳ

緊急措置段階「構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態」



国管理 主桁腐食・欠損



地方自治体管理 床版鉄筋露出



地方自治体管理 橋脚洗掘

1巡目点検で判定区分Ⅲ、Ⅳの橋梁の修繕等措置の実施状況

- 1巡目(2014年度～2018年度)の点検で早期に措置を講ずべき状態(区分Ⅲ)又は緊急に措置を講ずべき状態(区分Ⅳ)と判定された橋梁のうち、修繕等の措置に着手した割合は、2023年度末時点で国土交通省:100%、高速道路会社:100%、地方公共団体:83%、完了した割合は、国土交通省:82%、高速道路会社:85%、地方公共団体:66%
- 判定区分Ⅲ・Ⅳである橋梁は次回点検まで(5年以内)に措置を講ずべきとしているが、地方公共団体において5年以上経過していても措置に着手できていない橋梁は約2割ある。

管理者	措置が必要な 施設数(A)	措置に着手済 の施設数(B)	うち完了(C)	未着手 施設数	2023年度末時点 措置着手率(B/A)、措置完了率(C/A)						(参考)2022年度末時点	
					点検年度	0%	20%	40%	60%	80%	100%	措置に着手済 の施設数
国土交通省	3,340	3,340 (100%)	2,724 (82%)	0 (0%)	2014			95%		100%	3,283 (98%)	2,254 (67%)
					2015			90%		100%		
					2016			83%		100%		
					2017			78%		100%		
					2018			65%		100%		
高速道路会社	2,532	2,532 (100%)	2,164 (85%)	0 (0%)	2014			88%		100%	2,352 (93%)	1,893 (75%)
					2015			93%		100%		
					2016			87%		100%		
					2017			90%		100%		
					2018			74%		100%		
地方公共団体	60,482	50,129 (83%)	39,688 (66%)	10,353 (17%)	2014			80%		90%	41,868 (68%)	32,188 (53%)
					2015			72%		87%		
					2016			67%		83%		
					2017			57%		77%		
					2018			54%		79%		
都道府県 政令市等	19,814	18,238 (92%)	14,298 (72%)	1,576 (8%)	2014			87%		97%	16,697 (83%)	12,420 (62%)
					2015			79%		95%		
					2016			72%		91%		
					2017			62%		87%		
					2018			63%		92%		
市区町村	40,668	31,891 (78%)	25,390 (62%)	8,777 (22%)	2014			75%		85%	25,171 (61%)	19,812 (48%)
					2015			69%		84%		
					2016			64%		80%		
					2017			55%		73%		
					2018			49%		70%		
合計	66,354	56,001(84%)	44,576(67%)	10,353(16%)				67%		84%	47,503(71%)	36,335(54%)

↑: 2023年度末時点で次回点検までの修繕等措置の実施を考慮した場合に想定されるペース

完了済

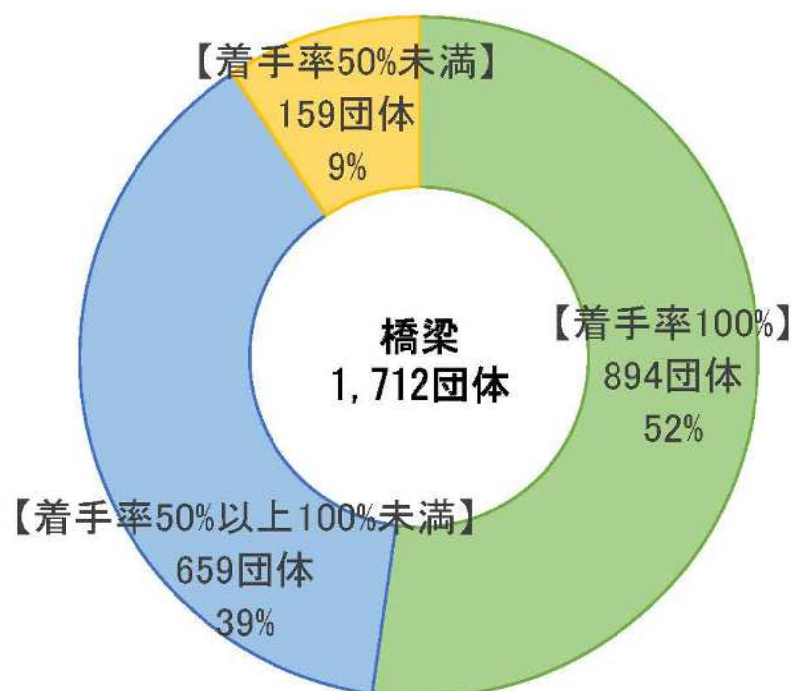
着手済

2014年度点検実施(9年経過):100%、2015年度点検実施(8年経過):100%、2016年度点検実施(7年経過):100%、2017年度点検実施(6年経過):100%、2018年度点検実施(5年経過):100%

1巡目点検(2014-18)の実施施設(橋梁)に対する地方公共団体の修繕等措置の着手状況

- 1巡目点検(2014-2018年度)において早期に措置を講ずべき状態(区分Ⅲ)又は緊急に措置を講ずべき状態(区分Ⅳ)と判定された橋梁に着手した割合は、地方公共団体によって差があり、
1巡目点検で区分Ⅲ又はⅣと判定された施設を管理している1,712団体のうち、
- ・ 着手率100%の地方公共団体が894団体(52%)ある一方で、
 - ・ 着手率50%以上100%未満が 659団体(39%)
 - ・ 着手率50%未満が 159団体(9%)
- であり、地方公共団体によって差がでてきている。

1巡目点検判定区分ⅢⅣ施設に対する修繕等措置の着手状況



※点検対象外等となり、現在、1巡目点検における判定区分Ⅲ、Ⅳの施設を管理していない団体を除く。

1巡目点検で判定区分Ⅲ、Ⅳのトンネルの修繕等措置の実施状況

- 1巡目(2014年度～2018年度)の点検で早期に措置を講ずべき状態(区分Ⅲ)又は緊急に措置を講ずべき状態(区分Ⅳ)と判定されたトンネルのうち、修繕等の措置に着手した割合は、2023年度末時点で国土交通省:100%、高速道路会社:100%、地方公共団体:95%、完了した割合は、国土交通省:98%、高速道路会社:95%、地方公共団体:82%
- 判定区分Ⅲ・Ⅳである橋梁は次回点検まで(5年以内)に措置を講ずべきとしているが、地方公共団体において5年以上経過していても措置に着手できていないトンネルは約1割ある。

管理者	措置が必要な 施設数(A)	措置に着手済 の施設数(B)	うち完了(C)	未着手 施設数	2023年度末時点 措置着手率(B/A)、措置完了率(C/A)						(参考)2022年度末時点		
					点検年度	0%	20%	40%	60%	80%	100%	措置に着手済 の施設数	うち完了
国土交通省	503	503 (100%)	494 (98%)	0 (0%)	2014			100%			100%	497 (99%)	451 (89%)
					2015			98%			100%		
					2016			97%			100%		
					2017			97%			100%		
					2018			100%			100%		
高速道路会社	692	692 (100%)	656 (95%)	0 (0%)	2014			97%			100%	687 (99%)	635 (92%)
					2015			98%			100%		
					2016			98%			100%		
					2017			89%			100%		
					2018			84%			100%		
地方公共団体	3,131	2,964 (95%)	2,566 (82%)	167 (5%)	2014			88%			94%	2,862 (91%)	2,246 (71%)
					2015			88%			97%		
					2016			89%			99%		
					2017			83%			96%		
					2018			71%			90%		
都道府県 政令市等	2,315	2,299 (99%)	2,093 (90%)	16 (1%)	2014			98%			100%	2,296 (99%)	1,888 (81%)
					2015			90%			98%		
					2016			92%			99.6%		
					2017			90%			99.6%		
					2018			87%			99%		
市区町村	816	665 (81%)	473 (58%)	151 (19%)	2014			67%			83%	566 (69%)	358 (43%)
					2015			70%			85%		
					2016			73%			94%		
					2017			54%			82%		
					2018			52%			78%		
合計	4,326	4,159(96%)	3,716(86%)	167(4%)				86%			96%	4,046(93%)	3,332(77%)

↑: 2023年度末時点で次回点検までの修繕等措置の実施を考慮した場合に想定されるペース

完了済

着手済

2014年度点検実施(9年経過):100%、2015年度点検実施(8年経過):100%、2016年度点検実施(7年経過):100%、2017年度点検実施(6年経過):100%、2018年度点検実施(5年経過):100%

2巡目点検で判定区分Ⅲ、Ⅳの橋梁の修繕等措置の実施状況

○ 2巡目(2019年度～2023年度)の点検で早期に措置を講ずべき状態(区分Ⅲ)又は緊急に措置を講ずべき状態(区分Ⅳ)と判定された橋梁のうち、修繕等の措置に着手した割合は、2023年度末時点で国土交通省:64%、高速道路会社:45%、地方公共団体:47%、完了した割合は、国土交通省:19%、高速道路会社:20%、地方公共団体:21%

管理者	措置が必要な 施設数(A)	措置に着手済 の施設数(B)	うち完了(C)	未着手 施設数	2023年度末時点 措置着手率(B/A)、措置完了率(C/A)	
					点検年度	0% 20% 40% 60% 80% 100%
国土交通省	3,716	2,380 (64%)	713 (19%)	1,336 (36%)	2019	37% 96%
					2020	24% 85%
					2021	17% 69%
					2022	13% 47%
					2023	2% 17%
高速道路会社	2,714	1,223 (45%)	530 (20%)	1,491 (55%)	2019	49% 87%
					2020	25% 63%
					2021	17% 43%
					2022	12% 35%
					2023	1% 8%
地方公共団体	49,315	23,342 (47%)	10,367 (21%)	25,973 (53%)	2019	39% 66%
					2020	32% 63%
					2021	19% 51%
					2022	9% 31%
					2023	2% 17%
都道府県 政令市等	17,064	9,797 (57%)	3,920 (23%)	7,267 (43%)	2019	44% 78%
					2020	36% 76%
					2021	20% 62%
					2022	9% 44%
					2023	3% 22%
市区町村	32,251	13,545 (42%)	6,447 (20%)	18,706 (58%)	2019	36% 60%
					2020	30% 56%
					2021	18% 46%
					2022	9% 24%
					2023	2% 14%
合計	55,745	26,945(48%)	11,610(21%)	28,800(52%)		21% 48%

↑: 2023年度末時点で次回点検までの修繕等措置の実施を考慮した場合に想定されるペース

2019年度点検実施(4年経過):80%、2020年度点検実施(3年経過):60%、2021年度点検実施(2年経過):40%、2022年度点検実施(1年経過):20%

完了済 着手済

2巡目点検で判定区分Ⅲ、Ⅳのトンネルの修繕等措置の実施状況

- 2巡目(2019年度～2023年度)の点検で早期に措置を講ずべき状態(区分Ⅲ)又は緊急に措置を講ずべき状態(区分Ⅳ)と判定されたトンネルのうち、修繕等の措置に着手した割合は、2023年度末時点で国土交通省:64%、高速道路会社:52%、地方公共団体:57%、完了した割合は、国土交通省:28%、高速道路会社:30%、地方公共団体:29%

管理者	措置が必要な 施設数(A)	措置に着手済 の施設数(B)	未着手 施設数	2023年度末時点 措置着手率(B/A)、措置完了率(C/A)	
				点検年度	0% 20% 40% 60% 80% 100%
国土交通省	421	269 (64%)	143 (36%)	2019	61% 94%
				2020	43% 85%
				2021	18% 63%
				2022	4% 51%
				2023	4% 20%
高速道路会社	421	219 (52%)	202 (48%)	2019	54% 86%
				2020	43% 80%
				2021	33% 55%
				2022	30% 50%
				2023	2% 6%
地方公共団体	2,375	1,360 (57%)	1,015 (43%)	2019	63% 85%
				2020	46% 84%
				2021	34% 74%
				2022	18% 50%
				2023	3% 14%
都道府県 政令市等	1,815	1,179 (65%)	636 (35%)	2019	68% 91%
				2020	49% 86%
				2021	37% 78%
				2022	20% 55%
				2023	2% 12%
市区町村	560	181 (32%)	379 (68%)	2019	36% 59%
				2020	27% 71%
				2021	13% 45%
				2022	9% 34%
				2023	4% 15%
合計	3,217	1,848(57%)	936(29%)	1,369(43%)	29% 57%

↑: 2023年度末時点で次回点検までの修繕等措置の実施を考慮した場合に想定されるペース

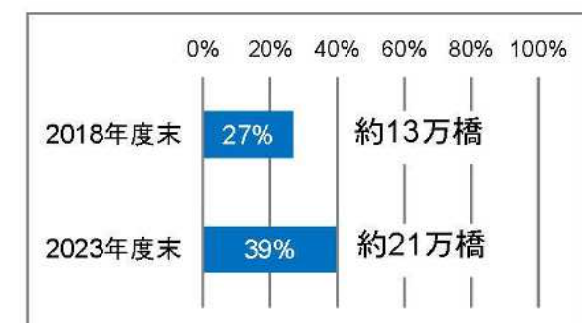
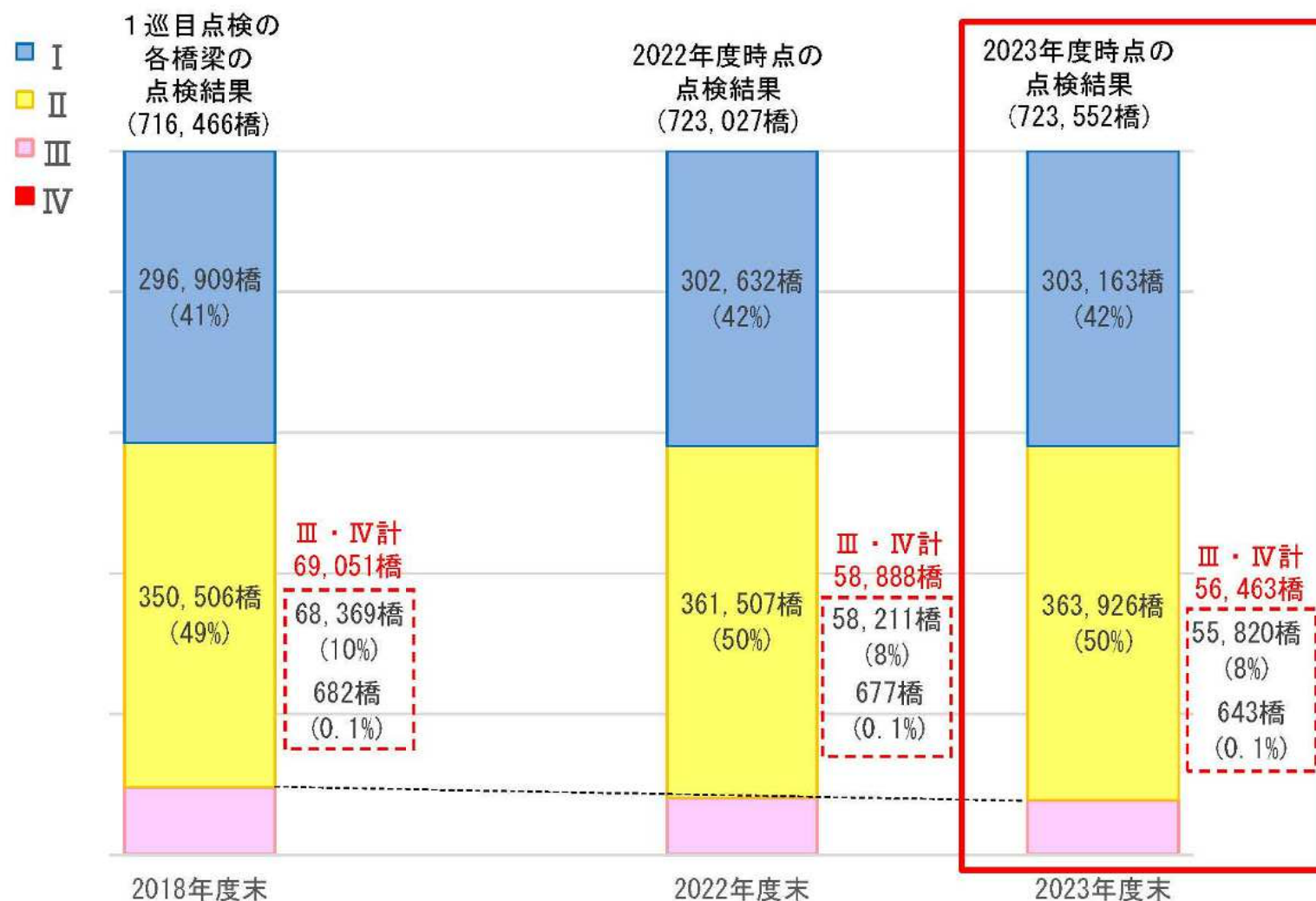
2019年度点検実施(4年経過):80%、2020年度点検実施(3年経過):60%、2021年度点検実施(2年経過):40%、2022年度点検実施(1年経過):20%

完了済

着手済

2023年度末時点での橋梁の判定区分毎の施設数と割合

- 2023年度末時点での点検結果では判定区分の割合は、Ⅰ：42%、Ⅱ：50%、Ⅲ：8%、Ⅳ：0.1%であり、修繕等が必要な判定区分Ⅲ・Ⅳの橋梁は56,463橋であった。
- 1巡目点検終了時点と比較すると建設後50年以上経過した橋梁数は増加している一方で、年々判定区分Ⅲ・Ⅳの橋梁数は着実に減少している。



(参考) 建設後50年を経過した橋梁の割合

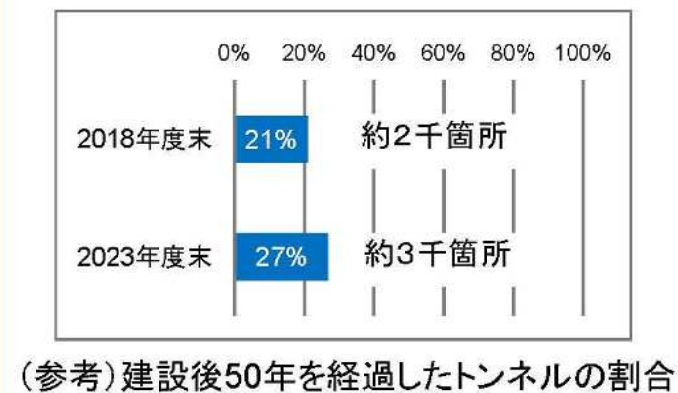
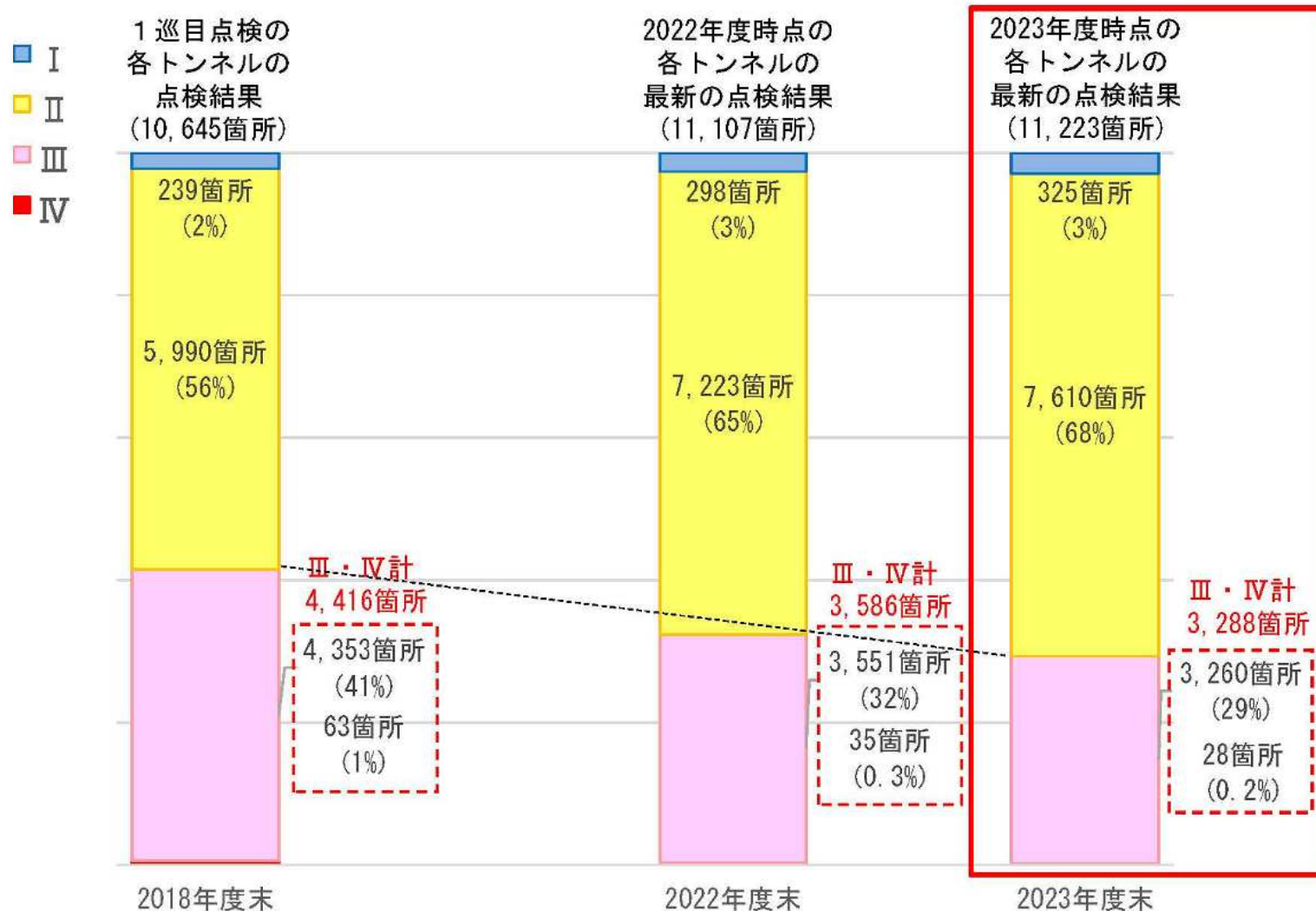
※この他、古い橋梁など記録が確認できない建設年度不明橋梁がある。

○ 2023年度末時点の点検で早期に措置を講ずべき状態(区分Ⅲ)又は緊急に措置を講ずべき状態(区分Ⅳ)と判定された橋梁のうち、修繕等の措置に着手した割合は、国土交通省:64%、高速道路会社:45%、地方公共団体:48%、完了した割合は、国土交通省:19%、高速道路会社:20%、地方公共団体:21%

管理者	措置が必要な 施設数(A)	措置に着手済 の施設数(B)		未着手 施設数	
			うち完了(C)		
国土交通省	3,724	2,388 (64%)	716 (19%)	1,336 (36%)	
高速道路会社	2,714	1,223 (45%)	530 (20%)	1,491 (55%)	
地方公共団体	50,025	23,801 (48%)	10,611 (21%)	26,224 (52%)	
	都道府県 政令市等	17,227	9,932 (58%)	3,976 (23%)	7,295 (42%)
	市区町村	32,798	13,869 (42%)	6,635 (20%)	18,929 (58%)
合計	56,463	27,412(49%)	11,857(21%)	29,051(51%)	

2023年度末時点でのトンネルの判定区分毎の施設数と割合

- 2023年度末時点での点検結果では判定区分の割合は、Ⅰ：3%、Ⅱ：68%、Ⅲ：29%、Ⅳ：0.2%であり、修繕等が必要な判定区分Ⅲ・Ⅳのトンネルは3,288箇所であった。
- 1巡目点検終了時点と比較すると建設後50年以上経過したトンネルは増加している一方で、年々判定区分Ⅲ・Ⅳのトンネルは着実に減少している。



※この他、古いトンネルなど記録が確認できない建設年度不明トンネルがある。

2023年度末時点の点検にて判定区分Ⅲ、Ⅳのトンネルの修繕等措置実施状況

○ 2023年度末時点の点検で早期に措置を講ずべき状態(区分Ⅲ)又は緊急に措置を講ずべき状態(区分Ⅳ)と判定されたトンネルのうち、修繕等の措置に着手した割合は、国土交通省:64%、高速道路会社:52%、地方公共団体:58%、完了した割合は、国土交通省:28%、高速道路会社:30%、地方公共団体:30%

管理者	措置が必要な 施設数(A)	措置に着手済 の施設数(B)		未着手 施設数
			うち完了(C)	
国土交通省	421	269 (64%)	116 (28%)	152 (36%)
高速道路会社	421	219 (52%)	128 (30%)	202 (48%)
地方公共団体	2,446	1,410 (58%)	726 (30%)	1,036 (42%)
	都道府県 政令市等	1,831	1,195 (65%)	643 (35%)
	市区町村	615	215 (35%)	83 (13%)
合計	3,288	1,898(58%)	970(30%)	1,390(42%)

1 巡目点検の実施施設における跨線橋及び緊急輸送道路等の橋梁の修繕等措置の実施状況

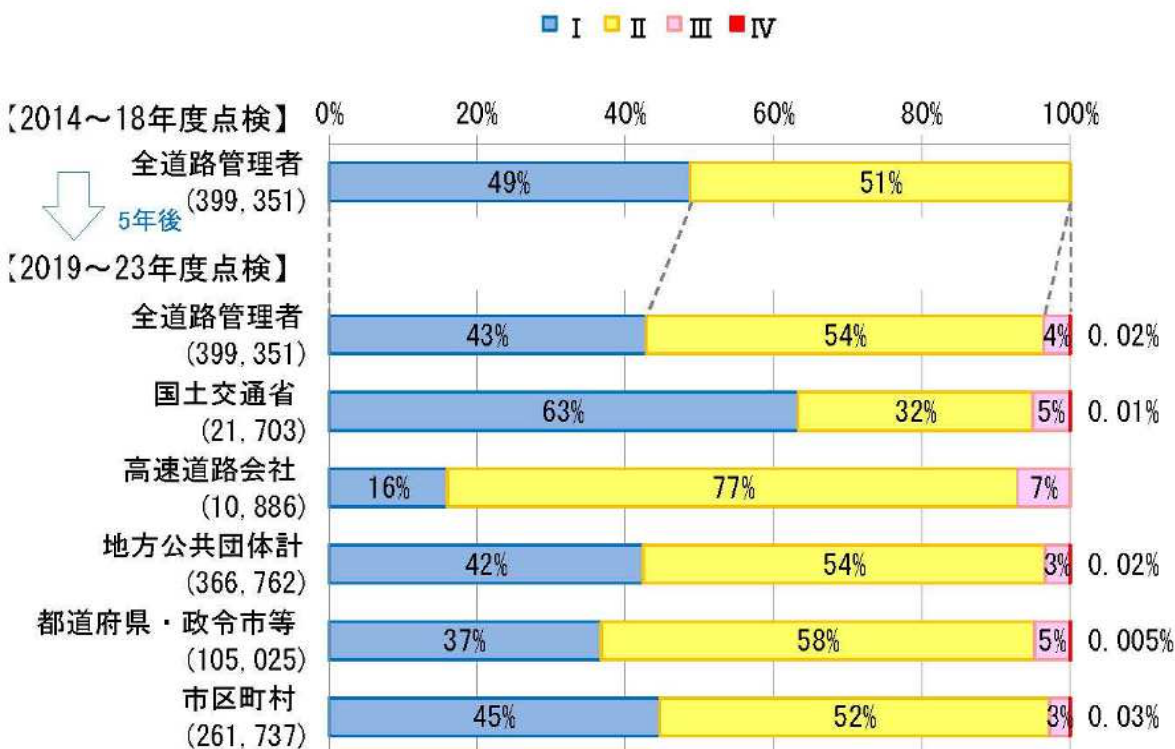
- 1巡目点検(2014～2018年度)で早期に措置を講ずるべき状態(区分Ⅲ)又は緊急に措置を講ずるべき状態(区分Ⅳ)と判定された跨線橋及び緊急輸送道路等の橋梁のうち、修繕等の措置が完了した割合は、2023年度末時点で、跨線橋 59%、緊急輸送道路を跨ぐ跨道橋 77%、緊急輸送道路を構成する橋梁 79%であり、跨線橋の措置完了率が低くなっている。

	措置が必要な 施設数 A※1	措置に着手済の 施設数 B (B/A)	うち完了 C (C/A)
跨線橋	2,030	1,911 (94%)	1,199 (59%)
緊急輸送道路を 跨ぐ跨道橋	1,830	1,744 (95%)	1,403 (77%)
緊急輸送道路を 構成する橋梁	13,395	13,109 (98%)	10,595 (79%)
(参考)全橋梁	66,354	56,001 (84%)	44,576 (67%)

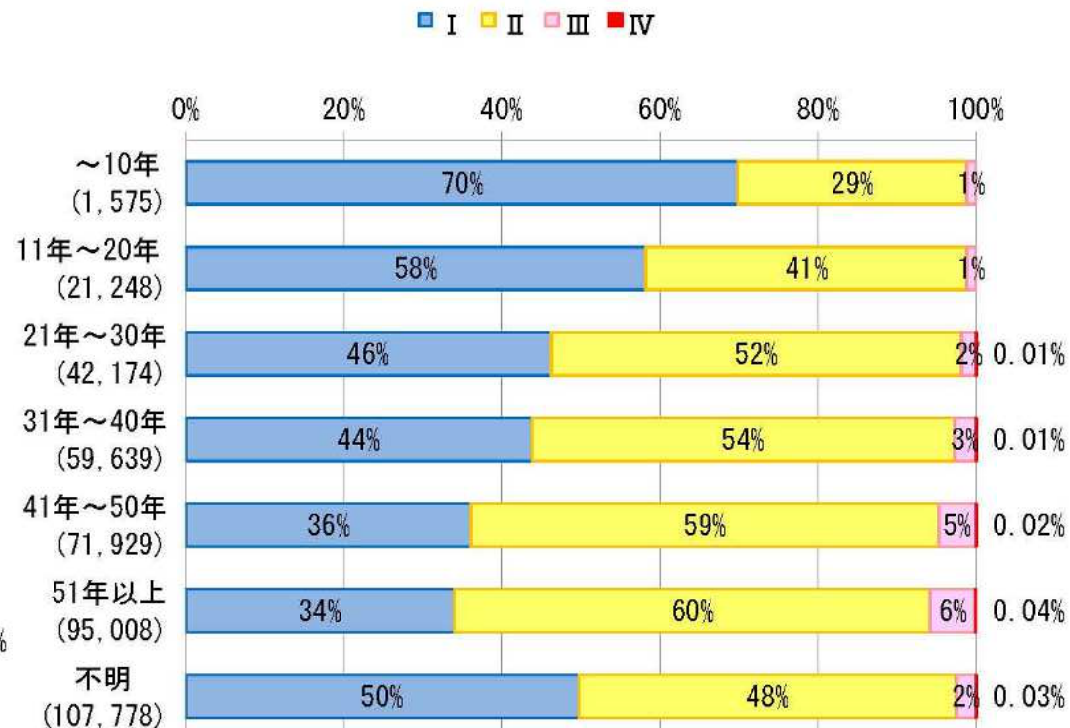
1巡目から2巡目点検における判定区分Ⅰ・Ⅱの遷移状況(橋梁)

- 1巡目の2014年度～2018年度点検で健全又は予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態(区分Ⅰ・Ⅱ)と判定された橋梁のうち、修繕等の措置を講じないまま、5年後の2019年度～2023年度点検において、早期又は緊急に措置を講ずべき状態(区分Ⅲ・Ⅳ)へ遷移した橋梁の割合は全道路管理者合計で4%
- 建設後経過年数に比例して、判定区分Ⅰ・Ⅱから判定区分Ⅲ・Ⅳに遷移した割合が高くなっている。

道路管理者別の遷移状況



建設後経過年数別の遷移状況 (全道路管理者合計)



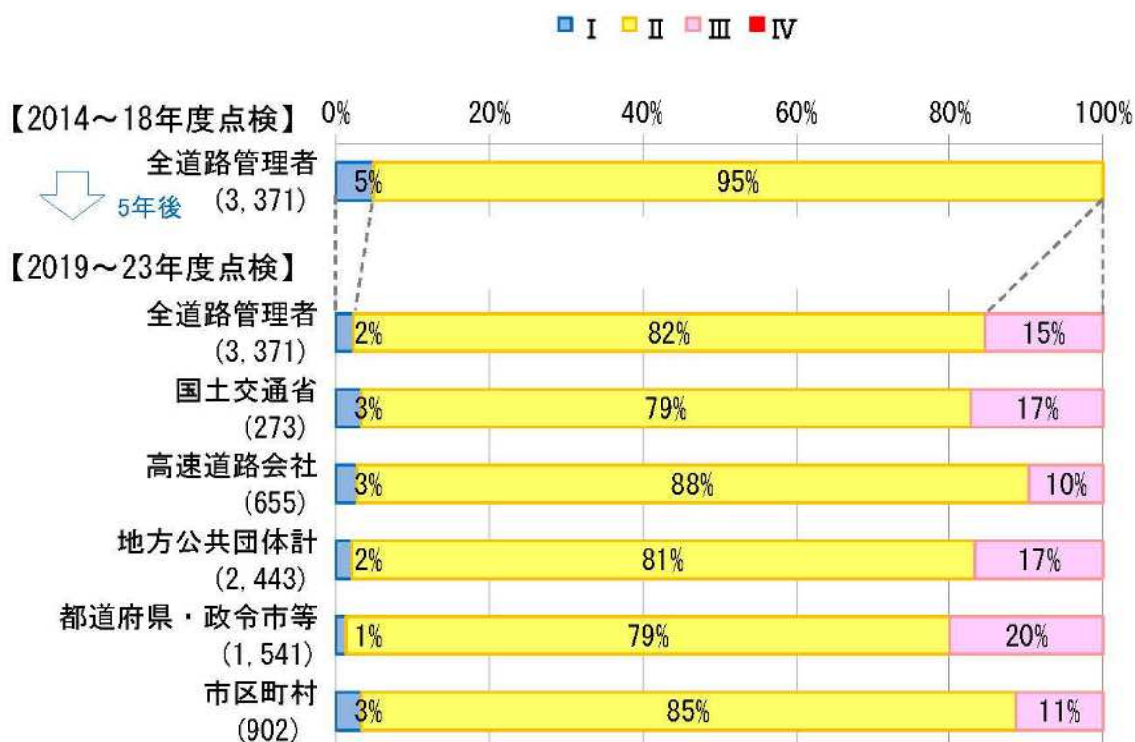
※()内は、1巡目点検(2014年度～2018年度)の結果が判定区分ⅠまたはⅡとなった橋梁のうち、修繕等の措置を講じないまま5年後の2019年度～2023年度に点検を実施した橋梁の合計

※四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。

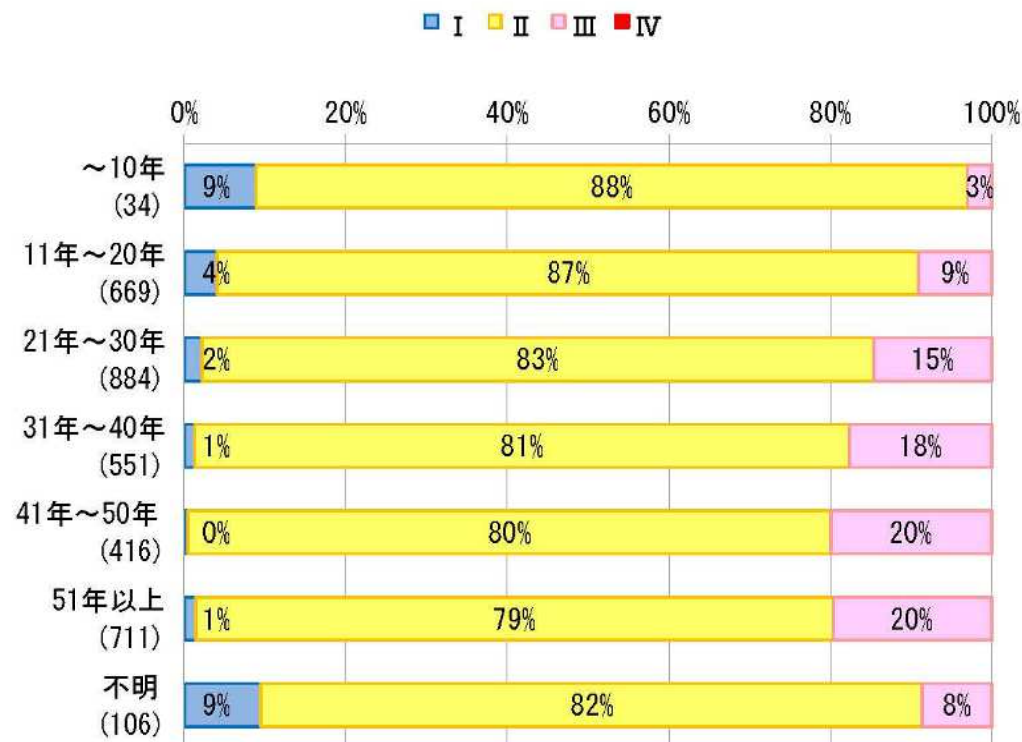
1巡目から2巡目点検における判定区分Ⅰ・Ⅱの遷移状況(トンネル)

- 1巡目の2014年度～2018年度点検で健全又は予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態(区分Ⅰ・Ⅱ)と判定されたトンネルのうち、修繕等の措置を講じないまま、5年後の2019年度～2023年度点検において、早期又は緊急に措置を講ずべき状態(区分Ⅲ・Ⅳ)へ遷移したトンネルの割合は全道路管理者合計で15%
- 建設後経過年数に比例して、判定区分Ⅰ・Ⅱから判定区分Ⅲ・Ⅳに遷移した割合が高くなっている。

道路管理者別の遷移状況



建設後経過年数別の遷移状況 (全道路管理者合計)



※()内は、1巡目点検(2014年度～2018年度)の結果が判定区分ⅠまたはⅡとなったトンネルのうち、修繕等の措置を講じないまま5年後の2019年度～2023年度に点検を実施したトンネルの合計。

※四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。

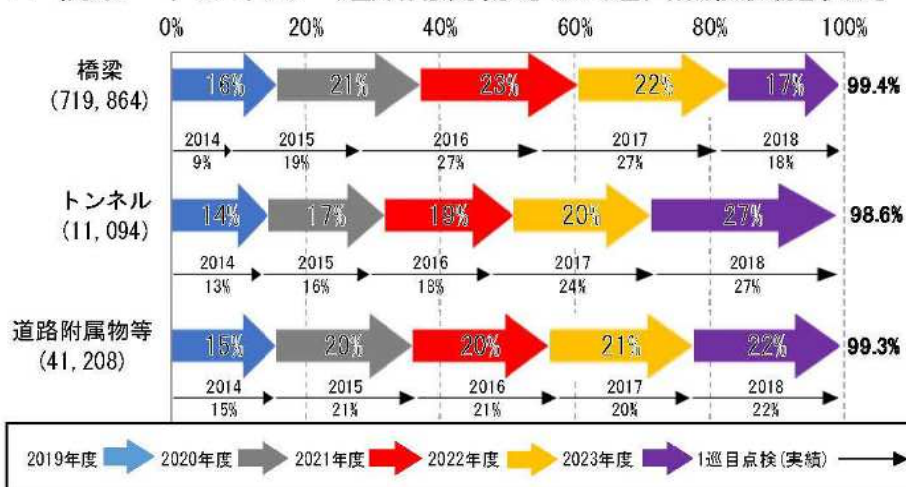
道路メンテナンス年報(2023年度)の概要

○橋梁・トンネル・道路附属物等について、2巡目の点検は概ね100%となっている。

橋梁について、地方公共団体の修繕が必要な橋梁の措置着手・完了率が低水準。

○建設後50年を経過した橋梁数は増加している一方、修繕等が必要な判定区分Ⅲ・Ⅳの橋梁数は着実に減少。

■ 橋梁・トンネル・道路附属物等の2巡目点検実施状況



2巡目の点検は概ね100%となっている

■ 1巡目点検で修繕が必要とされた橋梁の修繕等措置状況

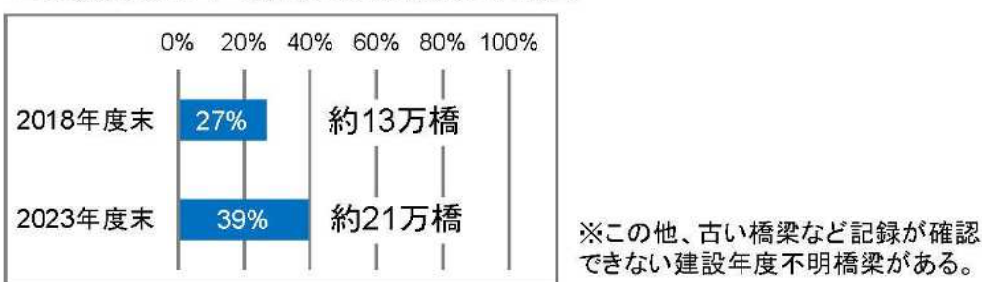
管理者	措置が必要な施設数 ※1	措置に着手済みの施設数	うち完了
国土交通省	3,340	3,340 (100%)	2,724 (82%)
高速道路会社	2,532	2,532 (100%)	2,164 (85%)
地方公共団体	60,482	50,129 (83%)	39,688 (66%)

地方公共団体の修繕が必要な橋梁の措置着手・完了率が低水準

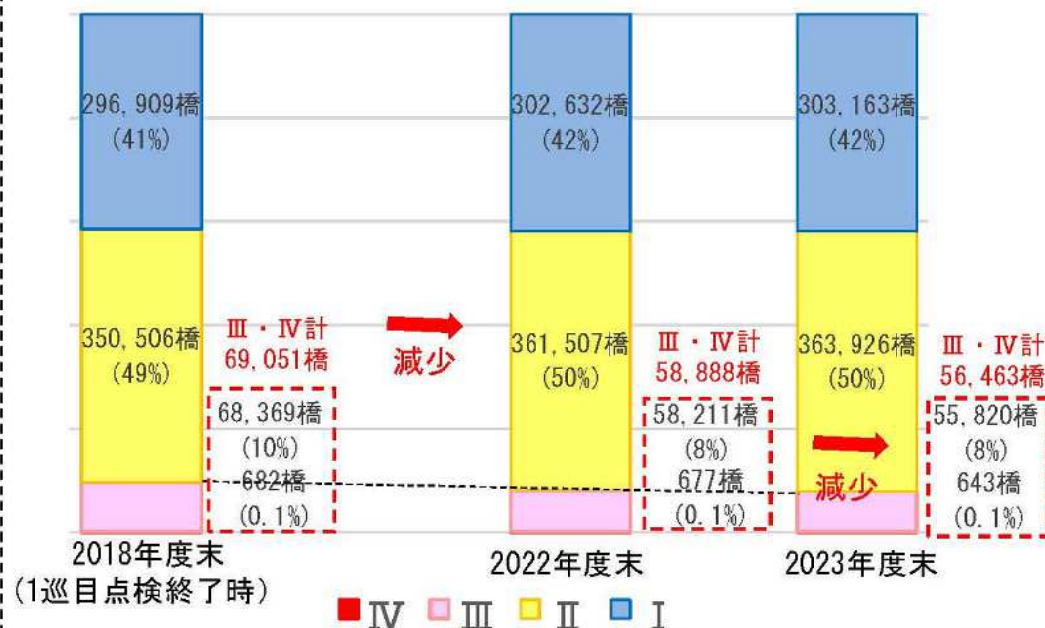
※1: 判定区分Ⅰ～Ⅳのうち、判定区分Ⅲ(早期措置段階)及び判定区分Ⅳ(緊急措置段階)の橋梁数

※2: 判定区分Ⅲ・Ⅳである橋梁は次回点検まで(5年以内)に措置を講ずべきとされている

■ 建設後50年を経過した橋梁の割合



■ 橋梁の判定区分毎の施設数と割合



1巡目点検終了時と比較して、建設後50年を経過した橋梁数は増加している一方で、修繕等が必要な判定区分Ⅲ・Ⅳの橋梁は56,463橋であり、年々着実に減少している

○国土交通省では、国民・道路利用者の皆様に道路インフラや老朽化対策の現状をご理解いただくため、点検の実施状況や結果等を調査し、「道路メンテナンス年報」としてとりまとめて公表。

■ 道路メンテナンス年報公表に関する経緯

○ 笹子トンネル天井板落下事故[2012.12]

○ 道路法の改正[2013.6]：点検基準の法定化(橋梁・トンネル・道路附属物等)

○ 定期点検に関する省令・告示 施行[2014.7]：5年に1回、近接目視による点検開始

○ 道路メンテナンス年報公表[2015.11～(毎年)]

【主な掲載内容】・橋梁、トンネル、道路附属物等の点検結果及び修繕等措置の実施状況

・舗装・小規模附属物・土工構造物の点検結果及び修繕等措置の実施状況 等

道路メンテナンス年報

国土交通省 道路局

2024 年 8 月

(3) 直轄診断・修繕代行.....	80
(4) 研修の実施状況.....	81
(5) 橋梁管理に携わる土木技術者数.....	81
(6) 個別施設計画の策定状況（2023年度末時点）.....	82
(7) 道路メンテナンス事業補助の活用状況.....	85
(8) 点検実施者の保有資格等.....	86
(9) 点検・修繕における新技術の活用検討・活用の状況.....	87
(10) 集約・撤去・機能縮小等の検討状況.....	93
(11) 新技術活用事例及び集約・撤去事例集.....	94
※巻末資料	95
(1) 道路附属物等の点検実施状況と点検結果の内訳.....	95
(2) 緊急輸送道路及び時線橋等の点検結果の内訳.....	102
(3) 橋梁・トンネル・道路附属物等の判定区分Ⅳの施設リスト（2014～2023年度）.....	107
(4) 橋梁・トンネルの建設年度別施設数.....	140

目次

1. 道路メンテナンス年報について.....	1
(1) 概要.....	1
(2) 橋梁・トンネル・道路附属物等の健全性の診断について.....	1
2. 橋梁・トンネル・道路附属物等の点検結果.....	2
(1) 2巡目（2019～2023年度）の点検結果.....	2
(2) 判定区分Ⅰ・Ⅱの施設の5年後の判定区分Ⅲ・Ⅳへの遷移状況.....	14
(3) 過年度の点検（2014～2023年度）の実施設の判定区分毎の施設数と割合.....	17
(4) 過年度の点検（2014～2023年度）の点検結果.....	20
3. 判定区分Ⅲ、Ⅳの施設の修繕等措置の実施状況.....	32
(1) 1巡目点検（2014～2018年度）の実施設における修繕等措置の実施状況.....	32
(2) 2巡目点検（2019～2023年度）の実施設における修繕等措置の実施状況.....	35
(3) 過年度の点検（2014～2023年度）の実施設における修繕等措置の実施状況.....	38
(4) 1巡目点検（2014～2018年度）の実施設における跨線橋及び緊急輸送道路等の橋梁の修繕等措置の実施状況.....	41
(5) 各都道府県における道路管理者毎の老朽化対策状況.....	43
(6) 全国道路施設点検データベース（損傷マップ）.....	43
(7) 判定区分Ⅳの施設の措置状況.....	44
4. 地方公共団体の修繕等措置状況.....	45
(1) 1巡目点検（2014～2018年度）の実施設における地方公共団体の修繕等措置の着手状況.....	45
(2) 2023年度末時点での修繕等措置が完了した地方公共団体数.....	46
5. 舗装の点検結果及び修繕等措置の実施状況.....	47
(1) 概要.....	47
(2) 2巡目（2022～2023年度）の点検結果（国土交通省、都道府県・政令市）.....	49
(3) 過年度の点検（2017～2023年度）の点検結果.....	51
(4) 過年度の点検（2017～2023年度）の実施箇所における修繕等措置の実施状況.....	52
6. 小規模附属物・土工構造物の点検結果及び修繕等措置の実施状況.....	53
(1) 小規模附属物.....	53
(2) 土工構造物.....	57
7. 橋梁・トンネルの現状.....	61
(1) 橋梁の現状.....	61
(2) トンネルの現状.....	70
8. 地方公共団体におけるメンテナンスに向けた取り組み.....	79
(1) 道路メンテナンス会議の開催.....	79
(2) 地域一括発注の状況.....	79

1. 道路メンテナンス年報について

(1) 概要

- 国土交通省では、国民・道路利用者の皆様に道路インフラの現状及び老朽化対策についてご理解頂くため、点検の実施状況や結果等を「道路メンテナンス年報」としてとりまとめています。
- 橋梁・トンネル・道路附属物等^{※1}については、2014～2018 年度における1 巡目点検、2019～2023 年度における2 巡目点検が完了しています。
- 今回は、下記についてとりまとめました。
 - 国土交通省及び地方公共団体が管理する橋梁・トンネル・道路附属物等の2 巡目（2019～2023 年度）及び過年度（2014～2023 年度）の点検結果^{※2}
 - ・ 1 巡目点検（2014～2018 年度）、2 巡目点検（2019～2023 年度）、過年度の点検（2014～2023 年度）における修繕等措置状況
 - 国土交通省が管理する道路及び 47 都道府県と 20 政令市が管理する重要物流道路などの重交通を担う道路における舗装の点検結果
 - 国土交通省及び地方公共団体が管理する小規模附属物の 2017～2023 年度の点検結果、土工構造物の 2 巡目（2023 年度）の点検結果
- 結果の詳細は、以下のホームページにてご覧いただけます。
https://www.mlit.go.jp/road/sisaku/yobohozen/yobohozen_maint_index.html
- また、道路インフラの老朽化対策状況の更なる見える化を図るため、
 - ・ 橋梁・トンネル・道路附属物等の諸元や点検結果、措置状況等を地図上で閲覧できる「全国道路施設点検データベース（損傷マップ）」を以下に公開しています。
 URL : <https://road-structures-map.mlit.go.jp/>
 - ・ より詳細な点検データ等については、「全国道路施設点検データベース」において有料で公開しております。
 URL : <https://road-structures-db.mlit.go.jp/>
- この調査結果は、点検結果を踏まえた今後の措置方針の立案等に活用します。

道路の老朽化の現状はどうなっているのだろうか。
 → 地域別のデータ、経年的な変化等、様々な観点から我が国の道路施設の老朽化の実態を把握することができます。

今後どのように措置していくのか。
 → 各道路管理者は、自らの管理施設の老朽化の実態を踏まえ、今後の措置方針を立案していくことになります。

※1 道路附属物等：シェッド・大型カルバート、横断歩道橋、門型標識等

※2 複数回点検している施設は最新の点検結果を基に集計

(2) 橋梁・トンネル・道路附属物等の健全性の診断について

全ての道路管理者は、2013 年の道路法改正等を受け、2014 年 7 月より 5 年に 1 回の頻度で近接目視による点検を実施しています。

健全性の診断は、以下の 4 段階に区分します。

区分	状態
I 健全	構造物の機能に支障が生じていない状態。
II 予防保全段階	構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。
III 早期措置段階	構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。
IV 緊急措置段階	構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態。

2. 橋梁・トンネル・道路附属物等の点検結果

(1) 2 巡目（2019～2023 年度）の点検結果

1) 全道路管理者

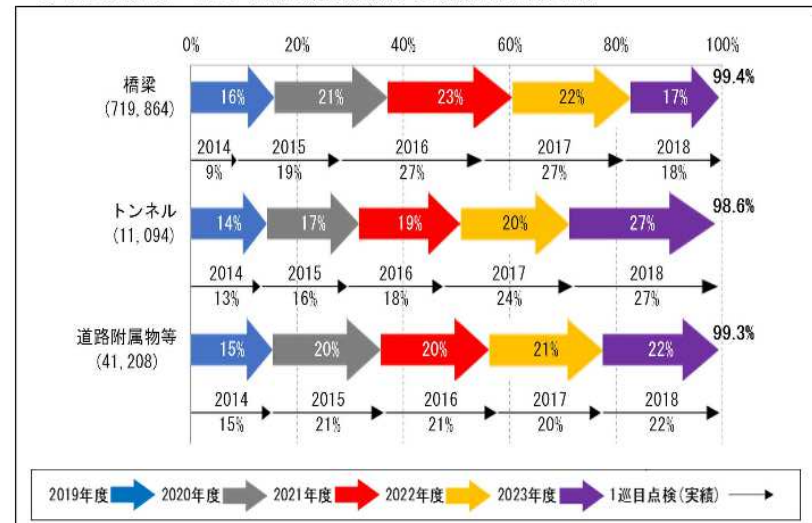
- 2 巡目（2019～2023 年度）の点検は概ね完了し、累積点検実施率は、橋梁 99.4%、トンネル 98.6%、道路附属物等 99.3%となりました。
- 判定区分の割合は、橋梁：I 42%、II 50%、III 8%、IV 0.1%、トンネル：I 3%、II 68%、III 29%、IV 0.2%、道路附属物等：I 35%、II 53%、III 12%、IV 0.04%です。

※判定区分の割合は四捨五入の関係で合計値が 100%にならない場合がある（次頁以降も同様）。

※道路附属物等の内訳は巻末資料(1)を参照。

※緊急輸送道路及び跨線橋等の点検結果は巻末資料(2)を参照。

○ 2 巡目（2019～2023 年度）の点検実施率（全道路管理者合計）



※()内は、2019～2023 年度に点検を実施した施設数の合計。

※四捨五入の関係で合計値が 100%にならない場合がある。

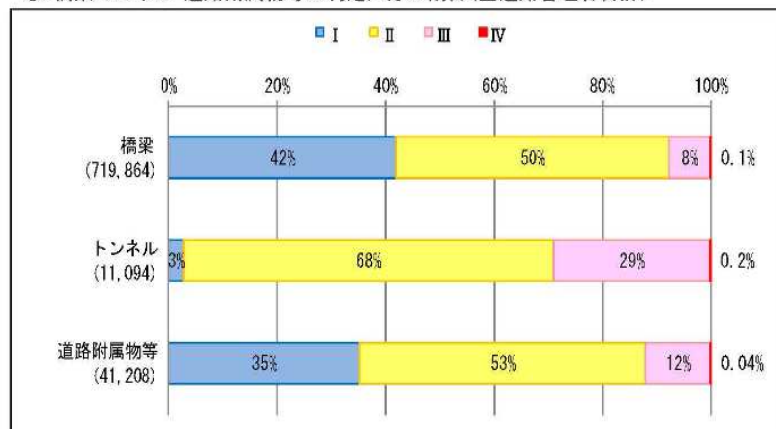
	管理施設数	うち点検対象施設数※1	点検実施数	点検実施率※2
橋梁	729,333	724,429	719,864	99.4% (99.9%)
トンネル	11,587	11,247	11,094	98.6% (99.5%)
道路附属物等	42,281	41,491	41,208	99.3% (99.7%)

2024.3 末時点

※1: 2024 年 3 月末時点での施設数のうち、供用後 5 年以内などを除いた施設数の合計。

※2: 点検対象施設数を分母とした点検実施数の割合。()内は、1 巡目（2014～2018 年度）における点検実施率であり、四捨五入の関係で上記グラフの年度毎の合計値とは一致しない場合がある。

○ 橋梁・トンネル・道路附属物等の判定区分の割合(全道路管理者合計)



※()内は、2019～2023年度に点検を実施した施設数の合計。
※四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。

	点検実施数	判定区分 上段：実数、下段：割合			
		I	II	III	IV
橋梁	719,864	301,661 42%	362,458 50%	55,172 8%	573 0.1%
トンネル	11,094	317 3%	7,560 68%	3,195 29%	22 0.2%
道路附属物等	41,208	14,490 35%	21,730 53%	4,971 12%	17 0.04%

2024.3 末時点

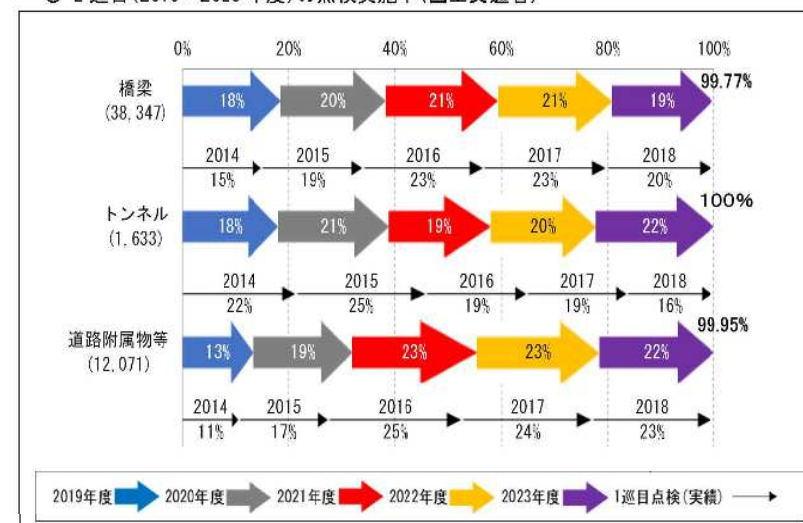
2)国土交通省

- 2 巡目 (2019～2023 年度) の累積点検実施率は、橋梁 99.77%、トンネル 100%、道路附属物等 99.95%です。
- 判定区分の割合は、橋梁：I 57%、II 33%、III 10%、IV 0.1%、トンネル：I 4%、II 70%、III 26%、道路附属物等：I 25%、II 59%、III 16%、IV 0.02%です。

※道路附属物等の内訳は巻末資料(1)を参照。

※緊急輸送道路及び跨線橋等の点検結果は巻末資料(2)を参照。

○ 2 巡目 (2019～2023 年度) の点検実施率(国土交通省)



※()内は、2019～2023年度に点検を実施した施設数の合計。

※四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。

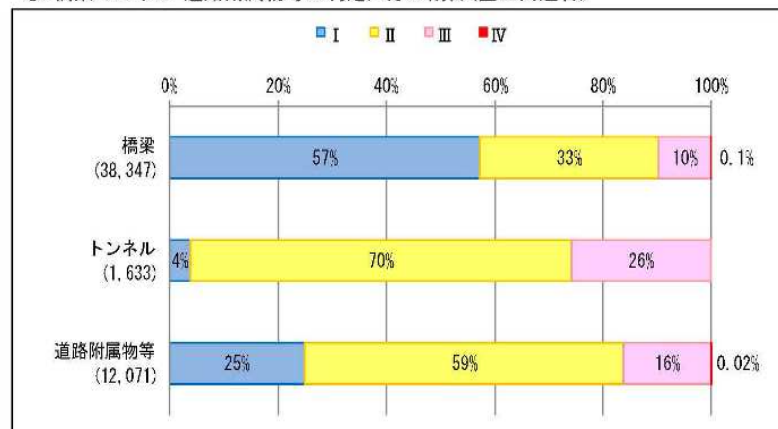
	管理施設数	うち点検対象施設数※1	点検実施数	点検実施率※2
橋梁	39,187	38,434	38,347	99.77% (99.99%)
トンネル	1,769	1,633	1,633	100% (100%)
道路附属物等	12,312	12,077	12,071	99.95% (99.98%)

2024.3 末時点

※1: 2024年3月末時点での施設数のうち、供用後5年以内などを除いた施設数の合計。

※2: 点検対象施設数を分母とした点検実施数の割合。()内は、1 巡目 (2014～2018 年度) における点検実施率であり、四捨五入の関係で上記グラフの年度毎の合計値とは一致しない場合がある。

○ 橋梁・トンネル・道路附属物等の判定区分の割合(国土交通省)



※()内は、2019～2023年度に点検を実施した施設数の合計。
※四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。

	点検実施数	判定区分 上段：実数、下段：割合			
		I	II	III	IV
橋梁	38,347	21,942	12,689	3,695	21
		57%	33%	10%	0.1%
トンネル	1,633	64	1,148	421	0
		4%	70%	26%	0%
道路附属物等	12,071	3,006	7,109	1,954	2
		25%	59%	16%	0.02%

2024.3 末時点

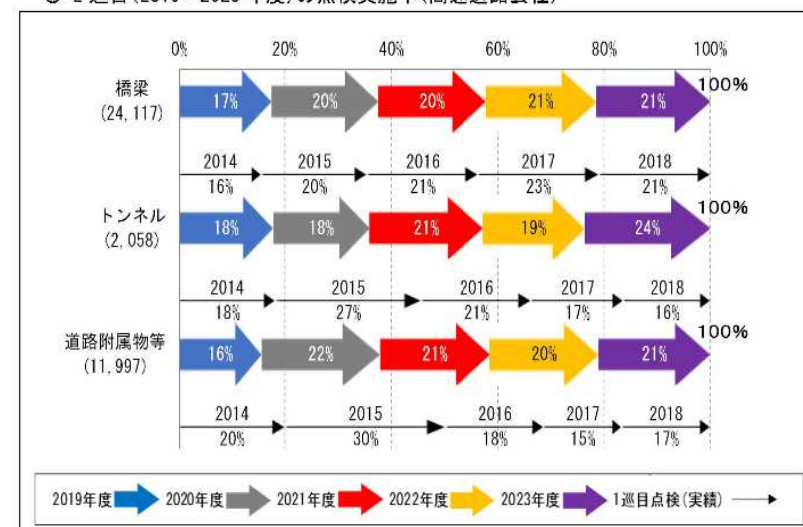
3) 高速道路会社

- 2 巡目 (2019～2023 年度) の累積点検実施率は、橋梁 100%、トンネル 100%、道路附属物等 100% です。
- 判定区分の割合は、橋梁：Ⅰ 22%、Ⅱ 67%、Ⅲ 11%、トンネル：Ⅰ 5%、Ⅱ 74%、Ⅲ 20%、道路附属物等：Ⅰ 62%、Ⅱ 36%、Ⅲ 2% です。

※道路附属物等の内訳は巻末資料(1)を参照。

※緊急輸送道路及び跨線橋等の点検結果は巻末資料(2)を参照。

○ 2 巡目 (2019～2023 年度) の点検実施率(高速道路会社)



※()内は、2019～2023年度に点検を実施した施設数の合計。
※四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。

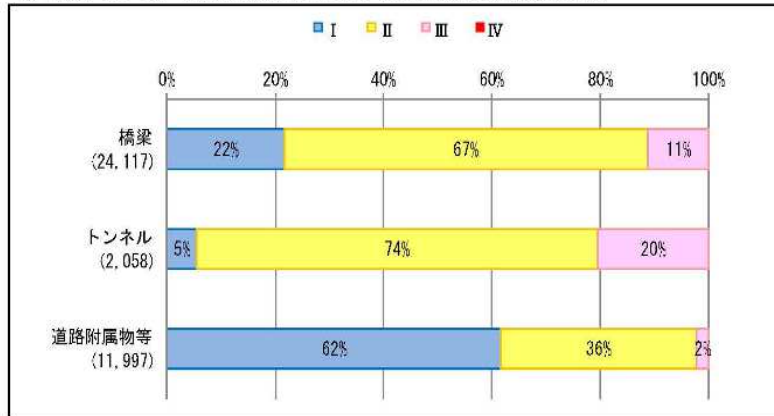
	管理施設数	うち点検対象施設数※1	点検実施数	点検実施率※2
橋梁	24,463	24,117	24,117	100% (100%)
トンネル	2,093	2,058	2,058	100% (100%)
道路附属物等	12,370	11,997	11,997	100% (99.9%)

2024.3 末時点

※1: 2024 年 3 月末時点での施設数のうち、供用後 5 年以内などを除いた施設数の合計。

※2: 点検対象施設数を分母とした点検実施数の割合。()内は、1 巡目 (2014～2018 年度) における点検実施率であり、四捨五入の関係で上記グラフの年度毎の合計値とは一致しない場合がある。

○ 橋梁・トンネル・道路附属物等の判定区分の割合（高速道路会社）



※()内は、2019～2023年度に点検を実施した施設数の合計。
※四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。

	点検実施数	判定区分 上段：実数、下段：割合			
		I	II	III	IV
橋梁	24,117	5,222	16,181	2,714	0
		22%	67%	11%	0%
トンネル	2,058	113	1,524	421	0
		5%	74%	20%	0%
道路附属物等	11,997	7,398	4,328	271	0
		62%	36%	2%	0%

2024.3 末時点

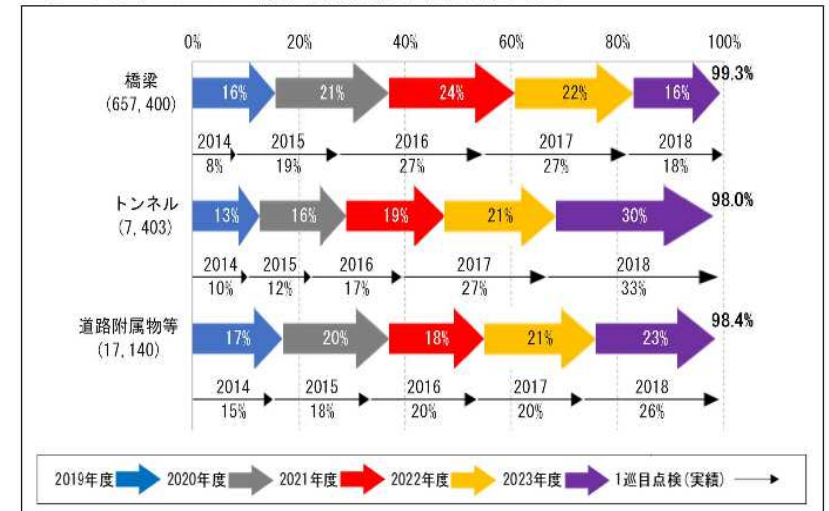
4) 地方公共団体

- 2 巡目（2019～2023 年度）の累積点検実施率は、橋梁 99.3%、トンネル 98.0%、道路附属物等 98.4%です。
- 判定区分の割合は、橋梁：I 42%、II 51%、III 7%、IV 0.1%、トンネル：I 2%、II 66%、III 32%、IV 0.3%、道路附属物等：I 24%、II 60%、III 16%、IV 0.1%です。

※道路附属物等の内訳は巻末資料(1)を参照。

※緊急輸送道路及び路線橋等の点検結果は巻末資料(2)を参照。

○ 2 巡目（2019～2023 年度）の点検実施率（地方公共団体）



※()内は、2019～2023年度に点検を実施した施設数の合計。

※四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。

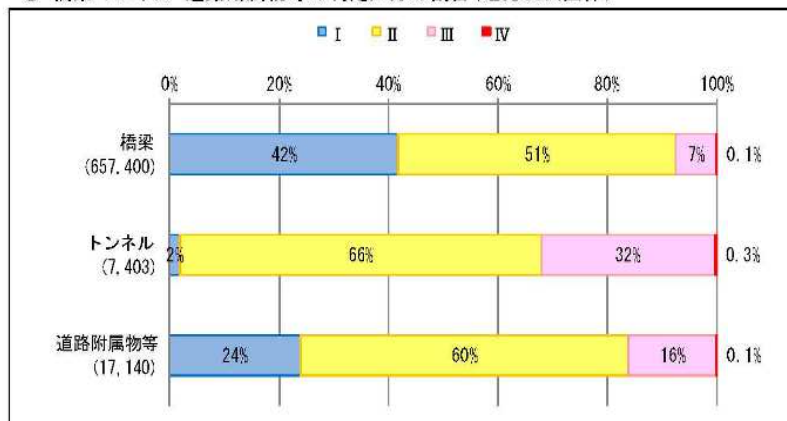
	管理施設数	うち点検対象施設数※1	点検実施数	点検実施率※2
橋梁	665,683	661,878	657,400	99.3% (99.9%)
トンネル	7,725	7,556	7,403	98.0% (99.2%)
道路附属物等	17,599	17,417	17,140	98.4% (99.3%)

2024.3 末時点

※1:2024 年 3 月末時点での施設数のうち、供用後 5 年以内などを除いた施設数の合計。

※2:点検対象施設数を分母とした点検実施数の割合。()内は、1 巡目(2014～2018 年度)における点検実施率であり、四捨五入の関係で上記グラフの年度毎の合計値とは一致しない場合がある。

○ 橋梁・トンネル・道路附属物等の判定区分の割合（地方公共団体）



※()内は、2019～2023年度に点検を実施した施設数の合計。
※四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。

	点検実施数	判定区分 上段：実数、下段：割合			
		I	II	III	IV
橋梁	657,400	274,497	333,588	48,763	552
		42%	51%	7%	0.1%
トンネル	7,403	140	4,888	2,353	22
		2%	66%	32%	0.3%
道路附属物等	17,140	4,086	10,293	2,746	15
		24%	60%	16%	0.1%

2024.3 末時点

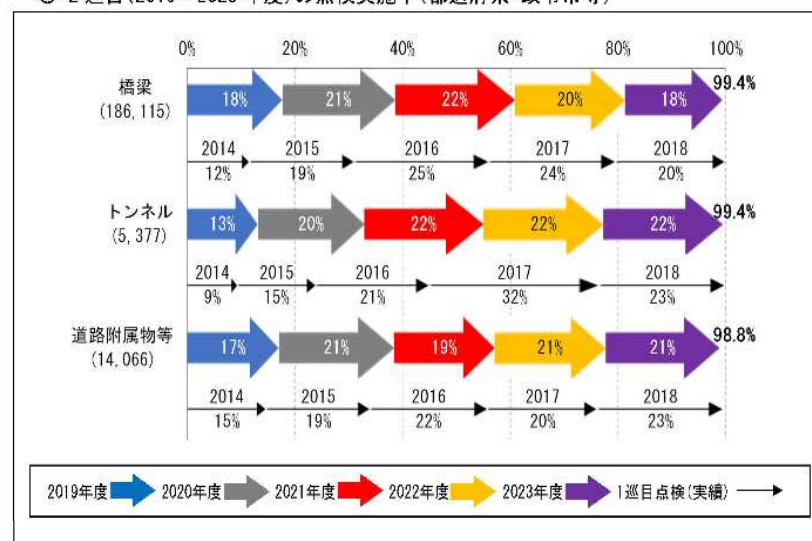
5) 都道府県・政令市等

- 2 巡目（2019～2023 年度）の累積点検実施率は、橋梁 99.4%、トンネル 99.4%、道路附属物等 98.8%です。
- 判定区分の割合は、橋梁：I 37%、II 54%、III 9%、IV 0.02%、トンネル：I 1%、II 65%、III 34%、IV 0.1%、道路附属物等：I 24%、II 60%、III 16%、IV 0.1%です。

※道路附属物等の内訳は巻末資料(1)を参照。

※緊急輸送道路及び跨線橋等の点検結果は巻末資料(2)を参照。

○ 2 巡目（2019～2023 年度）の点検実施率（都道府県・政令市等）



※()内は、2019～2023年度に点検を実施した施設数の合計。

※四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。

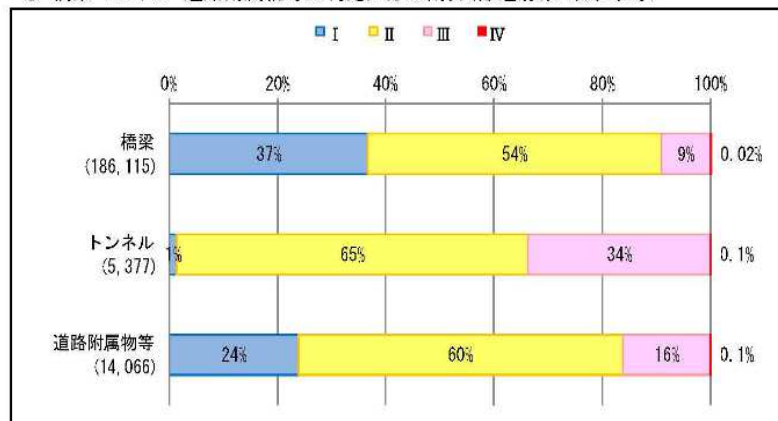
	管理施設数	うち点検対象施設数※1	点検実施数	点検実施率※2
橋梁	188,689	187,310	186,115	99.4% (99.9%)
トンネル	5,560	5,410	5,377	99.4% (99.8%)
道路附属物等	14,361	14,241	14,066	98.8% (99.5%)

2024.3 末時点

※1: 2024年3月末時点での施設数のうち、供用後5年以内などを除いた施設数の合計。

※2: 点検対象施設数を分母とした点検実施数の割合。()内は、1 巡目(2014～2018 年度)における点検実施率であり、四捨五入の関係で上記グラフの年度毎の合計値とは一致しない場合がある。

○ 橋梁・トンネル・道路附属物等の判定区分の割合（都道府県・政令市等）



※()内は、2019～2023 年に点検を実施した施設数の合計。
※四捨五入の関係で合計値が 100%にならない場合がある。

	点検実施数	判定区分 上段：実数、下段：割合			
		I	II	III	IV
橋梁	186, 115	68, 371	100, 680	17, 032	32
		37%	54%	9%	0.02%
トンネル	5, 377	77	3, 485	1, 812	3
		1%	65%	34%	0.1%
道路附属物等	14, 066	3, 356	8, 438	2, 261	11
		24%	60%	16%	0.1%

2024.3 末時点

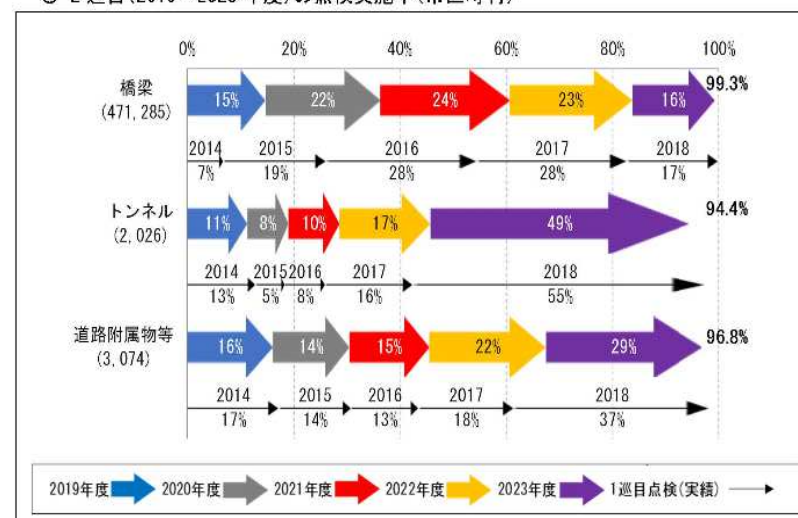
6) 市区町村

- 2 巡目（2019～2023 年度）の累積点検実施率は、橋梁 99.3%、トンネル 94.4%、道路附属物等 96.8%です。
- 判定区分の割合は、橋梁：I 44%、II 49%、III 7%、IV 0.1%、トンネル：I 3%、II 69%、III 27%、IV 1%、道路附属物等：I 24%、II 60%、III 16%、IV 0.1%です。

※道路附属物等の内訳は巻末資料(1)を参照。

※緊急輸送道路及び跨線橋等の点検結果は巻末資料(2)を参照。

○ 2 巡目（2019～2023 年度）の点検実施率（市区町村）



※()内は、2019～2023 年度に点検を実施した施設数の合計。

※四捨五入の関係で合計値が 100%にならない場合がある。

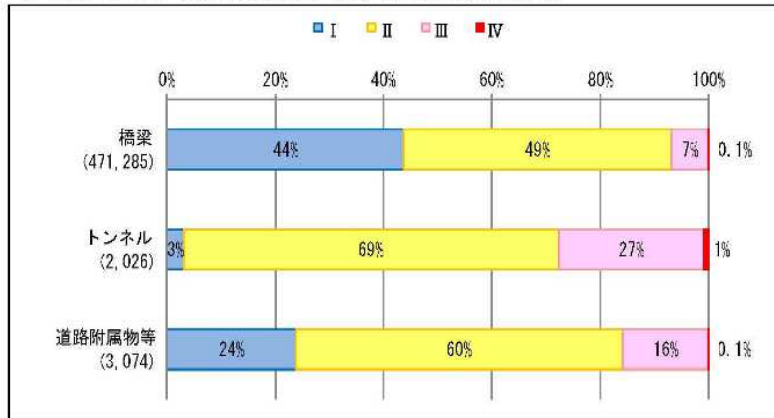
	管理施設数	うち点検対象施設数※1	点検実施数	点検実施率※2
橋梁	476, 994	474, 568	471, 285	99.3% (99.9%)
トンネル	2, 165	2, 146	2, 026	94.4% (97.8%)
道路附属物等	3, 238	3, 176	3, 074	96.8% (98.4%)

2024.3 末時点

※1: 2024 年 3 月末時点での施設数のうち、供用後 5 年以内などを除いた施設数の合計。

※2: 点検対象施設数を分母とした点検実施数の割合。()内は、1 巡目（2014～2018 年度）における点検実施率であり、四捨五入の関係で上記グラフの年度毎の合計値とは一致しない場合がある。

○ 橋梁・トンネル・道路附属物等の判定区分の割合(市区町村)



※()内は、2019～2023 年度に点検を実施した施設数の合計。

※四捨五入の関係で合計値が 100%にならない場合がある。

	点検実施数	判定区分 上段：実数、下段：割合			
		I	II	III	IV
橋梁	471, 285	206, 126	232, 908	31, 731	520
		44%	49%	7%	0.1%
トンネル	2, 026	63	1, 403	541	19
		3%	69%	27%	1%
道路附属物等	3, 074	730	1, 855	485	4
		24%	60%	16%	0.1%

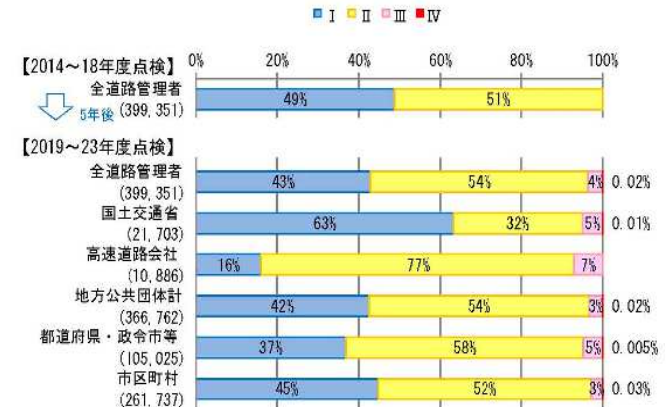
2024.3 末時点

(2) 判定区分 I・II の施設の 5 年後の判定区分 III・IV への遷移状況

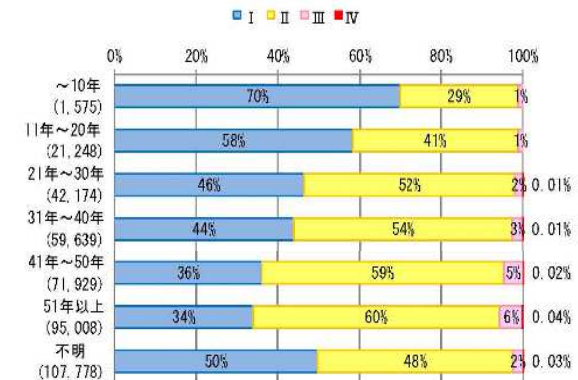
1) 橋梁

- 1 巡目の 2014～2018 年度の点検で健全又は予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態(区分 I・II)と判定された橋梁のうち、修繕等の措置を講じないまま、5 年後の 2019～2023 年度の点検において、早期又は緊急に措置を講ずるべき状態(区分 III・IV)へ遷移した橋梁の割合は全道路管理者合計で 4%です。
- 建設後経過年数に比例して、判定区分 I・II から判定区分 III・IV に遷移した割合が高くなっています。

○ 管理者別の判定区分の遷移状況



○ 建設後経過年数別の遷移状況(全道路管理者合計)



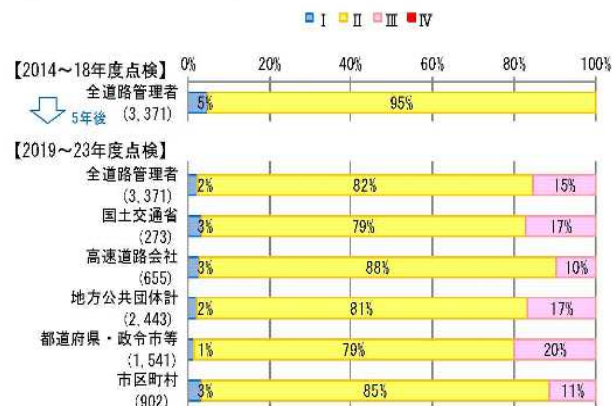
※()内は、1 巡目(2014～2018 年度)の結果が判定区分 I または II となった橋梁数のうち、修繕等の措置を講じないまま 5 年後の 2019～2023 年度に点検を実施した橋梁の合計。

※四捨五入の関係で合計値が 100%にならない場合がある。

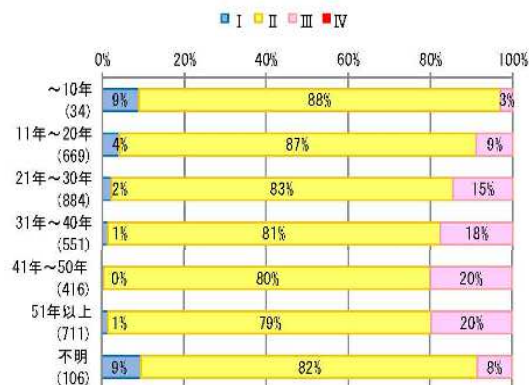
2)トンネル

- 1 巡目の 2014～2018 年度の点検で健全又は予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態（区分Ⅰ・Ⅱ）に判定されたトンネルのうち、修繕等の措置を講じないまま、5 年後の 2019～2023 年度の点検において、早期又は緊急に措置を講ずるべき状態（区分Ⅲ・Ⅳ）へ遷移したトンネルの割合は全道路管理者合計で 15%です。
- 建設後経過年数が 21 年以上となるトンネルでは、判定区分Ⅰ・Ⅱから判定区分Ⅲ・Ⅳに遷移した割合が高くなっています。

○ 管理者別の判定区分の遷移状況



○ 建設後経過年数別の遷移状況(全道路管理者合計)



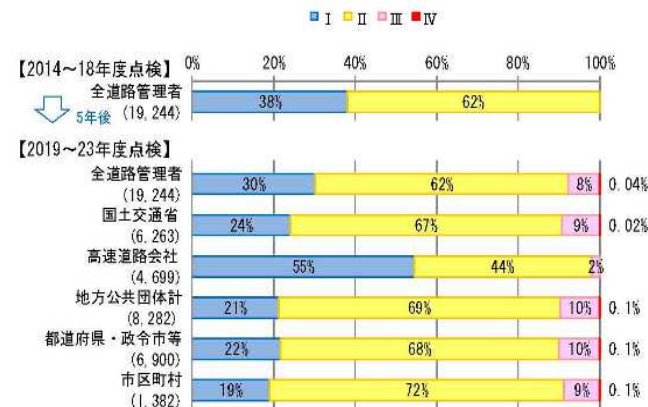
※()内は、1 巡目(2014～2018 年度)の結果が判定区分ⅠまたはⅡとなったトンネル数のうち、修繕等の措置を講じないまま 5 年後の 2019～2023 年度に点検を実施したトンネルの合計。

※四捨五入の関係で合計値が 100%にならない場合がある。

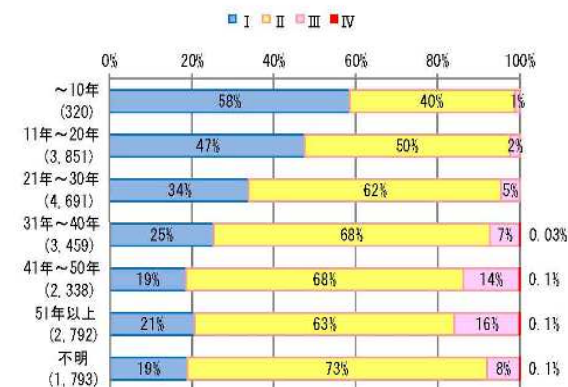
3)道路附属物等

- 1 巡目の 2014～2018 年度の点検で健全又は予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態（区分Ⅰ・Ⅱ）に判定された道路附属物等のうち、修繕等の措置を講じないまま、5 年後の 2019～2023 年度の点検において、早期又は緊急に措置を講ずるべき状態（区分Ⅲ・Ⅳ）へ遷移した道路附属物等の割合は全道路管理者合計で 8%です。
- 建設後経過年数に比例して、判定区分Ⅰ・Ⅱから判定区分Ⅲ・Ⅳに遷移した割合が高くなっています。

○ 管理者別の判定区分の遷移状況



○ 建設後経過年数別の遷移状況(全道路管理者合計)



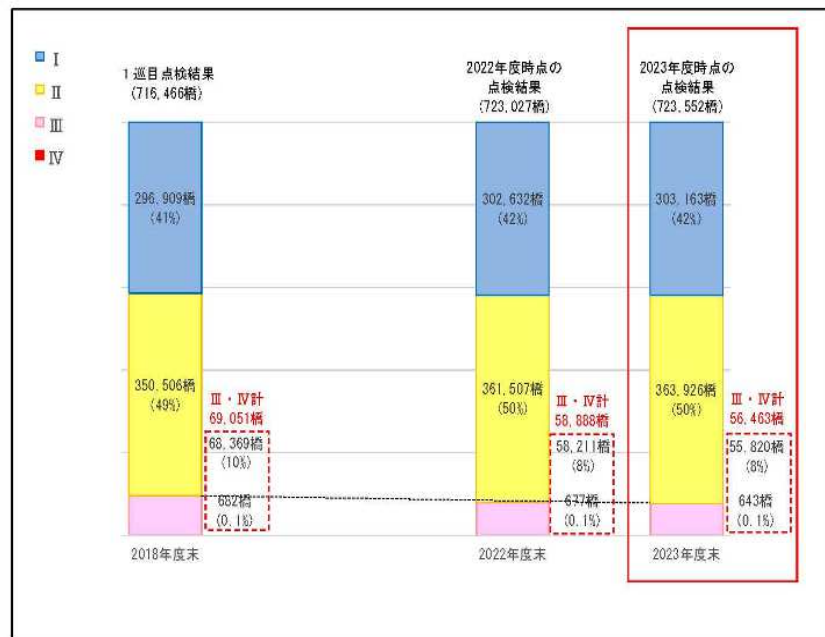
※()内は、1 巡目(2014～2018 年度)の結果が判定区分ⅠまたはⅡとなった道路附属物等の施設数のうち、修繕等の措置を講じないまま 5 年後の 2019～2023 年度に点検を実施した道路附属物等の合計。

※四捨五入の関係で合計値が 100%にならない場合がある。

(3)過年度の点検(2014～2023 年度)の実施施設の判定区分毎の施設数と割合

1)橋梁

- 過年度の点検(2014～2023 年度)における判定区分の割合は、Ⅰ 42%、Ⅱ 50%、Ⅲ 8%、Ⅳ 0.1%であり、修繕等が必要な判定区分Ⅲ・Ⅳの橋梁は56,463 橋であった。
- 1 巡目点検終了時点と比較すると建設後 50 年以上経過した橋梁数は増加している一方で、年々判定区分Ⅲ・Ⅳの橋梁数は着実に減少している。



※四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。
 ※複数回点検している施設は最新の点検結果を基に集計を行っている。

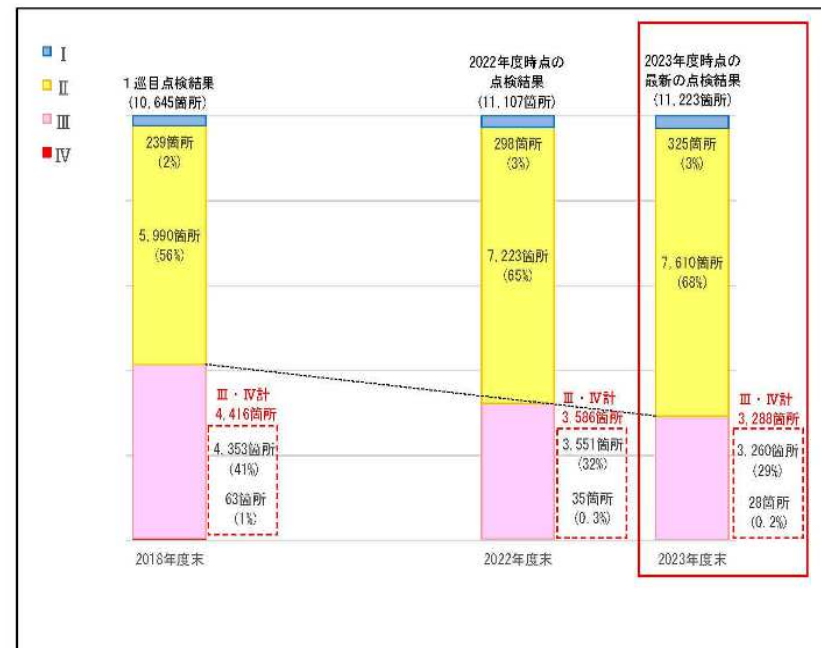
(参考) 建設後 50 年を経過した橋梁の割合



※この他、古い橋梁など記録が確認できない建設年度不明橋梁がある。

2)トンネル

- 過年度の点検(2014～2023 年度)における判定区分の割合は、Ⅰ 3%、Ⅱ 68%、Ⅲ 29%、Ⅳ 0.2%であり、修繕等が必要な判定区分Ⅲ・Ⅳのトンネルは3,288 箇所であった。
- 1 巡目点検終了時点と比較すると建設後 50 年以上経過したトンネル数は増加している一方で、年々判定区分Ⅲ・Ⅳのトンネル数は着実に減少している。



※四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。
 ※複数回点検している施設は最新の点検結果を基に集計を行っている。

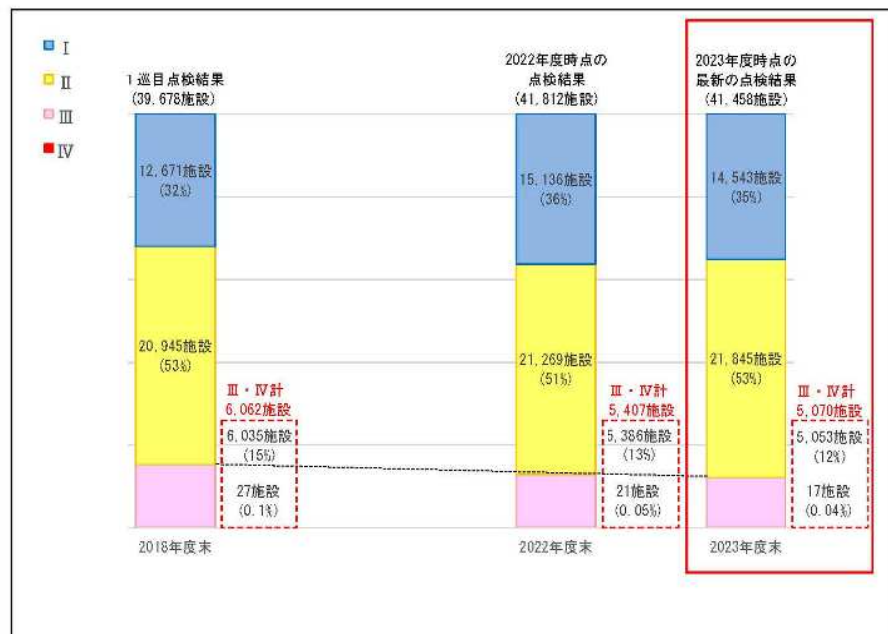
(参考) 建設後 50 年を経過したトンネルの割合



※この他、古いトンネルなど記録が確認できない建設年度不明トンネルがある。

3) 道路附属物等

- 過年度の点検（2014～2023 年度）における判定区分の割合は、Ⅰ 35%、Ⅱ 53%、Ⅲ 12%、Ⅳ 0.04%であり、修繕等が必要な判定区分Ⅲ・Ⅳの道路附属物等は 5,070 施設であった。
- 1 巡目点検結果から推移をみると、年々判定区分Ⅲ・Ⅳの道路附属物等数は着実に減少している。



※四捨五入の関係で合計値が 100%にならない場合がある。
※複数回点検している施設は最新の点検結果を基に集計を行っている。

(4) 過年度の点検(2014～2023 年度)の点検結果

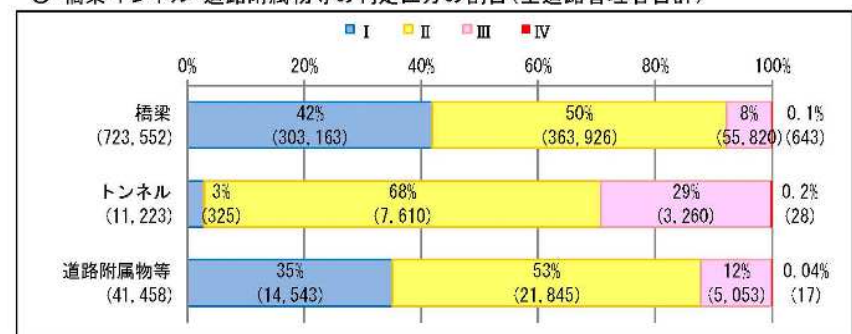
1) 全道路管理者

- 過年度の点検（2014～2023 年度）における判定区分の割合は、橋梁：Ⅰ 42%、Ⅱ 50%、Ⅲ 8%、Ⅳ 0.1%、トンネル：Ⅰ 3%、Ⅱ 68%、Ⅲ 29%、Ⅳ 0.2%、道路附属物等：Ⅰ 35%、Ⅱ 53%、Ⅲ 12%、Ⅳ 0.04%です。

※道路附属物等の内訳は巻末資料(1)を参照。

※緊急輸送道路及び跨線橋等の点検結果は巻末資料(2)を参照。

○ 橋梁・トンネル・道路附属物等の判定区分の割合(全道路管理者合計)



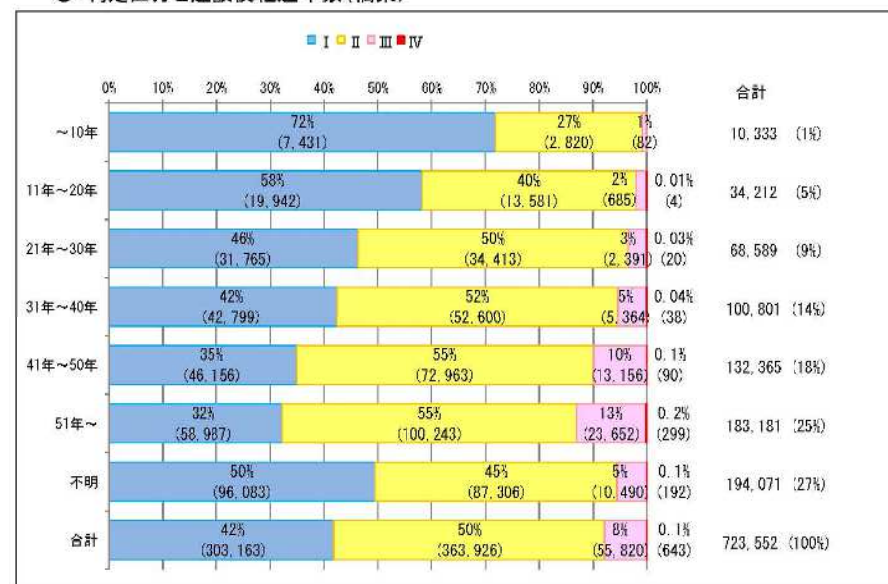
2024.3 末時点

※() 内は、2024 年 3 月末時点の施設数のうち、2014～2023 年度に点検を実施した施設数の合計。

※複数回点検している施設は最新の点検結果を基に集計を行っている。

※四捨五入の関係で合計値が 100%にならない場合がある。

○ 判定区分と建設後経過年数(橋梁)



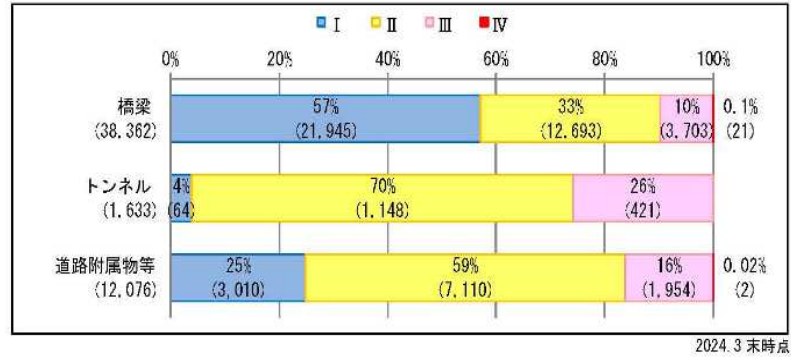
2)国土交通省

- 過年度の点検(2014～2023 年度)における判定区分の割合は、橋梁：Ⅰ 57%、Ⅱ 33%、Ⅲ 10%、Ⅳ 0.1%、トンネル：Ⅰ 4%、Ⅱ 70%、Ⅲ 26%、道路附属物等：Ⅰ 25%、Ⅱ 59%、Ⅲ 16%、Ⅳ 0.02%です。

※道路附属物等の内訳は巻末資料(1)を参照。

※緊急輸送道路及び跨線橋等の点検結果は巻末資料(2)を参照。

○ 橋梁・トンネル・道路附属物等の判定区分の割合(国土交通省)

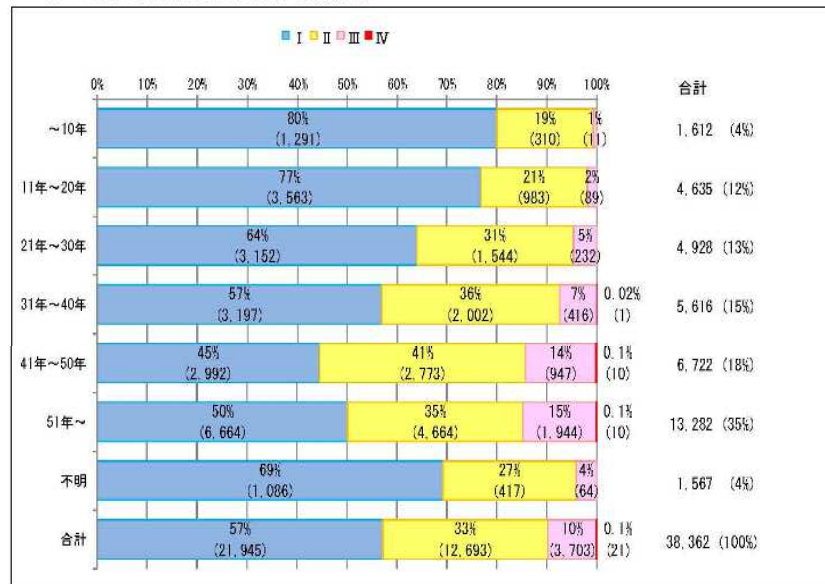


※()内は、2024 年 3 月末時点の施設数のうち、2014～2023 年度に点検を実施した施設数の合計。

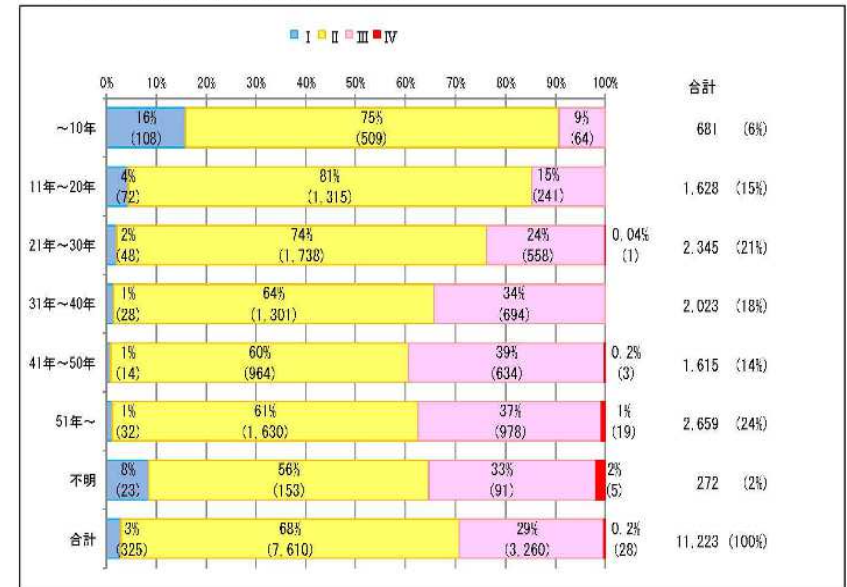
※複数回数点検している施設は最新の点検結果を基に集計を行っている。

※四捨五入の関係で合計値が 100%にならない場合がある。

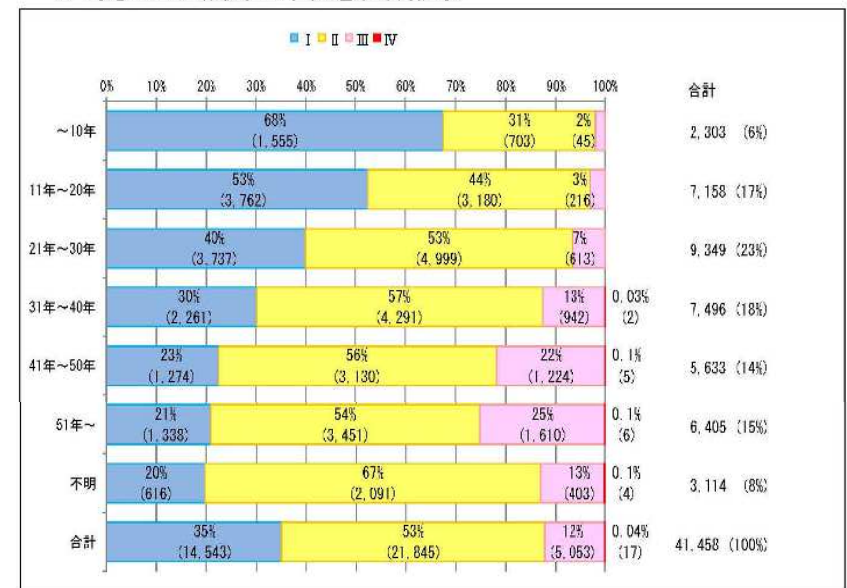
○ 判定区分と建設後経過年数(橋梁)



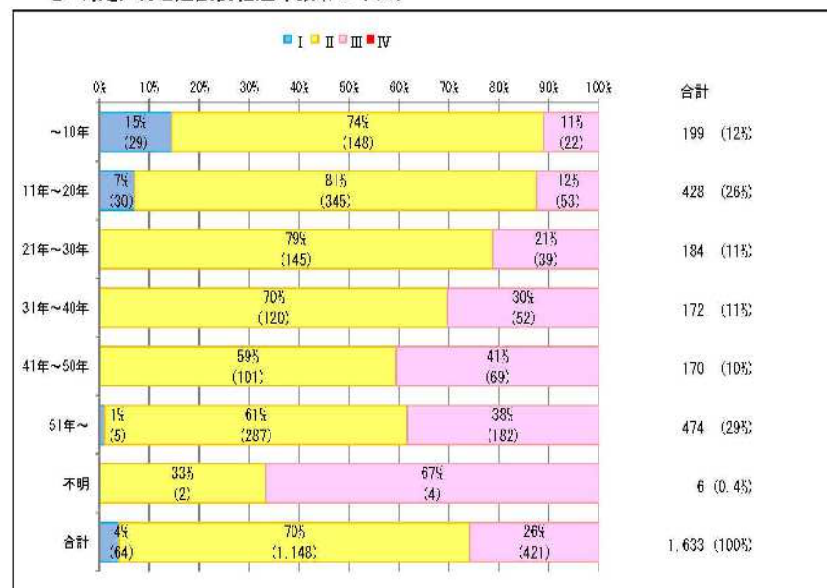
○ 判定区分と建設後経過年数(トンネル)



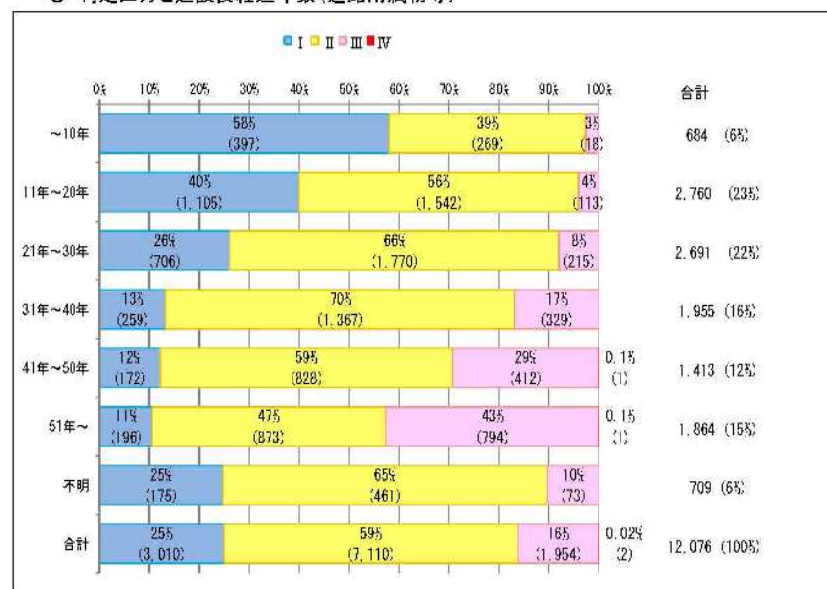
○ 判定区分と建設後経過年数(道路附属物等)



○ 判定区分と建設後経過年数(トンネル)



○ 判定区分と建設後経過年数(道路附属物等)



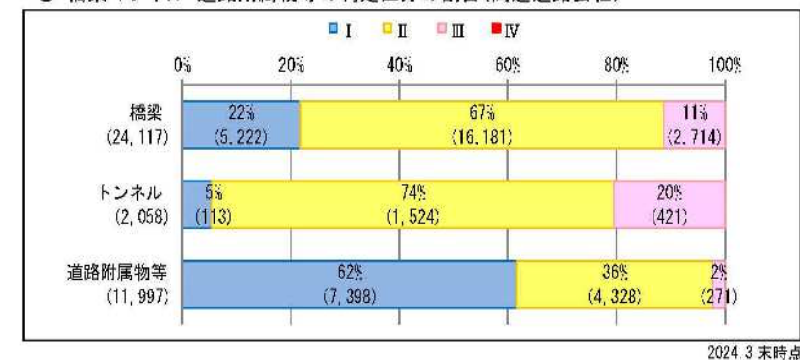
3) 高速道路会社

- 過年度の点検(2014～2023年度)における判定区分の割合は、橋梁：Ⅰ 22%、Ⅱ 67%、Ⅲ 11%、トンネル：Ⅰ 5%、Ⅱ 74%、Ⅲ 20%、道路附属物等：Ⅰ 62%、Ⅱ 36%、Ⅲ 2%です。

※道路附属物等の内訳は巻末資料(1)を参照。

※緊急輸送道路及び跨線橋等の点検結果は巻末資料(2)を参照。

○ 橋梁・トンネル・道路附属物等の判定区分の割合(高速道路会社)

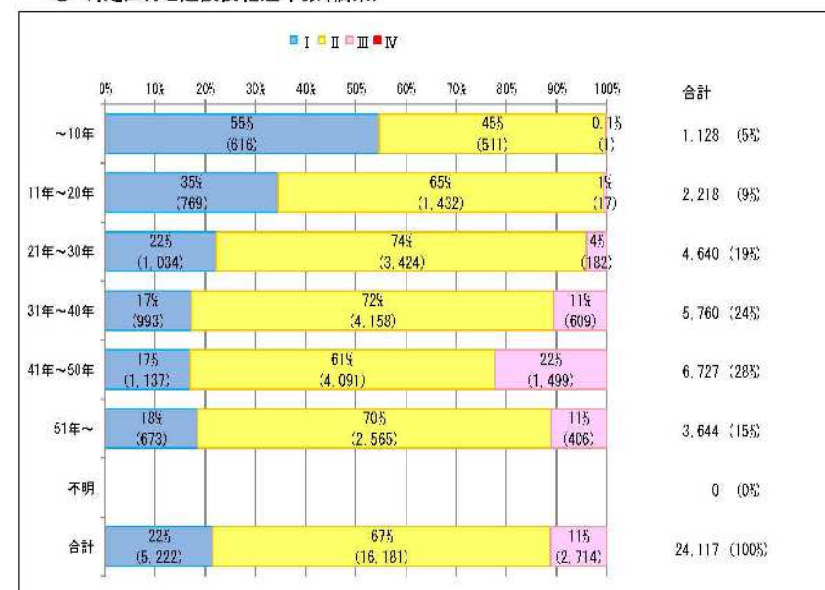


※()内は、2024年3月末時点の施設数のうち、2014～2023年度に点検を実施した施設数の合計。

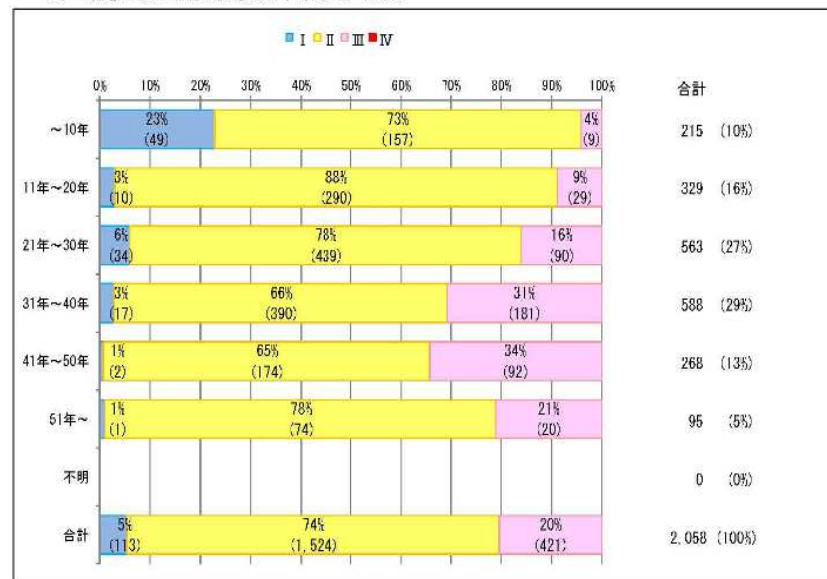
※複数回点検している施設は最新の点検結果を基に集計を行っている。

※四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。

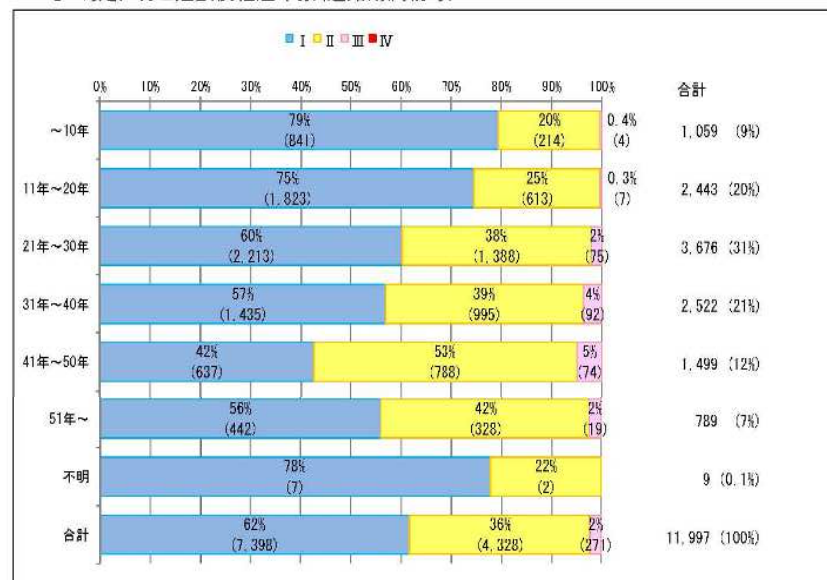
○ 判定区分と建設後経過年数(橋梁)



○ 判定区分と建設後経過年数(トンネル)



○ 判定区分と建設後経過年数(道路附属物等)



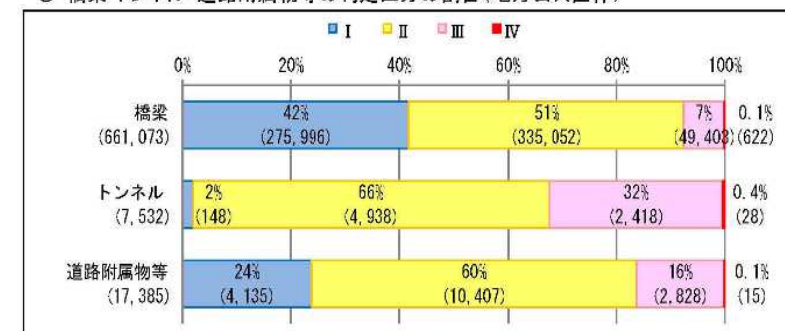
4) 地方公共団体

- 過年度の点検(2014～2023 年度)における判定区分の割合は、橋梁：Ⅰ 42%、Ⅱ 51%、Ⅲ 7%、Ⅳ 0.1%、トンネル：Ⅰ 2%、Ⅱ 66%、Ⅲ 32%、Ⅳ 0.4%、道路附属物等：Ⅰ 24%、Ⅱ 60%、Ⅲ 16%、Ⅳ 0.1%です。

※道路附属物等の内訳は巻末資料(1)を参照。

※緊急輸送道路及び跨線橋等の点検結果は巻末資料(2)を参照。

○ 橋梁・トンネル・道路附属物等の判定区分の割合(地方公共団体)



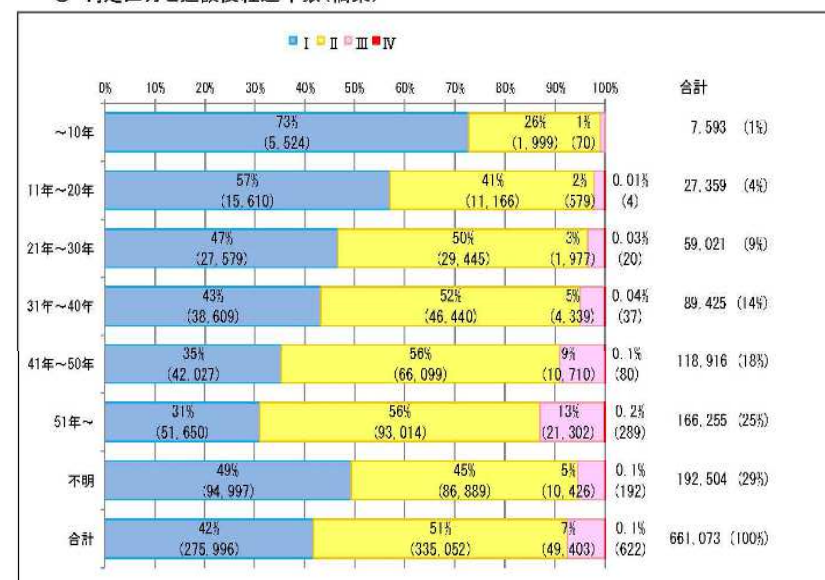
2024.3 末時点

※()内は、2024 年 3 月末時点の施設数のうち、2014～2023 年度に点検を実施した施設数の合計。

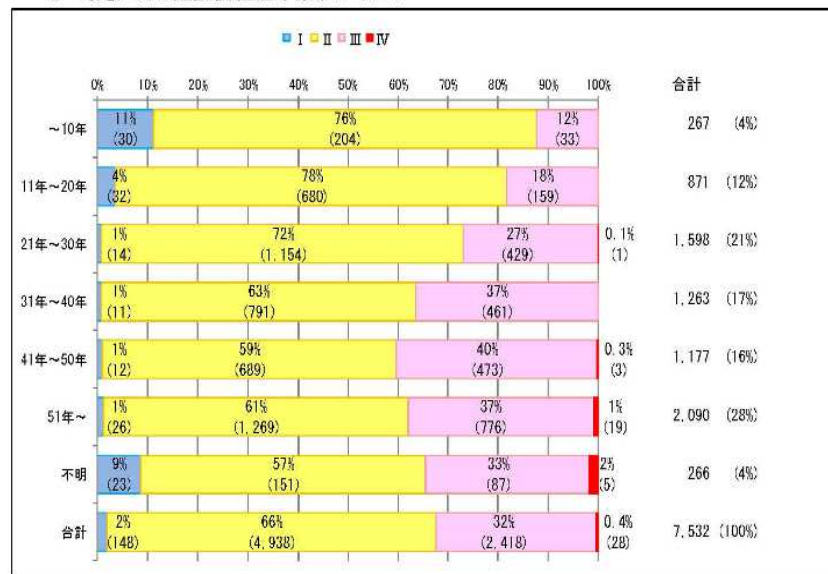
※複数回点検している施設は最新の点検結果を基に集計を行っている。

※四捨五入の関係で合計値が 100%にならない場合がある。

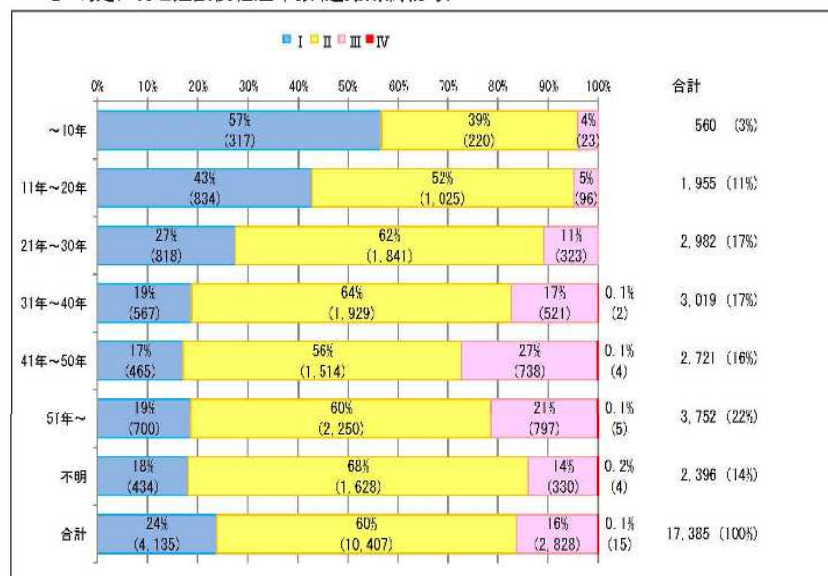
○ 判定区分と建設後経過年数(橋梁)



○ 判定区分と建設後経過年数(トンネル)



○ 判定区分と建設後経過年数(道路附属物等)



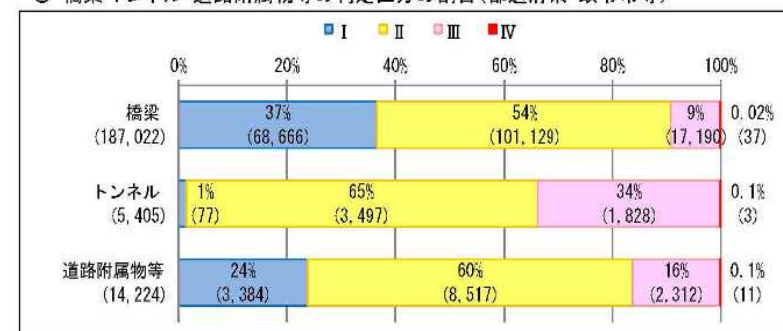
5) 都道府県・政令市等

- 過年度の点検(2014～2023年度)における判定区分の割合は、橋梁：I 37%、II 54%、III 9%、IV 0.02%、トンネル：I 1%、II 65%、III 34%、IV 0.1%、道路附属物等：I 24%、II 60%、III 16%、IV 0.1%です。

※道路附属物等の内訳は巻末資料(1)を参照。

※緊急輸送道路及び路線橋等の点検結果は巻末資料(2)を参照。

○ 橋梁・トンネル・道路附属物等の判定区分の割合(都道府県・政令市等)



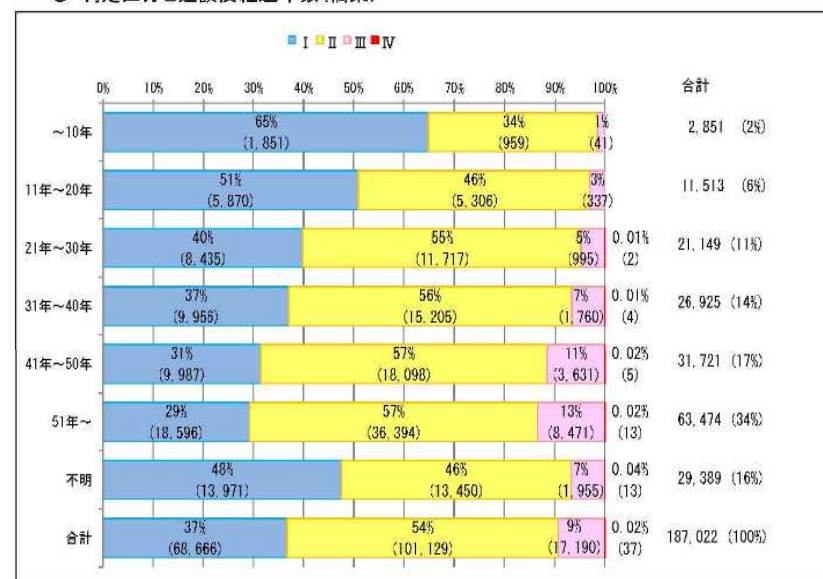
2024.3末時点

※()内は、2024年3月末時点の施設数のうち、2014～2023年度に点検を実施した施設数の合計。

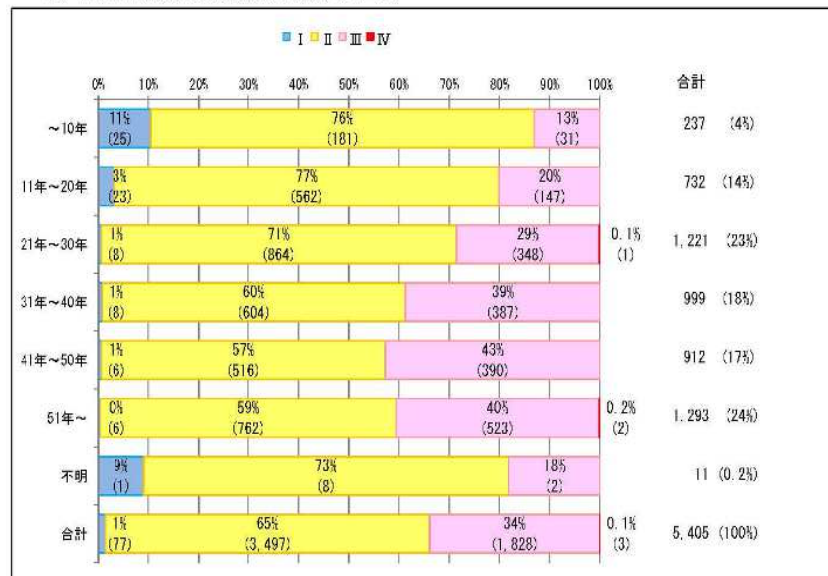
※複数回点検している施設は最新の点検結果を基に集計を行っている。

※四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。

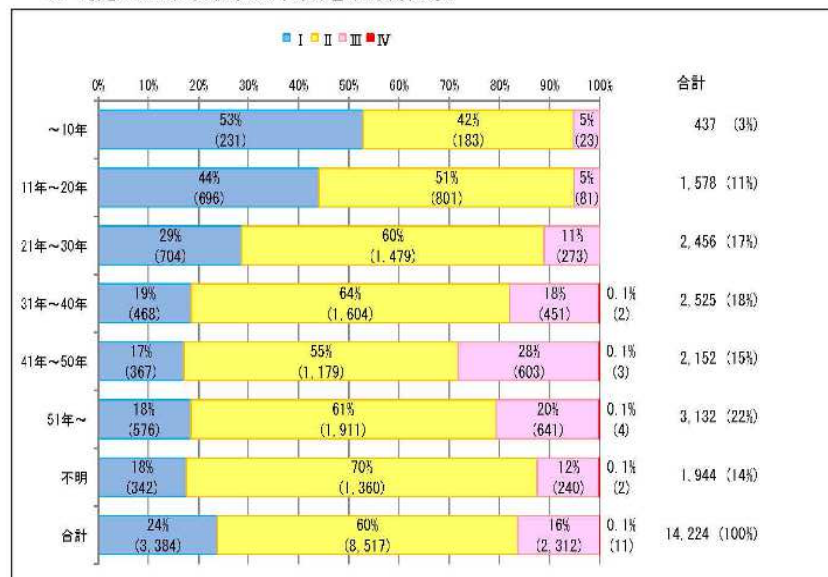
○ 判定区分と建設後経過年数(橋梁)



○ 判定区分と建設後経過年数(トンネル)



○ 判定区分と建設後経過年数(道路附属物等)



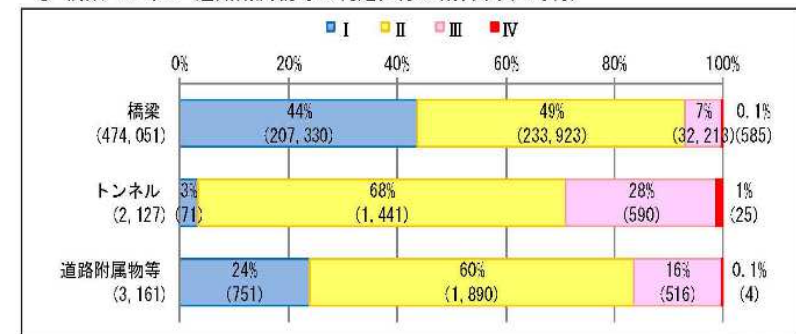
6) 市区町村

○ 過年度の点検(2014～2023年度)における判定区分の割合は、橋梁：I 44%、II 49%、III 7%、IV 0.1%、トンネル：I 3%、II 68%、III 28%、IV 1%、道路附属物等：I 24%、II 60%、III 16%、IV 0.1%です。

※道路附属物等の内訳は巻末資料(1)を参照。

※緊急輸送道路及び跨線橋等の点検結果は巻末資料(2)を参照。

○ 橋梁・トンネル・道路附属物等の判定区分の割合(市区町村)



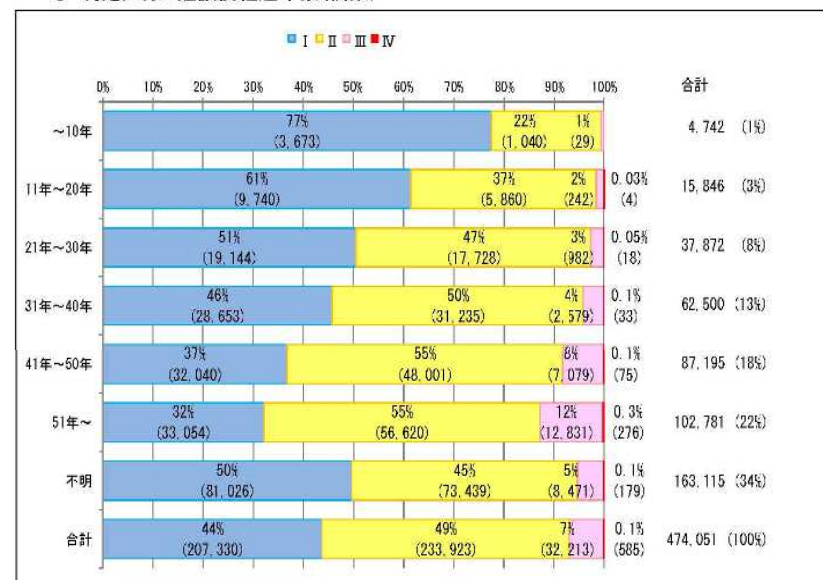
2024.3末時点

※()内は、2024年3月末時点の施設数のうち、2014～2023年度に点検を実施した施設数の合計。

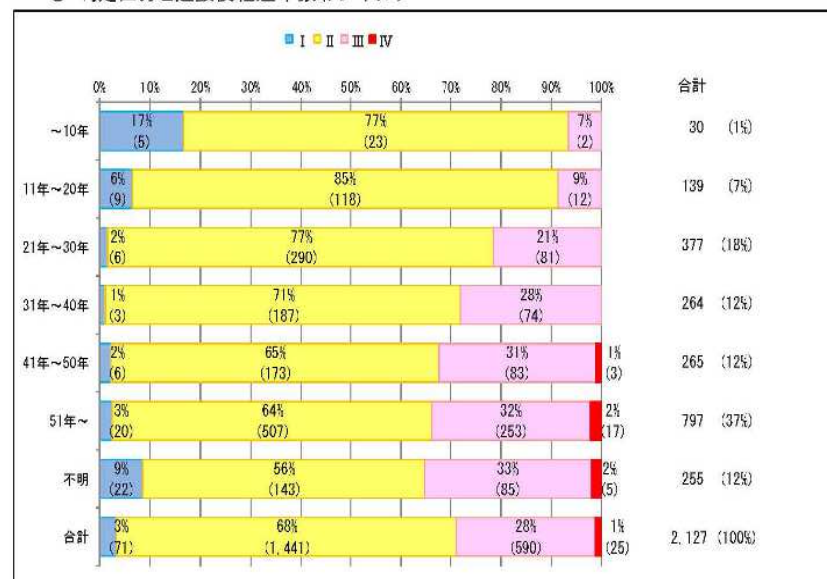
※複数回点検している施設は最新の点検結果を基に集計を行っている。

※四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。

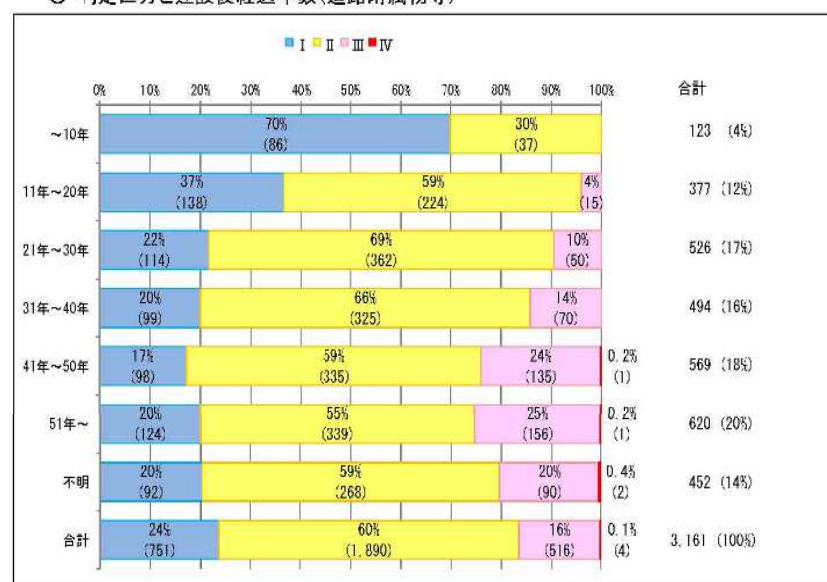
○ 判定区分と建設後経過年数(橋梁)



○ 判定区分と建設後経過年数(トンネル)



○ 判定区分と建設後経過年数(道路附属物等)



3. 判定区分Ⅲ、Ⅳの施設の修繕等措置の実施状況

(1) 1巡目点検(2014～2018年度)の実施施設における修繕等措置の実施状況

① 橋梁

- 1巡目点検(2014～2018年度)で早期に措置を講ずるべき状態(区分Ⅲ)又は緊急に措置を講ずるべき状態(区分Ⅳ)と判定された橋梁のうち、修繕等の措置に着手した割合は、2023年度末時点で、国土交通省 100%、高速道路会社 100%、地方公共団体 83%です。
- 完了した割合は、国土交通省 82%、高速道路会社 85%、地方公共団体 66%です。
- 判定区分Ⅲ・Ⅳである橋梁は次回点検まで(5年以内)に措置を講ずべきとしていますが、地方公共団体において5年以上経過していても措置に着手できていない橋梁は約17%あります。

※修繕等措置には、補修や補強などの施設の機能や耐久性等を維持又は回復するための「対策」のほか、「撤去」、定期的あるいは常時の「監視」、緊急に措置を講じることができない場合などの対応としての「通行規制・通行止」があるが、実施状況の集計からは「監視」及び「通行規制・通行止」は除く。



2024.3 末時点

※1: 1巡目点検における判定区分Ⅲ、Ⅳの施設数のうち、点検対象外等となった施設を除く施設数。

※2: 2巡目点検で再度区分Ⅲ、Ⅳと判定された施設でも、1巡目点検に対する措置が完了した施設は含む。

※3: 2023年度末時点で次回点検までの修繕等措置の実施を考慮した場合に想定されるペース。

②トンネル

- 1 巡目点検（2014～2018 年度）で早期に措置を講ずるべき状態（区分Ⅲ）又は緊急に措置を講ずるべき状態（区分Ⅳ）と判定されたトンネルのうち、修繕等の措置に着手した割合は、2023 年度末時点で、国土交通省 100%、高速道路会社 100%、地方公共団体 95%です。
- 完了した割合は、国土交通省 98%、高速道路会社 95%、地方公共団体 82%です。
- 判定区分Ⅲ・Ⅳであるトンネルは次回点検まで（5 年以内）に措置を講ずべきとしていますが、地方公共団体において 5 年以上経過していても措置に着手できていないトンネルは約 5%あります。

※修繕等措置には、補修や補強などの施設の機能や耐久性等を維持又は回復するための「対策」のほか、「撤去」、定期的あるいは常時の「監視」、緊急に措置を講じることができない場合などの対応としての「通行規制・通行止」があるが、実施状況の集計からは「監視」及び「通行規制・通行止」は除く。



2024. 3 末時点

- ※1: 1 巡目点検における判定区分Ⅲ、Ⅳの施設数のうち、点検対象外等となった施設を除く施設数。
 ※2: 2 巡目点検で再度区分Ⅲ、Ⅳと判定された施設でも、1 巡目点検に対する措置が完了した施設は含む。
 ※3: 2023 年度末時点で次回点検までの修繕等措置の実施を考慮した場合に想定されるペース。

③道路附属物等

- 1 巡目点検（2014～2018 年度）で早期に措置を講ずるべき状態（区分Ⅲ）又は緊急に措置を講ずるべき状態（区分Ⅳ）と判定された道路附属物等のうち、修繕等の措置に着手した割合は、2023 年度末時点で、国土交通省 100%、高速道路会社 100%、地方公共団体 94%です。
- 完了した割合は、国土交通省 73%、高速道路会社 96%、地方公共団体 78%です。
- 判定区分Ⅲ・Ⅳである道路附属物等は次回点検まで（5 年以内）に措置を講ずべきとしていますが、地方公共団体において 5 年以上経過していても措置に着手できていない道路附属物等は約 6%あります。

※修繕等措置には、補修や補強などの施設の機能や耐久性等を維持又は回復するための「対策」のほか、「撤去」、定期的あるいは常時の「監視」、緊急に措置を講じることができない場合などの対応としての「通行規制・通行止」があるが、実施状況の集計からは「監視」及び「通行規制・通行止」は除く。



2024. 3 末時点

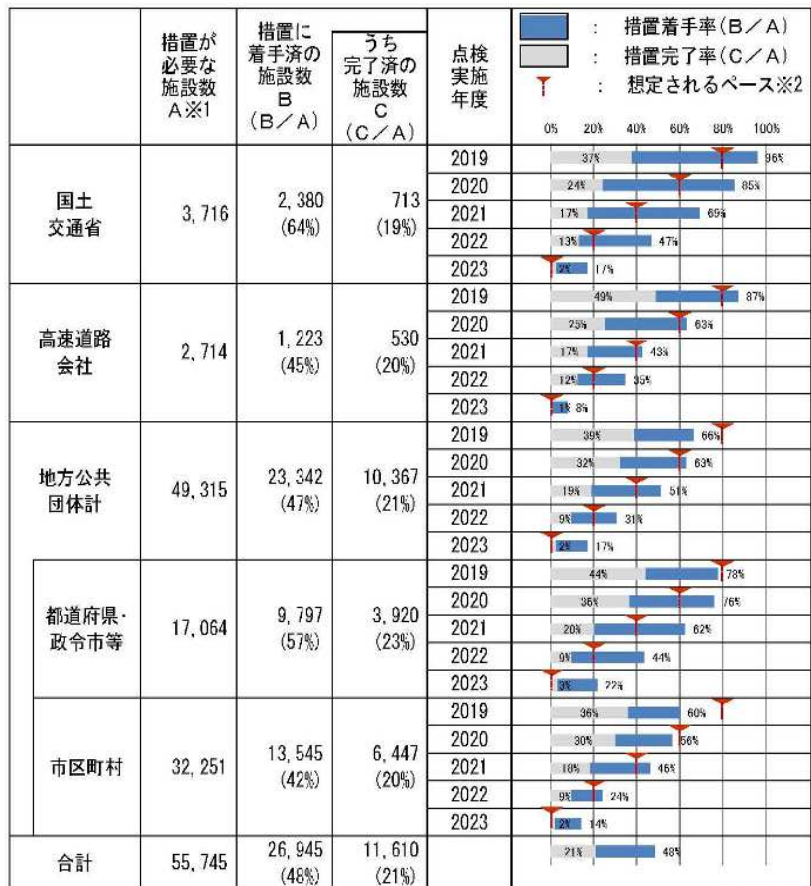
- ※1: 1 巡目点検における判定区分Ⅲ、Ⅳの施設数のうち、点検対象外等となった施設を除く施設数。
 ※2: 2 巡目点検で再度区分Ⅲ、Ⅳと判定された施設でも、1 巡目点検に対する措置が完了した施設は含む。
 ※3: 2023 年度末時点で次回点検までの修繕等措置の実施を考慮した場合に想定されるペース。

(2) 2巡目点検(2019～2023 年度)の実施施設における修繕等措置の実施状況

①橋梁

- 2 巡目点検 (2019～2023 年度) で早期に措置を講ずるべき状態 (区分Ⅲ) 又は緊急に措置を講ずるべき状態 (区分Ⅳ) と判定された橋梁のうち、修繕等の措置に着手した割合は、2023 年度末時点で、国土交通省 64%、高速道路会社 45%、地方公共団体 47%です。
- 完了した割合は、国土交通省 19%、高速道路会社 20%、地方公共団体 21%です。

※修繕等措置には、補修や補強などの施設の機能や耐久性等を維持又は回復するための「対策」のほか、「撤去」、定期的あるいは常時の「監視」、緊急に措置を講じることができない場合などの対応としての「通行規制・通行止」があるが、実施状況の集計からは「監視」及び「通行規制・通行止」は除く。



2024.3 末時点

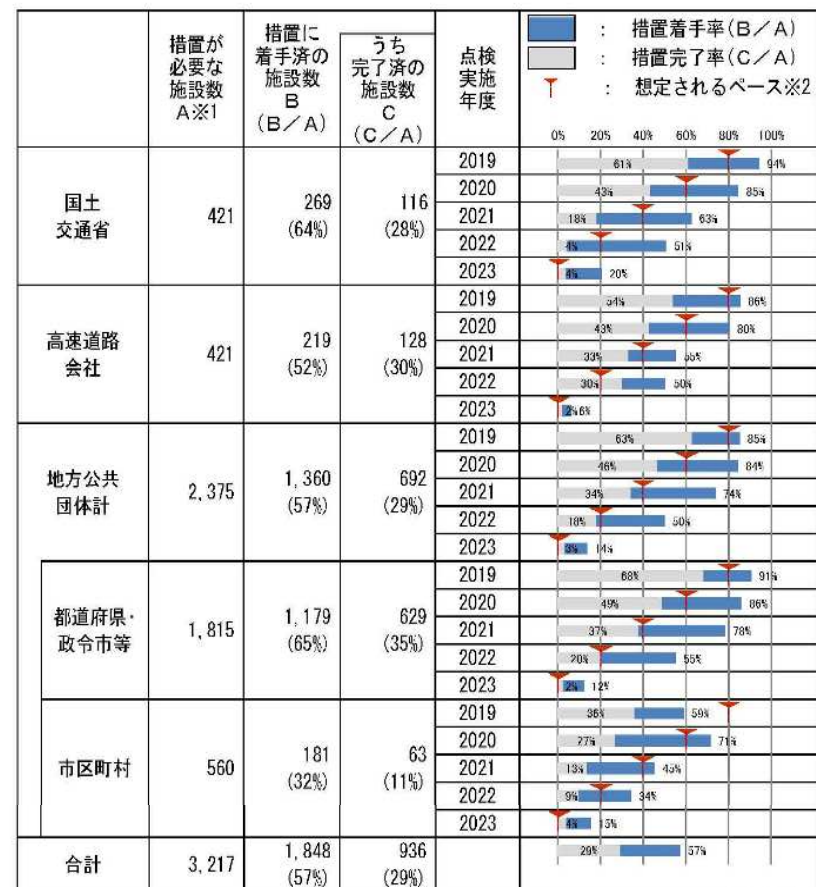
※1: 2巡目(2019～2023 年度)の点検における判定区分Ⅲ、Ⅳの施設数のうち、点検対象外等となった施設を除く施設数。

※2: 2023 年度末時点で次回点検までの修繕等措置の実施を考慮した場合に想定されるペース。

②トンネル

- 2 巡目点検 (2019～2023 年度) で早期に措置を講ずるべき状態 (区分Ⅲ) 又は緊急に措置を講ずるべき状態 (区分Ⅳ) と判定されたトンネルの修繕等の措置に着手した割合は、2023 年度末時点で、国土交通省 64%、高速道路会社 52%、地方公共団体 57%です。
- 完了した割合は、国土交通省 28%、高速道路会社 30%、地方公共団体 29%です。

※修繕等措置には、補修や補強などの施設の機能や耐久性等を維持又は回復するための「対策」のほか、「撤去」、定期的あるいは常時の「監視」、緊急に措置を講じることができない場合などの対応としての「通行規制・通行止」があるが、実施状況の集計からは「監視」及び「通行規制・通行止」は除く。



2024.3 末時点

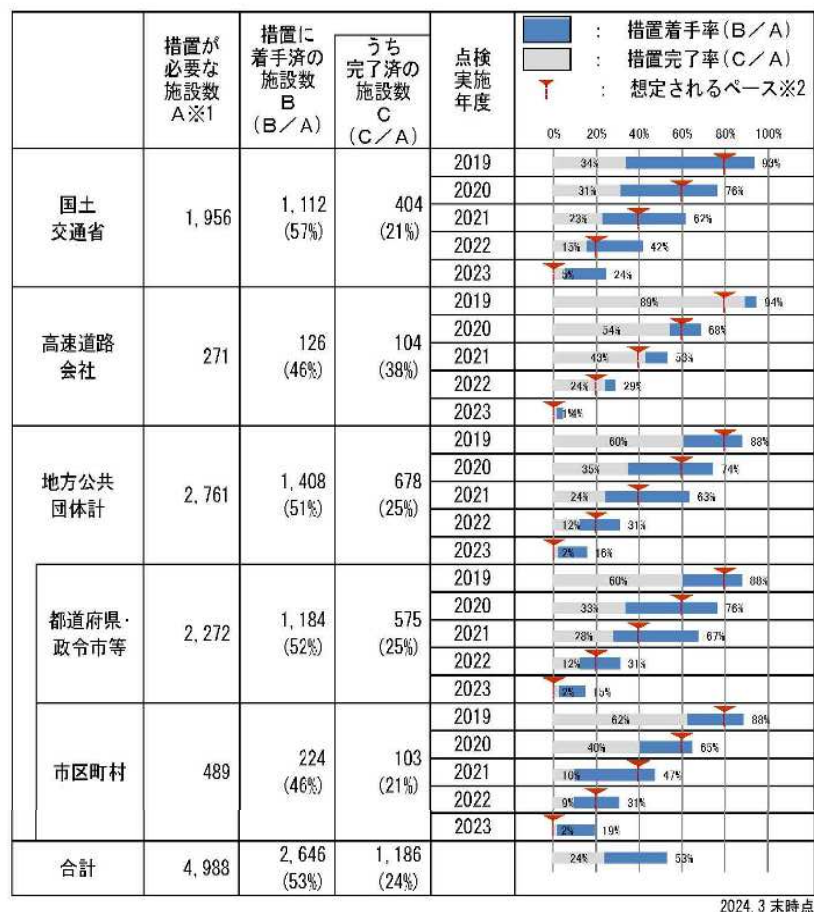
※1: 2巡目(2019～2023 年度)の点検における判定区分Ⅲ、Ⅳの施設数のうち、点検対象外等となった施設を除く施設数。

※2: 2023 年度末時点で次回点検までの修繕等措置の実施を考慮した場合に想定されるペース。

③道路附属物等

- 2 巡目点検（2019～2023 年度）で早期に措置を講ずるべき状態（区分Ⅲ）又は緊急に措置を講ずるべき状態（区分Ⅳ）と判定された道路附属物等の修繕等の措置に着手した割合は、2023 年度末時点で、国土交通省 57%、高速道路会社 46%、地方公共団体 51%です。
- 完了した割合は、国土交通省 21%、高速道路会社 38%、地方公共団体 25%です。

※修繕等措置には、補修や補強などの施設の機能や耐久性等を維持又は回復するための「対策」のほか、「撤去」、定期的あるいは常時の「監視」、緊急に措置を講じることができない場合などの対応としての「通行規制・通行止」があるが、実施状況の集計からは「監視」及び「通行規制・通行止」は除く。



※1: 2巡目（2019～2023 年度）の点検における判定区分Ⅲ、Ⅳの施設数のうち、点検対象外等となった施設を除く施設数。

※2: 2023 年度末時点で次回点検までの修繕等措置の実施を考慮した場合に想定されるペース。

(3)過年度の点検(2014～2023 年度)の実施施設における修繕等措置の実施状況

①橋梁

- 過年度の点検（2014～2023 年度）で早期に措置を講ずるべき状態（区分Ⅲ）又は緊急に措置を講ずるべき状態（区分Ⅳ）と判定された橋梁のうち、修繕等の措置に着手した割合は、2023 年度末時点で、国土交通省 64%、高速道路会社 45%、地方公共団体 48%です。
- 完了した割合は、国土交通省 19%、高速道路会社 20%、地方公共団体 21%です。

※修繕等措置には、補修や補強などの施設の機能や耐久性等を維持又は回復するための「対策」のほか、「撤去」、定期的あるいは常時の「監視」、緊急に措置を講じることができない場合などの対応としての「通行規制・通行止」があるが、実施状況の集計からは「監視」及び「通行規制・通行止」は除く。

※複数回点検している施設は最新の点検結果を基に集計を行っている。

管理者	措置が必要な施設数 A※1	措置に着手済の施設数 B (B/A)	うち完了 C (C/A)	未着手施設数 (A-B)
国土交通省	3,724	2,388 (64%)	716 (19%)	1,336 (36%)
高速道路会社	2,714	1,223 (45%)	530 (20%)	1,491 (55%)
地方公共団体	50,025	23,801 (48%)	10,611 (21%)	26,224 (52%)
都道府県・政令市等	17,227	9,932 (58%)	3,976 (23%)	7,295 (42%)
市区町村	32,798	13,869 (42%)	6,635 (20%)	18,929 (58%)
合計	56,463	27,412 (49%)	11,857 (21%)	29,051 (51%)

2024.3 末時点

※1: 2023 年度末時点の点検における判定区分Ⅲ、Ⅳの施設数のうち、点検対象外等となった施設を除く施設数。

②トンネル

- 過年度の点検（2014～2023 年度）で早期に措置を講ずるべき状態（区分Ⅲ）又は緊急に措置を講ずるべき状態（区分Ⅳ）と判定されたトンネルのうち、修繕等の措置に着手した割合は、2023 年度末時点で、国土交通省 64%、高速道路会社 52%、地方公共団体 58%です。
- 完了した割合は、国土交通省 28%、高速道路会社 30%、地方公共団体 30%です。

※修繕等措置には、補修や補強などの施設の機能や耐久性等を維持又は回復するための「対策」のほか、「撤去」、定期的あるいは常時の「監視」、緊急に措置を講じることができない場合などの対応としての「通行規制・通行止」があるが、実施状況の集計からは「監視」及び「通行規制・通行止」は除く。

※複数回点検している施設は最新の点検結果を基に集計を行っている。

管理者	措置が必要な 施設数 A※1	措置に着手済の 施設数 B (B/A)		未着手 施設数 (A－B)
			うち完了 C (C/A)	
国土交通省	421	269 (64%)	116 (28%)	152 (36%)
高速道路会社	421	219 (52%)	128 (30%)	202 (48%)
地方公共団体	2, 446	1, 410 (58%)	726 (30%)	1, 036 (42%)
都道府県・ 政令市等	1, 831	1, 195 (65%)	643 (35%)	636 (35%)
市区町村	615	215 (35%)	83 (13%)	400 (65%)
合計	3, 288	1, 898 (58%)	970 (30%)	1, 390 (42%)

2024. 3 末時点

※1: 2023 年度末時点の点検における判定区分Ⅲ、Ⅳの施設数のうち、点検対象外等となった施設を除く施設数。

③道路附属物等

- 過年度の点検（2014～2023 年度）で早期に措置を講ずるべき状態（区分Ⅲ）又は緊急に措置を講ずるべき状態（区分Ⅳ）と判定された道路附属物等のうち、修繕等の措置に着手した割合は、2023 年度末時点で、国土交通省 57%、高速道路会社 46%、地方公共団体 52%です。
- 完了した割合は、国土交通省 21%、高速道路会社 38%、地方公共団体 25%です。

※修繕等措置には、補修や補強などの施設の機能や耐久性等を維持又は回復するための「対策」のほか、「撤去」、定期的あるいは常時の「監視」、緊急に措置を講じることができない場合などの対応としての「通行規制・通行止」があるが、実施状況の集計からは「監視」及び「通行規制・通行止」は除く。

※複数回点検している施設は最新の点検結果を基に集計を行っている。

管理者	措置が必要な 施設数 A※1	措置に着手済の 施設数 B (B/A)		未着手 施設数 (A－B)
			うち完了 C (C/A)	
国土交通省	1, 956	1, 112 (57%)	404 (21%)	844 (43%)
高速道路会社	271	126 (46%)	104 (38%)	145 (54%)
地方公共団体	2, 843	1, 475 (52%)	709 (25%)	1, 368 (48%)
都道府県・ 政令市等	2, 323	1, 232 (53%)	592 (25%)	1, 091 (47%)
市区町村	520	243 (47%)	117 (23%)	277 (53%)
合計	5, 070	2, 713 (54%)	1, 217 (24%)	2, 357 (46%)

2024. 3 末時点

※1: 2023 年度末時点の点検における判定区分Ⅲ、Ⅳの施設数のうち、点検対象外等となった施設を除く施設数。

(4) 1 巡目点検(2014～2018 年度)の実施施設における跨線橋及び緊急輸送道路等の橋梁の修繕等措置の実施状況

○ 1 巡目点検(2014～2018 年度)で早期に措置を講ずるべき状態(区分Ⅲ)又は緊急に措置を講ずるべき状態(区分Ⅳ)と判定された跨線橋及び緊急輸送道路等の橋梁のうち、修繕等の措置が完了した割合は、2023 年度末時点で、跨線橋 59%、緊急輸送道路を跨ぐ跨道橋 77%、緊急輸送道路を構成する橋梁 79%であり、跨線橋の措置完了率が低くなっています。

※修繕等措置には、補修や補強などの施設の機能や耐久性等を維持又は回復するための「対策」のほか、「撤去」、定期的あるいは常時の「監視」、緊急に措置を講じることができない場合などの対応としての「通行規制・通行止」があるが、実施状況の集計からは「監視」及び「通行規制・通行止」は除く。

○ 跨線橋及び緊急輸送道路等の橋梁の 1 巡目点検の実施施設における修繕等措置の実施状況(全道路管理者)

	措置が必要な 施設数 A※1	措置に着手済の 施設数 B (B/A)	うち完了 C (C/A)
跨線橋	2,030	1,911 (94%)	1,199 (59%)
緊急輸送道路を 跨ぐ跨道橋	1,830	1,744 (95%)	1,403 (77%)
緊急輸送道路を 構成する橋梁	13,395	13,109 (98%)	10,595 (79%)
(参考) 全橋梁	66,354	56,001 (84%)	44,576 (67%)

2024.3 末時点

○ 跨線橋の 1 巡目点検の実施施設における修繕等措置の実施状況(管理者別)

管理者	措置が必要な 施設数 A※1	措置に着手済の 施設数 B (B/A)	うち完了 C (C/A)
国土交通省	365	365 (100%)	236 (65%)
高速道路会社	209	209 (100%)	168 (80%)
地方公共団体	1,456	1,337 (92%)	795 (55%)
都道府県・ 政令市等	763	734 (96%)	454 (60%)
市区町村	693	603 (87%)	341 (49%)
合計	2,030	1,911 (94%)	1,199 (59%)

2024.3 末時点

※1: 1 巡目点検における判定区分Ⅲ、Ⅳの施設数のうち、点検対象外等となった施設を除く施設数。

※2: 2 巡目点検で再度区分Ⅲ、Ⅳと判定された施設でも、1 巡目点検に対する措置が完了した施設は含む。

○ 緊急輸送道路を跨ぐ跨道橋の 1 巡目点検の実施施設における修繕等措置の実施状況(管理者別)

管理者	措置が必要な 施設数 A※1	措置に着手済の 施設数 B (B/A)	うち完了 C (C/A)
国土交通省	214	214 (100%)	164 (77%)
高速道路会社	626	626 (100%)	523 (84%)
地方公共団体	990	904 (91%)	716 (72%)
都道府県・ 政令市等	393	385 (98%)	319 (81%)
市区町村	597	519 (87%)	397 (66%)
合計	1,830	1,744 (95%)	1,403 (77%)

2024.3 末時点

○ 緊急輸送道路を構成する橋梁の 1 巡目点検の実施施設における修繕等措置の実施状況(管理者別)

管理者	措置が必要な 施設数 A※1	措置に着手済の 施設数 B (B/A)	うち完了 C (C/A)
国土交通省	2,890	2,890 (100%)	2,357 (82%)
高速道路会社	2,525	2,525 (100%)	2,155 (85%)
地方公共団体	7,980	7,694 (96%)	6,083 (76%)
都道府県・ 政令市等	7,587	7,335 (97%)	5,779 (76%)
市区町村	393	359 (91%)	304 (77%)
合計	13,395	13,109 (98%)	10,595 (79%)

2024.3 末時点

※1: 1 巡目点検における判定区分Ⅲ、Ⅳの施設数のうち、点検対象外等となった施設を除く施設数。

※2: 2 巡目点検で再度区分Ⅲ、Ⅳと判定された施設でも、1 巡目点検に対する措置が完了した施設は含む。

(5) 各都道府県における道路管理者毎の老朽化対策状況

- 各都道府県における道路管理者毎（国土交通省、高速道路会社、都道府県、市区町村）の老朽化対策状況（橋梁、トンネル、道路附属物等の判定区分や措置状況等）を視覚化した情報を公開。

(6) 全国道路施設点検データベース（損傷マップ）

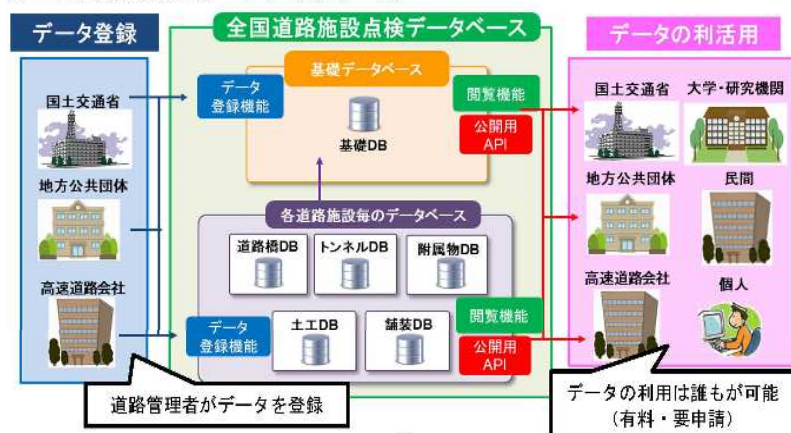
- 老朽化対策のさらなる見える化を図るため、「全国道路施設点検データベース～損傷マップ～」にて橋梁、トンネル、道路附属物等の諸元や点検結果、措置状況等を地図上で公開中。
<https://road-structures-map.mlit.go.jp/>
- データについては順次更新を行い 2023 年度末時点のデータも今後公開予定。
- より詳細な点検データ等については、「全国道路施設点検データベース」により有料公開を行っており、研究機関や民間企業等による技術開発の促進による維持管理の効率化・高度化を目指しています。
<https://road-structures-db.mlit.go.jp/>



○ 全国道路施設点検データベース～損傷マップ～（閲覧画面）



○ 全国道路施設点検データベース（イメージ）

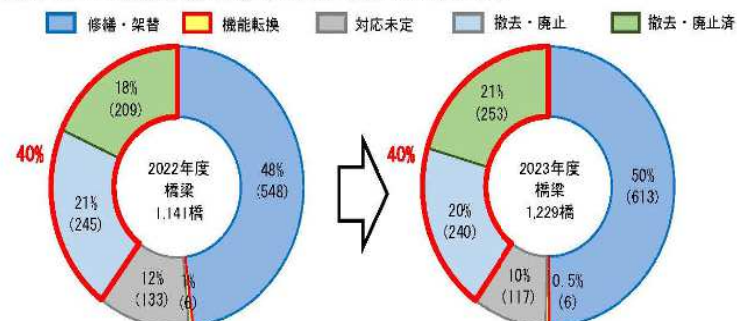


(7) 判定区分Ⅳの施設の措置状況

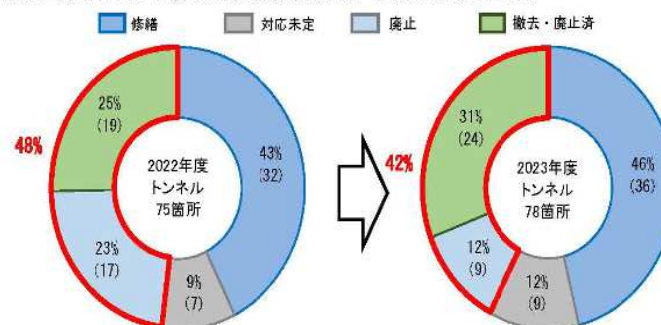
- 2023 年度末までに緊急に措置を講ずべき状態（区分Ⅳ）と判定された施設の措置状況のうち、撤去・廃止の割合は、2023 年度末時点で、橋梁：40%、トンネル：42%、道路附属物等：34%です。

※道路管理者毎の内訳及びⅣ判定の施設リストは巻末資料(3)を参照。

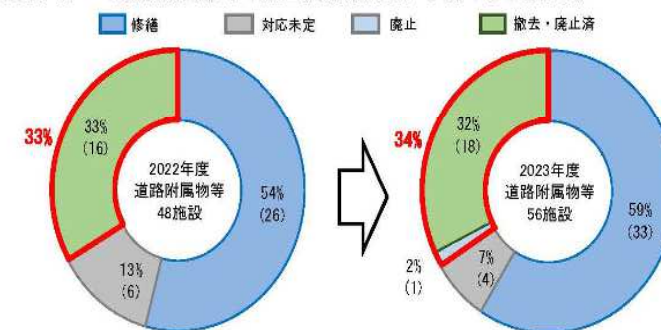
○ 判定区分Ⅳの橋梁の措置状況（完了済・予定のものを含む）



○ 判定区分Ⅳのトンネルの措置状況（完了済・予定のものを含む）



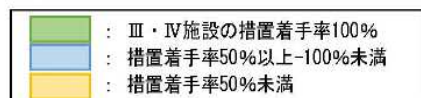
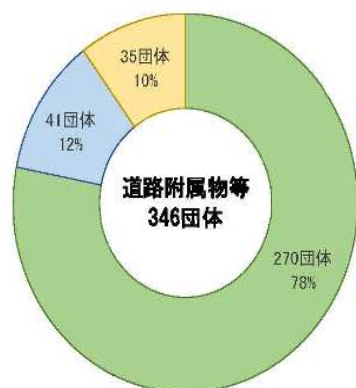
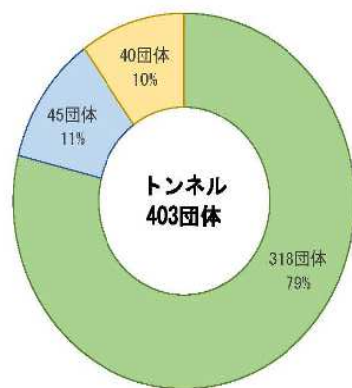
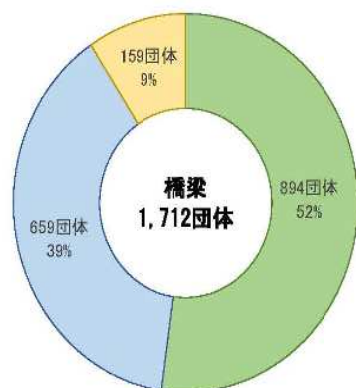
○ 判定区分Ⅳの道路附属物等の措置状況（完了済・予定のものを含む）



4. 地方公共団体の修繕等措置状況

(1) 1巡目点検(2014～2018 年度)の実施施設における地方公共団体の修繕等措置の着手状況

- 1巡目点検(2014～2018 年度)において早期に措置を講ずべき状態(区分Ⅲ)又は緊急に措置を講ずべき状態(区分Ⅳ)と判定された橋梁に着手した割合は、地方公共団体によって差があり、1巡目点検で区分Ⅲ又はⅣと判定された施設を管理している1,712団体のうち、
 - ・ 着手率100%の地方公共団体が894団体(52%)ある一方で、
 - ・ 着手率50%以上100%未満が659団体(39%)
 - ・ 着手率50%未満が159団体(9%)
 であり、地方公共団体によって差がでてきている。

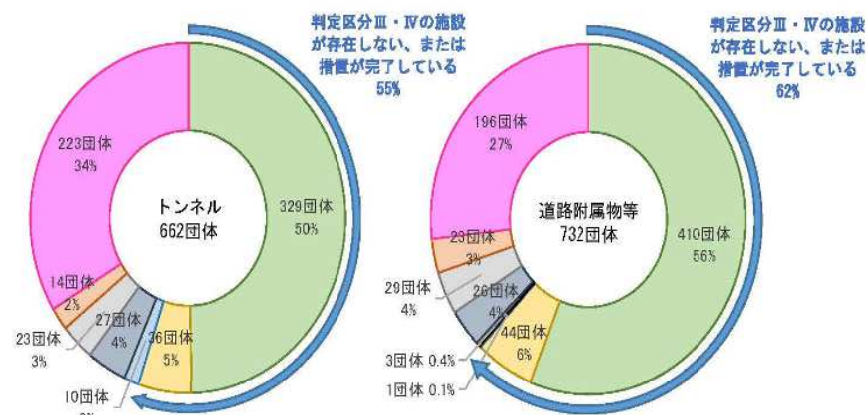
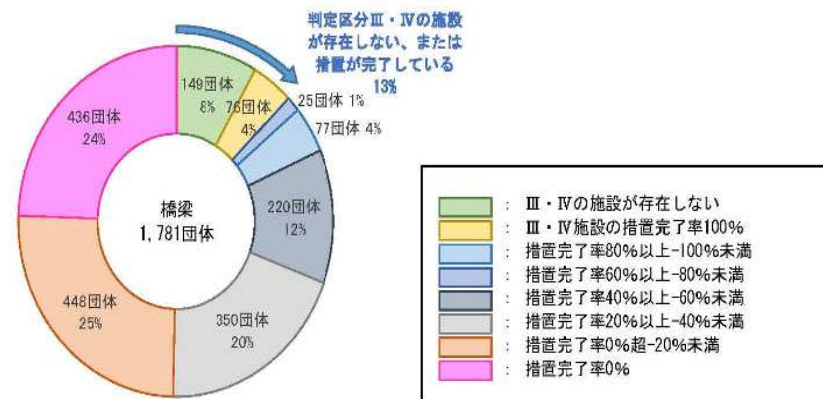


※点検対象外等となり、現在、1巡目点検における判定区分Ⅲ、Ⅳの施設を管理していない団体を除く。

(2) 2023 年度末時点での修繕等措置が完了した地方公共団体数

- 橋梁の修繕等の措置が進み、早期に措置を講ずべき状態(区分Ⅲ)又は緊急に措置を講ずべき状態(区分Ⅳ)の施設が存在しない、または修繕等の措置が完了している団体は、2023 年度末時点で13%に留まっており、措置完了率が20%未満の団体が約半数を占めています。

○ 地方公共団体の予防保全への移行状況



※団体数は、2023 年度末時点の点検対象施設(管理施設のうち、供用後5年以内などを除いた施設)を管理する都道府県、政令市、市区町村の合計。

5. 舗装の点検結果及び修繕等措置の実施状況

(1) 概要

舗装については、各道路管理者により、道路の役割や性格、修繕実施の効率性、ストック量、管理体制の観点から管内の道路を分類し、その分類に基づき点検などを行っています。今年度より、地方公共団体の管理する重要物流道路などの重交通を担う道路である分類A・Bに焦点をあてて集計しています。

<道路の分類のイメージ>

特性	分類	主な道路 (イメージ)	管理基準 ^{※1} (内は直轄の基準)	点検頻度	健全性の診断 ^{※2}	車線延長 ^{※3}
・高速道路等 (高速走行など 求められるサービス 水準が高い道路)	A	高速道路等	ひび割れ率: 15~20% (20%以上) わだちねり量: 20~25mm (25mm以上) IRI: 3.5mm/m (3.5mm/m以上)	道路管理者が5 年に1回以上適 切に実施	I (健全): 損傷レベルが小 II (表層機能保持段階): 損傷レベルが中	計: 約 40,700km ・高速管理: 約 33,600km ・直轄管理: 約 5,000km ・地方管理: 約 2,100km
・損傷の進行が 早い道路等 (例えば大型車交 通量が多い道路) 重要物流道路又は 大型車1,000台・方 向以上/日(目安)	B	直轄道路 重要物流道路	ひび割れ率: 20~40% (40%以上) わだちねり量: 20~40mm (40mm以上) IRI: 8mm/m (8mm/m以上)		III (修繕段階): 損傷レベルが大 III-1 表層等修繕 (路盤以下の層が健全) III-2 路盤打換等 (路盤以下の層も損傷)	計: 約 150,300km ・直轄管理 約 55,000km ・地方管理 約 95,300km
・損傷の進行が 緩やかな道路等 (例えば大型車交 通量が少ない道 路)	C	市町村一般道路			I (健全): 損傷レベルが小 II (表層機能保持段階): 損傷レベルが中	計: 約 360,000km
・生活道路等 (損傷の進行が 極めて遅く占用 工事等の影響 がなければ長 寿命) 幅員 5.5m 未満 の道路	D	市町村一般道路		更新時期や地 域特性等に応 じて道路管理 者が適切に点 検計画を作成	III (修繕段階): 損傷レベルが大	計: 約 750,000km
合計						計: 約 1,300,000km

※1 一部の地方管理道路については、独自の管理基準を設定している場合がある。

※2 コンクリート舗装の健全性の診断は、分類A~D共通して、判定区分Ⅰ~Ⅲで判定

※3 車線延長は一部センサデータ等による推計値を含む。

※4 高速道路会社についてはサービス水準を高く設定しており、独自の厳しい基準で点検を実施していることから、国の舗装点検要領にあてはめることができないため集計していない。

国土交通省の管理する道路の舗装は、2017年度より舗装点検要領(2017年3月 国土交通省 道路局 国道・防災課)に基づき、5年に1回の頻度で目視を基本とする点検を実施しています。

舗装の健全性の診断は、以下の通り区分します。

<アスファルト舗装>

区分	状態
I 健全	損傷レベル小: 管理基準に照らし、劣化の程度が小さく、舗装表面が健全な状態
II 表層機能保持段階	損傷レベル中: 管理基準に照らし、劣化の程度が中程度
III 修繕段階	損傷レベル大: 管理基準に照らし、それを超過している又は早期の超過が予見される状態
III-1 表層等修繕	表層の供用年数が使用目標年数を超える場合(路盤以下の層が健全であると想定される場合)
III-2 路盤打換等	表層の供用年数が使用目標年数未満である場合(路盤以下の層が損傷していると想定される場合)

<コンクリート舗装>

区分	状態
I 健全	損傷レベル小: 目地部に目地材が充填されている状態を保持し、路盤以下への雨水の浸入や目地溝に土砂や異物が詰まることができないと想定される状態であり、ひび割れも認められない状態
II 補修段階	損傷レベル中: 目地部の目地材が飛散等しており、路盤以下への雨水の浸入や目地溝に土砂や異物が詰まる恐れがあると想定される状態、目地部で角欠けが生じている状態
III 修繕段階	損傷レベル大: コンクリート版において、版中央付近又はその前後に横断ひび割れが全幅員にわたって、一枚の版として輪荷重を支える機能が失われている可能性が高いと考えられる状態、または、目地部に段差が生じたりコンクリート版の隅角部に角欠けへの進展が想定されるひび割れが生じているなど、コンクリート版と路盤の間に隙間が存在する可能性が高いと考えられる状態

国土交通省以外の道路管理者は、舗装点検要領(2016年10月 国土交通省 道路局)(技術的助言)等を参考に、適切に管理を行っています。

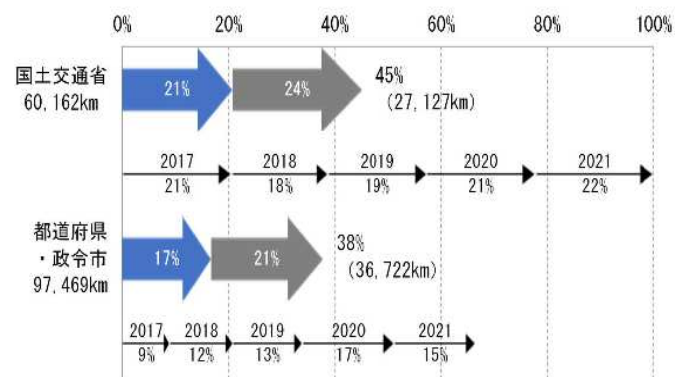
(2) 2巡目(2022～2023 年度)の点検結果(国土交通省、都道府県・政令市)

- 舗装点検については 2022 年度より 2 巡目点検が始まり、国土交通省が管理する道路では約 45%、都道府県・政令市が管理する道路^{※1}では約 38%で点検を実施済みです。
- 判定区分Ⅲ(修繕段階)の割合(延べ車線延長^{※2}ベース)は、アスファルト舗装では国土交通省が 11%、都道府県・政令市が 14%、コンクリート舗装では国土交通省が 2%、都道府県・政令市が 5%となっています。

※1 都道府県・政令市が管理する重要物流道路などの重交通を担う道路が対象。

※2 延べ車線延長: 点検対象となる車線延長の合計。2024 年 3 月末時点の延長のうち、供用後 5 年以内を除く。
また一部の自治体では管理延長等をもとに算出。

○ 点検実施率(延べ車線延長ベース)

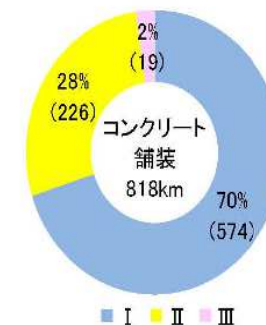
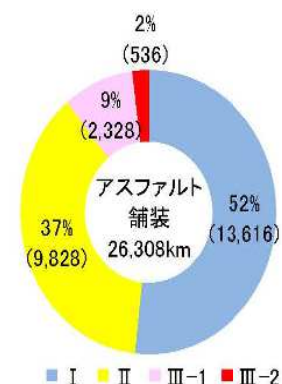


2022年度 → 2023年度 → 1巡目点検(実績) →

2024.3 末時点

※()内は、2022～2023 年度に点検を実施した車線延長の合計。

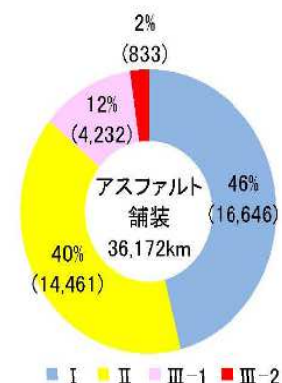
○ 国土交通省の2巡目(2022～2023 年度)点検の判定区分の割合



2024.3 末時点

※四捨五入の関係で判定区分毎の延べ車線延長と合計値が一致しない場合がある。

○ 都道府県・政令市の2巡目(2022～2023 年度)点検の判定区分の割合



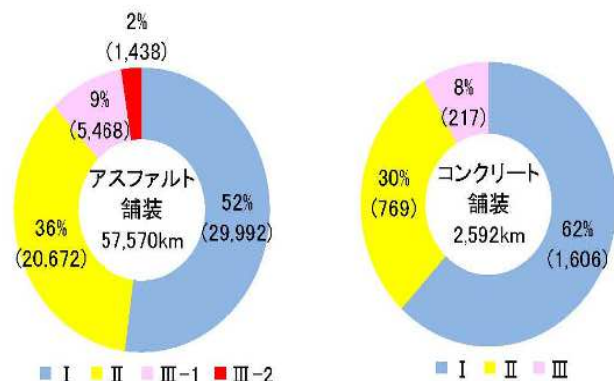
2024.3 末時点

※四捨五入の関係で判定区分毎の延べ車線延長と合計値が一致しない場合がある。

(3) 過年度の点検(2017～2023 年度)の点検結果

○ 2023 年度末時点で判定区分Ⅲ（修繕段階）の割合（延べ車線延長ベース）は、アスファルト舗装では、国土交通省が11%、都道府県・政令市が17%、コンクリート舗装では国土交通省が8%、都道府県・政令市が7%となっています。

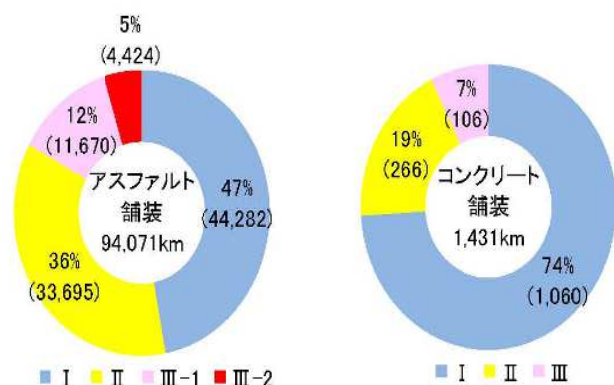
○ 国土交通省の判定区分の割合



2024.3 末時点

※四捨五入の関係で判定区分毎の延べ車線延長と合計値が一致しない場合がある。
※複数回点検している区間は最新の点検結果を基に集計を行っている。

○ 都道府県・政令市の判定区分の割合



2024.3 末時点

※四捨五入の関係で判定区分毎の延べ車線延長と合計値が一致しない場合がある。
※複数回点検している区間は最新の点検結果を基に集計を行っている。

(4) 過年度の点検(2017～2023 年度)の実施箇所における修繕等措置の実施状況

○ 2023 年度末の時点で修繕段階（区分Ⅲ）にあると判定されたアスファルト舗装のうち、修繕等措置に着手した割合は国土交通省が25%、都道府県・政令市が3%、コンクリート舗装では国土交通省が10%、都道府県・政令市が1%です。

○ 国土交通省の修繕等措置状況

	措置が必要な 延長(km) (A)	措置完了の 延長(km) (B) (B/A)
As 舗装	6,906	1,693 (25%)
As 舗装(Ⅲ-1)	5,468	1,357 (25%)
As 舗装(Ⅲ-2)	1,438	336 (23%)
Co 舗装	217	23 (10%)
合計	7,123	1,716 (24%)

2024.3 末時点

※四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある。

○ 都道府県・政令市の修繕等措置状況

	措置が必要な 延長(km) (A)	措置完了の 延長(km) (B) (B/A)
As 舗装	16,094	512 (3%)
As 舗装(Ⅲ-1)	11,670	339 (3%)
As 舗装(Ⅲ-2)	4,424	173 (4%)
Co 舗装	106	2 (1%)
合計	16,200	514 (3%)

2024.3 末時点

※四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある。

6. 小規模附属物・土工構造物の点検結果及び修繕等措置の実施状況

(1) 小規模附属物

1) 概要

小規模附属物については、門型標識を除く道路標識及び照明施設等の支柱や支柱取付部等について点検を行っています。

国土交通省では、附属物（標識、照明施設等）点検要領（2014 年 6 月 国土交通省道路局 国道・防災課）に基づき、概ね 10 年に 1 回を目安として近接目視による詳細点検及び、5 年に 1 回を目安として外観目視を基本とする中間点検を実施しています。

小規模附属物の損傷度の診断は、以下の通り区分します。

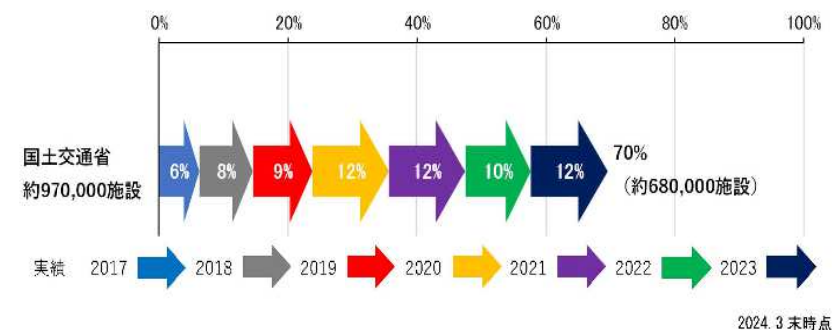
区分	状態
a	損傷が認められない
c	損傷が認められる
e	損傷が大きい

国土交通省以外の道路管理者は、小規模附属物点検要領（2017 年 3 月 国土交通省道路局）（技術的助言）等を参考に、適切に管理を行っています。

2) 点検結果(国土交通省)

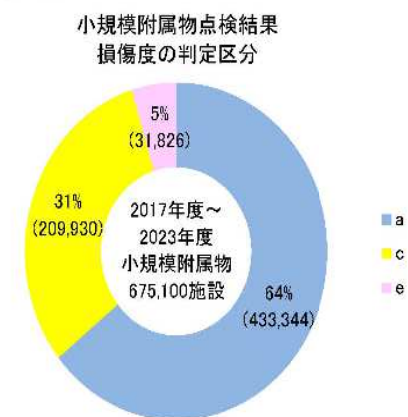
- 国土交通省では、2017 年度より小規模附属物点検を行っており、2023 年度末時点の近接目視による詳細点検の実施率は約 70%となっています。
- 国土交通省の損傷度の判定区分の割合は、a 64%、c 31%、e 5%です。

○ 国土交通省の点検実施率(詳細点検)



※()内は、2017～2023 年度に点検を実施した施設数の合計。

○ 国土交通省の判定区分の割合



2024.3 末時点

3) 修繕の実施状況(国土交通省)

○ 国土交通省が管理する小規模附属物で、損傷度の判定区分 e の修繕着手率は 16%、完了率は 14%です。

判定区分c、eの修繕の実施状況(国土交通省)

小規模 附属物	修繕が 必要な 施設数 (A)	修繕に 着手済の 施設数 (B) (B/A)	修繕 完了の 施設数 (C) (C/A)	点検 実施 年度	0% 20% 40% 60% 80% 100%									
					■ : 着手率(B/A)		■ : 完了率(C/A)							
c	209,930	1,330 (1%)	1,307 (1%)	2017	0.4%	0.4%								
				2018	1%	1%								
				2019	1%	1%								
				2020	1%	1%								
				2021	0.4%	0.4%								
				2022	0.3%	0.3%								
				2023	0.2%	0.2%								
e	31,826	5,060 (16%)	4,479 (14%)	2017	21%	28%								
				2018	29%	31%								
				2019	24%	28%								
				2020	21%	21%								
				2021	10%	11%								
				2022	7%	9%								
				2023	2%	3%								
合計	241,756	6,390 (3%)	5,786 (2%)											

2024. 3 末時点

4) 地方公共団体の点検・修繕の実施状況

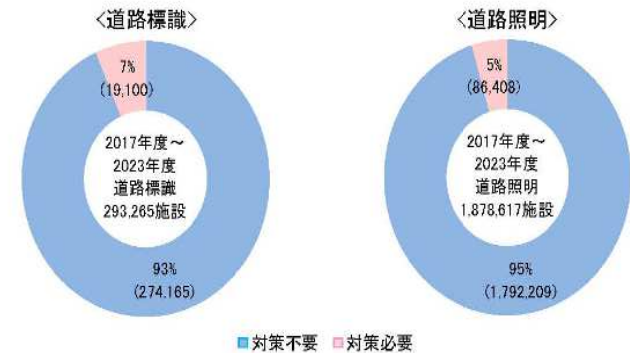
○ 国土交通省では、地方公共団体に対する技術的助言として 2016 年度に小規模附属物点検要領を示しています。

○ 2017～2023 年度に地方公共団体が点検を実施した施設数は、道路標識：293,265 施設、道路照明：1,878,617 施設となっています。

○ 要対策の施設数は、道路標識で 19,100 施設、道路照明で 86,408 施設です。

○ このうち、修繕等措置に着手した施設の割合は、道路標識で 34%、道路照明で 52%です。

○ 地方公共団体の点検結果



2024. 3 末時点

○ 地方公共団体管理道路の小規模附属物における修繕等措置の実施状況

種別	対策が 必要な施設数 (A)	修繕に着手済 の施設数 (B) (B/A)	修繕完了の 施設数 (C) (C/A)
道路標識	19,100	6,470 (34%)	4,940 (26%)
道路照明	86,408	45,098 (52%)	42,449 (49%)
合計	105,508	51,568 (49%)	47,389 (45%)

2024. 3 末時点

※2017～2023 年度の 7 年間の点検により対策が必要と判定された施設。

(2) 土工構造物

1) 概要

土工構造物については、重要度が高い法面等について点検を行うこととしています。

国土交通省では、道路土工構造物点検要領（2018年6月 国土交通省 道路局 国道・技術課）に基づき、長大切土又は高盛土の区域（特定道路土工構造物）については、2018年度より5年に1回の頻度で近接目視による点検を実施しています。

特定道路土工構造物の健全性の診断は、以下の通り区分します。

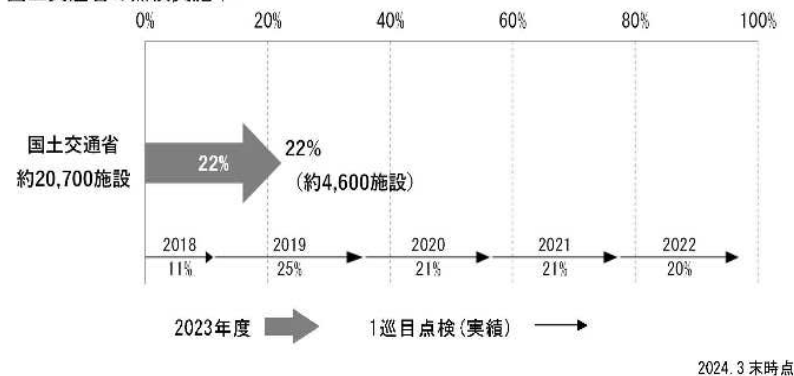
区分		状態
I	健全	変状はない、もしくは変状があっても対策が必要ない場合（道路の機能に支障が生じていない状態）
II	経過観察段階	変状が確認され、変状の進行度合いの観察が一定期間必要な場合（道路の機能に支障が生じていないが、別途、詳細な調査の実施や定期的な観察などの措置が望ましい状態）
III	早期措置段階	変状が確認され、かつ次回点検までにさらに進行すると想定されることから構造物の崩壊が予想されるため、できるだけ速やかに措置を講ずることが望ましい場合（道路の機能に支障は生じていないが、次回点検までに支障が生じる可能性があり、できるだけ速やかに措置を講ずることが望ましい状態）
IV	緊急措置段階	変状が著しく、大規模な崩壊に繋がるおそれがあると判断され、緊急的な措置が必要な場合（道路の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態）

国土交通省以外の道路管理者は、道路土工構造物点検要領（2017年8月 国土交通省 道路局）（技術的助言）等を参考に、適切に管理を行っています。

2) 2巡目（2023年度）の点検結果（国土交通省）

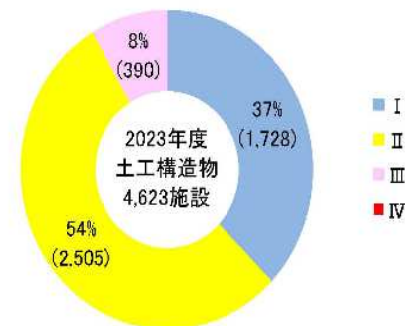
- 特定道路土工構造物点検については2023年度より2巡目点検が始まり、国土交通省では約22%で点検を実施済みです。
- 国土交通省管理の土工構造物の健全性の判定区分の割合は、I 37%、II 54%、III 8%です。

○ 国土交通省の点検実施率



※()内は、2023年度に点検を実施した施設数の合計。
※災害などにより点検を実施できないなど、一部点検できていない箇所がある。

○ 国土交通省の判定区分の割合



2024.3 末時点

3) 修繕の実施状況(国土交通省)

- 国土交通省が管理する特定道路土工構造物で、健全性の判定区分Ⅲの施設の修繕着手率は18%、判定区分Ⅳの施設の修繕着手率は100%です。

判定区分Ⅲ、Ⅳの修繕の実施状況(国土交通省)

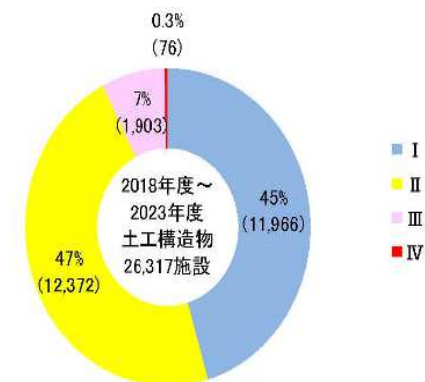
土工構造物	修繕が必要な施設数(A)	修繕に着手済の施設数(B) (B/A)	修繕完了の施設数(C) (C/A)	点検実施年度	: 着手率(B/A) : 完了率(C/A)					
					0%	20%	40%	60%	80%	100%
Ⅲ	1,445	265 (18%)	73 (5%)	2018	10%	31%				
				2019	7%	22%				
				2020	10%	24%				
				2021	5%	20%				
				2022	2%	10%				
				2023	1%	10%				
Ⅳ	3	3 (100%)	1 (33%)	2018	対象施設なし					
				2019	0%	100%				
				2020	50%	100%				
				2021	対象施設なし					
				2022	対象施設なし					
				2023	対象施設なし					
合計	1,448	268 (19%)	74 (5%)							

2024.3 末時点

4) 地方公共団体の点検・修繕の実施状況

- 国土交通省では、地方公共団体に対する技術的助言として 2017 年度に道路土工構造物点検要領を示しています。
- 2018～2023 年度に地方公共団体が点検を実施した施設数は 26,317 施設となっています。
- 判定区分Ⅲ（早期措置段階）の施設数は 1,903 施設、判定区分Ⅳ（緊急措置段階）の施設数は 76 施設です。
- このうち、修繕等措置に着手した施設の割合は、判定区分Ⅲの施設で 15%、判定区分Ⅳの施設で 67%です。

○ 地方公共団体の判定区分の割合



2024.3 末時点

○ 地方公共団体管理道路の特定土工構造物における修繕等措置の実施状況

判定区分	修繕が必要な施設数(A)	修繕に着手済の施設数(B) (B/A)	修繕完了の施設数(C) (C/A)
Ⅲ	1,903	286 (15%)	179 (9%)
Ⅳ	76	51 (67%)	42 (55%)
合計	1,979	337 (17%)	221 (11%)

2024.3 末時点

※2018～2023 年度の 6 年間の点検により判定区分Ⅲ又はⅣと判定された施設。

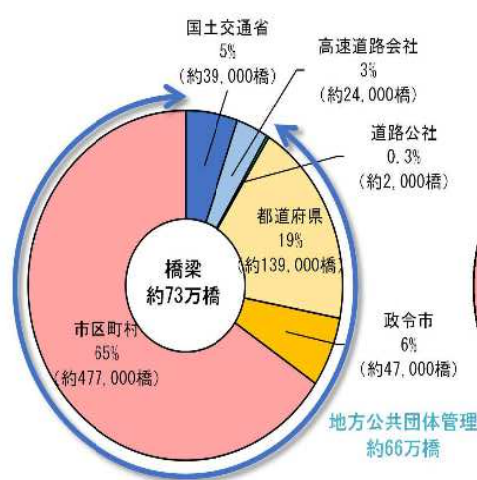
7. 橋梁・トンネルの現状

(1) 橋梁の現状

1) 管理者別の橋梁数、橋面積

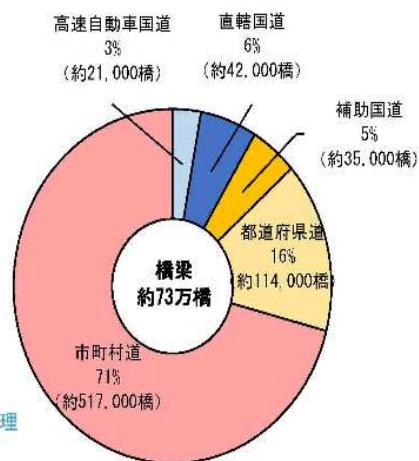
- 我が国には橋梁が約 73 万橋あり、このうち、地方公共団体が管理する橋梁は約 66 万橋と、9 割以上を占めています。

○ 道路管理者別橋梁数

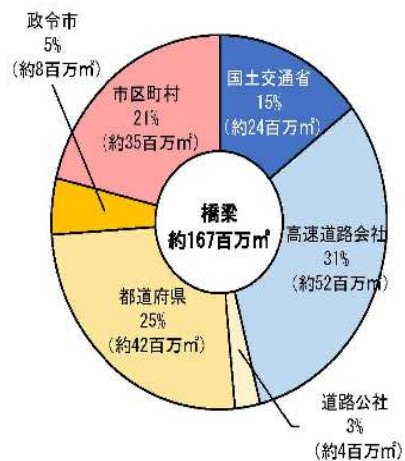


(出典)道路局調べ(2024.3 末時点)

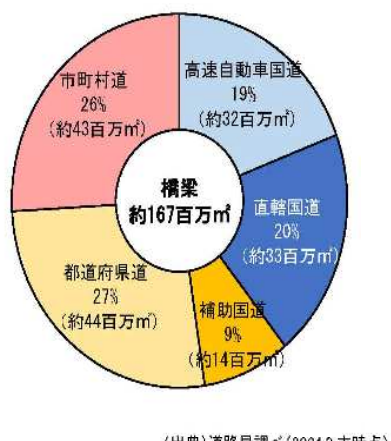
○ 道路種別橋梁数



○ 道路管理者別橋面積



○ 道路種別橋面積

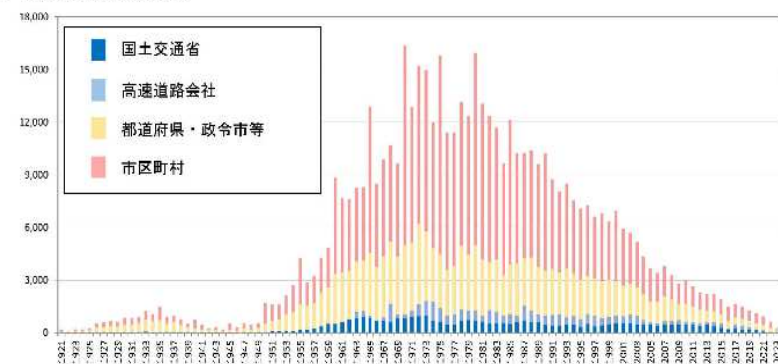


(出典)道路局調べ(2024.3 末時点)

2) 建設年度別の橋梁数

- 建設後 50 年を経過した橋梁の割合は、現在は約 39%であるのに対し、10 年後には約 63%となります。建設後 50 年を経過し橋長 15m 未満の橋梁の割合は、10 年後に約 70%となります。橋長 15m 以上の橋梁の割合は、10 年後に 51%となります。
- この他に建設年度が不明の道路橋が全国で約 19.5 万橋あり、これらの大半が市区町村管理の橋長 15m 未満の橋梁です。

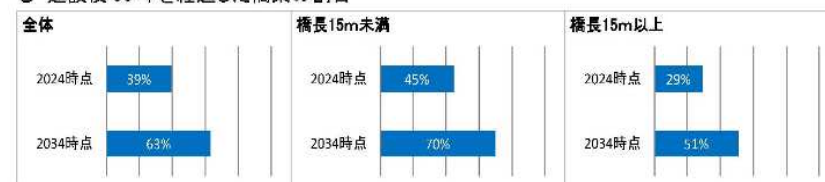
○ 建設年度別橋梁数



※この他、古い橋梁など記録が確認できない建設年度不明橋梁が約 19.5 万橋ある。

(出典)道路局調べ(2024.3 末時点)

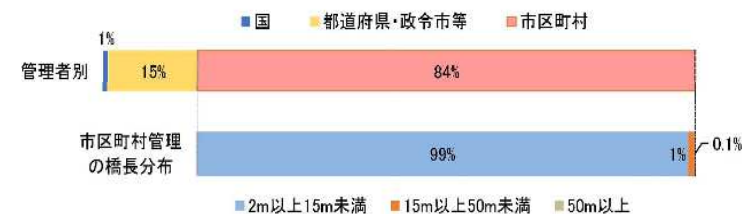
○ 建設後 50 年を経過した橋梁の割合



※この他、古い橋梁など記録が確認できない建設年度不明橋梁が約 19.5 万橋ある。

(出典)道路局調べ(2024.3 末時点)

○ 建設年度不明橋梁(約 19.5 万橋)の内訳

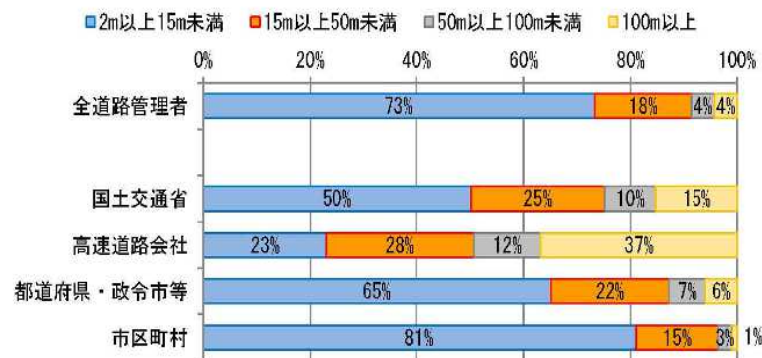


(出典)道路局調べ(2024.3 末時点)

3) 管理者別の橋長分布

- 橋長 50m 以上の橋梁は国土交通省、高速道路会社に多くなっています。
- 市区町村は管理する橋梁の 80%以上が橋長 15m 未満です。

○ 管理者別の橋長分布



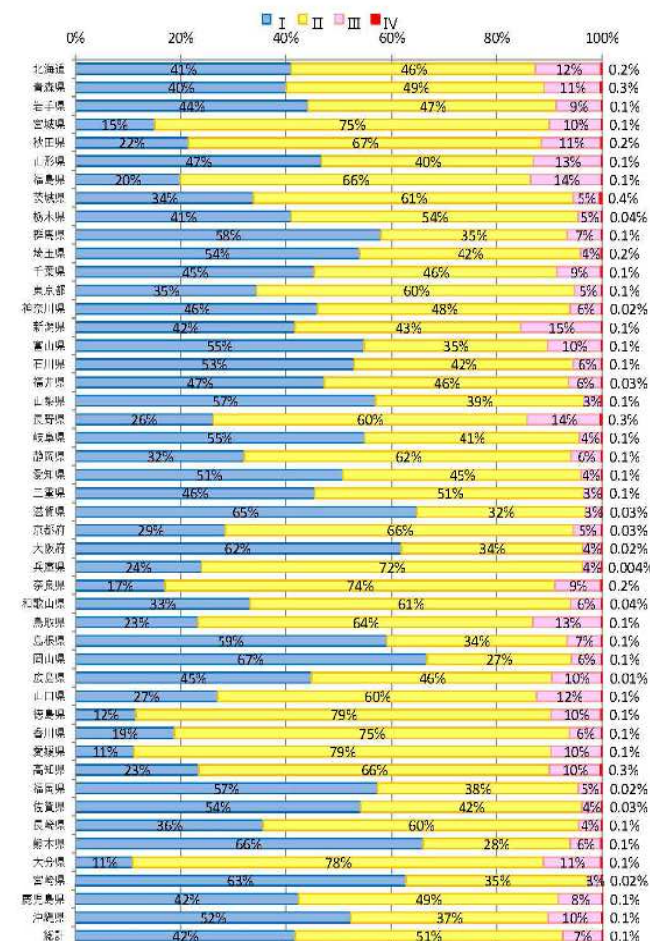
(出典)道路局調べ(2024.3 末時点)

※橋長に関して情報がなかった橋梁を除く

4) 地方公共団体の過年度の点検(2014～2023 年度)の点検結果の分布

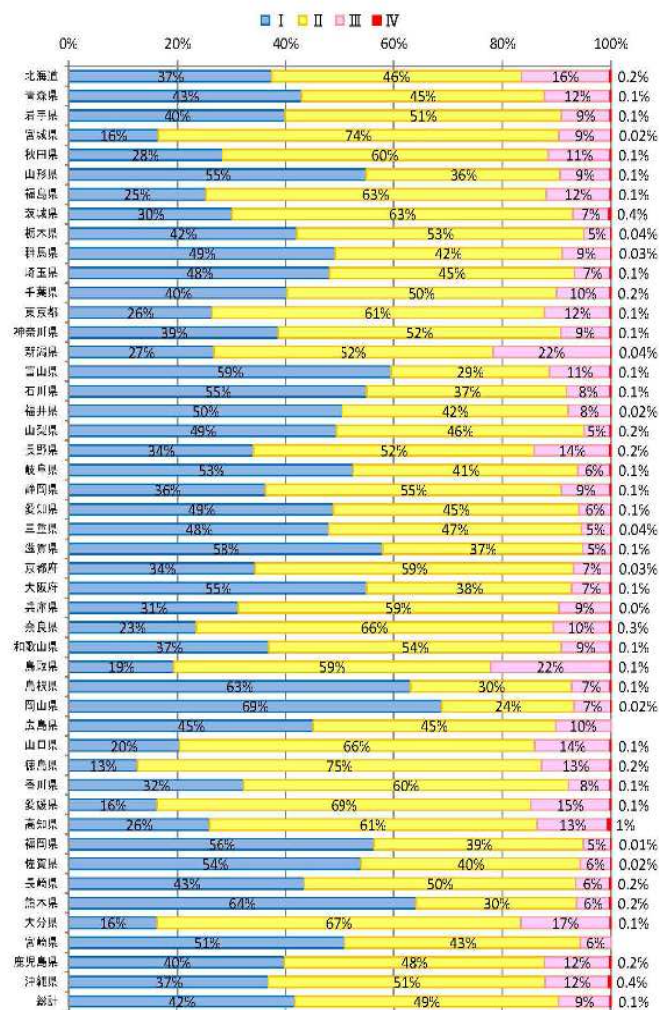
- 過年度の点検(2014～2023 年度)で地方公共団体(都道府県・政令市等及び市区町村)が管理する橋梁の判定区分の割合は地域によって異なっています。
- 地方公共団体全体の判定区分の割合は、I 42%、II 51%、III 7%、IV 0.1%です。

○ 都道府県別判定区分の割合(地方公共団体管理橋梁)



※2024 年 3 月末時点の 2014～2023 年度の最新の点検結果をもとに作成したものである。
また、四捨五入の関係で合計が 100%とならない場合がある。

(参考) 1 巡目点検(2014～2018 年度)における都道府県別判定区分の割合
(地方公共団体管理橋梁)

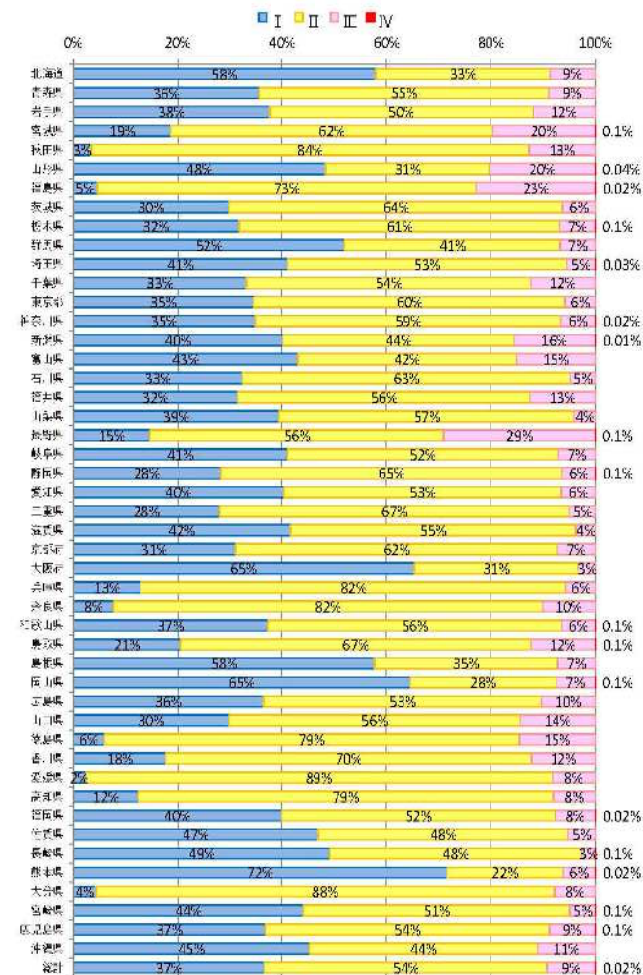


※2019 年 3 月末時点の 1 巡目点検結果をもとに作成したものである。
また、四捨五入の関係で合計が 100%とならない場合がある。

5) 都道府県・政令市等の過年度の点検(2014～2023 年度)の判定区分の分布

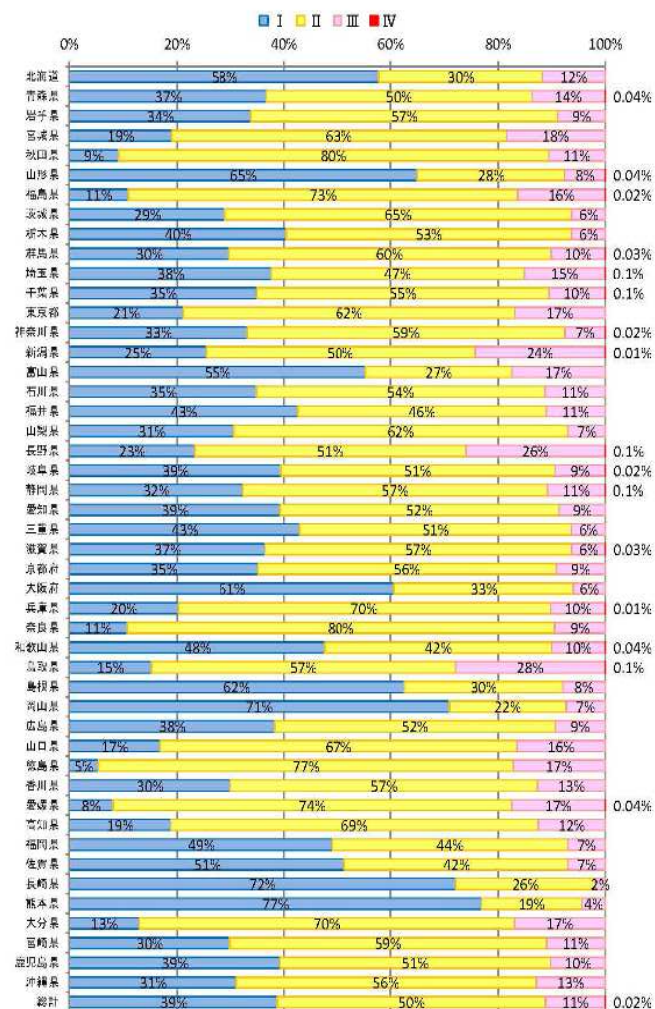
- 過年度の点検(2014～2023 年度)で都道府県・政令市等が管理する橋梁の判定区分の割合は地域によって異なっています。
- 都道府県・政令市等全体の判定区分の割合は、I 37%、II 54%、III 9%、IV 0.02%です。

○ 都道府県別判定区分の割合(都道府県・政令市等管理橋梁)



※2024 年 3 月末時点の 2014～2023 年度の最新の点検結果をもとに作成したものである。
また、四捨五入の関係で合計が 100%とならない場合がある。

(参考) 1 巡目点検(2014～2018 年度)における都道府県別判定区分の割合
(都道府県・政令市等管理橋梁)

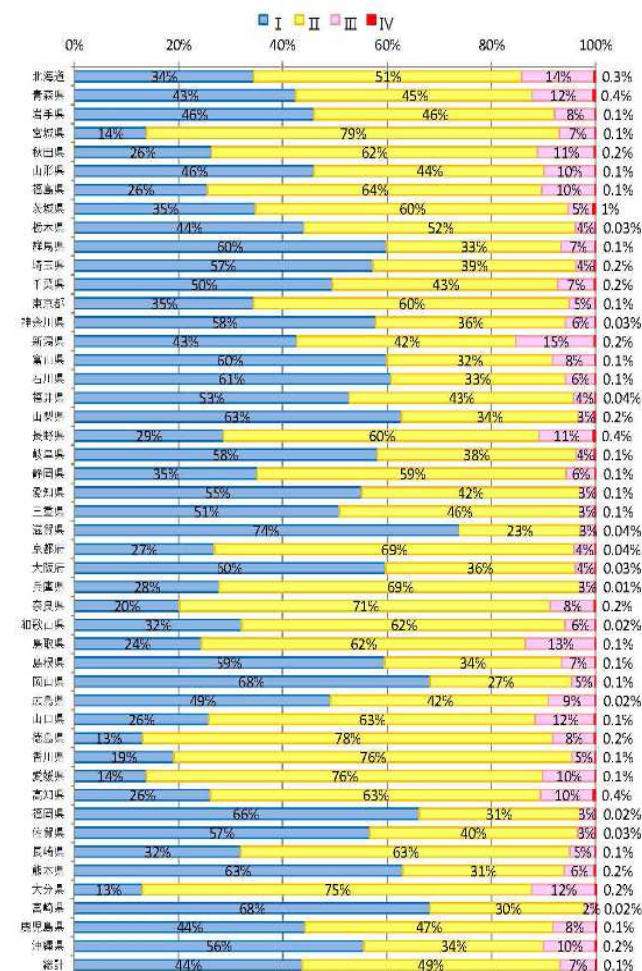


※2019 年 3 月末時点の 1 巡目点検結果をもとに作成したものである。
また、四捨五入の関係で合計が 100% とならない場合がある。

6) 市区町村の過年度の点検(2014～2023 年度)の判定区分の分布

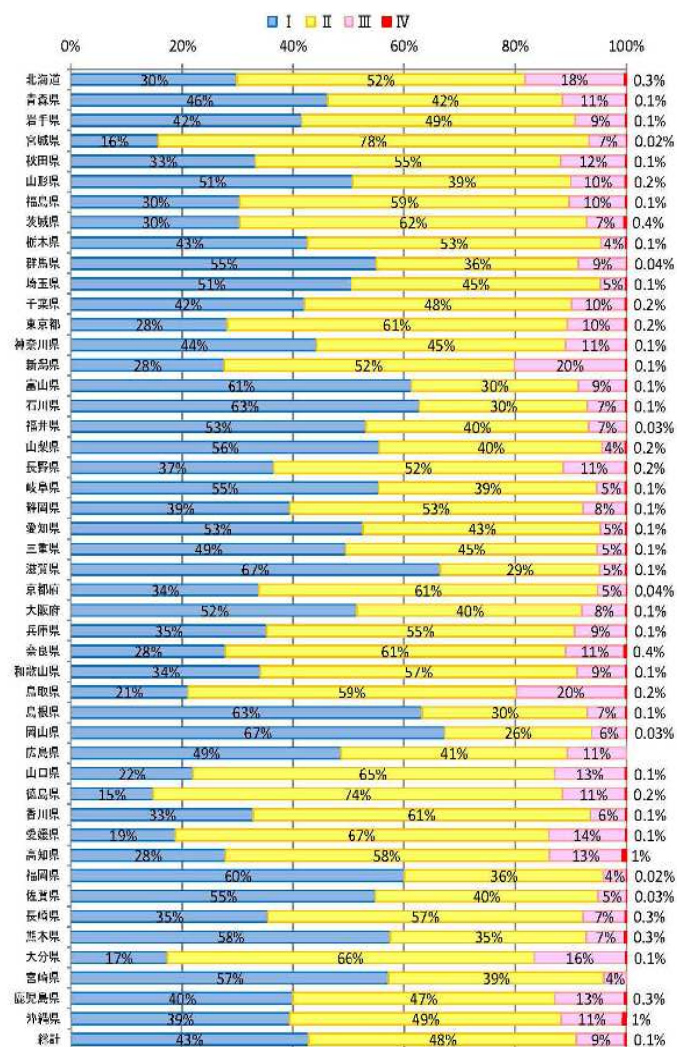
- 過年度の点検(2014～2023 年度)で市区町村が管理する橋梁の判定区分の割合は地域によって異なります。
- 市区町村全体の判定区分の割合は、I 44%、II 49%、III 7%、IV 0.1%です。

○ 都道府県別判定区分の割合(市区町村管理橋梁)



※2024 年 3 月末時点の 2014～2023 年度の最新の点検結果をもとに作成したものである。
また、四捨五入の関係で合計が 100% とならない場合がある。

(参考) 1 巡目点検(2014～2018 年度)における都道府県別判定区分の割合
(市区町村管理橋梁)



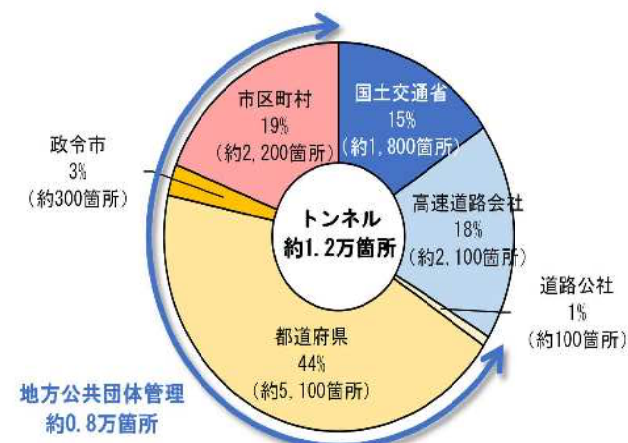
※2019 年 3 月末時点の 1 巡目点検結果をもとに作成したものである。
また、四捨五入の関係で合計が 100% とならない場合がある。

(2)トンネルの現状

1) 管理者別の箇所数

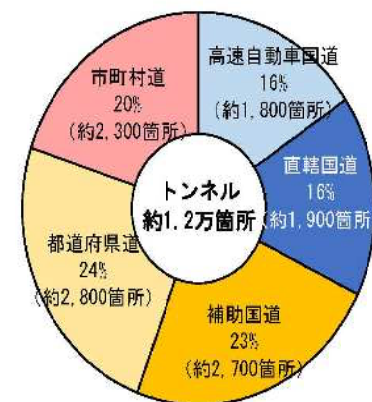
○ 我が国にはトンネルが約 1.2 万箇所あり、このうち、地方公共団体が管理するトンネルは約 0.8 万箇所と、約 7 割を占めています。

○ 道路管理者別



(出典)道路局調べ(2024.3 末時点)

○ 道路種別



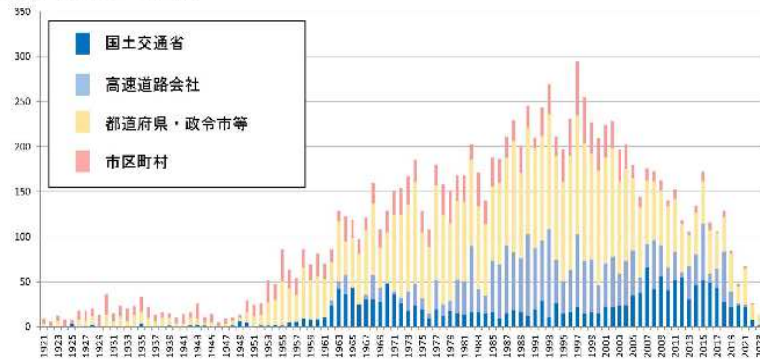
(出典)道路局調べ(2024.3 末時点)

2)建設年度別のトンネル数

- 建設後 50 年を経過したトンネルの割合は、現在は約 27%であるのに対し、10 年後には約 41%に増加します。建設後 50 年を経過し延長 100m 未満のトンネルの割合は、10 年後に約 76%となります。

※橋梁・トンネルの建設年度別施設数は巻末資料(4)を参照。

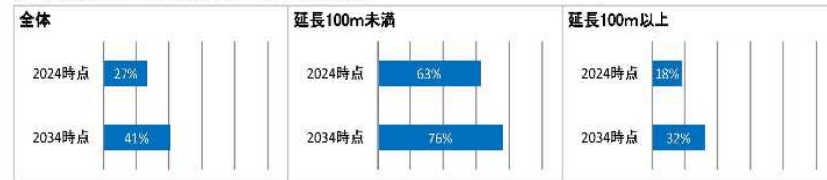
○ 建設年度別トンネル数



※この他、古いトンネルなど記録が確認できない建設年度不明トンネルが約 290 箇所ある。

（出典）道路局調べ（2024.3 末時点）

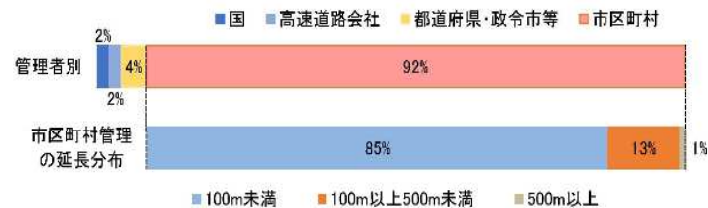
○ 建設後 50 年を経過したトンネルの割合



※この他、古いトンネルなど記録が確認できない建設年度不明トンネルが約 290 箇所ある。

（出典）道路局調べ（2024.3 末時点）

○ 建設年度不明トンネル(約 290 箇所)の内訳

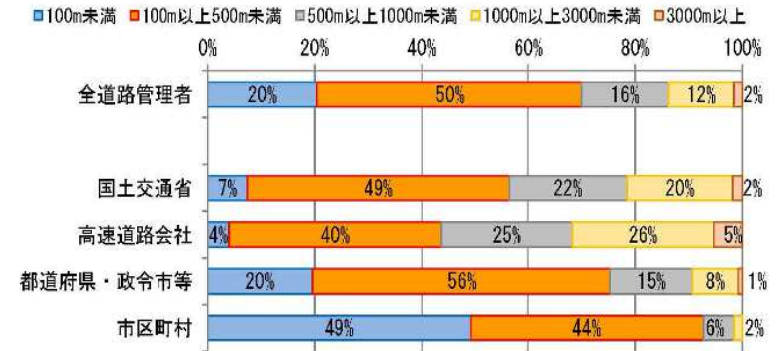


（出典）道路局調べ（2024.3 末時点）

3)管理者別の延長分布

- 延長 1000m 以上のトンネルは国土交通省、高速道路会社に多くなっています。
- 市区町村は管理するトンネルの約 50%が延長 100m 未満です。

○ 管理者別の延長分布



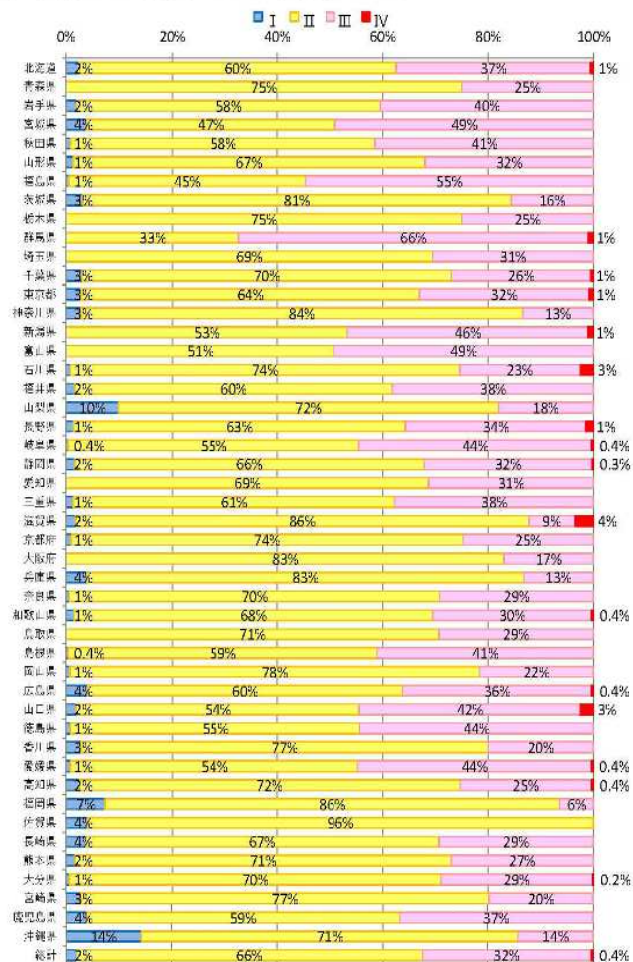
（出典）道路局調べ（2024.3 末時点）

※延長に関して情報がなかった施設を除く

4) 地方公共団体の過年度の点検(2014～2023 年度)の判定区分の分布

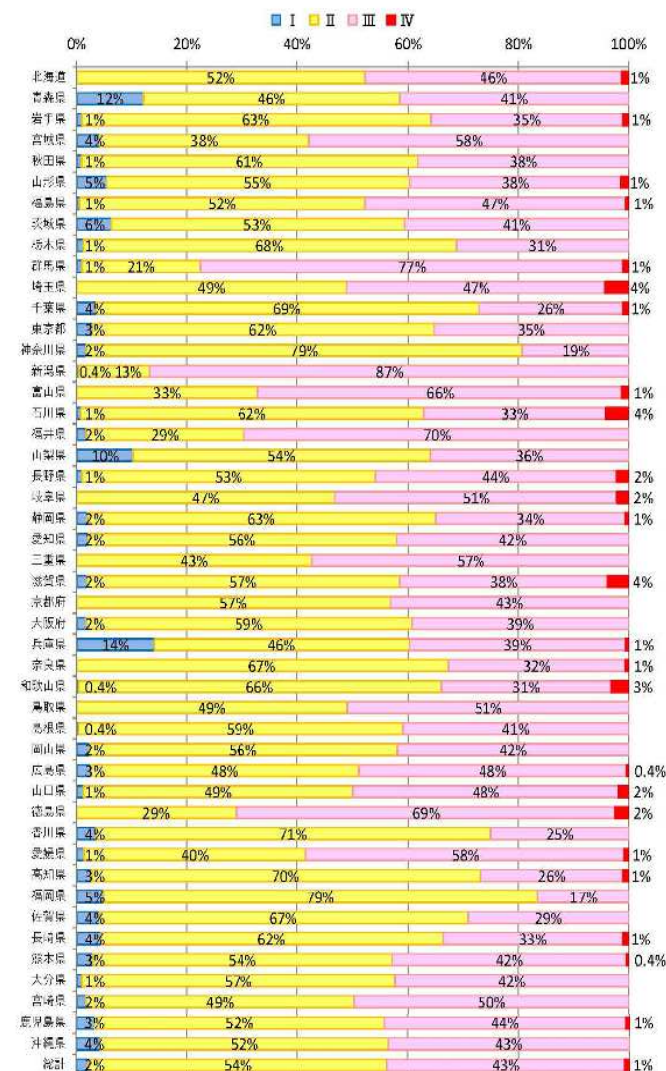
- 過年度の点検(2014～2023 年度)で地方公共団体(都道府県・政令市等及び市区町村)が管理するトンネルの判定区分の割合は地域によって異なります。
- 地方公共団体全体の判定区分の割合は、Ⅰ 2%、Ⅱ 66%、Ⅲ 32%、Ⅳ 0.4%です。

○ 都道府県別判定区分の割合(地方公共団体管理トンネル)



※2024 年 3 月末時点の 2014～2023 年度の最新の点検結果をもとに作成したものである。
また、四捨五入の関係で合計が 100%とならない場合がある。

(参考) 1 巡目点検(2014～2018 年度)における都道府県別判定区分の割合(地方公共団体管理トンネル)

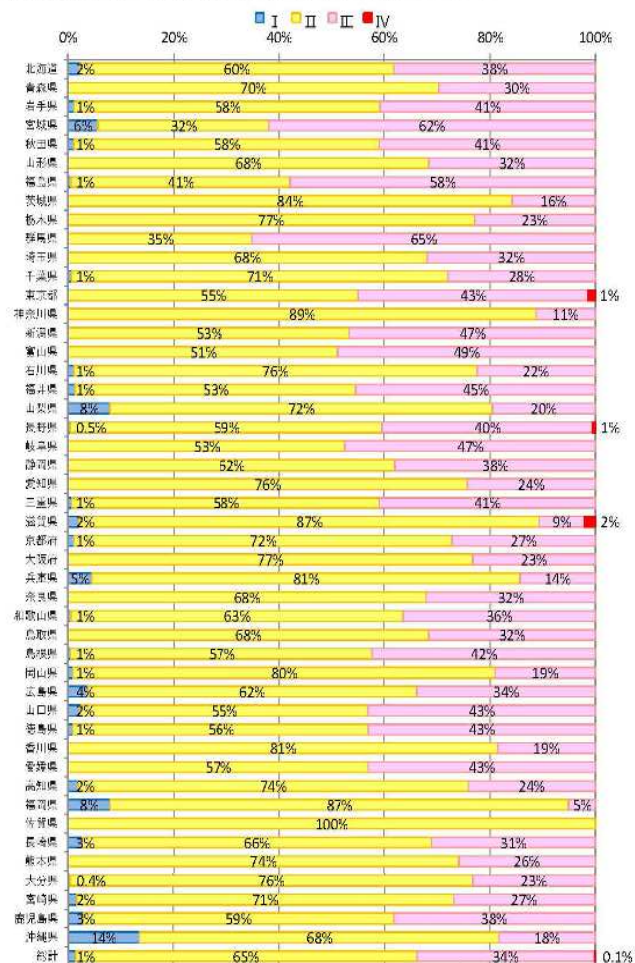


※2019 年 3 月末時点の 1 巡目点検結果をもとに作成したものである。
また、四捨五入の関係で合計が 100%とならない場合がある。

5) 都道府県・政令市等の過年度の点検(2014～2023 年度)の判定区分の分布

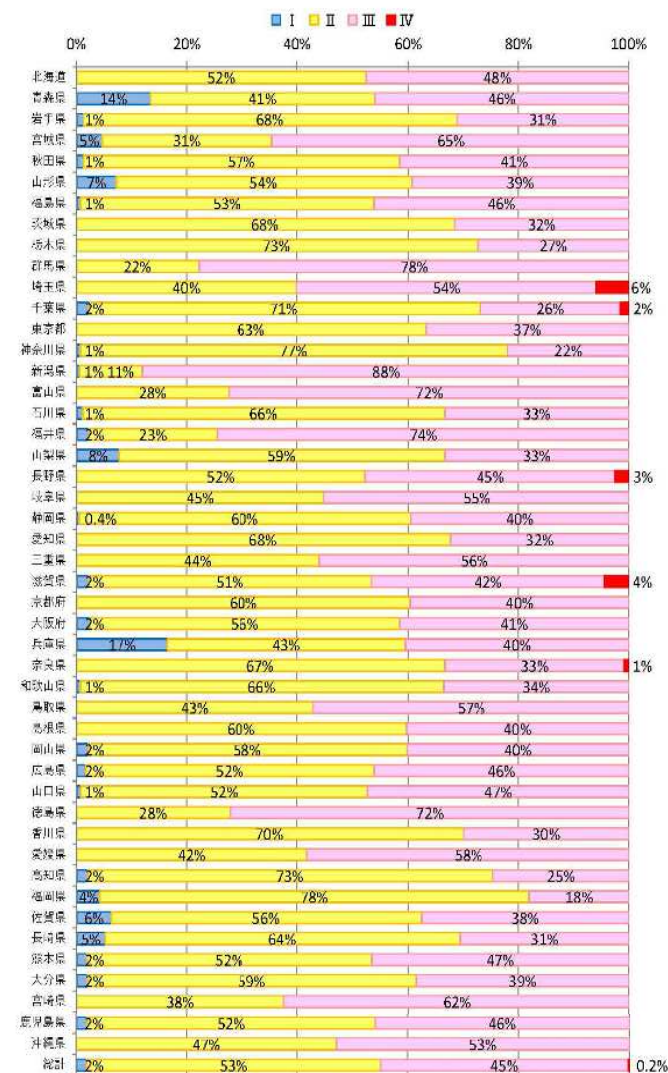
- 過年度の点検(2014～2023 年度)で都道府県・政令市等が管理するトンネルの判定区分の割合は地域によって異なっています。
- 都道府県・政令市等の全体の判定区分の割合は、Ⅰ 1%、Ⅱ 65%、Ⅲ 34%、Ⅳ 0.1%です。

○ 都道府県別判定区分の割合(都道府県・政令市等管理トンネル)



※2024 年 3 月末時点の 2014～2023 年度の最新の点検結果をもとに作成したものである。
また、四捨五入の関係で合計が 100% とならない場合がある。

(参考) 1 巡目点検(2014～2018 年度)における都道府県別判定区分の割合(都道府県・政令市等管理トンネル)

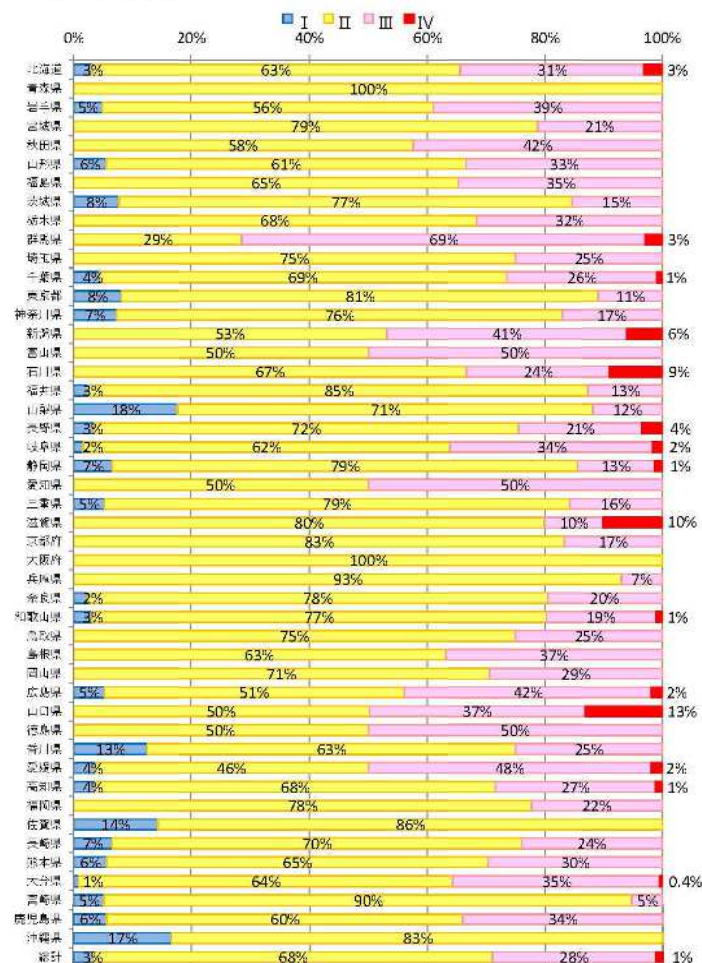


※2019 年 3 月末時点の 1 巡目点検結果をもとに作成したものである。
また、四捨五入の関係で合計が 100% とならない場合がある。

6) 市区町村の過年度の点検(2014～2023 年度)の判定区分の分布

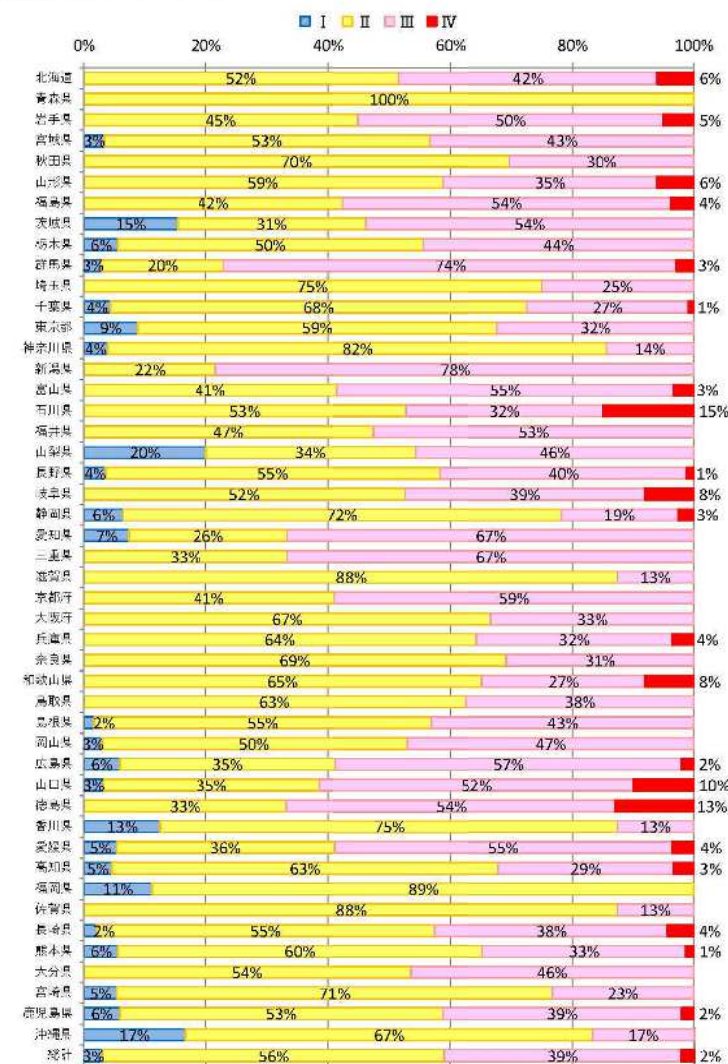
- 過年度の点検(2014～2023 年度)で市区町村が管理するトンネルの判定区分の割合は地域によって異なります。
- 市区町村の全体の判定区分の割合は、Ⅰ 3%、Ⅱ 68%、Ⅲ 28%、Ⅳ 1%です。

○ 都道府県別判定区分の割合(市区町村管理トンネル)



※2024 年 3 月末時点の 2014～2023 年度の最新の点検結果をもとに作成したものである。
また、四捨五入の関係で合計が 100% とならない場合がある。

(参考) 1 巡目点検(2014～2018 年度)における都道府県別判定区分の割合(市区町村管理トンネル)

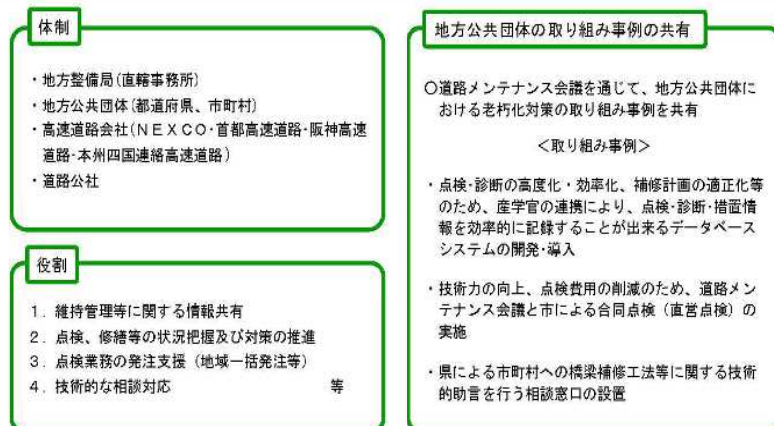


※2019 年 3 月末時点の 1 巡目点検結果をもとに作成したものである。
また、四捨五入の関係で合計が 100% とならない場合がある。

8. 地方公共団体におけるメンテナンスに向けた取り組み

(1) 道路メンテナンス会議の開催

- 関係機関の連携による検討体制を整え、課題の状況を継続的に把握・共有し、効果的な老朽化対策の推進を図ることを目的に、「道路メンテナンス会議」を設置しました。（2014年7月7日に全都道府県で設置済）



役割

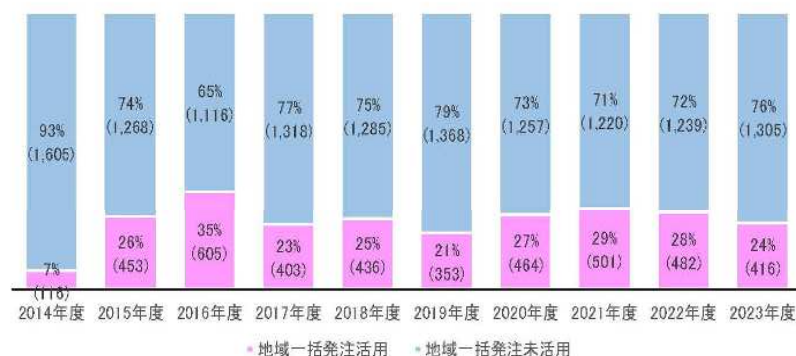
1. 維持管理に関する情報共有
2. 点検、修繕等の状況把握及び対策の推進
3. 点検業務の発注支援（地域一括発注等）
4. 技術的な相談対応

等

(2) 地域一括発注の状況

- 市区町村の人不足・技術力不足を補うため、市区町村の点検・診断の発注事務を都道府県が一括して実施しています。
- 2023年度は416市区町村（32道府県）が地域一括発注を活用しています。

市区町村における地域一括発注の活用状況



※点検対象となる橋梁やトンネル等がない自治体については、未活用として整理している。

(3) 直轄診断・修繕代行

- 地方公共団体への支援策の一つとして、緊急かつ高度な技術力を要する可能性が高い橋梁について、「直轄診断※」を実施しました。
- 直轄診断を実施した橋梁については、各道路管理者からの要請を踏まえ、修繕代行事業や補助事業に着手しています。

○ 直轄診断実施箇所と診断結果概要

実施年度	施設名	道路管理者名	延長(m)
2014	三島大橋	三島町(福島県)	131
2014	大前橋	嬬恋村(群馬県)	73
2014	大渡ダム大橋	仁淀川町(高知県)	444
2015	沼尾シェッド	下郷町(福島県)	189
2015	猿飼橋	十津川村(奈良県)	139
2015	呼子大橋	唐津市(佐賀県)	728
2016	万石橋	湯沢市(秋田県)	171
2016	御鉾橋	神流町(群馬県)	46
2017	音沢橋	黒部市(富山県)	110
2017	乙姫大橋	中津川市(岐阜県)	317
2018	仁方隧道	呉市(広島県)	260
2018	天大橋	薩摩川内市(鹿児島県)	329
2019	秩父橋	秩父市(埼玉県)	135
2019	古川橋	吉田町(静岡県)	54
2020	白老橋	白老町(北海道)	148
2020～2021	鶴舞橋	奈良市(奈良県)	97
2022	伊達崎橋	福島県(福島県)	288

緊急性・難易度を踏まえて対応

○ 直轄修繕代行等実施状況

- | | |
|--------|-----------------------------|
| 2015年度 | ○ 三島大橋、大渡ダム大橋 修繕代行事業に着手 |
| | ○ 大前橋 大規模修繕・更新補助事業に着手 |
| 2016年度 | ○ 沼尾シェッド、猿飼橋、呼子大橋 修繕代行事業に着手 |
| 2017年度 | ○ 万石橋、御鉾橋 修繕代行事業に着手 |
| 2018年度 | ○ 音沢橋、乙姫大橋 修繕代行事業に着手 |
| 2019年度 | ○ 仁方隧道、天大橋 修繕代行事業に着手 |
| 2020年度 | ○ 秩父橋、古川橋 修繕代行事業に着手 |
| 2021年度 | ○ 白老橋 修繕代行事業に着手 |
| 2022年度 | ○ 鶴舞橋 修繕代行事業に着手 |
| 2023年度 | ○ 伊達崎橋 修繕代行事業に着手 |

※直轄診断:「橋梁、トンネル等の道路施設については、各道路管理者が責任を持って管理する」という原則の下、それでもなお、地方公共団体の技術力等に鑑みて支援が必要なもの(複雑な構造を有するもの、損傷の度合いが著しいもの、社会的に重要なもの、等)に限り、国が地方整備局、国土技術政策総合研究所、国立開発研究法人土木研究所の職員で構成する「道路メンテナンス技術集団」を派遣し、技術的な助言を行うもの。

(4) 研修の実施状況

- 2014 年度より、国土交通省、地方公共団体の職員等を対象に、橋梁、トンネル等の点検に関する研修を実施しています。
- 2023 年度までの受講者数は 8,900 人（地方公共団体：6,401 人）です。

研修受講者数（累計）

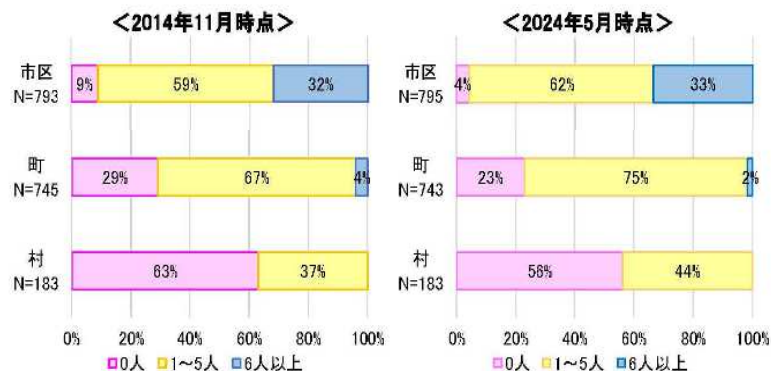


※2023 年 3 月末時点

(5) 橋梁管理に携わる土木技術者数

- 橋梁管理に携わる土木技術者が存在しない市区町村の割合は、2014 年度と 2024 年度を比較するといずれも減少しています。

市区町村における橋梁管理に携わる土木技術者の人数

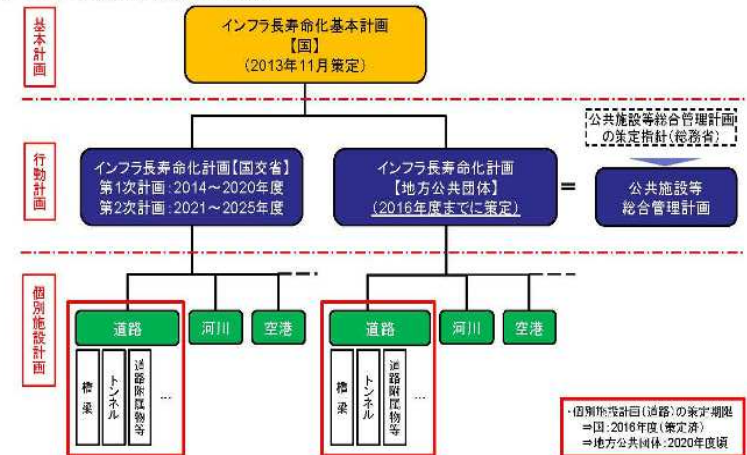


(6) 個別施設計画の策定状況(2023 年度末時点)

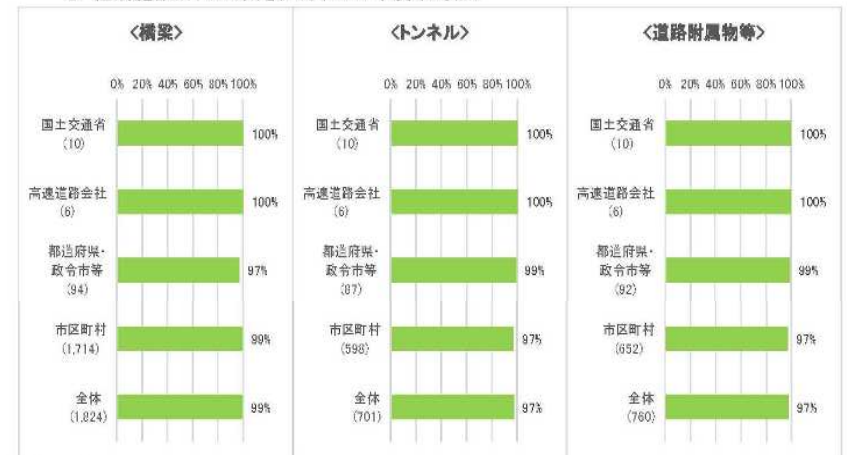
- 各道路管理者は、橋梁・トンネル・道路附属物等の定期点検の結果に基づき個別施設計画*を策定しています。
- 2023 年度末時点における橋梁の個別施設計画策定率は、橋梁で 99%、管理者別では、都道府県・政令市等 97%、市区町村 99%となっています。
- トンネル及び道路附属物等の計画策定率は、それぞれ 97%、97%となっています。

※維持管理・更新等にかかるトータルコストの縮減・平準化を図る上で点検・診断等の結果を踏まえた個別施設毎の具体的な方針を定めた計画

○ インフラ長寿命化計画の体系



○ 個別施設計画の策定状況(2023 年度末時点)



※()は団体数

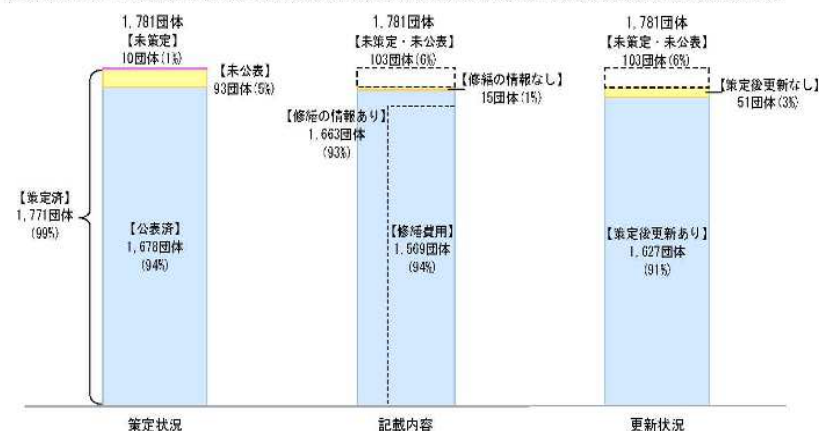
※割合は個別施設計画策定対象の施設を管理する団体数により算出

※道路附属物等は横断歩道橋、門型標識等、シェッド、大型カルバートであり、いずれかの施設の個別施設計画が策定されていれば策定済みとしている

○個別施設計画の策定状況(2023 年度末時点)

- 国のインフラ長寿化基本計画(2013 年)では 2020 年頃までの長寿化修繕計画(個別施設計画)の策定を目標としていますが、2023 年度末時点で計画を策定していない地方公共団体が 10 団体あり、策定済みで公表していない地方公共団体は 93 団体あります。
- 修繕の時期や内容を橋梁毎に示していない計画となっている地方公共団体は 15 団体。
- また、計画の策定後に点検結果を反映するなど計画の更新を行っていない地方公共団体は 51 団体。
- 橋梁等の老朽化対策を計画的・効率的に進めるためにも、長寿化修繕計画を策定するとともに、点検結果を踏まえ、更新を行うことが重要です。

【橋梁(2m以上)の長寿化修繕計画(個別施設計画)の策定、記載内容、更新の状況(地方公共団体)】



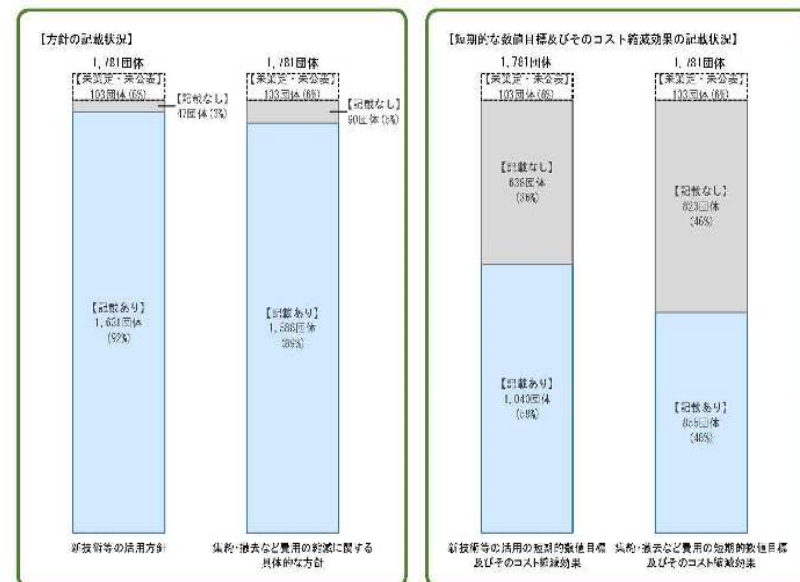
※2024 年 3 月 31 日時点(国土交通省道路局調べ)

※地方公共団体(1,781 団体)の内訳は、都道府県:47 団体、政令市:20 団体、市区町村:1,714 団体(特別区含む)

○個別施設計画の記載内容

- 2023 年度末時点で、橋梁の長寿化修繕計画(個別施設計画)に「新技術等の活用方針」を記載している地方公共団体は 1,631 団体であり、「集約・撤去など費用の縮減に関する具体的な方針」を記載している地方公共団体は 1,588 団体です。
- 「短期的な数値目標及びそのコスト縮減効果」を記載している地方公共団体は、「新技術等の活用」で 1,040 団体、「集約・撤去」で 855 団体です。

【橋梁(2m以上)の長寿化修繕計画(個別施設計画)における記載状況(地方公共団体)】



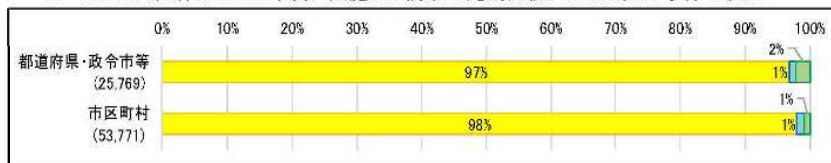
※2024 年 3 月 31 日時点(国土交通省道路局調べ)

※地方公共団体(1,781 団体)の内訳は、都道府県:47 団体、政令市:20 団体、市区町村:1,714 団体(特別区含む)

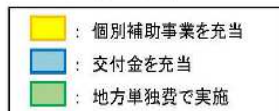
(7) 道路メンテナンス事業補助の活用状況

- 地方公共団体が実施した橋梁の定期点検費用について、2020 年度に創設された道路メンテナンス事業補助制度を活用した割合は、都道府県・政令市等で 97%、市区町村では 98%です。
- 修繕費用に道路メンテナンス事業補助制度を活用した割合は、都道府県・政令市等で 89%、市区町村では 85%です。

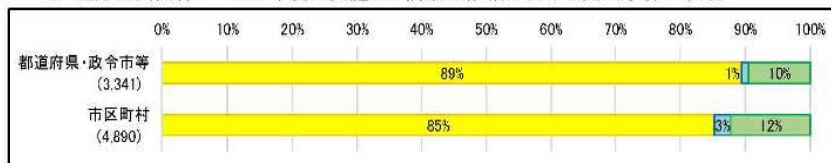
○ 地方公共団体が 2023 年度に実施した橋梁の定期点検における充当予算の状況



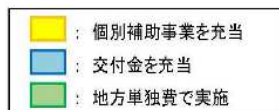
※2023 年度に委託点検を実施した橋梁のうち、報告があった 79,540 橋を対象に橋梁数ベースで算出。



○ 地方公共団体が 2023 年度に実施した橋梁の修繕における充当予算の状況



※2023 年度に修繕を実施した橋梁のうち、報告があった 8,231 橋を対象に橋梁数ベースで算出。



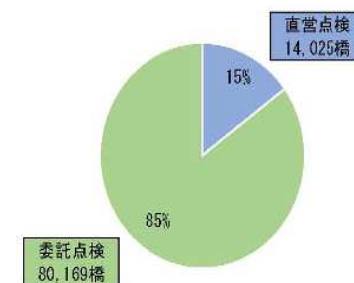
(8) 点検実施者の保有資格等

- 2023 年度に地方公共団体が実施した橋梁点検のうち、職員自らが点検（直営点検）を実施した割合は 15%となっています。
- 直営点検による点検実施者のうち、国土交通省の実施する研修※1を受講又は資格※2を保有している割合は 47%、研修・資格ともになしは 53%となっています。
- 委託点検による点検実施者のうち、国土交通省の実施する研修を受講又は資格を保有している割合は 95%、研修・資格ともになしは 5%となっています。
- 点検の精度向上するためには研修受講、資格の活用など点検技術の向上を図る必要があります。

※1 研修: 国土交通省が実施する道路管理実務者研修又は道路橋メンテナンス技術講習

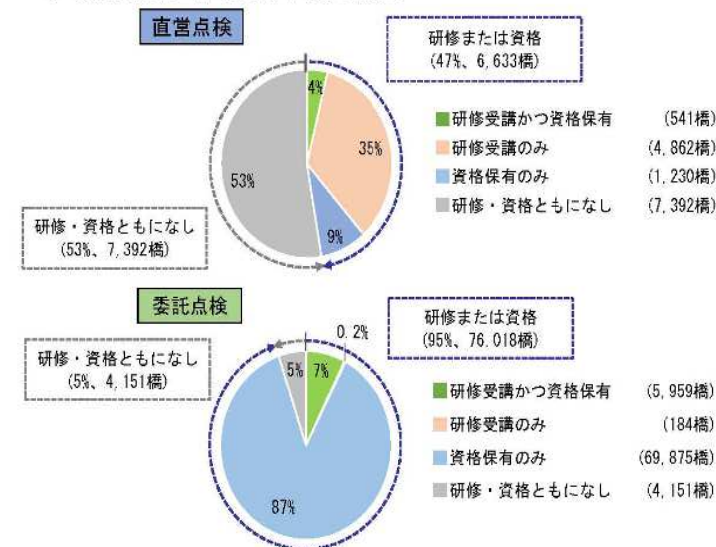
※2 資格: 技術士または国土交通省登録技術資格(公共工事に関する調査及び設計等の品質確保に資する技術者資格登録規定に基づく国土交通省登録資格)

○ 2023 点検実施橋梁の直営点検と委託点検の割合



※2023 年度に点検を実施した施設のうち、報告があった 94,194 橋を対象に橋梁数ベースで算出。(下図も同様)

○ 点検実施者の保有資格や研修受講歴

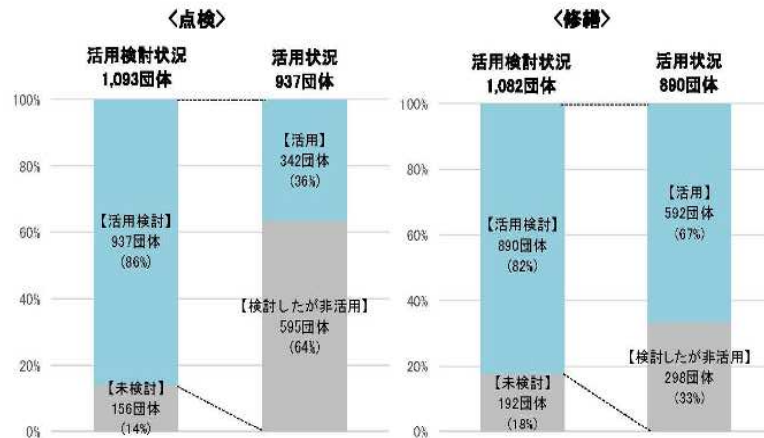


(9) 点検・修繕における新技術の活用検討・活用の状況

1) 橋梁

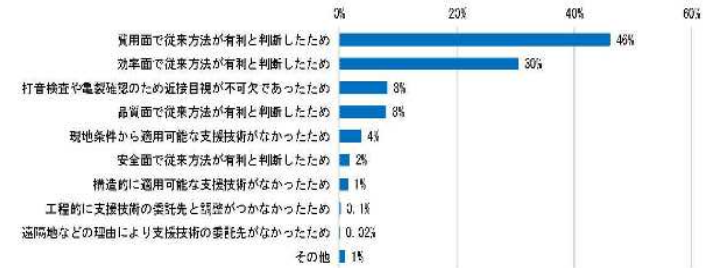
- 2023 年度の橋梁点検において、新技術の活用を検討した地方公共団体は 86%、そのうち活用した団体は 36%です。
- 2023 年度の橋梁修繕において、新技術の活用を検討した地方公共団体は 82%、そのうち活用した団体は 67%です。

○ 点検・修繕における新技術の活用状況(橋梁)

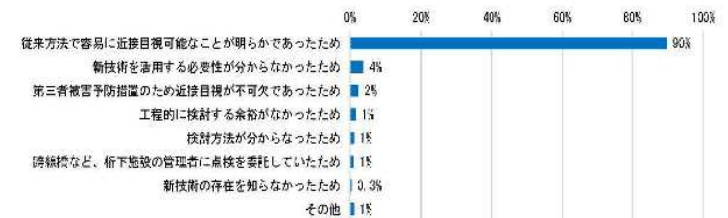


※2023 年度に点検を実施した地方公共団体のうち、報告があった 1,093 団体と、2023 年度に修繕を実施した地方公共団体のうち、報告があった 1,082 団体を対象に算出。

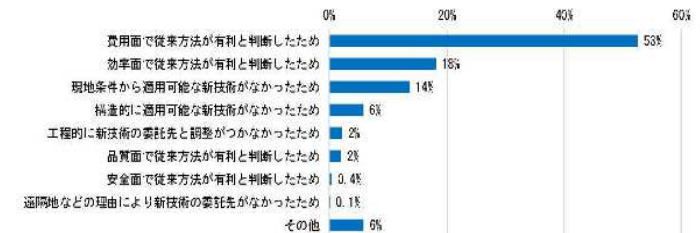
○ 新技術を活用しなかった理由(橋梁点検)



○ 新技術を検討しなかった理由(橋梁点検)



○ 新技術を活用しなかった理由(橋梁修繕)



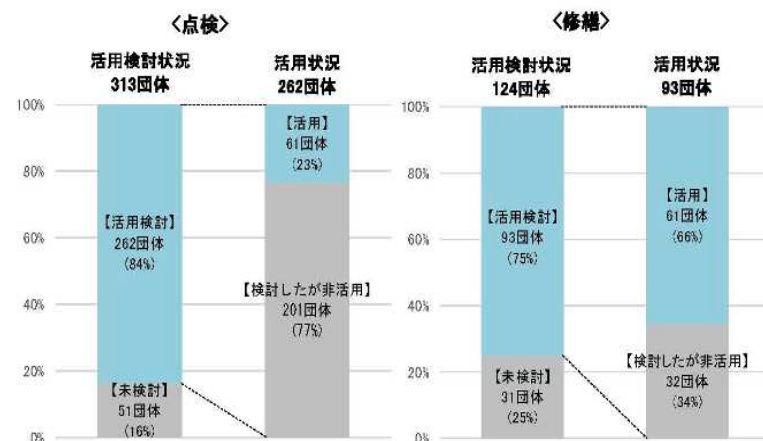
○ 新技術を検討しなかった理由(橋梁修繕)



2)トンネル

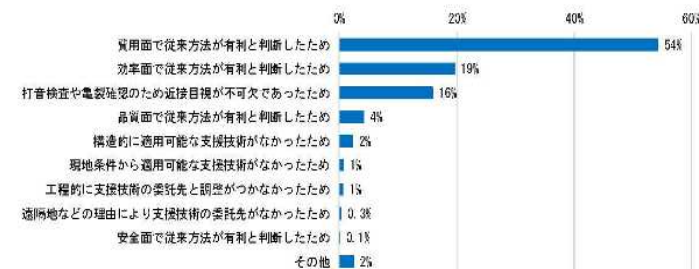
- 2023 年度のトンネル点検において、新技術の活用を検討した地方公共団体は 84%、そのうち活用した団体は 23%です。
- 2023 年度のトンネル修繕において、新技術の活用を検討した地方公共団体は 75%、そのうち活用した団体は 66%です。

○ 点検・修繕における新技術の活用状況(トンネル)

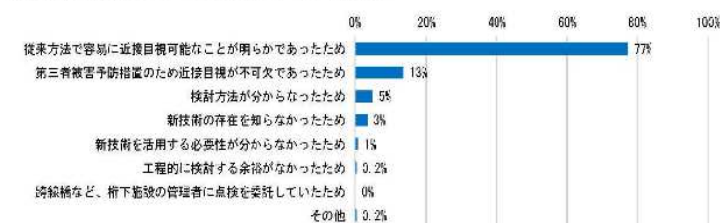


※2023 年度に点検を実施した地方公共団体のうち、報告があった 313 団体と、2023 年度に修繕を実施した地方公共団体のうち、報告があった 124 団体を対象に算出。

○ 新技術を活用しなかった理由(トンネル点検)



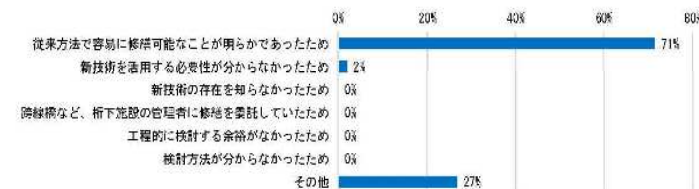
○ 新技術を検討しなかった理由(トンネル点検)



○ 新技術を活用しなかった理由(トンネル修繕)



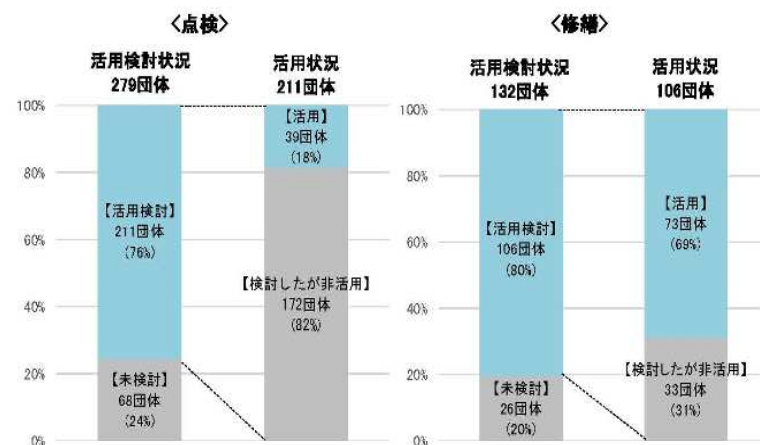
○ 新技術を検討しなかった理由(トンネル修繕)



3) 道路附属物等

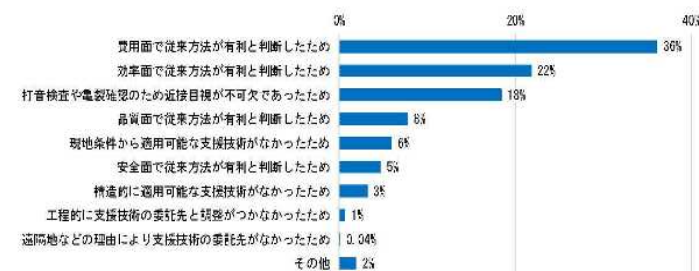
- 2023 年度の道路附属物等点検において、新技術の活用を検討した地方公共団体は 76%、そのうち活用した団体は 18%です。
- 2023 年度の道路附属物等修繕において、新技術の活用を検討した地方公共団体は 80%、そのうち活用した団体は 69%です。

○ 点検・修繕における新技術の活用状況(道路附属物等)

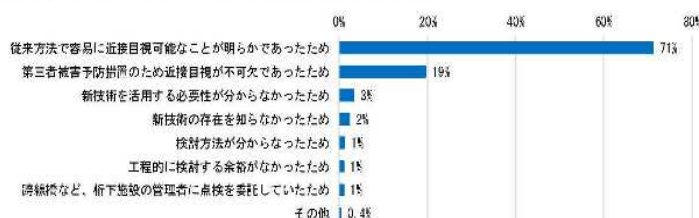


※2023 年度に点検を実施した地方公共団体のうち、報告があった 279 団体と、2023 年度に修繕を実施した地方公共団体のうち、報告があった 132 団体を対象に算出。

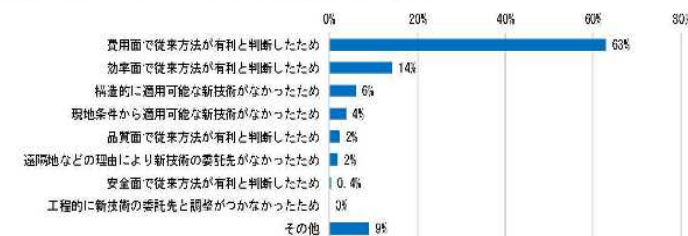
○ 新技術の活用をしなかった理由(道路附属物等点検)



○ 新技術の検討をしなかった理由(道路附属物等点検)



○ 新技術の活用をしなかった理由(道路附属物等修繕)



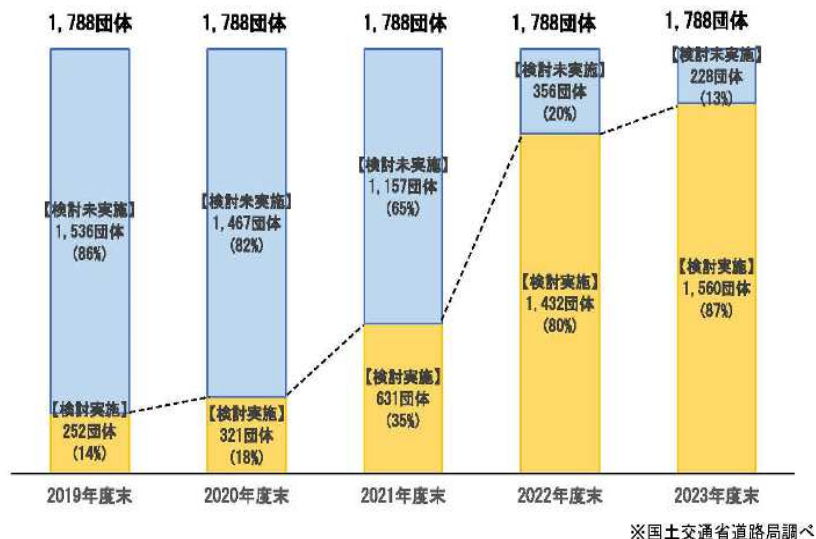
○ 新技術の検討をしなかった理由(道路附属物等修繕)



(10)集約・撤去・機能縮小等の検討状況

- 施設の集約・撤去等を検討した地方公共団体の割合は、2019年度末時点から増加し、2023年度末時点で約9割となっています。

○ 地方公共団体における施設の集約・撤去等の検討状況



(11)新技術活用事例及び集約・撤去事例集

- 地方公共団体における取組の一助となることを目的に、新技術活用事例や道路橋の集約・撤去事例集について道路局HPにて公開中。

○ 地方公共団体における新技術活用事例

(<https://www.mlit.go.jp/road/sisaku/yobohozen/pdf/chiho-katsuyo-jirei.pdf>)

(以下抜粋)



○ 道路橋の集約・撤去事例集

(<https://www.mlit.go.jp/road/sisaku/yobohozen/pdf/tekkyo-jirei.pdf>)

(以下抜粋)



※巻末資料

(1)道路附属物等の点検実施状況と点検結果の内訳

1)2巡目(2019～2023 年度)の点検実施状況(全道路管理者)

	点検対象 施設数 ※	点検実施状況				
		上段:点検実施数、下段:点検実施率				
		2019	2020	2021	2022	2023
道路附属物等	41,491	6,421	8,422	8,426	8,880	9,059
		15%	20%	20%	21%	22%
シェッド	3,566	485	813	677	830	709
		14%	23%	19%	23%	20%
大型カルバート	9,392	1,411	1,982	1,874	1,959	2,076
		15%	21%	20%	21%	22%
横断歩道橋_跨線橋以外	11,237	2,203	2,131	2,027	2,490	2,302
		20%	19%	18%	22%	20%
横断歩道橋_跨線橋	535	56	74	120	118	150
		10%	14%	22%	22%	28%
門型標識等	16,761	2,266	3,422	3,728	3,483	3,822
		14%	20%	22%	21%	23%

2024.3 末時点

※2024 年 3 月末時点での施設数のうち、供用後 5 年以内などを除いた施設数の合計

2)2巡目(2019～2023 年度)の点検結果
(全道路管理者)

	点検実施数	判定区分			
		上段:実数、下段:割合			
		I	II	III	IV
道路附属物等	41,208	14,490	21,730	4,971	17
		35%	53%	12%	0.04%
シェッド	3,514	315	2,074	1,124	1
		9%	59%	32%	0.03%
大型カルバート	9,302	4,000	4,934	368	0
		43%	53%	4%	—
横断歩道橋_跨線橋以外	11,153	2,359	6,421	2,366	7
		21%	58%	21%	0.1%
横断歩道橋_跨線橋	518	120	277	119	2
		23%	53%	23%	0.4%
門型標識等	16,721	7,696	8,024	994	7
		46%	48%	6%	0.04%

2024.3 末時点

(国)

	点検実施数	判定区分			
		上段:実数、下段:割合			
		I	II	III	IV
道路附属物等	12,071	3,006	7,109	1,954	2
		25%	59%	16%	0.02%
シェッド	733	84	407	242	0
		11%	56%	33%	—
大型カルバート	2,856	892	1,836	128	0
		31%	64%	4%	—
横断歩道橋_跨線橋以外	3,464	638	1,734	1,091	1
		18%	50%	31%	0.03%
横断歩道橋_跨線橋	45	11	25	9	0
		24%	56%	20%	—
門型標識等	4,973	1,381	3,107	484	1
		28%	62%	10%	0.02%

2024.3 末時点

(高速道路会社)

	点検実施数	判定区分 上段:実数、下段:割合			
		I	II	III	IV
道路附属物等	11,997	7,398 62%	4,328 36%	271 2%	0 —
シェッド	93	30 32%	43 46%	20 22%	0 —
大型カルバート	4,515	2,788 62%	1,669 37%	58 1%	0 —
横断歩道橋_跨線橋以外	49	9 18%	40 82%	0 —	0 —
横断歩道橋_跨線橋	0	0 —	0 —	0 —	0 —
門型標識等	7,340	4,571 62%	2,576 35%	193 3%	0 —

2024.3 末時点

(都道府県・政令市等)

	点検実施数	判定区分 上段:実数、下段:割合			
		I	II	III	IV
道路附属物等	14,066	3,356 24%	8,438 60%	2,261 16%	11 0.1%
シェッド	2,475	190 8%	1,488 60%	797 32%	0 —
大型カルバート	1,393	217 16%	1,041 75%	135 10%	0 —
横断歩道橋_跨線橋以外	5,964	1,267 21%	3,685 62%	1,008 17%	4 0.1%
横断歩道橋_跨線橋	162	38 23%	86 53%	37 23%	1 1%
門型標識等	4,072	1,644 40%	2,138 53%	284 7%	6 0.1%

2024.3 末時点

(地方公共団体)

	点検実施数	判定区分 上段:実数、下段:割合			
		I	II	III	IV
道路附属物等	17,140	4,086 24%	10,293 60%	2,746 16%	15 0.1%
シェッド	2,688	201 7%	1,624 60%	862 32%	1 0.04%
大型カルバート	1,931	320 17%	1,429 74%	182 9%	0 —
横断歩道橋_跨線橋以外	7,640	1,712 22%	4,647 61%	1,275 17%	6 0.1%
横断歩道橋_跨線橋	473	109 23%	252 53%	110 23%	2 0.4%
門型標識等	4,408	1,744 40%	2,341 53%	317 7%	6 0.1%

2024.3 末時点

(市区町村)

	点検実施数	判定区分 上段:実数、下段:割合			
		I	II	III	IV
道路附属物等	3,074	730 24%	1,855 60%	485 16%	4 0.1%
シェッド	213	11 5%	136 64%	65 31%	1 0.5%
大型カルバート	538	103 19%	388 72%	47 9%	0 —
横断歩道橋_跨線橋以外	1,676	445 27%	962 57%	267 16%	2 0.1%
横断歩道橋_跨線橋	311	71 23%	166 53%	73 23%	1 0.3%
門型標識等	336	100 30%	203 60%	33 10%	0 —

2024.3 末時点

3) 過年度の点検(2014～2023 年度)の判定区分
(全道路管理者)

	点検実施数	判定区分 上段:実数、下段:割合			
		I	II	III	IV
道路附属物等	41,458	14,543 35%	21,845 53%	5,053 12%	17 0.04%
シェッド	3,559	320 9%	2,095 59%	1,143 32%	1 0.03%
		4,009 43%	4,987 53%	383 4%	0 —
大型カルバート	9,379	2,378 21%	6,446 57%	2,403 21%	7 0.1%
横断歩道橋_跨線橋以外	11,234	121 23%	284 53%	124 23%	2 0.4%
横断歩道橋_跨線橋	531	7,715 46%	8,033 48%	1,000 6%	7 0.04%
門型標識等	16,755				

2024.3 末時点

(高速道路会社)

	点検実施数	判定区分 上段:実数、下段:割合			
		I	II	III	IV
道路附属物等	11,997	7,398 62%	4,328 36%	271 2%	0 —
シェッド	93	30 32%	43 46%	20 22%	0 —
		2,788 62%	1,669 37%	58 1%	0 —
大型カルバート	4,515	9 18%	40 82%	0 —	0 —
横断歩道橋_跨線橋以外	49	0 —	0 —	0 —	0 —
横断歩道橋_跨線橋	0	4,571 62%	2,576 35%	193 3%	0 —
門型標識等	7,340				

2024.3 末時点

(国)

	点検実施数	判定区分 上段:実数、下段:割合			
		I	II	III	IV
道路附属物等	12,076	3,010 25%	7,110 59%	1,954 16%	2 0.02%
シェッド	733	84 11%	407 56%	242 33%	0 —
		892 31%	1,837 64%	128 4%	0 —
大型カルバート	2,857	638 18%	1,734 50%	1,091 31%	1 0.03%
横断歩道橋_跨線橋以外	3,464	11 24%	25 56%	9 20%	0 —
横断歩道橋_跨線橋	45	1,385 28%	3,107 62%	484 10%	1 0.02%
門型標識等	4,977				

2024.3 末時点

(地方公共団体)

	点検実施数	判定区分 上段:実数、下段:割合			
		I	II	III	IV
道路附属物等	17,385	4,135 24%	10,407 60%	2,828 16%	15 0.1%
シェッド	2,733	206 8%	1,645 60%	881 32%	1 0.04%
		329 16%	1,481 74%	197 10%	0 —
大型カルバート	2,007	1,731 22%	4,672 61%	1,312 17%	6 0.1%
横断歩道橋_跨線橋以外	7,721	110 23%	259 53%	115 24%	2 0.4%
横断歩道橋_跨線橋	486	1,759 40%	2,350 53%	323 7%	6 0.1%
門型標識等	4,438				

2024.3 末時点

(都道府県・政令市等)

	点検実施数	判定区分 上段:実数、下段:割合			
		I	II	III	IV
道路附属物等	14,224	3,384 24%	8,517 60%	2,312 16%	11 0.1%
シェッド	2,513	193 8%	1,508 60%	812 32%	0 —
大型カルバート	1,440	219 15%	1,076 75%	145 10%	0 —
横断歩道橋_跨線橋以外	6,010	1,279 21%	3,697 62%	1,030 17%	4 0.1%
横断歩道橋_跨線橋	166	38 23%	89 54%	38 23%	1 1%
門型標識等	4,095	1,655 40%	2,147 52%	287 7%	6 0.1%

2024.3 末時点

(市区町村)

	点検実施数	判定区分 上段:実数、下段:割合			
		I	II	III	IV
道路附属物等	3,161	751 24%	1,890 60%	516 16%	4 0.1%
シェッド	220	13 6%	137 62%	69 31%	1 0.5%
大型カルバート	567	110 19%	405 71%	52 9%	0 —
横断歩道橋_跨線橋以外	1,711	452 26%	975 57%	282 16%	2 0.1%
横断歩道橋_跨線橋	320	72 23%	170 53%	77 24%	1 0.3%
門型標識等	343	104 30%	203 59%	36 10%	0 —

2024.3 末時点

(2) 緊急輸送道路及び跨線橋等の点検結果の内訳

1) 2巡目(2019～2023 年度)の点検実施状況(全道路管理者)

	管理施設数	点検対象 施設数 ※	点検実施状況 上段:点検実施数、下段:点検実施率				
			2019	2020	2021	2022	2023
緊急輸送道路を 跨ぐ跨道橋	16,426	16,020	3,159 20%	3,445 22%	3,306 21%	3,080 19%	2,918 18%
跨線橋	9,783	9,646	1,577 16%	1,926 20%	2,118 22%	2,044 21%	1,873 19%
緊急輸送道路を 構成する橋梁	128,792	127,056	25,254 20%	29,192 23%	27,843 22%	23,574 19%	20,787 16%
(参考)全橋梁	729,333	724,429	114,151 16%	154,427 21%	169,867 23%	160,915 22%	120,504 17%

2024.3 末時点

※2024 年 3 月末時点での施設数のうち、供用後 5 年以内などを除いた施設数の合計

2) 2巡目(2019～2023 年度)の点検結果
(全道路管理者)

	点検実施数 ※	判定区分 上段:実数、下段:割合			
		I	II	III	IV
緊急輸送道路を跨ぐ跨道橋	15,908	3,944 25%	10,050 63%	1,908 12%	6 0.04%
跨線橋	9,538	1,700 18%	5,680 60%	2,144 22%	14 0.1%
緊急輸送道路を構成する橋梁	126,650	45,766 36%	67,960 54%	12,902 10%	22 0.02%
(参考)全橋梁	719,864	301,661 42%	362,458 50%	55,172 8%	573 0.1%

2024. 3 末時点

(国)

	点検実施数 ※	判定区分 上段:実数、下段:割合			
		I	II	III	IV
緊急輸送道路を跨ぐ跨道橋	2,344	993 42%	1,089 46%	260 11%	2 0.1%
跨線橋	1,712	459 27%	791 46%	460 27%	2 0.1%
緊急輸送道路を構成する橋梁	32,583	18,353 56%	11,070 34%	3,142 10%	18 0.1%
(参考)全橋梁	38,347	21,942 57%	12,689 33%	3,695 10%	21 0.1%

2024. 3 末時点

(高速道路会社)

	点検実施数 ※	判定区分 上段:実数、下段:割合			
		I	II	III	IV
緊急輸送道路を跨ぐ跨道橋	5,445	669 12%	4,022 74%	754 14%	0 —
跨線橋	1,100	61 6%	827 75%	212 19%	0 —
緊急輸送道路を構成する橋梁	23,920	5,176 22%	16,070 67%	2,674 11%	0 —
(参考)全橋梁	24,117	5,222 22%	16,181 67%	2,714 11%	0 —

2024. 3 末時点

(地方公共団体)

	点検実施数 ※	判定区分 上段:実数、下段:割合			
		I	II	III	IV
緊急輸送道路を跨ぐ跨道橋	8,119	2,282 28%	4,939 61%	894 11%	4 0.05%
跨線橋	6,726	1,180 18%	4,062 60%	1,472 22%	12 0.2%
緊急輸送道路を構成する橋梁	70,147	22,237 32%	40,820 58%	7,086 10%	4 0.01%
(参考)全橋梁	657,400	274,497 42%	333,588 51%	48,763 7%	552 0.1%

2024. 3 末時点

(都道府県・政令市等)

	点検実施数 ※	判定区分 上段:実数、下段:割合			
		I	II	III	IV
緊急輸送道路を跨ぐ跨道橋	3,470	844 24%	2,219 64%	407 12%	0 —
跨線橋	3,554	598 17%	2,147 60%	807 23%	2 0.06%
緊急輸送道路を構成する橋梁	65,627	20,359 31%	38,461 59%	6,804 10%	3 0.005%
(参考)全橋梁	186,115	68,371 37%	100,680 54%	17,032 9%	32 0.02%

2024. 3 末時点

(市区町村)

	点検実施数 ※	判定区分 上段:実数、下段:割合			
		I	II	III	IV
緊急輸送道路を跨ぐ跨道橋	4,649	1,438 31%	2,720 59%	487 10%	4 0.1%
跨線橋	3,172	582 18%	1,915 60%	665 21%	10 0.3%
緊急輸送道路を構成する橋梁	4,520	1,878 42%	2,359 52%	282 6%	1 0.02%
(参考)全橋梁	471,285	206,126 44%	232,908 49%	31,731 7%	520 0.1%

2024. 3 末時点

※2024 年 3 月末時点での施設数のうち、供用後 5 年以内などを除いた施設数の合計

3) 過年度の点検(2014～2023 年度)の判定区分
(全道路管理者)

	点検実施数 ※	判定区分 上段:実数、下段:割合			
		I	II	III	IV
緊急輸送道路を跨ぐ跨道橋	16,013	3,986 25%	10,101 63%	1,920 12%	6 0.04%
跨線橋	9,630	1,709 18%	5,716 59%	2,191 23%	14 0.1%
緊急輸送道路を構成する橋梁	126,945	45,840 36%	68,101 54%	12,982 10%	22 0.02%
(参考)全橋梁	723,552	303,163 42%	363,926 50%	55,820 8%	643 0.1%

2024.3 末時点

(国)

	点検実施数 ※	判定区分 上段:実数、下段:割合			
		I	II	III	IV
緊急輸送道路を跨ぐ跨道橋	2,344	993 42%	1,089 46%	260 11%	2 0.1%
跨線橋	1,714	459 27%	791 46%	462 27%	2 0.1%
緊急輸送道路を構成する橋梁	32,595	18,355 56%	11,073 34%	3,149 10%	18 0.1%
(参考)全橋梁	38,362	21,945 57%	12,693 33%	3,703 10%	21 0.1%

2024.3 末時点

(高速道路会社)

	点検実施数 ※	判定区分 上段:実数、下段:割合			
		I	II	III	IV
緊急輸送道路を跨ぐ跨道橋	5,445	669 12%	4,022 74%	754 14%	0 —
跨線橋	1,100	61 6%	827 75%	212 19%	0 —
緊急輸送道路を構成する橋梁	23,920	5,176 22%	16,070 67%	2,674 11%	0 —
(参考)全橋梁	24,117	5,222 22%	16,181 67%	2,714 11%	0 —

2024.3 末時点

(地方公共団体)

	点検実施数 ※	判定区分 上段:実数、下段:割合			
		I	II	III	IV
緊急輸送道路を跨ぐ跨道橋	8,224	2,324 28%	4,990 61%	906 11%	4 0.05%
跨線橋	6,816	1,189 17%	4,098 60%	1,517 22%	12 0.2%
緊急輸送道路を構成する橋梁	70,430	22,309 32%	40,958 58%	7,159 10%	4 0.01%
(参考)全橋梁	661,073	275,996 42%	335,052 51%	49,403 7%	622 0.1%

2024.3 末時点

(都道府県・政令市等)

(都道府県・政令市等)	点検実施数 ※	判定区分 上段:実数、下段:割合			
		I	II	III	IV
緊急輸送道路を跨ぐ跨道橋	3,546	874 25%	2,262 64%	410 12%	0 —
跨線橋	3,597	603 17%	2,166 60%	826 23%	2 0.1%
緊急輸送道路を構成する橋梁	65,888	20,425 31%	38,587 59%	6,873 10%	3 0.005%
(参考)全橋梁	187,022	68,666 37%	101,129 54%	17,190 9%	37 0.02%

2024.3 末時点

(市区町村)

	点検実施数 ※	判定区分 上段:実数、下段:割合			
		I	II	III	IV
緊急輸送道路を跨ぐ跨道橋	4,678	1,450 31%	2,728 58%	496 11%	4 0.1%
跨線橋	3,219	586 18%	1,932 60%	691 21%	10 0.3%
緊急輸送道路を構成する橋梁	4,542	1,884 41%	2,371 52%	286 6%	1 0.02%
(参考)全橋梁	474,051	207,330 44%	233,923 49%	32,213 7%	585 0.1%

2024.3 末時点

※2024 年 3 月末時点での施設数のうち、供用後 5 年以内などを除いた施設数の合計

(3) 橋梁・トンネル・道路附属物等の判定区分Ⅳの施設リスト(2014～2023 年度)

【橋梁】

○ 判定区分Ⅳの橋梁の措置内容（完了済・予定のものを含む）

管理者	計	管理中				撤去・ 廃止済 ※2	計	うち措置未完了 (下記リスト参照)
		修繕・ 架替	機能 転換 ※1	対応 未定	撤去・ 廃止			
国土交通省	41	41	0	0	0	3	44	14
都道府県・ 政令市等	60	47	0	2	11	9	69	25
市区町村	875	525	6	115	229	241	1,116	487
合計	976 (79%)	613 (50%)	6 (0.5%)	117 (10%)	240 (20%)	253 (21%)	1,229	526 (43%)

※1:機能転換とは、既存の施設を、他の施設として利用すること。

※2:判定後、撤去・廃止により管理施設から除外されたもの。

※高速道路会社管理の橋梁は健全度Ⅳの施設なし。

○ 国土交通省(14 橋)

管理者	施設名	路線名	建設 年度	点検 実施 年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2024.3 月末時点)
関東地方 整備局	くまがや 2号 熊谷2号	国道 17 号	1955	2021	床版の腐食	補修板を設置	修繕中
関東地方 整備局	きよたかきりしりく 重丸大橋(下り)	国道 298 号	1992	2021	支承本体のゆるみ・脱落	仮受け材の設置(通行可能)	修繕中
関東地方 整備局	たけしやあおはし のぼ 長野大橋(上り)	国道 298 号	1979	2020	支承の変形・欠損	仮受け材の設置(通行可能)	修繕中
関東地方 整備局	あさぎはしとくはらうきうきう 砂田橋(国道橋下り)	国道 127 号	1970	2023	①主桁の腐食、防食機能の劣化、変形・欠損 ②支承本体、アンカーボルトの腐食、支承部の機能障害	歩行者通行止(反対側車線の歩道に迂回)	修繕中
関東地方 整備局	あけはし(あけはし) のぼ 淡路橋側橋(上り)	国道 127 号	1972	2020	床版・横桁の腐食	損傷箇所上面の路面にコンパネを設置	修繕中
関東地方 整備局	あさぎはし、あおはし 谷津澤橋(1)山側	国道 357 号	1977	2023	①主桁の腐食、防食機能の劣化、変形・欠損 ②橋台その他の腐食、防食機能の劣化、変形・欠損	歩道部通行止(迂回路有)	架替中

管理者	施設名	路線名	建設 年度	点検 実施 年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2024.3 月末時点)
関東地方 整備局	あさぎはし、あおはし 谷津澤橋(2)山側	国道 357 号	1977	2023	①主桁の腐食、防食機能の劣化、変形・欠損 ②橋台その他の腐食、防食機能の劣化、変形・欠損	歩道部通行止(迂回路有)	架替中
関東地方 整備局	あさぎはし、あおはし 谷津澤橋(3)山側	国道 357 号	1977	2023	①主桁の腐食、防食機能の劣化、変形・欠損 ②橋台その他の腐食、防食機能の劣化、変形・欠損	歩道部通行止(迂回路有)	架替中
関東地方 整備局	こさぎはし のぼ 小笠橋(上り)	国道 16 号	1974	2021	主桁の下フランジに亀裂	仮受け材の設置(通行可能)	修繕中
関東地方 整備局	こさぎはし、くさ 小笠橋(下り)	国道 16 号	1974	2021	主桁の下フランジに亀裂	仮受け材の設置(通行可能)	修繕中
関東地方 整備局	あさぎはし、あおはし 上諏訪第4橋	国道 20 号	1956	2021	橋台の洗刷	仮受け材の設置(通行可能)	修繕中
関東地方 整備局	あさぎはし、あおはし 小倉沢橋側道橋	国道 19 号	1982	2021	床版の変形・欠損	損傷箇所上面の路面にコンパネを設置	修繕中
関東地方 整備局	あさぎはし、あおはし 山崎路 3 号側道橋の上り	国道 19 号	1979	2021	床版の変形・欠損	損傷箇所上面の路面にコンパネを設置	修繕中
北陸地方 整備局	あさぎはし、あおはし 龍生地下横断歩道	国道 8 号	1972	2023	上部構造等のうき・ひびわれ・鉄筋露出	仮設材を設置して、全面通行止	修繕中

○ 都道府県・政令市等(25 橋)

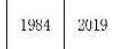
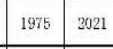
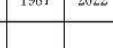
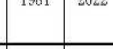
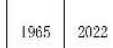
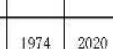
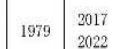
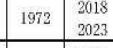
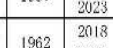
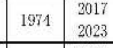
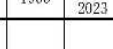
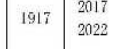
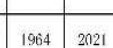
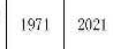
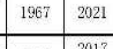
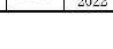
管理者	施設名	路線名	建設 年度	点検 実施 年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2024.3 月末時点)
仙台市	築山橋	町道 若石・ 秋保線	不明	2021	主桁の腐食による 板厚減少、桁 にたわみ	通行止	架替中
仙台市	笠巻橋	市道サイカ チ沼線	1988	2019	橋台のひびわれ、 変形・欠損、 洗掘など	全面通行止	架替予定
山形県	長瀬橋	県道比子八 幡線	1981	2020	主桁、横桁、支承 が全体的に腐食・ 欠損	仮受け材の設置 (通行規制 (車両))	修繕中
栃木県	新橋	県道 182 号 線	1923	2021	床版に鉄筋露出、 うき、主桁・支承 には腐食、断面 欠損(穴あき等)	桁端部補強設置 (通行可能)	架替中
千葉県	無名橋(清久井18)	市道青野原 9 号	1960	2021	床版に断面欠損 を伴う腐食、鋼材 部全体に腐食	仮設を設置し 全面通行止	撤去予定
新潟市	無名橋(506)	市区町村道 (その他)新潟 1-460 号 線	不明	2021	橋の機能に支障	全面通行止	撤去予定
長野県	奈良井新橋	県道姥神奈 長井線	1977	2020	張出床版、横桁 の損傷	全面通行止	撤去中
長野県	温橋	県道戸隠篠 ノ井線	1974	2023	主桁の著しい腐 食	仮設を設置し 交通開放	架替予定
群馬県	島川橋	市道権尾岩 野線	1956	2022	橋台背面土砂流失 及び木炭炭板の 腐朽	全面通行止	廃止予定
浜松市	月橋	市道天竜仲 町山王線	1962	2022	床版及び橋脚の 変形・欠損	撤去(前面通 行止)	架替予定
浜松市	エンダク沢橋	市道水産向 島第 2 号線	不明	2015	床版の腐食及び 断面欠損	全面通行止	撤去予定
浜松市	引の田7号橋	市道水産小 和田引の田 線	不明	2015	主桁・防護柵の 腐食及び断面欠 損	全面通行止	撤去予定
浜松市	引の田11号橋	市道水産小 和田引の田 線	不明	2015	横桁の変形	全面通行止	撤去予定
和歌山県	(旧)日置川大橋	日置川すさ み線	不明	2016	主桁鉄筋の露 出、ゲルバー部 の隙間の異常、 橋脚の変形	全面通行止	撤去中
岡山市	10046橋	市道大元駅 前・二日市 町線	不明	2021	主鉄筋の露出	仮設材設置 (通行可能)	架替予定
岡山市	10937橋	市道青江38 号線	不明	2022	R/C 床版と石橋の 混合橋で、約 30 cm の石橋に折れ が発生	仮設材設置	架替予定
岡山市	41135橋	市道泉出25 号線	不明	2022	下部上に大きな ひび割れ	重点的な修 繕・点検	架替中
岡山市	小倉橋	市道建部町 小倉 3 号線	1964	2021	主桁のひびわれ	仮受材設置 (通行可能)	架替中

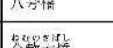
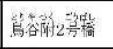
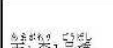
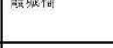
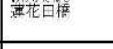
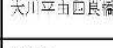
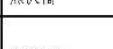
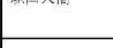
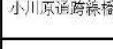
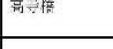
管理者	施設名	路線名	建設 年度	点検 実施 年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2024.3 月末時点)
北九州市	跡生川1号橋	市道合馬 26 号線	1961	2021	主桁の腐食、床 版の腐食、変形・ 欠損、沈下	全面通行止	架替中
福岡市	無名橋50200	県道飯塚金 武線	1987	2023	橋台の洗掘、沈 下等の損傷	車両通行止	未定
長崎県	BOX	県道久賀島 線	1971	2023	主桁鉄筋の切断	全面通行止	廃止予定
熊本県	坪井川橋側道橋	国道 501 号	1986	2021	橋脚(鋼管杭)の 損傷	全面通行止、 仮受け台の設 置	架替中
宮崎県	錦野橋	県道 33 号 線	1998	2023	地すべりによる上 部工の変状あり	全面通行止	未定
鹿児島県	勇川橋(旧橋)	上屋久屋久 線	1961	2022	虚害による激しい 劣化が進行して いる。	全面通行止	撤去中
鹿児島県	海橋	伊國道上西 之表橋線	1976	2019	主桁 PC 鋼線及 び鉄筋の破断	通行規制(片 側規制)	架替中

管理者	施設名	路線名	建設 年度	点検 実施 年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2024.3月末時点)
北九州市	あさひがわ 1号橋 藤生川1号橋	市道合馬 26 号線	1961	2021	主桁の腐食、床 版の腐食、変形・ 欠損、沈下	全面通行止	架替中
福岡市	あまいまや 無名橋50200	県道飯塚金 武線	1987	2023	橋台の洗掘、沈 下等の損傷	車両通行止	未定
長崎県	BOX	県道久賀島 線	1971	2023	主桁鉄筋の破断	全面通行止	廃止予定
熊本市	つばき川橋脚道橋 呼井川橋脚道橋	国道 501 号	1986	2021	橋脚(鋼管葺)の 損傷	全面通行止、 仮受け台の設 置	架替中
宮崎県	とりもとの 峰野橋	県道 33 号 線	1998	2023	地すべりによる上 部工の変状あり	全面通行止	未定
鹿児島県	おたけがた かわたけ 芳川橋(旧橋)	上屋久屋久 線	1961	2022	塩害による激しい 劣化が進行して いる。	全面通行止	撤去中
鹿児島県	へたけの 湊橋	伊国国上四 之表港線	1976	2019	主桁 PC 鋼線及 び鉄筋の破断	通行規制(片 側規制)	架替中

○ 市区町村(487 橋)

管理者	施設名	路線名	建設 年度	点検 実施 年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2024.3月末時点)
函館市 (北海道)	おしろがわほろまき 日浦川歩道橋	市道 日浦 3 号線	1985	2023	主桁、支承等の 腐食など	単管等の設置 (全面通行止)	未定
函館市 (北海道)	サイロ橋	市道尾札部 中央1号線	1938	2023	主桁ひびわれ、 洗掘など	侵入防止柵の 設置措置(全 面通行止)	未定
函館市 (北海道)	とどめき橋	市道尾札部 中央1号線	1970	2023	下部ひびわれ、 支承破断など	侵入防止柵の 設置措置(全 面通行止)	未定
釧路市 (北海道)	いしほ 現橋	市道風通別 馬主米線	1930	2015 2020	主桁の断面欠損	全面通行止	廃止予定
釧路市 (北海道)	ポンチノミ橋	市道風通別 馬主米線	1980	2014 2019	主桁の破断・腐 食、床版の抜け 落ち、橋台の変 形・腐食	全面通行止	廃止予定
釧路市 (北海道)	もろきり 乳香橋	市道風通別 馬主米線	1958	2014 2019	防護柵の破断・ 橋台の鉄筋露出	全面通行止	廃止予定
夕張市 (北海道)	おべの 大黒橋	市道登川住 宅線	1960	2014 2023	主桁・下部構造・ 地盤 鉄筋露出	全面通行止	未定
留萌市 (北海道)	おしろと ぐり 大和日6号通り1号 橋	市道大和田 6号通り	1968	2022	下部工の洗掘	通行止による 通行規制を実 施	未定
苫小牧市 (北海道)	やまの ぐり 勇私1号橋	市道沼ノ端 西2条線	1953	2020	主桁のうき・剥離・ 鉄筋露出	全面通行止	修繕中
稚内市 (北海道)	おほほろがた 港歩道橋	市道港歩道 橋通	1978	2021	防護柵基部の腐 食(断面欠損)	防護柵へのあ て板(通行可 能)	修繕中
稚内市 (北海道)	おほほろがた 港跡線橋	市道港 3 条 通	1964	2021	支承の垂直面の 損傷による落橋 の危険性	全面通行止	修繕中
紋別市 (北海道)	おしろ 重橋	市道中立平 上古丹線	1965	2018 2023	橋台の洗掘	全面通行止	未定
紋別市 (北海道)	おしろ 4線橋	市道路得 4 線	1978	2023	主桁等の腐食	全面通行止	未定
士別市 (北海道)	おしろ 忠橋	市道学田不 動公園線	1980	2017	床板(木材)の抜 け落ち	全面通行止	撤去中
名寄市 (北海道)	おしろ 18線橋	市道18線	1960	2017 2021	床板ひび割れ、 橋脚のコンクリ ート剥落、鉄筋露出	全面通行止	修繕中
三笠市 (北海道)	おしろ 日産橋	市道桂沢 6 号線	1952	2017 2022	主桁(鋼材)腐 食、床板の抜け 落ち、鉄筋露出、 支承腐食	全面通行止	撤去予定
砂川市 (北海道)	やまの 山本橋	市道川沿通 り	1968	2022	主桁腐食、横桁 腐食、床板変形・ 欠損、支承腐食	通行止	撤去予定
富良野市 (北海道)	いさか 日登橋	市道山部西 1号線	1983	2022	下部構造の洗掘	上部工仮支材 を設置し 2023 月 10 月末から 交通解放	架替予定
当別町 (北海道)	おしろ 炭鉱の沢橋	町道炭鉱の 沢線	1976	2017 2022	枕高礫の折損	全面通行止	廃止予定

管理者	施設名	路線名	建設年度	点検実施年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2024.3月末時点)
松前町 (北海道)	 大沢1号橋	町道松前温泉通り線	1984	2019	下部工洗理による橋台橋脚の沈下・移動・傾斜(損傷)	全面通行止	撤去予定
木古内町 (北海道)	 左女川人道橋	町道木古内2線	1975	2021	上部工及び支承損傷	通行規制(車両)	撤去予定
木古内町 (北海道)	 左女川跨線人道橋	町道木古内2線	1987	2022	上部工及び支承損傷	全面通行止	撤去予定
上川町 (北海道)	 メノコ橋	町道清川陸万2号線	1981	2022	主桁が経年劣化により脱落し、路盤の一部が抜け落ち	全面通行止	修繕予定
上川町 (北海道)	 八巻橋	町道東雲朝日線	1965	2022	下部工前面の護岸部に洗堀による損傷が見られ、護岸前面の土砂の吸出しがある	全面通行止	修繕予定
苫小牧市 (北海道)	 中島公園橋	村道中島公園線	1974	2020	主桁、横桁の変形・床版の欠損	全面通行止	修繕中
中川町 (北海道)	 橋本橋	町道中川5号線	1979	2017 2022	橋台洗理による傾斜	チェーンゲートによる通行止措置	撤去予定
小平町 (北海道)	 滝生橋	町道親和線	1972	2018 2023	床版の腐食	全面通行止	修繕中
小平町 (北海道)	 金沢橋	町道川上本流線	1967	2018 2023	橋台の洗理	全面通行止	修繕予定
小平町 (北海道)	 潜水橋	町道川上本流線	1962	2018 2023	橋台の洗理	全面通行止	修繕中
初山別村 (北海道)	 紅橋	村道風連別南線	1974	2017 2023	下部構造の洗掘	全面通行止	撤去予定
初山別村 (北海道)	 歌蔵別橋	村道共成線	1963	2017 2023	主桁の腐食	全面通行止	撤去予定
浜頓別町 (北海道)	 クツチャロ大橋	町道浜頓別自動車道1号線	1917	2017 2022	主桁、対傾構、支保に板厚減少を伴う著しい腐食、床版のひび割れ、下部工の洗掘	経管パイプによる出入り口封鎖	未定
遠軽町 (北海道)	 大黒沢6号橋	町道大黒沢線	1964	2021	主桁のひびわれ、欠損	全面通行止	未定
西興部村 (北海道)	 中興橋	村道中興部六興線道路	1935	2019	橋脚底板下面の露出、横桁のひび割れ、橋台ウィングの新裂、防護柵の著しい欠損・破断	全面通行止	撤去予定
厚岸町 (北海道)	 宮光橋	町道郷舞豊丘線	1971	2021	パイレンベン橋台の高機杭のせん断	仮設材による落橋防止措置(通行可能)	架替中
厚岸町 (北海道)	 高丘橋	町道高丘本線	1967	2021	桁端部の欠損 橋台下部の洗掘	全面通行止	架替予定
新冠町 (北海道)	 紅茶橋	町道東川2号線	1965	2017 2022	橋台の傾斜	全面通行止	廃止予定

管理者	施設名	路線名	建設年度	点検実施年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2024.3月末時点)
新ひだか町 (北海道)	 久遠3号橋	町道歌音久遠沢線	1978	2021	主桁の腐食、床版に破断・変形・剥落ち、舗装のむだら剥れ	全面通行止	未定
青更町 (北海道)	 共進橋	町道中青更23号	1969	2019	支保の橋脚陥落	応急修繕(通行可能)	修繕中
犀川町 (北海道)	 八号橋	奥然別映線	1965	2017 2022	橋座の剥離・鉄筋露出	全面通行止	未定
犀川町 (北海道)	 合歓六橋	奥然別映線	1973	2022	橋台背面の洗掘	全面通行止	未定
新得町 (北海道)	 新内橋	町道北新得東線	1990	2018 2021	落橋	全面通行止	廃止予定
弟子屈町 (北海道)	 美農里橋	町道美農里橋線	1962	2022	床版の腐食、橋面木材の腐死	平成23年度より通行止	廃止予定
八戸市 (青森県)	 金浜跨線橋	大湊金浜線	1968	2020	主桁下至のはく離・鉄筋露出	仮設材を設置し車線規制	架替中
十和田市 (青森県)	 鳥谷附2号橋	鳥谷附有備線	1950	2022	下部工の剥離、鉄筋露出	全面通行止	修繕予定
十和田市 (青森県)	 猿倉橋	銀倉線	不明	2018 2023	主桁、床版の剥離や鉄筋露出、下部工のひび割れ、断面欠損	通行止、仮橋設置	架替中
三沢市 (青森県)	 天ヶ森1号橋	市道天ヶ森1号線	1977	2021	コンクリート部材にはく離・鉄筋露出、支承に変形・欠損	車両通行止(歩行者通行可)	未定
むつ市 (青森県)	 巖城橋	野平2号線	1970	2021	主桁、床版にはく離・鉄筋露出、橋台胸壁にひびわれ	バリケード設置による全線通行止	修繕中
つがる市 (青森県)	 蓮花日橋	丸山蓮花田線	1978	2021	鋼管杭の腐食による落橋	バリケード及びガードマン配置	架替中
今別町 (青森県)	 瀬替橋	堤替線	1970	2022	主桁及び支保の腐食、橋脚のはく離・ひび割れ	全面通行止	修繕予定
今別町 (青森県)	 六川平田田長橋	市田長川線	1970	2022	主桁及び支保の腐食、床版のはく離・鉄筋露出	全面通行止	修繕予定
大鰐町 (青森県)	 粗沢橋	虹貝津川線	1963	2021	床版の鉄筋破断、損傷	通行止	架替予定
大鰐町 (青森県)	 錦山大橋	錦石森山線	1974	2021	支承サイドブロックの損傷	サイドブロック機能を補充するため、仮設材の設置	修繕予定
東北町 (青森県)	 小川原渡り橋	町道535号線	1967	2020	主桁の腐食、板厚減少、断面欠損	バリケード等の設置	架替中
五戸町 (青森県)	 高寺橋	町道豊間内地蔵平線	1978	2023	床版のはく離・鉄筋露出(工事・中絶中)	片側規制	修繕予定
日子町 (青森県)	 1号橋	新田黒森線	1986	2020	コンクリート部材のはく離・鉄筋露出、逆巻石灰	通行規制(2c)	架替中

管理者	施設名	路線名	建設 年度	点検 実施 年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2024.3月末時点)
田子町 (青森県)	2号橋	新田黒森線	1986	2020	コンクリート部材のはく離・鉄筋露出、遊離石灰	通行規制(2)	架替中
大船渡市 (岩手県)	白木沢橋	市道白木沢橋線	1960	2021	橋台背面が陥没	全面通行止	未定
久慈市 (岩手県)	止滝橋	市道沼袋線	1969	2020	床版に剥離・鉄筋露出、格子状ひびわれ、下部工の断面欠損	全面通行止	撤去中
一関市 (岩手県)	下中山1号橋	市道下白田16号線	不明	2022	主桁の欠損、床版の流出、舗装の抜け落ち	全面通行止	未定
二戸市 (岩手県)	青岩橋	市道青岩線	1935	2018	主桁支点部・鋼製橋脚基部の断面欠損	仮設材を設置(通行止)	撤去予定
奥州市 (岩手県)	天上橋	市道天土線	1954	2014 2019	橋台の変形欠損、橋脚の洗掘	全面通行止	撤去予定
奥州市 (岩手県)	下鴨ヶ原橋	市道梨ノ木線	1976	2014 2019	床版のひびわれ、剥離、鉄筋露出	全面通行止	撤去予定
気仙沼市 (宮城県)	夏焼橋	市道上東側根上西側線	不明	2020	木橋上部の腐朽	全面通行止	撤去予定
名取市 (宮城県)	五社橋	市道笠島川内線	1971	2021	主桁の剥離・鉄筋露出	仮設迂回路を設け全面通行止	廃止予定
湯沢市 (秋田県)	川井橋	市道中山・小沢ヶ沢線	1966	2014 2019 2023	主桁、横桁、支承の腐食、床版下五、橋台、橋脚のひびわれ	全面通行止	撤去予定
湯沢市 (秋田県)	滝ノ原橋	市道小安沢滝ノ原線	1963	2023	主桁の剥離、橋脚の剥離・鉄筋露出、支承の腐食	全面通行止	修繕予定
湯沢市 (秋田県)	小安橋	市道寒沢線	1962	2014 2019 2023	主桁、横桁、支承の腐食、床版、橋台のひびわれ	全面通行止	撤去予定
湯沢市 (秋田県)	高前橋	市道高屋敷平館線	1963	2023	橋台、橋脚のひびわれ	全面通行止	撤去予定
鹿角市 (秋田県)	界橋	川原館線	1968	2022	橋台の損傷、橋台基礎の洗掘	全面通行止	架替中
鹿角市 (秋田県)	止道下夕橋	長野大湯線	不明	2022	橋脚基礎の洗掘	全面通行止	架替中
鹿角市 (秋田県)	沼平橋	高房2号線	1980	2023	橋脚の傾き	全面通行止及び仮設橋設置	架替予定
鹿角市 (秋田県)	喜兵平橋	喜兵平線	2004	2023	橋台の損傷	全面通行止	修繕予定
山形本荘市 (秋田県)	荒町2号橋	市道荒町4号線	1941	2020	橋台ひびわれ、欠損、床版の剥離、鉄筋露出	全面通行止	撤去予定
にかほ市 (秋田県)	903号橋	智中当・前日表線	1987	2023	鋼橋全体の腐食	全面通行止	未定
小坂町 (秋田県)	鹿倉橋	鹿倉線	1968	2023	主桁鋼材の露出、側面の剥離損傷	代替路線完成により廃止予定	廃止予定

管理者	施設名	路線名	建設 年度	点検 実施 年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2024.3月末時点)
上小阿仁村 (秋田県)	中山橋歩道橋	福島王沢沢線	1979	2021	道路橋の機能に支障、橋台に灰鉄鋼の洗掘	全面通行止	修繕予定
三陸町 (秋田県)	滝ノ沢2号橋	銀田地浦線	不明	2023	背面土砂の崩落により懸橋	全面通行止	未定
五城目町 (秋田県)	志地大橋	町道入通線	1987	2023	主桁の異常なたわみ	仮設材を設置し片側通行	修繕予定
五城目町 (秋田県)	志地橋	町道志地線	1958	2022	主桁・横桁の腐食、防食機能の劣化、橋台の剥離・欠損	全面通行止	撤去予定
五城目町 (秋田県)	大台橋	町道大台線	1969	2018 2023	主桁の著しい鉄筋露出	車両通行止	未定
尾花沢市 (山形県)	3-278-1号橋	市道Ⅲ-278号線	1976	2021	主桁のたわみ	全面通行止	撤去中
西川町 (山形県)	大入間川橋	月岡入間線	1965	2019	橋脚の洗掘による沈下・傾斜	全面通行止	架替中
結川村 (山形県)	深沢1号橋	木の枝坂・深沢線	1964	2021	主桁の変形、床版の変形移動	全面通行止	未定
川西町 (山形県)	坂水橋	道祖神坂水橋線	1968	2016 2021	支床本体の傾斜、橋脚の剥離・鉄筋露出	全面通行止	撤去予定
遊佐町 (山形県)	栄橋	(他)白木宮海線	1956	2016 2021	主桁の腐食、欠損、パイルヘッド橋脚の損傷	全面通行止	撤去中
いわき市 (福島県)	頭巾平橋	市道頭巾平・長沢	不明	2017 2022	橋脚柱部に根本咬合部の剥離による10°程度の傾き	通行規制(車両)	未定
相馬市 (福島県)	3593-1	市道中部393号線	不明	2023	下部工のひびわれ	全面通行止	修繕予定
南相馬市 (福島県)	東18号線1号橋	市道東18号線	1973	2022	下部構造の変形・欠損、洗掘、ひびわれ、漏水・遊離石灰	全面通行止	未定
川俣町 (福島県)	間屋前橋	町道間屋・津間線	1970	2016 2020	床版下面のひび割れ及びひび割れ、露出鉄筋の著しい腐食、主桁全体の腐食、桁端部の下フランジの残存板厚の減少、支床部のアンカーボルトの著しい腐食	全面通行止	未定
会山町 (福島県)	坪日橋	町道湯ノ上線	1935	2016 2021	床版の断面欠損、鉄筋露出	全面通行止	撤去予定
双葉町 (福島県)	野竹内3号橋	町道野竹内2号線	1965	2018	橋台の移動・傾斜、背面の土砂の沈下洗掘、ひびわれ	全面通行止	未定
双葉町 (福島県)	深谷崎線人道橋	町道深谷・こ線人道橋線	1975	2021	桁のズレ	全面通行止	撤去中
浪江町 (福島県)	5084-1号橋	押平小和田線	不明	2020	床版の抜け落ち	全面通行止	未定

管理名	施設名	路線名	建設年度	点検実施年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2024.3月末時点)
浪江町 (福島県)	6241-1号橋	近江前大高 倉線	不明	2021	橋台の洗掘及び 沈下・移動・傾斜	全面通行止	修繕予定
浪江町 (福島県)	7017-1号橋	重作下集下 線	不明	2031	主桁木材の劣下	全面通行止	未定
浪江町 (福島県)	7173-1号橋	西小笠線	不明	2032	変形崩落	全面通行止	未定
浪江町 (福島県)	7173-2号橋	西小笠線	不明	2032	崩壊欠損	全面通行止	未定
土曜市 (茨城県)	いすみ市 新川6号橋	立田2号線	不明	2020	主桁・床版の腐 食	床版補修工	架替中
土曜市 (茨城県)	いすみ市 備前川19号橋	下高津二丁 目6号線	不明	2018	主桁・橋脚・橋台 に腐食	仮設材を設置 し全面通行止	未定
石岡市 (茨城県)	18050	市道A6747 号線	不明	2020	主桁の腐食	車両通行止	未定
石岡市 (茨城県)	4323-1号橋	市道B4323 号線	不明	2021	主桁端部にひび われ	仮設材を設置 し全面通行止	未定
結城市 (茨城県)	さくらがき 上和田橋	市道5075 号線	不明	2016 2023	主桁、横桁の剥 離、腐食による断 面欠損・鉄筋露 出、下部構造の ひびわれ	全面通行止	未定
龍ヶ崎市 (茨城県)	4-25号橋	市道第4-96 号線	不明	2032	主桁の引張荷重 を担う鉄筋の破 断	全面通行止	架替予定
龍ヶ崎市 (茨城県)	4-33号橋	市道第4- 196号線	不明	2032	上部構造の孔 食、板厚減少を 伴う腐食	全面通行止	撤去予定
龍ヶ崎市 (茨城県)	5-44号橋	市道第5- 292号線	不明	2021	基礎の沈下、路 面の傾斜	全面通行止	未定
常陸太田市 (茨城県)	しんがわすし 新川戸橋	市道2213 号線	1974	2023	上部工、下部工 の著しい腐朽	全面通行止	未定
高萩市 (茨城県)	しんがわすし 昌港橋	市道195号 線	不明	2017	主桁の断面欠損	全面通行止	撤去予定
高萩市 (茨城県)	無名橋1060	市道1026 号線	不明		主桁・下部工・橋 面のひび割れ	全面通行止、 バリケード設 置	修繕予定
北茨城市 (茨城県)	無名橋9	市道1320 号線	不明	2018	主桁・床版の腐 食	仮設材を設置 し全面通行止	撤去予定
北茨城市 (茨城県)	無名橋59	市道2051 号線	不明	2018	橋台A1のひび割 れ・傾斜	仮設材を設置 し全面通行止	撤去予定
北茨城市 (茨城県)	無名橋135	市道6014 号線	不明	2018	主桁・支承の腐 食	仮設材を設置 し全面通行止	撤去予定
北茨城市 (茨城県)	無名橋142	市道6039 号線	不明	2018	主桁の腐食によ る断面欠損	仮設材を設置 し全面通行止	撤去予定
北茨城市 (茨城県)	無名橋147	市道6054 号線	不明	2018	床版の腐食	仮設材を設置 し全面通行止	撤去予定
北茨城市 (茨城県)	無名橋149	市道6082 号線	不明	2018	床版の腐食	仮設材を設置 し全面通行止	撤去予定
北茨城市 (茨城県)	無名橋155	市道6093 号線	不明	2018	主桁・床版の腐 食	仮設材を設置 し全面通行止	撤去予定
北茨城市 (茨城県)	無名橋172	市道7001 号線	不明	2018	床版の腐食	仮設材を設置 し全面通行止	撤去予定
北茨城市 (茨城県)	無名橋173	市道7002 号線	不明	2018	床版の腐食	仮設材を設置 し全面通行止	撤去予定

管理名	施設名	路線名	建設年度	点検実施年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2024.3月末時点)
取手市 (茨城県)	216号橋	市道2-5273 号線	不明	2017	A2橋台の下部工 の傾斜、主桁の 傾斜	全面通行止	撤去予定
つくば市 (茨城県)	32262-1号橋	3-2262号 線	1964	2018 2022	P1橋脚の腐食・ 断面欠損	仮設材を設置 し全面通行止	架替予定
つくば市 (茨城県)	きずね 吾妻橋	4-2231号 線	1976	2015 2020	橋台のASRと考 えられる亀甲状の ひびわれ	全面通行止	修繕予定
つくば市 (茨城県)	15620-1号橋	1-5620号 線	1968	2017 2019	主桁・横桁、デッ キプレート床版の 腐食による欠損	敷鉄板の設置 (通行可能)	修繕中
つくば市 (茨城県)	53032-1号橋	5-3032号 線	1962	2018 2023	橋台に杭の欠損 及び沈下	全面通行止	架替予定
つくば市 (茨城県)	53312-1号橋	5-3312号 線	1978	2018	P1、P2橋脚の洗 掘、基礎木杭の 露出	仮設材を設置 し全面通行止	架替予定
常陸大宮市 (茨城県)	10695-1号橋	市道10695 号線	不明	2021	主桁・床版の腐 食により破損(木 橋)	全面通行止	撤去予定
常陸大宮市 (茨城県)	もつめがき 辰巳次橋	市道30011 号線	不明	2022	主桁・床版の腐 食による破損(単 純鋼H型橋・床 板は木材)	全面通行止	撤去予定
常陸大宮市 (茨城県)	こまかいとけし 五目板橋	市道30363 号線	不明	2022	主桁・床版の腐 食による破損(木 橋)	全面通行止	撤去予定
常陸大宮市 (茨城県)	やまがみ 山ノ和橋	市道30102 号線	不明	2022	主桁・床版の腐 食による破損(木 橋)	全面通行止	撤去予定
船歌市 (茨城県)	104号橋	市道(新) 1223号線	不明	2016	下部工、支承の 腐食	全面通行止	撤去予定
城里町 (茨城県)	1-6号橋	町道1185 号線	不明	2022	下部工の移動	全面通行止番 板設置及び防 護ロープ設置	撤去中
城里町 (茨城県)	1-3号橋	町道1222 号線	1985	2018 2023	床版の抜け落ち	仮設材を設置 し全面通行止	撤去中
城里町 (茨城県)	1-26	町道1462 号線	不明	2018 2023	橋全体の著しい 腐朽	仮設材を設置 し全面通行止	撤去中
城里町 (茨城県)	3-18	町道3239 号線	不明	2018 2023	橋全体の著しい 腐朽	仮設材を設置 し全面通行止	撤去中
城里町 (茨城県)	1068	町道8-09 99号線	不明	2018 2023	主桁、床版の著し い腐朽	仮設材を設置 し全面通行止	撤去中
城里町 (茨城県)	1066	町道8-11 00号線	不明	2018 2023	主桁全体の腐 朽、一部崩落	仮設材を設置 し全面通行止	撤去中
大子町 (茨城県)	5021号橋 (後次橋)	町道5010 号線	不明	2019	P1橋脚の支柱の 欠落、橋脚付近 の橋面の沈下	仮設材を設置 し全面通行止	未定
阿見町 (茨城県)	みづのり 宿田上橋	町道6078 号線	1955	2023	橋台の著しい洗 掘による沈下に 伴う腐蝕	全面通行止	撤去予定
阿見町 (茨城県)	6006号 橋	町道6056 号線	1970	2023	橋台の沈下によ る桁の遊間異常	全面通行止	撤去予定
桐木市 (栃木県)	うしめがき 牛蒡橋	市道14019 号線	1976	2018	橋脚基礎部の洗 掘沈下に伴う床 版の長巻	迂回路設置 後、通行止	架替中

管理者	施設名	路線名	建設 年度	点検 実施 年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2024.3月末時点)
茂木町 (栃木県)	にせの 末の沢橋	町道床の沢 敷線	1969	2020	橋脚に洗掘、剥 離・鉄筋露出	通行止	撤去予定
茂木町 (栃木県)	おひね 大橋	町道山崎元 古沢線	1963	2020	AI 橋台の胸壁と 懸壁の分離、胸 壁の移動	通行止	撤去予定
前橋市 (群馬県)	くすね、ごうけ 柏川10号橋	市 道 21- 4331 号	1994	2019	主桁の腐食によ る断五欠損、横 桁・横桁の断面 欠損・破断	全面通行止	架替中
前橋市 (群馬県)	とどろし 江田橋	市道16-017 号	不明	2019	主桁の歪み、橋 脚の被肉	全面通行止	撤去予定
下仁田町 (群馬県)	あまのぼけ 中貝橋	町 道 3456 号線	1966	2023	桁端装置の劣化 による目地材の 脱落及び漏水に よる主桁全面の 腐食	バリケードにて 通行止	修繕予定
中之条町 (群馬県)	あづまばし 吾嬭橋	町道小雨生 須線	1962	2020	継桁の著しい腐 死	バリケードによ る完全封鎖	未定
東吾妻町 (群馬県)	3-12号橋 (鳴瀬橋)	町 道 3006 号線	1935	2020	主桁のひびわれ 等上部構造全体 の顕著な損傷	仮設ガードレ ール設置(全 面通行止)	撤去予定
みなかみ町 (群馬県)	たけがらふし 宝川橋	町 道 藤 原 102号線	1958	2018	橋脚、橋台の剥 離・鉄筋露出によ る断面減少、支 承の機能障害	全面通行止	撤去中
川越市 (埼玉県)	いし、ごうけ 第25号橋	市 道 3035 号線	不明	2019	主桁、床版、路面 の腐食、橋台下 部工の傾斜	仮設材の設置 (全面通行止)	未定
川口市 (埼玉県)	あまのぼけ 鬼澤橋	市道幹線第 28号線	1958	2022 2023	橋台の傾斜	根固め工等を 施工	架替予定
行田市 (埼玉県)	9-27号橋	市道第9.3- 89号線	1933	2020	橋脚の沈下・移 動・傾斜	仮設材を装置 し全面通行止	未定
行田市 (埼玉県)	3-9号橋	市道第3.3- 193号線	不明	2021	橋脚の鉄筋腐食 及び破断	仮設材を装置 し全面通行止	修繕予定
行田市 (埼玉県)	5-21号橋	市道第5.3- 330号線	不明	2021	主桁・支承部の 腐食、破断	仮設材を装置 し全面通行止	修繕予定
行田市 (埼玉県)	7-30号橋	市道第7.3- 49号線	不明	2021	床版の剥離・鉄筋 腐食・ひびわれ、 鉄筋の腐食・縦 断割	仮設材を装置 し全面通行止	修繕予定
加須市 (埼玉県)	か 加.4018号橋	市 道 4009 号線	1940	2016 2020	橋脚の鉄筋露出	全面通行止	未定
加須市 (埼玉県)	か 加.6048号橋	市 道 6313 号線	不明	2016 2022	橋台の欠損	全面通行止	未定
加須市 (埼玉県)	あまのぼけ 大 六軒橋	市道大2122 号線	不明	2017 2022	主桁の破断	全面通行止	未定
加須市 (埼玉県)	あまのぼけ 大和112号橋	市道大2040 号線	不明	2018 2023	橋台の傾斜	全面通行止	未定
加須市 (埼玉県)	いし、ごうけ 大130号橋	市道大2117 号線	不明	2016 2020	床版の鉄筋露出	全面通行止	未定
本庄市 (埼玉県)	ひびわれ 日影3号橋	市 道 4-117 号線	不明	2022	主桁のひびわれ	バリケードにて 通行止	撤去予定
本庄市 (埼玉県)	あまのぼけ 前耕地1号橋	市 道 4-177 号線	不明	2022	主桁の腐食	バリケードにて 通行止	撤去予定

管理者	施設名	路線名	建設 年度	点検 実施 年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2024.3月末時点)
本庄市 (埼玉県)	あまのぼけ 蔵杉1号橋	市道 4-335 号線	不明	2022	主桁のひびわれ	バリケードにて 通行止	撤去予定
本庄市 (埼玉県)	あまのぼけ 沢向橋	市道 4-431 号線	1969	2022	主桁のひびわれ	バリケードにて 通行止	撤去予定
本庄市 (埼玉県)	あまのぼけ 桑の前2号橋	市道 4-434 号線	不明	2022	主桁のひびわれ	バリケードにて 通行止	撤去予定
本庄市 (埼玉県)	あまのぼけ 前耕地2号橋	市道 4-174 号線	不明	2022	主桁の腐食	バリケードにて 通行止	撤去予定
本庄市 (埼玉県)	あまのぼけ 川向1号橋	市道 4-202 号線	不明	2022	主桁の腐食	バリケードにて 通行止	撤去予定
鴻巣市 (埼玉県)	ひびわれ、舗装 の異常	市道川2249 号線	不明	2022	ひびわれ、舗装 の異常	仮設材を設置 して、通行止	未定
鴻巣市 (埼玉県)	ひびわれ、剥離・ 鉄筋露出	市道川2272 号線	不明	2022	ひびわれ、剥離・ 鉄筋露出	仮設材を設置 して、通行止	未定
朝霞市 (埼玉県)	あまのぼけ 海崎橋	市 道 2168 号線	1971	2022	防護柵の広範囲 にうき	防護柵の剥離が 確認できたため、 緊急的な叩落し 及び防踏を実施 した。	修繕中
坂戸市 (埼玉県)	あまのぼけ 八暗橋	市 道 1449 号線	2007	2022	橋脚などの木材 腐朽	全面通行止	撤去中
伊奈町 (埼玉県)	こまのぼけ 小貝戸橋	町道第2185 号線	不明	2018	主桁の腐食・床 版のひびわれ等	全面通行止	修繕中
神川町 (埼玉県)	あまのぼけ 12154-1号橋	町道 12154 号線	不明	2017	主桁、横桁の腐 朽	全面通行止	撤去中
松伏町 (埼玉県)	あまのぼけ 松伏第2歩道橋	町道2-19 1号線	1972	2022	横桁・支承等の 鋼材に著しい腐 食	通行止	撤去予定
市原市 (千葉県)	あまのぼけ 千石橋	市 道 イ-220 号線	1957	2020	橋脚の剥離・鉄 筋露出、基礎の 沈下・移動、傾斜 など	全面通行止	撤去予定
市原市 (千葉県)	あまのぼけ 川崎橋	市 道 6178 号線	1957	2023	下部工洗堀によ る橋台の移動、 変形欠損	通行止規制	架替予定
君津市 (千葉県)	あまのぼけ 追原橋	市道黄和田 畑、追原線	1971	2018 2023	歩行者用の木橋 の吊橋で支柱の 腐食による機能 不全	バリケード設 置(全面通行 止)	廃止予定
君津市 (千葉県)	あまのぼけ 泉 橋	市道大手、 玄蕃松線	1970	2018 2023	縦桁の著しい腐 食による断面欠 損・変形、上部工 の沈下	バリケード設 置(全面通行 止)	撤去予定
君津市 (千葉県)	あまのぼけ 名越跨線橋	市道名越、 吉功谷線	1936	2022	主桁の腐食、横 桁の破断等	バリケード設 置(全面通行 止)	撤去予定
君津市 (千葉県)	あまのぼけ 長浦橋	市道奥米、 大塚倉線	1955	2018 2023	歩行者用の吊橋 で縦桁の腐食に よる機能不全	バリケード設 置(全面通行 止)	廃止予定
君津市 (千葉県)	あまのぼけ 正木1号橋	市道正木・ 奥米線	1932	2018 2023	RC床版や下部 構造に損傷	バリケード設 置(全面通行 止)	廃止予定

管理者	施設名	路線名	建設 年度	点検 実施 年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2024.3月末時点)
南房総市 (千葉県)	大平津橋	市道深名1 8号線	2001	2023	主桁、床版、橋 脚、支承部の腐 食	通行止	廃止中
いすみ市 (千葉県)	小沼大橋	市道 0130 号線	1975	2017 2022	ウエブの孔食	仮設材の設置 (通行規制 10t)	修繕中
酒々井町 (千葉県)	飯橋橋	町道 33- 162号線	不明	2016 2021	主桁・支保部等 の腐食	主桁仮受け材 の設置(通行 可能)	撤去中
八王子市 (東京都)	無名橋20号橋	県道8号線	不明	2023	主桁の鉄筋露 出、剥離	バリケードを設 置し通行止	撤去予定
あきる野市 (東京都)	網代橋	市道 T-11 号線	1933	2021	P2 橋脚の洗掘、 沈下・移動・傾 斜、主桁の浮上	網代橋前後の 交差点まで全 面通行止	架替予定
檜原村 (東京都)	下中里橋	村道第53-1 号中里線	不明	2022	橋台のひびわ れ、遊離石灰、崩 落	落橋のため通 行不能	未定
三浦市 (神奈川県)	29号橋	市道 1108 号線	不明	2018	主桁、横桁、床版 及び支承の腐食	補修・補強	架替中
長岡市 (新潟県)	無名橋A1439	市道二和 125号線	2010	2021	機能支障	仮設材を設置 し通行止	撤去予定
長岡市 (新潟県)	無名橋1号橋 (A70202)(A1914)	市道宮内 202号線	1952	2022	下部構造の変 形、欠損	全面通行止	撤去予定
長岡市 (新潟県)	源橋(C0015)	市道越路 110号線	1933	2023	床版のひび割れ	全面通行止	撤去予定
柏崎市 (新潟県)	島田橋2	市区町村道 (その他)柏 崎門出島田 線	1965	2019	橋台の剥離	全面通行止	未定
新発田市 (新潟県)	二王子参道線1号 橋	市区町村道 (3級)二王 子参道線	不明	2022	主桁の丸太に腐 食による空洞	通行止看板、 単管パイプに よる通行止	撤去予定
小千谷市 (新潟県)	岩宮橋	市区町村道 (その他)岩 間木1号線	1998	2022	主桁及び床版の 腐朽	バリケードを設 置し全面通行 規制	廃止予定
十日町市 (新潟県)	置沢橋	市区町村道 (2級)横沢 河沢線	1977	2022	橋梁前後のブロ ック積の基礎部 分の地山が崩落 し、ブロック積が 宙に浮いた状況	バリケード設 置による全面 通行止	修繕中
村上市 (新潟県)	川下小橋	市区町村道 (2級)中小 屋線	不明	2019	主桁の腐食	車両通行止	架替中
村上市 (新潟県)	川入1号橋	市区町村道 (その他)河 内14号線	不明	2019	主桁および床版 の腐食	全面通行止	撤去予定
糸魚川市 (新潟県)	大谷川第一橋	市道上久間 線	不明	2019	床版の腐食	全面通行止	未定
糸魚川市 (新潟県)	荒沢橋	市道荒沢線	1966	2019	床版の腐食	全面通行止	未定
妙高市 (新潟県)	無名橋109号	市区町村道 (その他)上 山中心線	不明	2022	主桁の亀裂・破 断	通行止規制	未定

管理者	施設名	路線名	建設 年度	点検 実施 年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2024.3月末時点)
妙高市 (新潟県)	十分道橋	市区町村道 (その他)大 海寸分道線	不明	2021	機能支障	全面通行止	未定
胎内市 (新潟県)	大出橋	市区町村道 (その他)富 岡・大出2号 線	不明	2023	床版、支保部の 腐食	保安器具を設 置し通行規制	修繕予定
阿賀町 (新潟県)	大尾橋	町道(2級) 荒首線	1970	2020	支保の機能障害	バリケードを設 置し全面通行 止	未定
阿賀町 (新潟県)	小荒橋	町道(その 他)向小荒 線	1968	2020	床版の抜け落 ち、支保部アン カーボルトの折損	バリケードを設 置し全面通行 止	未定
関川村 (新潟県)	荒谷沢橋	市区町村道 (その他)九 ヶ谷郷57号 線	1938	2020	主桁の腐食、防 食機能の劣化、 変形・欠損	バリケードを設 置し全面通行 止	撤去予定
富山市 (富山県)	散岩橋	砂ノ木横江 線	1972	2018 2023	支保の破損、橋 台のひび割れ	バリケードを設 置し全面通行 止(H27より)	撤去中
富山市 (富山県)	栗須橋	栗須中山線	1958	2021	橋脚の洗掘、支 保部の剥落・鉄 筋露出	全面通行止	未定
富山市 (富山県)	砂蔵谷橋	經寺加賀沢 線	1972	2017 2021	主桁・対傾橋の 変形	全面通行止	撤去予定
魚津市 (富山県)	月形橋	石山2号線	1966	2017 2022	支保部の腐食、 沈下・移動、傾斜	全面通行止	未定
滑川市 (富山県)	月形橋	旧県道栗山 月形橋線	1966	2017	支保部の腐食、 沈下・移動、傾斜	全面通行止	未定
福波市 (富山県)	無名橋546	前山線	1983	2017 2023	床版(路肩部)の 変形	路肩部通行規 制	修繕中
上市町 (富山県)	白金橋	折戸・下田 線	1950	2021	ケーブルの腐 食、変形、破損	全面通行止	撤去予定
立山町 (富山県)	無名橋40	町道下金剛 寺金剛新線	不明	2021	機能支障	仮受け材の設 置(全面通行 止)	架替予定
小松市 (石川県)	さかい橋	市道江指町 勘定線	1926	2018	主桁の腐食・欠 損	バリケードを設 置し全面通行 止	架替中
小松市 (石川県)	無名橋7009	市道尾小屋 新丸線	不明	2015	上部工、下部工 の剥離、鉄筋露 出	全面通行止	撤去中
白山市 (石川県)	尾添大橋	中宮尾添線	1973	2017 2023	橋台基礎部の地 盤崩落	バリケードを設 置し全面通行 止(H30年度よ り)	撤去予定
白山市 (石川県)	五味島橋	ダム1号線	1979	2018 2021	主桁の壓屈	バリケードを設 置し全面通行 止	撤去中
小浜市 (福井県)	勢坂橋	市道勢坂線	1955	2018 2023	主桁の剥離・鉄 筋露出	全面通行止	修繕中
池田町 (福井県)	荒谷山橋	月ヶ瀬平ヶ 平線	1966	2022	橋台躯体中央部 石積み消失、路 面沈下	2022.5月より 通行止	架替中

管理者	施設名	路線名	建設 年度	点検 実施 年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2024.3月末時点)
山梨市 (山梨県)	細入沢橋	田川線	1973	2021	木床版に腐食、 横桁に孔食を伴 う腐食	全面通行止	撤去予定
山梨市 (山梨県)	馬川橋3号	31044号	1967	2021	縦桁の干割れや 腐朽、木床版の 腐朽や抜け落ち、主ケーブルや ケーブルアンカーに腐食	全面通行止	撤去予定
山梨市 (山梨県)	菅能橋	31052号線	1969	2021	縦桁・木床版の 腐朽・抜け落ち、主塔にひびわれ、 鉄筋露出	全面通行止	撤去予定
大月市 (山梨県)	新倉橋	市道新倉橋 線	1971	2019	主要部材の断面 欠損	全面通行止	撤去中
笛吹市 (山梨県)	大口山下二の橋	市道4478 号線	1961	2023	木橋の主桁、床 版が腐朽化して 歩行者が通行で きない状況	通行止看板を 設置して通行 規制	撤去予定
笛吹市 (山梨県)	下天彦橋	市道5149 号線	1967	2023	支承が腐食により 破断しており反力 の支持が不明瞭	巡回による監 視を実施して 破断変状が生じ た場合、通行 規制	修繕予定
笛吹市 (山梨県)	3号橋	市道6331 号線	1961	2023	上部・下部が老 朽化して歩行者 が通行できない 状況	通行止看板を 設置して通行 規制	撤去予定
甲州市 (山梨県)	柚木橋	下柚木1号 線	1982	2022	木製の床版と床 組の一部が腐 朽、主塔や主ケ ーブルの吊り材 に点蝕	全面通行止	撤去予定
身延町 (山梨県)	不明橋	設定外町道 (古道)	1961	2023	木床版が抜け落ち、 主桁脱落	廃止	廃止予定
長野市 (長野県)	50065号橋	市道若穂東 458号線	1970	2017 2022	床版の抜け落ち	全面通行止	廃止予定
長野市 (長野県)	岡田川下橋	市道東田沢 通明小線	1930	2021	木床版の抜け落ち	全面通行止	修繕予定
長野市 (長野県)	篠ノ井北47号橋	市道篠ノ井 北215号線	不明	2020	橋脚の腐朽	全面通行止	廃止予定
長野市 (長野県)	篠原橋	市道信州新 町127号線	1975	2020	橋台転倒および 床版脱落の恐れあり	全面通行止	修繕予定
長野市 (長野県)	戸隠北 大川橋1	市道戸隠北 67号線	2000	2020	木床版に腐朽・ 抜け落ち	全面通行止	廃止予定
長野市 (長野県)	沢尻橋	市道中条3 6号線	1978	2017 2022	床版の抜け落ち	全面通行止	廃止予定
長野市 (長野県)	田ノ入橋	市道中条7 0号線	1980	2017 2022	木橋全体が腐食	全面通行止	廃止予定
長野市 (長野県)	柿木新井1号橋	市道中条2 96号線	1975	2017 2022	木橋全体の腐食	全面通行止	廃止予定
長野市 (長野県)	上桶川4号橋	市道戸隠北 95号線	1981	2023	下部工洗堀による 倒壊	車両通行止	未定

管理者	施設名	路線名	建設 年度	点検 実施 年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2024.3月末時点)
松本市 (長野県)	無名橋(14134)	市道5533 号線	不明	2022	上部工の広範囲 に鉄筋露出膨張 を伴う剥離・鉄筋 露出	全面通行止	架替予定
松本市 (長野県)	馬船上橋(20014)	市道馬船線	1971	2021	基石積み橋台、 支索部が一部剥 離、床版、舗装に たわみ	車両通行止	未定
松本市 (長野県)	矢久橋(20052)	市道召田旧 道1号線	1950	2014 2019	主桁・横桁の剥 離、鉄筋露出、床 版の変色、劣化	車両通行止	未定
松本市 (長野県)	花池橋(20061)	市道花池取 出線	1966	2022	下部構造の洗 堀、主桁、床版の 傾斜	全面通行止	未定
松本市 (長野県)	泥ヶ沢橋(20113)	市道旋ヶ沢 支線	1973	2022	主桁の断面欠損 を伴う腐食・腐食	車両通行止	架替中
松本市 (長野県)	島々谷5号橋(30005)	市道島々5 号線	1965	2014 2019	上部構造の腐 食、下部構造の 変形、欠損、支承 の機能障害	車両通行止	未定
松本市 (長野県)	湯川1号橋(30023)	市道沢渡2 号線	1935	2014 2019	上部構造の腐 食、支承の機能 障害	通行規制(4t)	架替中
松本市 (長野県)	松峠橋(30028)	市道大野川 1号線	不明	2018 2023	木部材の腐朽、 一部脱落	全面通行止	未定
松本市 (長野県)	沢科橋(20001)	市道尾ノ入 線	1977	2023	主桁、床版に新 面欠損を伴う著し い腐食、橋台の 洗堀	車両通行止	未定
諏訪市 (長野県)	無名橋13	市道48250 号線	不明	2021	防護柵の破損、 下部工の変形・ 欠損	仮受け材の設 置(全面通行 規制)	撤去中
大町市 (長野県)	一字田 一字田1号橋	市道一字田 1号線	1995	2022	主桁の腐食、新 面欠損	応急修繕工事 実施、後行、 関係者のみ通 行可、定期的 な外観状態監 視	廃止中
飯山市 (長野県)	2-30号橋	市道2-39 2号線	1962	2021	橋脚支柱基礎(コ ンクリート)の洗堀	バリケードによる 通行止	未定
佐久市 (長野県)	911号橋	市道67-053 号線	不明	2020	下部構造の洗 堀、舗装の異常	全面通行止	修繕予定
千曲市 (長野県)	道1号線1号橋	市道7-C -041号線	1998	2022	主桁、床版の腐 朽による欠損、橋 梁のたわみ	全面通行止	未定
安曇野市 (長野県)	木下線1号橋	市道明科5 085号線	1970	2016 2021	主桁の腐食、破 壊	全面通行止	撤去予定
安曇野市 (長野県)	矢下沢5号橋	市道明科5 143号線	1975	2021	木製床版の抜け 落ち	全面通行止	撤去予定
川上村 (長野県)	作小川橋	村道5005 号線	1982	2020	橋台の背面土砂 流出・洗堀、取付 道路の流出	架け替え工事 中	架替中
佐久穂町 (長野県)	中親沢2号橋	町道親沢川 線	1986	2022	木橋全体の腐食	全面通行止	未定

管理者	施設名	路線名	建設 年度	点検 実施 年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2024.3月末時点)
立和町 (長野県)	 龍原二号橋	町道梨ノ木 旧道線	1961	2020	主桁のひびわれ、支間中央部のたわみ	全面通行止	未定
長和町 (長野県)	 船荷橋	町道船荷線	1989	2023	大雨による橋脚の流出	全面通行止	撤去予定
下諏訪町 (長野県)	 内山沢の湯橋	町道内山沢 の湯線	2002	2022	橋台(蛇籠)の傾斜	全面通行止	架替予定
辰野町 (長野県)	 0135号橋	町道1413 号線	1999	2021	落橋	全面通行止	未定
松川町 (長野県)	 3-9橋(120)	町道91号 線	不明	2017 2022	橋台の崩落	全面通行止	未定
根羽村 (長野県)	 明神橋	村道(1級) 幹1-5号 線	1954	2016 2022	主桁・下部工のひびわれ、鉄筋露出、うき、湧水遊離石灰	全面通行止	撤去予定
天龍村 (長野県)	 1号橋13	村道滝打川 島線	1965	2022	終点側主桁(枝桁)の腐食が激しい	仮設材を設置して通行規制	修繕中
上松町 (長野県)	 小野ヶ谷橋	町道肥沢線	1954	2022	床版に腐朽、抜け落ちが発生	全面通行止	未定
木曽町 (長野県)	 近道沢橋	町道黒川線	不明	2021	下部構造が欠損し、洗掘拡大	車輦通行止	廃止予定
木曽町 (長野県)	 中平橋	町道中平線	不明	2022	落橋	全面通行止	廃止予定
木曽町 (長野県)	 赤坂橋	町道赤シ尾 線	不明	2022	床版の腐朽 下部工の沈下	全面通行止	廃止予定
木曽町 (長野県)	 大沢橋(福島)	町道大沢線	1972	2017	木橋全体が腐食	全面通行止	廃止予定
木曽町 (長野県)	 役場南橋	町道旧役場 南線	不明	2017	床版の抜け落ち	全面通行止	撤去予定
木曽町 (長野県)	 水鳥橋(真野2)	町道水鳥線	1989	2022	主桁・床版の変形・欠損	全面通行止	廃止予定
木曽町 (長野県)	 小沢3号橋	町道小沢線 (三岳)	不明	2022	主桁・下部工の腐食、床版の腐食	全面通行止	廃止予定
木曽町 (長野県)	 尾羽林3号橋	町道尾羽林 2号線	不明	2022	主桁の腐食、床版・下部工の腐食	全面通行止	廃止予定
木曽町 (長野県)	 小沢2号橋	町道小沢線 (三岳)	不明	2022	主桁の腐食、床版の腐食	全面通行止	廃止予定
木曽町 (長野県)	 猿橋	町道(1級) 西野川線	1958	2022	主桁の鉄筋露出、床版の土砂化	全面通行止	未定
生坂村 (長野県)	 生坂村65号橋	村道百498 号線	1974	2022	受台が浮いており、上部工が傾き落橋寸前の状態	全面通行止	廃止予定
生坂村 (長野県)	 生坂村60号橋	村道東257 号線	1976	2022	方杖の変形により、橋梁全体が不安定	全面通行止	廃止予定
小谷村 (長野県)	 匡境橋	村道湯原北 線	1937	2017 2023	主桁破断、床版、地盤、防護柵の一部変形・欠損	全面通行止	未定

管理者	施設名	路線名	建設 年度	点検 実施 年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2024.3月末時点)
小川村 (長野県)	 蔵別当橋	村道10-1 0号線	不明	2021	橋面の土砂堆積、木主桁に腐朽、上流側の主桁に異常なたわみ	バリケード及び通行止看板を設置し進入規制	廃止予定
小川村 (長野県)	 上之豆橋	村道12-9 号線	不明	2021	木床版の欠損や踏み抜き	バリケード及び通行止看板を設置し進入規制	廃止予定
小川村 (長野県)	 百瀬尾橋	村道32-1 号線	不明	2021	木床版の断面欠損	バリケード及び通行止看板を設置し進入規制	廃止予定
飯綱町 (長野県)	 石原橋	町道M3- 218号線	1975	2022	主桁の腐食による断面欠損及び破断	全面通行止	修繕中
飯綱町 (長野県)	 釜沢橋	町道釜沢線	1953	2018 2022	基礎部分洗掘、防護柵の著しい損傷	全面通行止	未定
岐阜市 (岐阜県)	 無名橋	市道 桐谷 線	不明	2023	木橋上部部材の腐朽	全面通行止、腐朽した部材の撤去	未定
高山市 (岐阜県)	 徳和橋	市道徳河線	不明	2015 2020	主桁の腐食、橋台の変状	全面通行止	撤去予定
高山市 (岐阜県)	 町橋	市道中之宿 向線	1952	2017 2022	吊桁の腐朽、床版の崩落	全面通行止	未定
高山市 (岐阜県)	 船渡橋	市道中河2 号線	1952	2015 2020	伸縮装置の脱落、橋台の変状	全面通行止	撤去予定
高山市 (岐阜県)	 天狗橋	市道平湯天 狗橋線	1956	2015 2020	床板、橋脚の鉄筋露出	全面通行止	撤去予定
高山市 (岐阜県)	 口面3号橋	市道藤瀬4 号線	不明	2023	橋台下の洗掘	全面通行止	修繕予定
関市 (岐阜県)	 船越屋橋	幹2-3号 線	1969	2018	主桁が腐食及び断面欠損	全面通行止	架替中
関市 (岐阜県)	 保戸島橋	6-282号 線	1937	2018	ゲルバー桁センジ部における吊桁の破断及び受桁の破断	全面通行止	未定
中津川市 (岐阜県)	 不動橋	市道宮の上 下河線	1958	2022	下部工の洗掘	全面通行止	未定
中津川市 (岐阜県)	 本沢橋	市道山口5 号線	不明	2021	丸太の腐食、床版及び舗装の抜け落ち	単管バリケードにて通行止 迂回道路の補修	廃止予定
中津川市 (岐阜県)	 津ヶ谷橋	市道 福 岡 377号線	1956	2023	下部工の洗掘	全面通行止	未定
羽島市 (岐阜県)	 須賀2号橋	市道小荒井 1丁目3号 線	不明	2015 2020	主桁の腐食	通行規制(車両)	撤去予定
可見市 (岐阜県)	 第一後田橋	市道 4062 号線	不明	2022	石積護岸の洗掘	バリケード・フェンスの設置(全面通行止)	架替中
山県市 (岐阜県)	 穴洞橋	市道 51010 号線	1965	2021	下弦材の塗装塗替え、橋脚の詳細調査が必要	通行止	修繕予定

管理名	施設名	路線名	建設年度	点検実施年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2024.3月末時点)
山県市 (岐阜県)	無名橋	市道 53018 号線	不明	2021	鉄床版の部分破 壊、橋台の石積 みの補修、鋼部材 の塗装塗替え、防 護柵の部分取替 えが必要	通行止	撤去予定
海津市 (岐阜県)	志津橋	海津33169 号線	1968	2022	床版のひび割 れ、桁かかり梁の 不足、橋台(石積 み)のゆるみ	全面通行止	未定
安八町 (岐阜県)	新屋川2号橋	新屋川2号 線	不明	2021	橋脚のバイルベ ント破断	全面通行止	撤去予定
安八町 (岐阜県)	新屋川3号橋	新屋川3号 線	不明	2021	橋脚の沈下、洗 掘	全面通行止	撤去予定
揖斐川町 (岐阜県)	町道春日折 本橋	町道春日折 本線	1961	2014 2019	主桁・床版の新 面欠損、支束の 腐食・傾斜	全面通行止 (バリアード)	修繕中
揖斐川町 (岐阜県)	町道久須平 治谷橋	町道久須平 治谷線	不明	2021	橋台背面の土砂 流出、主桁及び 床版の腐食・鉄 筋露出	バリアードを設 置し通行止	撤去予定
揖斐川町 (岐阜県)	コウノヒサ橋	町道坂内八 草峠線	不明	2021	橋台背面の崩落	バリアードを設 置し通行止	撤去予定
富加町 (岐阜県)	町道加治田 17号線	町道加治田 17号線	1969	2022	下部構造の洗掘	全面通行止	未定
白川町 (岐阜県)	町道小倉線	町道小倉線	1933	2020	床版、主桁、横桁 の腐食、橋台の ひびわれ、橋脚 基礎の洗掘	全面通行止	架替中
熱海市 (静岡県)	市道都松和 田川線	市道都松和 田川線	1962	2021	機軸支障	両側バリアード 設置にて通 行止	架替予定
島田市 (静岡県)	市道青木田 2号線	市道青木田 2号線	1992	2022	主桁の破損脱落 、床版の腐朽、 橋脚のひびわれ	全面通行止	廃止予定
島田市 (静岡県)	市道御譲沢 線	市道御譲沢 線	1959	2022	主桁の異常なた わみ	不明	架替予定
焼津市 (静岡県)	市道水産部 新川橋(00533)	市道水産部 新川橋線	1954	2018	経年劣化による 損傷	ネットフェンス 設置(全面通 行止)	撤去予定
藤枝市 (静岡県)	市道8地区 126号線	市道8地区 126号線	1967	2023	主桁及び筋壁、 橋脚の変形、欠 損	上部工架替	架替中
袋井市 (静岡県)	市道彦島2 号線	市道彦島2 号線	1955	2016	主桁、床版、支 束の腐食	全面通行止	架替予定
東伊豆町 (静岡県)	町道稻取戸 瀬線	町道稻取戸 瀬線	1950	2021	機軸支障	全面通行止	架替中
松崎町 (静岡県)	町道大平線	町道大平線	不明	2023	主桁・横桁・床版 の腐食、床版の ひびわれ	全面通行止	未定
西伊豆町 (静岡県)	町道栄松々 坂線	町道栄松々 坂線	1932	2016	主桁の鉄筋露 出、うき	全面通行止	未定
吉田町 (静岡県)	町道塩谷上 川原線	町道塩谷上 川原線	1960	2016 2023	主桁の欠損	全面通行止	撤去予定

管理名	施設名	路線名	建設年度	点検実施年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2024.3月末時点)
豊川市 (愛知県)	市道為当何 上三津市橋 線	市道為当何 上三津市橋 線	1987	2023	橋脚の沈下	全面通行止	廃止中
豊田市 (愛知県)	市道稻武丸 シセ橋線	市道稻武丸 シセ橋線	1918	2016 2021	床版の鉄筋露出	全面通行止	修繕予定
豊田市 (愛知県)	市道稻武郡 界線	市道稻武郡 界線	1917	2016 2021	主桁、床版の鉄 筋露出	全面通行止	修繕予定
新城市 (愛知県)	市道長篠大 流線	市道長篠大 流線	1934	2023	主桁の変形	全面通行止	未定
日原市 (愛知県)	市道川内尾 崎線	市道川内尾 崎線	1979	2022	腐朽により主桁、 床版の抜け落ち	全面通行止	撤去予定
弥富市 (愛知県)	市道17号 線	市道17号 線	不明	2016 2020	主桁、下部工の 鉄筋露出	全面通行止	撤去予定
弥富市 (愛知県)	市道末広橋 線	市道末広橋 線	1972	2016 2021	主桁の腐食、変 形欠損、下部工 の鉄筋露出	全面通行止	撤去予定
東栄町 (愛知県)	町道(154)ア セモ立渡瀬 線	町道(154)ア セモ立渡瀬 線	1932	2019	主桁の格点一腐 食、欠損	全面通行止	撤去中
東栄町 (愛知県)	町道(162)吐 原線	町道(162)吐 原線	1981	2019 2023	主桁の腐食、欠 損、床版の腐食、 防食機能の劣化	全面通行止	修繕中
津市 (三重県)	市道西蔵王 馬鞍線	市道西蔵王 馬鞍線	1963	2021	主桁に腐食、床 版(路面)に腐 食・抜け落ち	全面通行止	未定
津市 (三重県)	市道大野欠 担線	市道大野欠 担線	1965	2022	主桁の腐食	全面通行止	未定
津市 (三重県)	市道小杉城 立渡瀬線	市道小杉城 立渡瀬線	1979	2022	床版部の腐食・ 抜け落ち	全面通行止	未定
熊野市 (三重県)	市道大馬細 尾線	市道大馬細 尾線	不明	2022	床版、横桁に著し い損傷	全面通行止	架替予定
伊賀市 (三重県)	市道印代山 神線	市道印代山 神線	1953	2019	橋脚の沈下	全面通行止	架替中
菟野町 (三重県)	町道湯の山 10号線	町道湯の山 10号線	1932	2016	主桁の腐食によ る断面欠損	全面通行止	架替中
大台町 (三重県)	町道高奈舟 木谷線	町道高奈舟 木谷線	1978	2020	床版に腐食	全面通行止	修繕予定
大台町 (三重県)	町道高山谷 線	町道高山谷 線	1975	2020	主桁、床版に腐 朽、腐食	全面通行止	廃止予定
度会町 (三重県)	町道井野 権田線	町道井野 権田線	1925	2017 2021	主桁、高欄の欠 損、主桁の鉄筋 露出、基礎の洗 掘	全面通行止	未定
御浜町 (三重県)	町道引作線	町道引作線	1970	2020	橋脚の沈下	全面通行止	架替中
長浜市 (滋賀県)	市道早崎千 拓線	市道早崎千 拓線	1970	2023	橋脚の鋼管柱に 顕著な板厚減 少、孔食および 破断	全面通行止	未定
長浜市 (滋賀県)	市道留目3 号線	市道留目3 号線	1935	2023	鋼桁の腐食の進 展による明らかな 板厚減少、孔食、 欠損	全面通行止	架替中

管理者	施設名	路線名	建設年度	点検実施年度	損傷の具体的内容	緊急措置内容	緊急措置後の恒久的な措置 (2024.3月末時点)
草津市 (滋賀県)	水田1号橋	上笠川原駒井沢線	1967	2023	主桁、横桁、床版の腐食、板厚減少、破断	全面通行止	架替予定
綾部市 (京都府)	物部大橋	市道宮川線	1999	2023	橋脚及び床版の沈下	全面通行止	撤去予定
南丹市 (京都府)	摩気神社前橋	市道摩気神社線	1993	2023	主桁支点部の腐朽による縦断	車両通行止	修繕中
印旛町 (大阪府)	新浜川1号橋	町道新浜1号線	不明	2022	主桁の腐食	全面通行止	架替中
奈良市 (奈良県)	熊名橋351	東部第79号線	不明	2018 2023	主桁・横桁腐食、断面欠損。下部工洗滌	バリケード設置及び通行止掲示(全面通行止)	修繕中
奈良市 (奈良県)	熊名橋355	東部第88号線	不明	2018 2023	床版・路面剥げ落ち	バリケード設置及び通行止掲示(全面通行止)	修繕中
五條市 (奈良県)	下田橋	霊安寺8号線	1945	2016 2019	主桁の損傷、下部工のひびわれ	通行規制(車両)	廃止予定
宇陀市 (奈良県)	奥ノ谷3号橋	市道宮奥針道線	1955	2018	桁に用いている丸太材が腐朽	バリケードの設置(全面通行止)	未定
宇陀市 (奈良県)	イダ橋	市道菟田野124号線	不明	2018	床版の木材が朽ちて一部抜け落ち	バリケードの設置(全面通行止)	未定
宇陀市 (奈良県)	藤田橋	市道菟田野317号線	不明	2018	床版の腐朽によって橋面の一部に穴が開いている	バリケードの設置(全面通行止)	未定
宇陀市 (奈良県)	カマクラ橋	市道下笠間茶臼山線	不明	2018	主桁の破損、及び下部工の洗滌	バリケードの設置(全面通行止)	未定
平群町 (奈良県)	瀬原1号橋	北嵯原・西市196号線	不明	2016 2020	主桁の破断、腐食	通行規制(車両)	未定
十津川村 (奈良県)	日川津大橋	村道川津線	1960	2015 2020	床版の腐食	全面通行止	撤去予定
十津川村 (奈良県)	鏡剣橋	村道平谷鏡剣線	1945	2015 2020	主桁、床版の腐食	全面通行止	修繕予定
十津川村 (奈良県)	池穴橋	村道池穴中根橋	1931	2015 2020	主桁、床版の腐食	全面通行止	修繕中
十津川村 (奈良県)	中根橋	村道池穴中根橋	1945	2015 2020	主桁、床版の腐食	全面通行止	撤去予定
十津川村 (奈良県)	大野出合橋	村道高濱小川線	不明	2015 2020	主桁の腐食	全面通行止	修繕予定
十津川村 (奈良県)	湯之原橋	村道湯之原谷線	1934	2015 2020	主桁の腐食	全面通行止	修繕予定
十津川村 (奈良県)	大樽曾橋	村道大樽曾線	不明	2015 2020	主桁、横桁の腐食	全面通行止	修繕予定
鳥取市 (鳥取県)	大橋	その他市道上妙見5号線	1994	2018	主桁、床版、横桁の腐朽	全面通行止	架替中
米子市 (鳥取県)	安養寺橋砂道橋	日原兼久線	1975	2023	ボルトの脱落、支承アンカーボルト破断など	全面通行止	撤去予定
倉吉市 (鳥取県)	広瀬5号橋	広瀬2号線	1962	2018 2023	床版の変形・欠損	全面通行止	廃止予定

管理者	施設名	路線名	建設年度	点検実施年度	損傷の具体的内容	緊急措置内容	緊急措置後の恒久的な措置 (2024.3月末時点)
八咫町 (鳥取県)	皆原鍛冶屋橋	皆原鍛冶屋線	不明	2022	橋台基礎の洗滌	バリケードを設置し歩行者及び車両を全面通行止	修繕中
日南町 (鳥取県)	通天橋	石蔵溪線	1929	2015	主桁の腐食	全面通行止	未定
松江市 (島根県)	龍源寺橋	龍源寺線	1988	2022	橋脚横鋼に孔食	全面通行止 (橋の前後に通行止看板を設置)	修繕中
松江市 (島根県)	堂谷橋	堂谷線	1954	2023	主桁、横桁、床版、覆工板の腐食と板厚減少、橋面鋼板の孔食、左岸側石積護岸の流出	全面通行止	未定
松江市 (島根県)	八幡橋	大門4号線	1984	2023	主要部材の腐食、欠損および脱落 A2橋台の洗滌、傾斜	全面通行止	撤去予定
出雲市 (島根県)	松露谷1号橋	鵜淵寺松露谷線	1985	2023	木橋・橋台の洗滌、支持杭の傾斜・露出、橋面のたわみ	全面通行止	架替予定
益田市 (島根県)	平川橋	平川線	1938	2018 2023	橋脚洗堀により橋梁全体が変状	バリケードにて通行止	撤去予定
大田市 (島根県)	野田橋(木橋)	中組野田線	1996	2023	主桁木材の腐食・進行	全面通行止	未定
雲南市 (島根県)	明石2号橋	明石線	不明	2022	橋台の沈没	全面通行止	架替中
雲南市 (島根県)	宇治谷橋	深野西側線	不明	2023	橋台の洗堀	全面通行止	架替中
雲南市 (島根県)	多久戸橋	多久戸線	不明	2023	流出	全面通行止	架替予定
吉賀町 (島根県)	中村隠居沖橋	中村隠居沖線	1973	2015 2020	主桁・横桁の腐食	全面通行止	修繕中
吉賀町 (島根県)	湯木橋	板木線	1974	2015 2020	主ケーブルの損傷	全面通行止	修繕中
隠岐の島町 (島根県)	西郷145号線	西郷145号線	1956	2017 2022	主桁割離・鉄筋露出、橋脚剥離・鉄筋露出	前面通行止	架替中
笠岡市 (岡山県)	白石島1号橋	市道白石島80号赤西尼木線	不明	2023	床版に異常な欠損あり	全面通行止	廃止中
笠岡市 (岡山県)	吉田川6号橋(笹賀原橋)	市道吉浜21号橋笹賀原線	不明	2023	主桁にひびわれ、床版に鉄筋露出、うき、A1橋台にはらみだし、P4橋脚梁部に亀裂	全面通行止	架替中
赤磐市 (岡山県)	市道板線	市道板線	不明	2022	主桁のひびわれ	全面通行止	架替予定
赤磐市 (岡山県)	上達神原1号橋	市道上達神原線	不明	2022	主桁のひびわれ	通行規制(車両)	修繕予定

管理庁	施設名	路線名	建設年度	点検実施年度	損傷の具体的な内容	緊急措置内容	緊急措置後の恒久的な措置 (2024.3月末時点)
真庭市 (岡山県)	なかむらひのち 中村西橋	市道中村西線	2000	2020	主桁の腐食・亀裂、支束の腐食、下部工の石のはらみだし	全面通行止	撤去中
真庭市 (岡山県)	おかわせみ橋 永来上橋	市道後谷・尾中線	不明	2020	床版(木部材)に著しい腐朽、破断・抜け落ち、横桁に鋼材断面減少を伴う腐食	全面通行止	修繕中
矢野町 (岡山県)	ひやだし 八井屋橋	町道辻堂線	1964	2021	主桁の腐食、路面の陥没	通行止	架替中
美咲町 (岡山県)	おみきおぼし 上岡井橋	町道谷川線	不明	2023	床版の腐朽	全面通行止	予定
美咲町 (岡山県)	こもぎせし 小坂橋	町道小坂線	不明	2023	主桁・床版端部の腐朽	全面通行止	予定
呉市 (広島県)	ほどうし かもめ歩道橋	市道市町海岸線	1953	2022	横桁の腐食、床版の剥離・鉄筋露出	バリアードによる通行止	撤去予定
府中市 (広島県)	しづみおぼし 賜谷橋1	市道賜谷広谷線	1955	2019	上部構造床版の損傷(流失)	仮設材の設置(全面通行止)	撤去中
下関市 (山口県)	うすいかみ 内日18号橋	市道内口上53号線	1976	2023	下部工損傷	通行止	修繕中
下関市 (山口県)	きのしたおし 木下橋	市道坂ノ上～保木線	1974	2023	下部工損傷	通行止	撤去中
下関市 (山口県)	ムメイキョウ 25	市道上時線	1957	2023	橋台背面陥没	通行止	修繕中
山口市 (山口県)	りばおおきおぼし 東願田橋	小森和西線	不明	2023	主桁・床版の腐食	全面通行止	予定
岩国市 (山口県)	あしよりおし 御庄橋	御庄1号線	1953	2016	主桁ゲルバー部のひびわれ	全面通行止	撤去中
長門市 (山口県)	あきつねおし 神出橋	市道神出線	1963	2021	主桁の剥離、鉄筋露出	全面通行止	撤去予定
柳井市 (山口県)	かまざ 鎌腰1号橋	河原鎌腰線	1976	2015 2020	主桁の剥離、鉄筋露出	全面通行止	廃止予定
山陽小野田市 (山口県)	いしまるおし 石丸橋	市道桜川石丸線	1964	2022	下部構造の沈下	路河規制(掘出部の通行制限)	予定
山陽小野田市 (山口県)	まつぎおぼし 松ヶ瀬橋	市道松ヶ瀬線	1954	2015 2020	主桁の剥離、鉄筋露出	全面通行止	予定
五布輪町 (山口県)	あみしろおし 上シガラ橋	法寺坊線	1958	2021	橋台の一部損傷	全面通行止	予定
市布輪町 (山口県)	ササ崎おし 千坊橋	竹尾奥線	1959	2021	橋台ひびわれ・亀裂、基礎部の洗掘による欠損	全面通行止	撤去中
徳島市 (徳島県)	ししががおし 庄良橋	市道庄・中島田東線	1965	2019 2022	主桁の腐食、鉄筋露出および鉄筋の破断	車両通行止	架替予定
三好市 (徳島県)	あきさきおぼし 野呂内橋	坪尻野呂内線	1959	2017 2021	下部構造物の剥離、洗掘、腐食	全面通行止	廃止予定
三好市 (徳島県)	どうしおぼし 堂床橋	境谷大谷線	1959	2015	主桁の腐食	全面通行止	撤去予定
三好市 (徳島県)	かみまおし 号木橋	旧松舟線	1963	2014	主桁、支束部の腐食、鉄筋露出	全面通行止	修繕中

管理庁	施設名	路線名	建設年度	点検実施年度	損傷の具体的な内容	緊急措置内容	緊急措置後の恒久的な措置 (2024.3月末時点)
三好市 (徳島県)	ツフ谷落合線 3号橋	ツフ谷落合線	1972	2021	主桁に鉄筋露出・欠損、鋼材の異常(土砂化)	全面通行止	廃止予定
三好市 (徳島県)	おきおぼし 接敷橋	窓小咀谷線	1970	2017 2021	床版部分の腐食	全面通行止	廃止予定
上勝町 (徳島県)	おきおぼし 中須橋	町道神明葛又線	不明	2016	木床版の腐朽、橋台の剥離	全面通行止	撤去予定
上勝町 (徳島県)	いもうきおぼし 下海木橋	町道下海木線	不明	2016	木床版の腐朽	全面通行止	撤去予定
つるぎ町 (徳島県)	きりふらおし 吉良谷橋	町道吉良谷線	1957	2017 2022	鉄筋露出・橋台下部洗掘	全面通行止	撤去予定
高松市 (香川県)	さくらおし 笠原橋	市道東谷1号線	1965	2019	下部構造の洗掘	全面通行止	撤去中
観音寺市 (香川県)	おきおぼし 電線橋	市道姫浜上砂線	不明	2021	床版、下部構造に鉄筋露出・腐食	通行規制(車両)	撤去予定
観音寺市 (香川県)	おきおぼし 観音寺極楽橋	市道上若菜線	1933	2015 2021	上下部工の剥離、鉄筋露出	通行規制(二輪・歩行者以外)	架替予定
まんのう町 (香川県)	つるぎおし 常包橋	町道常包橋線	1933	2016 2020	主桁ゲルバー部のひびわれ、床版の鉄筋露出、支束部の腐食	通行規制(車両)	撤去予定
松山市 (愛媛県)	おきおぼし 鹿島橋3号橋	市道鹿島公園線	不明	2018 2023	主桁全面に著しい鉄筋露出	全面通行止	予定
松山市 (愛媛県)	おきおぼし 鹿島橋5号橋	市道鹿島公園線	不明	2018 2023	主桁全面に著しい剥離、漫雑石灰等	全面通行止	予定
松山市 (愛媛県)	おきおぼし 鹿島橋6号橋	市道鹿島公園線	不明	2018 2023	主桁全面に著しい鉄筋露出、遊離石灰等	全面通行止	予定
松山市 (愛媛県)	おきおぼし 鹿島橋7号橋	市道鹿島公園線	不明	2018 2023	主桁全面に著しい鉄筋露出、遊離石灰等	全面通行止	予定
松山市 (愛媛県)	きりふら 湯山19号橋	市道湯山19号線	不明	2017 2023	木造桁橋(人道橋)の主桁4本のうち1本に腐朽・欠損、床版全体にも腐朽	全面通行止	撤去予定
久万高原町 (愛媛県)	おきおぼし 西一橋	町道西一線	1967	2023	橋台・橋脚の新面欠損	単管バリアード	修繕中
室戸市 (高知県)	まきおぼし 佐喜浜橋	市道佐喜浜本線	1929	2017	主桁、下部工に腐食、剥離・鉄筋露出、床版に剥離・鉄筋露出、支承の機能障害	車両通行止	架替中
室戸市 (高知県)	さくらおし 港橋	市道港橋線	1971	2015	主桁、横桁、支束の腐食	全面通行止	撤去予定
室戸市 (高知県)	あきおぼし 吉良川大橋	市道本町西ノ宮線	1936	2017	主桁に腐食、うき、剥離・鉄筋露出、下部工に腐食、剥離・鉄筋露出、沈下	車両通行止	撤去予定

管理者	施設名	路線名	建設 年度	点検 実施 年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2024.3月末時点)
安芸市 (高知県)	八重敷東線1号橋	市道八重敷 東線	不明	2018 2021	床版全体に著し い腐朽、抜け落 ち	全面通行止	修繕中
安芸市 (高知県)	奈比賀古井線 13号橋	市道奈比賀 古井線	不明	2018 2022	落橋および橋台 の崩落	全面通行止	修繕予定
安芸市 (高知県)	奈比賀古井線 7号橋	市道奈比賀 古井線	不明	2018 2022	床版の木材に著 しい腐朽、脱落	全面通行止	修繕予定
安芸市 (高知県)	奈比賀古井線 8号橋	市道奈比賀 古井線	不明	2018 2022	床版の木材に著 しい腐朽、脱落	全面通行止	修繕予定
安芸市 (高知県)	奈比賀古井線 12号橋	市道奈比賀 古井線	不明	2018 2022	床版の木材に著 しい腐朽、脱落	全面通行止	修繕予定
安芸市 (高知県)	市道大谷6号橋	市道大谷6 号線	不明	2018 2022	床版に板厚減少 を伴う著しい腐食	全面通行止	機能変更中
須崎市 (高知県)	大谷6号線2号橋	市道大谷6 号線	1951	2016 2021	主桁の鉄筋露出	全面通行止	撤去予定
須崎市 (高知県)	宮ノ川内15号線 1号橋	市道宮ノ川 内15号線	不明	2014 2019	木橋の上部構造 の腐朽	全面通行止	撤去予定
須崎市 (高知県)	大洞6号線2号橋	市道大洞 6 号線	不明	2014 2019	木橋の上部構造 の腐朽、床版の 抜け落ち、下部 工の石積の崩壊	全面通行止	撤去予定
宿毛市 (高知県)	山田貝線1号橋	市道山田貝 線	1979	2018	主桁、床版の腐 食、洗滌	全面通行止	廃止予定
土佐清水市 (高知県)	大津南線2号橋	市道大津南 線	1969	2018	主桁の剥離・鉄 筋露出、横桁の 剥離・鉄筋露出	全面通行止	撤去中
土佐清水市 (高知県)	大津南線1号橋	市道大津南 線	1969	2018	主桁の剥離・鉄 筋露出、横桁の 剥離・鉄筋露出	全面通行止	撤去中
馬場市 (高知県)	三車橋	市道具岡三 車線	1963	2017	パイプベント橋脚 (縦管)の腐食	応急処置を行 い、通行開放	修繕中
香美市 (高知県)	猪ノ谷橋	市道神池川 ノ内線	不明	2021	橋梁の落橋	全面通行止	廃止予定
馬路村 (高知県)	野口橋	村道野口橋 線	1953	2017	全耐風害の破断 によるハンガーロ ープのゆるみ	全面通行止	廃止予定
大豊町 (高知県)	日吉野川橋	町道穴内尾 生線	1911	2017 2021	変形・欠損・異状 なたわみ	全面通行止	未定
大豊町 (高知県)	中内谷橋	町道大滝中 内線	1959	2019	A1 橋台の顕著な 沈下、移動、傾斜	下部工の開き 前に間筋コン クリート施工	修繕中
津野町 (高知県)	茶屋ヶ敷場線12 号橋	町道茶屋ヶ 敷場線	1951	2021	主桁及び横桁に 腐食	通行規制(損 傷の著しい個 所を封鎖)	撤去予定
馬場市 (高知県)	下道下道下 津井線	町道下道下 津井線	1940	2016 2021	橋台のひびわれ	全面通行止	修繕中
馬場市 (高知県)	大正橋	町道古川線	1928	2016 2023	主桁・縦桁・横 桁・ボルトの腐食	全面通行止	未定
馬場市 (高知県)	日野々瀬尾橋	町道日野々 瀬尾線	不明	2018 2023	主桁に開口幅の 大きなひびわれ	全面通行止	廃止予定

管理者	施設名	路線名	建設 年度	点検 実施 年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2024.3月末時点)
四万十町 (高知県)	コヤノ谷1号橋	町道山内線	不明	2018 2023	主桁の腐食	全面通行止	架替予定
四万十町 (高知県)	下津才橋2	町道大井川 西土佐線	1963	2018 2023	主桁剥離・鉄筋 露出、両橋台の 洗滌	全面通行止	撤去予定
四万十町 (高知県)	津賀の川橋	町道津賀の 鼻線	1961	2018 2023	主桁、床版の腐 食、橋台の洗滌	全面通行止	撤去予定
黒潮町 (高知県)	幸ノ川橋	町道幸ノ川 北線	1935	2015 2020 2023	主桁の鉄筋露 出、断面欠損	全面通行止	修繕予定
宮若市 (福岡県)	糸田橋	市道 糸田・ 相手無線	1963	2020	橋脚傾き	バリケードを設 置し全面通行 止	撤去予定
武雄市 (佐賀県)	古瀬4号橋	市道乳待坊 線	1976	2022	橋脚の汚損	車両通行止	修繕予定
小浜市 (佐賀県)	安心橋	市道 峰・畑 田線	1994	2020	下部構造の変 形・欠損	全面通行止	架替中
みやき町 (佐賀県)	石井橋	町道石井区 内線	1969	2023	橋脚の沈下によ る主桁の浮き	全面通行止	架替予定
平戸市 (長崎県)	瑞橋	市道若宮線	1931	2016 2021	主桁、床版、両 側の鉄筋露出	通行規制(車 両)	廃止予定
平戸市 (長崎県)	安海橋	市道旧大越 線	1959	2016 2021	主桁の損傷	通行規制(車 両)	廃止予定
対馬市 (長崎県)	新橋1	市道尾崎郷 崎線	不明	2015 2020	主桁の腐食、床 版の剥離、鉄筋 露出	通行規制(2c)	架替中
対馬市 (長崎県)	大増橋	市道大増本 線	1974	2015 2020	主桁、支束の腐 食	通行規制(車 両)	修繕中
対馬市 (長崎県)	伊奈中山線15号橋	市道伊奈中 山線	不明	2022	下道工の沈下、 傾斜	通行規制(2c)	架替中
水俣市 (熊本県)	幸橋	市道幸町・ 牧ノ内線	1965	2020	ラーメン橋脚(無 筋構造)の梁下面 及び柱に大きな 損傷(ひび割れ、 断面欠損)	重量規制(5t)	架替中
宇土市 (熊本県)	黒橋	市道(9-182) 川越・宮の 後線	不明	2015 2019	主桁、床版の腐 食、下部工のひ びわれ	全面通行止	撤去予定
天草市 (熊本県)	環浜橋1	市道横浜 3 号線	1988	2021	主桁と横桁に腐 食、支束も腐食・ 機能障害、下部 工 胸壁に剥離・ 沈下	全面通行止	撤去中
天草市 (熊本県)	長日橋	市道宮ヶ浦 上線	1989	2021	主桁に鉄筋露 出・うき、ハンチ部 にうき	全面通行止	架替予定
岡岡町 (熊本県)	落合橋	町道 上・長 田・落合線	1926	2022	橋脚の欠損、高 欄の脱落	全面通行止	架替中
大津町 (熊本県)	瀬崎橋	町道八迫線	1970	2021 2022	橋台の欠損	全面通行止	未定
小国町 (熊本県)	正山橋	町道山角古 無線	1965	2022	橋台の洗滌、削 装の施設	全面通行止	廃止予定
甲佐町 (熊本県)	御手洗橋	町道上揚井 戸江線	1986	2023	断面欠損及び、R C T桁の欠損	片側交互通行 規制	未定

管理者	施設名	路線名	建設年度	点検実施年度	損傷の具体的内容	緊急措置内容	緊急措置後の恒久的な措置 (2024.3月末時点)
水上村 (熊本県)	きなが平橋	村道片地横才線	1971	2019	主桁の欠損、鉄筋露出、変形	全面通行止	修繕中
水上村 (熊本県)	きなが湯山橋	村道江の原下馬場線	1958	2021	PI 橋脚の剥離・鉄筋露出	全面通行止	撤去予定
相良村 (熊本県)	しんがみ新深木橋	村道新深木線	2005	2020	下部工汚損	全面通行止	修繕中
球磨村 (熊本県)	くまの丸岩橋	村道神瀬大岩線	1971	2022	下部構造の汚損	4t車以上通行止	修繕中
球磨村 (熊本県)	くまの丸尾第一橋	村道井手線	1965	2022	下部構造の汚損	4t車以上通行止	修繕中
球磨村 (熊本県)	くまの吉橋	村道吉線	1960	2022	下部構造の汚損	4t車以上通行止	修繕中
球磨村 (熊本県)	くまの松葉橋	村道神瀬大岩線	1971	2022	下部構造の汚損、剥離・鉄筋露出	4t車以上通行止	修繕中
球磨村 (熊本県)	くまの熊原橋	村道神瀬大岩線	1968	2021	RC床版の鉄筋露出・うき、橋台の洗掘	全面通行止 (仮設道路設置)	架替中
球磨村 (熊本県)	くまの白路橋	村道田野線	1954	2022	支承の機能障害	4t車以上通行止	未定
佐伯市 (大分県)	さかき清滝橋	市道河内清滝橋線	1958	2017 2023	防食機能の劣化、各桁の板厚減少	全面通行止	廃止中
津久見市 (大分県)	つぐみ福山橋	市道若屋線	1936	2014 2019	床版の剥離、鉄筋露出、うき	通行規制(2t)	未定
津久見市 (大分県)	つぐみ日代橋	市道若良綱代1号線	1962	2014 2019	床版の鉄筋露出、主桁の腐食	全面通行止	廃止予定
津久見市 (大分県)	つぐみ日代歩道橋	市道若良綱代1号線	1962	2014 2019	床版、主桁の腐食	全面通行止	廃止予定
豊後大野市 (大分県)	おののつみ中津無礼橋	市道中津無礼合川線	1965	2019	橋脚が無筋の為	通行制限(4t車以上)	架替中
由布市 (大分県)	ゆふの橋	市道仁瀬小袋線	不明	2015 2020	主桁、支承の腐食、橋台の洗掘	全面通行止	撤去予定
由布市 (大分県)	ゆふの志原橋	市道中志原田線	不明	2015 2020	主桁の剥離、鉄筋露出	全面通行止	未定
由布市 (大分県)	ゆふの上瀬橋	市道下柿木線	不明	2015 2020	主桁、橋脚の剥離、鉄筋露出	全面通行止	撤去予定
由布市 (大分県)	ゆふの蓮坪橋	市道東行壇坪岡線	1929	2015 2021	主桁の剥離、鉄筋露出	全面通行止	未定
由布市 (大分県)	ゆふの荒瀬橋	市道野屋狭間線	1951	2019	主桁、横桁、床版の剥離、鉄筋露出	全面通行止	撤去予定
国東市 (大分県)	くにがみ元宮橋	市道元宮線	1950	2021	支承の防食機能の劣化・腐食	全面通行止	架替中
九重町 (大分県)	くぐり平家谷橋	町道平家山線	不明	2020	桁橋壁の変形・欠損	全面通行止	廃止予定
延岡市 (宮崎県)	のびのび深谷川橋	市道城打扇線	1971	2019 2023	床版の腐食	通行止	廃止予定
西之表市 (鹿児島県)	さいの表高浜橋	市道鴨女町1号線	1974	2022	主桁、横桁、支承部の著しい板厚減少や破断	全面通行止 (看板設置)	修繕中
薩摩川内市 (鹿児島県)	さつま川内白木橋	市道手打1号線	1968	2022	全ての支承や主桁端部の鋼材で板厚減少や孔食	全面通行止	修繕中

管理者	施設名	路線名	建設年度	点検実施年度	損傷の具体的内容	緊急措置内容	緊急措置後の恒久的な措置 (2024.3月末時点)
日置市 (鹿児島県)	ひきあいら橋	市道内湯田湯田原線	1924	2016 2021	石桁のひびわれ、鋼部材の腐食	車両通行止	未定
姶良市 (鹿児島県)	あきんど春城戸橋	市道酒屋阪線	1961	2017 2022	アーチ石の崩落	全面通行止	撤去予定
屋久島町 (鹿児島県)	おくの宮之浦川橋	町道宮之浦中通線	1930	2023	主桁の欠損、橋脚の傾きの異常	フェンスにより歩行者及び車両の立入禁止措置	撤去予定
天城町 (鹿児島県)	てんじの川2号橋	町道中地前峯9号線	1966	2021	橋台底面に浮き	全面通行止 (看板設置)	修繕中
伊仙町 (鹿児島県)	いせんの久保久橋	町道カネク線	1977	2019 2023	主材部の激しい損傷	全面通行止 (看板設置)	架替中
沖崎市 (沖縄県)	おきな島の内音納橋	市道東阿知物楽園線	1976	2017 2020	床版の剥離・鉄筋露出	仮設け材の設置(通行規制(車両))	未定
宜野座村 (沖縄県)	いのざの1号ボックスカルバート3	村道湯原に国道線	1967	2017 2022	頂板全体の鉄筋露出	全面通行止	撤去予定
与那国町 (沖縄県)	よなぐに島中橋	町道ティンダバナ線	1963	2018	主桁・床板のたわみ、剥離、うき、鉄筋露出	全面通行止	架替予定

※判定区分Ⅳの施設リストは、2024.7に各道路管理者に確認した内容を記載。

※緊急措置後の恒久的な措置が完了済の施設は除く。

【トンネル】

○ 判定区分Ⅳのトンネルの措置内容(完了済・予定のものを含む)

管理者	計	管理中			撤去・ 廃止済 ※1	計	うち措置未完了 (下記リスト参照)
		修繕	廃止	対応 未定			
国土交通省	3	3	0	0	0	3	0
都道府県・ 政令市等	14	13	0	1	0	14	4
市区町村	37	20	9	8	24	61	23
合計	54 (69%)	36 (46%)	9 (12%)	9 (12%)	24 (31%)	78	27 (35%)

※1: 判定後、撤去・廃止により管理施設から除外されたもの。

※高速道路会社管理のトンネルは健全度Ⅳの施設なし。

○ 国土交通省(0箇所)

○ 都道府県・政令市等(4箇所)

管理者	施設名	路線名	建設 年度	点検 実施 年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2024.3月末時点)
東京都	トキワゲ 吹上トンネル	青梅秩父線	1953	2023	うき・剥離	剥落防止ネット の設置(現状 部点下の通行 規制)	修繕中
長野県	ねざめトンネル	一般県道上 松岡木曾線	2002	2021	覆工の劣化不足	はく落防止措 置	修繕中
滋賀県	横山隧道	一般県道大 野木志賀谷 長浜線	1923	2023	背面空洞	侵入できない よう門扉設置 済み	未定
奈良県	高野トンネル	国道169号	1996	2018	覆工のひびわれ	全面通行止	修繕中

○ 市区町村(23箇所)

管理者	施設名	路線名	建設 年度	点検 実施 年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2024.3月末時点)
上士幌町 (北海道)	ふた川トンネル	町道様平線	1955	2018 2021	剥落・漏水・ひび われ	全面通行止	廃止予定
みなかみ町 (群馬県)	宝川隧道	町道藤原 119号線	1960	2018 2023	坑門、覆工アー チ・側壁の剥離	全面通行止	修繕予定
岩津市 (千葉県)	奥米3号隧道	市道奥米・ 堀田線	不明	2014	激しい崩落、崩落 した岩の堆積	全面通行止	廃止予定
岩津市 (千葉県)	岩の上隧道	市道坂畑・草 川原線	不明	2014	激しい崩落、崩落 した岩の堆積	全面通行止	廃止予定
見附市 (新潟県)	新屋隧道	津沢・柳森線	1956	2019	坑口の崩壊	全面通行止	未定
村上市 (新潟県)	大崎山トンネル	市道府屋基 石線	1955	2019	本工の材質劣 化	全面通行止	廃止予定

管理者	施設名	路線名	建設 年度	点検 実施 年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2024.3月末時点)
村上市 (新潟県)	関ノ内トンネル	市道府屋基 石線	1955	2019	本工の材質劣 化	全面通行止	廃止予定
富山市 (富山県)	砂蔵トンネル	市道蟹寺加 賀沢線	1977	2018	側壁に設置を伴 うひび割れ、坑門 ひび割れ	全面通行止	修繕中
白山市 (石川県)	数瀬隧道	市道数瀬2 号線	1959	2018	アーチ部のうき、 側面壁の欠損	全面通行止 (2004より)	廃止中
白山市 (石川県)	餘葉隧道	市道ダム1号 線	1979	2018	アーチ部のうき	全面通行止 (2018より)	修繕予定
白山市 (石川県)	白尾境隧道	市道ダム1号 線	1979	2018 2023	アーチ部の漏水、 空洞	全面通行止 (2014より)	修繕予定
伊那市 (長野県)	美和ダム1号トンネル	市道勝間赤 の入線	1958	2018 2023	材料劣化	全面通行止	未定
小谷村 (長野県)	菅抜トンネル	村道下寺湯 原線	1962	2022	豆板・漏水	全面通行止	未定
小谷村 (長野県)	湯原2号トンネル	村道下寺湯 原線	1958	2022	豆板・ひび割れ	全面通行止	未定
高山市 (岐阜県)	日和田1号トンネル	市道近城線	不明	2018	坑門工左肩部に ブロック化した浮 き	全面通行止	廃止予定
沼津市 (静岡県)	笠置トンネル	市道504号 線	不明	2017	左側壁に一部剥 離、うき	全面通行止	廃止中
長浜市 (滋賀県)	湖北隧道	市道八王部 岩熊線	1934	2020	覆工・坑門の材 質劣化(浮き、剥 離、ひび割れ)、 漏水多数	全面通行止	未定
北広島市 (広島県)	下山トンネル	町道下山橋 山線	1935	2019	覆工コンクリート、 岩盤の剥落、漏 水	仮設材の設置 (全面通行止)	修繕予定
下妻市 (山口県)	水垂トンネル	市道附野水 垂線	1930	2018 2023	本体の一部が崩 落	全面通行止	未定
萩市 (山口県)	江尻隧道	市道江舟尻 線	不明	2018 2023	覆工に、うき・剥 離・剥落	全面通行止	未定
萩市 (山口県)	ごんにゅうどう隧道	市道田代湯 ヶ原線	1973	2023	覆工に、うき・剥 離・背面空洞	全面通行止	未定
宿毛市 (高知県)	宿毛トンネル	市道与市明 野地線	1929	2017 2022	うき、ひび割れか らの漏水	全面通行止	廃止予定
中津市 (大分県)	カブシトンネル	市道曾木多 志田線	1914	2023	はく離・材質劣 化	全面通行止	修繕中

※判定区分Ⅳの施設リストは、2024.7に各道路管理者に確認した内容を記載。

※緊急措置後の恒久的な措置が完了済の施設は除く。

【道路附属物等】

○ 判定区分Ⅳの道路附属物等の措置内容(完了済・予定のものを含む)

管理者	管理中				撤去・ 廃止済 ※1	計	うち措置未完了 (下記リスト参照)
	計	修繕	廃止	対応 未定			
国土交通省	6	6	0	0	3	9	2
都道府県・ 政令市等	24	21	1	2	8	32	9
市区町村	8	6	0	2	7	15	3
合計	38 (68%)	33 (59%)	1 (2%)	4 (7%)	18 (32%)	56	14 (25%)

※1: 判定後、撤去・廃止により管理施設から除外されたもの。
※高速道路会社管理の道路附属物等は健全度Ⅳの施設なし。

○ 国土交通省(2施設)

管理者	施設名	路線名	建設 年度	点検 実施 年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2024.3月末時点)
関東地方 整備局	関戸駅前歩道橋	国道14号	1970	2018 2023	主桁ガルバー部の腐食による欠損(閉塞済み)	排水機能の改善・追加、水分供給経路の遮断、桁受け材の設置(通行可能)	修繕中
神岡総合 事務局	案内標識	国道58号	1978	2023	支柱の嵩と損傷の腐食・断面貫通	横桁の孔食を塞ぎ水分供給経路の遮断及び鍍金塗装下を防止 月に1回、変状の進行具合や第三者被害の危険性を確認	修繕中

○ 都道府県・政令市等(9施設)

管理者	施設名	路線名	建設 年度	点検 実施 年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2024.3月末時点)
札幌市	道路標識	主要道道宮の沢北一条線	1978	2023	横梁トラス部の歪裂	亀裂部材の交換	廃止予定
兵庫県	魚橋歩道橋	(国)2号	1971	2023	隆装部の腐食	仮受け材を設置後、通行規制を解除	修繕中
福岡市	号日町歩道橋	1級市道博多駅春原2号線	1969	2022	F11T高力ボルトの使用	ボルト落下防止キャップの設置	未定

管理者	施設名	路線名	建設 年度	点検 実施 年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2024.3月末時点)
福岡市	美野島歩道橋	一般県道松原比志線	1968	2022	F11T高力ボルトの使用	ボルト落下防止キャップの設置	未定
福岡市	東和白歩道橋	JR 鹿児島本線	1947	2022	F11T高力ボルトの使用	ボルト落下防止キャップの設置	修繕中
鹿児島県	道路標識	県道指宿鹿児島インター線	1992	2022	標識板取付部のナットのゆるみ	ナット締め付けを実施	修繕中
鹿児島県	道路標識	県道指宿鹿児島インター線	1988	2022	標識板取付部のブラケット・ネットの脱落	応急ナットを設置	修繕中
鹿児島県	道路標識	県道鹿児島油下荒田線	不明	2022	標識板取付部のボルトの突出長不足	応急ボルトを設置	修繕中
沖縄県	跨山横断歩道橋	県道82号那覇米湾線	1980	2023	橋台のひび割れ及びスロープの傾き	全面通行止	修繕中

○ 市区町村(3施設)

管理者	施設名	路線名	建設 年度	点検 実施 年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2024.3月末時点)
四街道市 (千葉県)	みそら歩道橋	みそら78号線	不明	2022	主桁と横桁の取付部の損傷	通行止め及び職員による見回り	未定
阿賀町 (新潟県)	五十島スノーシェッド	町道向山戸線	不明	2019	頂版からの漏水および遊離石灰	ゲートを設置し全面通行止	未定
上田市 (長野県)	箸久保歩道橋	市町村道久保林大屋線	1977	2022	鋼材の腐食による縦桁、床板の劣化	頻繁な監視及び一部通行制限	修繕中

※判定区分Ⅳの施設リストは、2024.7に各道路管理者に確認した内容を記載。
※緊急措置後の恒久的な措置が完了済の施設は除く。

(4) 橋梁・トンネルの建設年度別施設数

① 橋梁

建設年度	国土 交通省	高速 道路 会社	都道府県 ・政令市 等	市区 町村	合計
1920 以前	15	0	165	666	846
1921	1	0	51	85	137
1922	3	0	64	53	120
1923	6	0	88	94	188
1924	7	0	102	79	188
1925	9	0	134	108	251
1926	45	0	254	206	505
1927	28	0	323	226	577
1928	18	0	365	260	643
1929	19	0	351	250	620
1930	15	0	421	403	839
1931	26	0	468	341	835
1932	59	0	516	331	906
1933	87	0	655	476	1,218
1934	52	0	617	381	1,050
1935	51	0	670	738	1,459
1936	48	0	461	390	899
1937	54	0	571	333	958
1938	52	0	408	282	742
1939	50	0	264	192	506
1940	33	0	218	482	733
1941	63	0	141	245	449
1942	41	0	106	96	243
1943	23	0	109	168	300
1944	8	0	69	84	161
1945	17	0	139	340	496
1946	11	0	83	212	306
1947	35	0	216	279	530
1948	16	0	160	264	440
1949	66	0	212	242	520
1950	57	0	447	1,168	1,672
1951	116	0	582	897	1,595
1952	140	0	633	813	1,586
1953	128	0	933	1,063	2,124
1954	125	0	1,046	1,507	2,678
1955	188	0	1,440	2,590	4,218
1956	203	0	1,353	1,268	2,824
1957	264	0	1,422	1,546	3,232
1958	387	3	1,903	1,976	4,269
1959	532	19	2,058	2,219	4,828
1960	528	19	2,813	5,499	8,859
1961	611	10	2,849	4,212	7,682
1962	784	15	2,738	4,063	7,600
1963	848	367	2,869	4,147	8,231
1964	896	370	2,860	4,170	8,296
1965	891	142	3,526	8,340	12,899
1966	698	7	3,048	4,729	8,482
1967	706	220	3,422	5,532	9,880
1968	659	1,016	3,524	5,495	10,694
1969	837	224	3,301	5,285	9,647
1970	856	208	3,921	11,395	16,380
1971	913	360	3,871	7,697	12,841
1972	970	664	4,583	8,969	15,186

建設年度	国土 交通省	高速 道路 会社	都道府県 ・政令市 等	市区 町村	合計
1973	988	855	3,951	9,173	14,967
1974	715	1,086	3,035	7,189	12,025
1975	667	791	3,029	11,317	15,804
1976	491	528	2,604	7,761	11,384
1977	517	582	2,704	7,567	11,370
1978	709	624	3,647	8,179	13,159
1979	739	567	3,197	7,871	12,374
1980	689	620	3,676	10,977	15,962
1981	638	336	3,194	8,888	13,056
1982	581	738	2,718	8,313	12,350
1983	592	599	3,010	7,483	11,684
1984	590	411	2,300	6,336	9,637
1985	526	578	2,829	8,179	12,112
1986	617	418	2,914	6,305	10,254
1987	706	863	2,687	5,991	10,247
1988	662	615	3,030	6,081	10,388
1989	607	457	2,696	5,848	9,608
1990	461	562	2,512	6,664	10,199
1991	437	606	2,603	5,098	8,744
1992	435	651	2,385	4,540	8,011
1993	474	431	2,742	4,863	8,510
1994	492	482	2,402	4,155	7,531
1995	372	421	2,202	4,090	7,085
1996	533	567	2,163	3,980	7,243
1997	387	598	2,067	3,554	6,606
1998	453	398	2,122	3,846	6,819
1999	516	421	2,081	3,315	6,333
2000	547	460	1,951	3,975	6,933
2001	593	367	1,725	3,228	5,913
2002	571	495	1,720	2,892	5,678
2003	486	500	1,617	2,552	5,155
2004	484	260	1,443	2,164	4,351
2005	470	152	1,185	1,831	3,638
2006	428	164	1,183	1,627	3,402
2007	490	183	1,409	1,698	3,780
2008	463	219	1,220	1,370	3,272
2009	489	249	907	1,171	2,816
2010	476	194	994	1,348	3,012
2011	463	164	868	1,142	2,637
2012	427	133	763	982	2,305
2013	470	162	646	890	2,168
2014	382	218	645	934	2,179
2015	299	246	518	863	1,926
2016	214	66	403	778	1,461
2017	253	230	401	768	1,652
2018	189	226	372	700	1,497
2019	206	167	330	569	1,272
2020	161	56	331	565	1,113
2021	86	91	279	473	929
2022	54	10	219	345	628
2023	11	0	80	134	225
不明	1,576	2	29,437	163,546	194,561
総計	39,187	24,463	188,689	476,994	729,333

② トンネル

建設年度	国土 交通省	高速 道路 会社	都道府県 ・政令市 等	市区 町村	合計
1920 以前	0	0	54	106	160
1921	0	0	3	6	9
1922	0	0	0	6	6
1923	1	0	6	5	12
1924	0	0	1	7	8
1925	3	0	0	5	8
1926	1	0	7	10	18
1927	1	0	6	10	17
1928	3	0	9	8	20
1929	0	0	1	12	13
1930	0	0	14	22	36
1931	0	0	6	9	15
1932	0	0	12	11	23
1933	0	0	7	13	20
1934	1	0	12	10	23
1935	4	0	13	16	33
1936	0	0	10	12	22
1937	0	0	6	7	13
1938	1	0	9	6	16
1939	2	0	8	5	15
1940	0	0	3	7	10
1941	1	0	3	10	14
1942	2	0	8	6	16
1943	3	0	6	17	26
1944	2	0	3	6	11
1945	1	0	4	9	14
1946	0	0	1	4	5
1947	0	0	4	5	9
1948	2	0	5	3	10
1949	7	0	3	3	13
1950	5	0	11	13	29
1951	1	0	11	12	24
1952	2	0	12	12	26
1953	2	0	25	24	51
1954	3	0	27	17	47
1955	2	0	49	35	86
1956	5	0	38	20	63
1957	6	1	29	18	54
1958	10	0	56	20	86
1959	8	1	43	17	69
1960	9	0	47	25	81
1961	11	0	42	17	70
1962	24	6	42	14	86
1963	43	8	67	11	129
1964	37	21	37	27	122
1965	44	0	55	20	119
1966	25	0	56	16	97
1967	31	5	71	14	121
1968	31	27	79	22	159
1969	28	16	44	20	108
1970	48	1	56	24	129
1971	37	3	84	27	151
1972	27	6	91	30	154

建設年度	国土 交通省	高速 道路 会社	都道府県 ・政令市 等	市区 町村	合計
1973	18	22	95	32	167
1974	24	24	113	24	185
1975	20	12	73	23	128
1976	10	5	74	19	108
1977	20	33	104	23	180
1978	13	13	98	34	158
1979	18	12	85	36	151
1980	16	37	87	28	168
1981	14	37	87	30	168
1982	17	73	96	16	202
1983	17	26	91	37	171
1984	15	20	79	26	140
1985	17	57	82	32	188
1986	10	60	90	26	186
1987	15	76	97	23	211
1988	19	64	123	23	229
1989	17	60	94	30	201
1990	13	90	118	24	245
1991	20	68	110	12	210
1992	29	67	116	31	243
1993	11	98	127	33	269
1994	27	48	115	21	211
1995	15	36	110	36	197
1996	17	47	126	41	231
1997	22	81	132	59	294
1998	15	59	130	51	255
1999	17	58	117	35	227
2000	15	32	127	35	209
2001	23	48	117	36	224
2002	22	56	120	30	228
2003	24	35	103	34	196
2004	24	49	102	27	202
2005	35	50	80	14	179
2006	38	17	78	11	144
2007	66	26	71	13	176
2008	42	55	65	11	173
2009	56	35	60	11	162
2010	41	25	68	6	140
2011	52	31	59	10	152
2012	55	6	53	4	118
2013	31	37	34	3	105
2014	47	34	46	7	134
2015	52	63	47	10	172
2016	50	9	49	8	116
2017	44	21	39	2	106
2018	28	56	38	7	129
2019	22	18	41	3	84
2020	24	3	18	3	48
2021	22	3	40	2	67
2022	8	0	17	1	26
2023	2	0	11	0	13
不明	6	6	12	261	285
総計	1,769	2,093	5,560	2,165	11,587

道路メンテナンス年報データ集目録（HP）

- ・ 全国道路施設点検データベース（損傷マップ）
<https://road-structures-map.mlit.go.jp/>
- ・ 全国道路施設点検データベース
<https://road-structures-db.mlit.go.jp/>
- ・ 管理施設数（全道路管理者、国土交通省、高速道路会社、地方公共団体）
- ・ 点検実施数（全道路管理者、国土交通省、高速道路会社、地方公共団体）
- ・ 点検結果（全道路管理者、国土交通省、高速道路会社、地方公共団体）
- ・ 施設名（国土交通省、高速道路会社、地方公共団体）

4. 関東MCからの情報提供

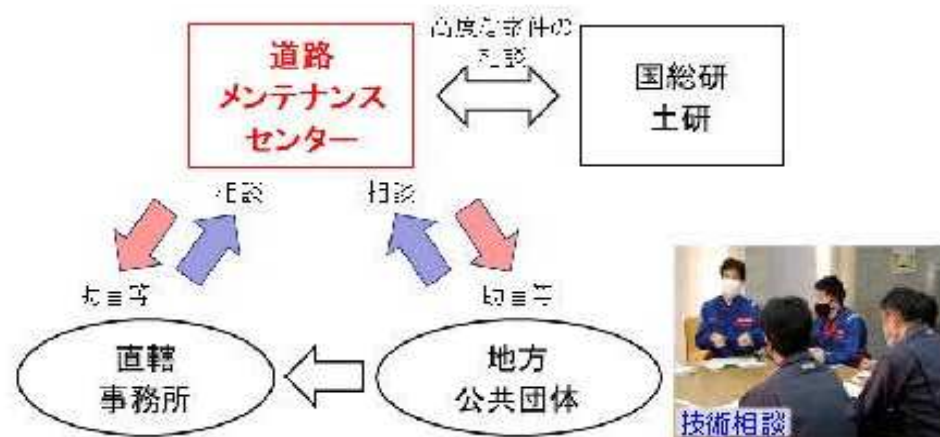
道路メンテナンスに関する地方公共団体支援(関東MCの技術支援)



- 関東MCでは、地方公共団体の皆さまの道路構造物の保全に関する支援を行っています。
- ・何かお困り事がございましたらお気軽にご相談下さい。
 - ・また、地方公共団体職員向けの研修・講習会にも取り組んでいますのでお気軽にお声掛け下さい。
 - ・高度な技術力等を要する施設については、直轄診断・修繕代行も行っておりますので是非ご相談下さい。

道路構造物保全に関する相談

■各機関との連携イメージ



■主な取組内容(令和7年3月末時点)

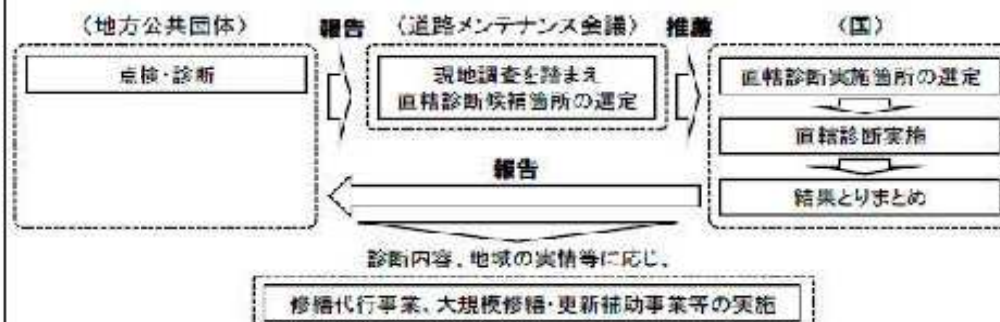
項目	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
実務者研修	4回 (約140名)	4回 (約110名)	2回 (約50名)	5回 (約160名)	5回 (約150名)	5回 (約150名)
技術講習会	5回 (約130名)	1回 (300名)	2回 (約30名)	4回 (約140名)	4回 (約50名)	7回 (約1,300名)
技術相談	直轄:13件 地公体:18件	直轄:8件 地公体:15件	直轄:18件 地公体:28件	直轄:28件 地公体:17件	直轄:15件 地公体:23件	直轄:26件 地公体:32件

直轄診断・修繕代行

『直轄診断』緊急かつ高度な技術力が求められる橋梁やトンネル等の構造物について「道路メンテナンス技術集団」が管理者へ技術的な助言を行います。

『修繕代行』直轄診断を実施した橋梁やトンネル等の修繕には高度な技術力が求められ、管理者からの要望により、その修繕を国が管理者に代わり行います。

■全体の流れ



(関東地方整備局の実績)

	直轄診断実施箇所	措置		
H26年度	大前橋 (群馬県嬬恋村)	大規模修繕 更新補助制度		
H28年度	御鉢橋 (群馬県神流町)	修繕代行事業		
R1年度	秩父橋 (埼玉県秩父市)	修繕代行事業		

道路のメンテナンスに係わる相談

ホームページのお問い合わせフォームや電話にて、お気軽にご相談ください。



国土交通省 関東地方整備局
関東道路メンテナンスセンター
TEL:048-729-7780



関東道路メンテナンスセンター



ホームページ



Facebook



X

地方公共団体からの技術相談の流れ

相談受付・事前確認

- ・地方公共団体からの技術支援の相談
- ・地方公共団体との事前調整

回答

現地調査が不要な場合は、点検調書などのいただいた資料を参考にメールなどで回答いたします。

現地調査

現地では、当日の環境に応じて橋台から床板、高欄など、橋梁や道路の状況を細かく調査します。



現地調査状況

打ち合わせ

必要に応じて打ち合わせを行い、点検ポイントなど技術的助言を行います。なお、WEB会議システムによる打合せも対応できます。



打ち合わせ状況

調査報告・技術的助言

調査終了後、損傷などの有無に係わる結果それに至った原因の推測今後の対策などをまとめたレポートをお渡ししています。



調査レポート

研修や講習会の事例(関東MC)

①地方公共団体職員への研修
(2024年度 5回実施 約150名参加)



②道路橋の保全に関する講習会等
(2024年度 7回実施 約1,300名参加)



道路メンテナンス会議

道路法の改正により、橋梁・トンネル等は国の定める統一的な基準により、5年に1度、近接目視による点検を義務化した、地方公共団体が抱える3つの課題

- ①技術力の不足
- ②人材の不足
- ③予算の不足

について国が都県と連携し、道路メンテナンス会議を設置して地方公共団体を支援しています。



東京都 道路メンテナンス会議の状況

体制

- ・地方整備局(直轄事務所)
- ・地方公共団体(都道府県、市区町村)
- ・高速道路会社(NEXCO・首都高速道路・阪神高速道路・本州四国連絡高速道路・指定都市高速道路等)
- ・道路公社

役割

1. 維持管理等に関する情報共有
2. 点検、修繕等の状況把握及び対策の推進
3. 点検業務の発注支援(地域一括発注等)
4. 技術的な相談対応

等

【出典】都県道路メンテナンス会議より

■技術支援を受けた地方公共団体の声

神奈川県秦野市職員の声

Q. 技術相談のきっかけは、何ですか？

限られた予算を有効に活用するために、小規模な橋梁の点検を、市職員自身で実施しようと考えました。
ただ、職員自身での点検や診断の経験や知識が乏しかったため、関東道路メンテナンスセンターに相談をしました。



秦野市

Q. どのような支援を受けることができましたか？

関東道路メンテナンスセンターの職員が市役所に来ていただき、座学と実務の講習を受けることができました。
具体的かつ実践的な内容で、職員の技術力が向上しただけでなく、これをきっかけに関東道路メンテナンスセンターに他の相談もしやすくなりました。



秦野市

埼玉県秩父市職員の声

Q. どのような技術相談をしましたか？

本市が管理している吊り橋の具体的な損傷状況が不明確で、その点検方法や、今後の維持管理を進めるための方法を検討するために、関東道路メンテナンスセンターに相談をしました。



秩父市

Q. どのような支援を受けることができましたか？

関東道路メンテナンスセンターの職員が現地に来ていただき、様々な部材を詳細に調査してもらいました。また、近接目視できない箇所はドローンを使って確認してもらうなど、積極的な調査をしてもらいとても助かりました。調査レポートもとても読みやすいもので、職員にとってわかりやすく参考になるものでした。



秩父市

技術支援をした地方公共団体数（令和7年3月現在）：62団体（1都9県）

■交通アクセス



- 公共交通機関をご利用の場合
JR線・東武アーバンパークライン・埼玉新都市交通ニューシャトル「大宮駅」東口から徒歩10分
- 車でお越しの場合
首都高速埼玉新都心線「新都心西」出口から、約10分
※駐車場がありませんので、付近の有料駐車場をご利用の上、お越しください。



建物外観



国土交通省 関東地方整備局 関東道路メンテナンスセンター

〒330-0843 埼玉県さいたま市大宮区吉敷町1丁目89番地1 タカラビル2階

TEL 048-729-7780 / FAX 048-729-7790

道路のメンテナンスに係る相談

ホームページのお問い合わせフォームや電話にて、お気軽にご相談ください。

情報発信中！



ホームページ



Facebook



X



地方公共団体のみなさまへ

橋梁など道路構造物の
保全で困ったら

道路や橋梁のメンテナンスで
お困りの際は、ご連絡ください。



国土交通省 関東地方整備局
関東道路メンテナンスセンター



関東道路メンテナンスセンターは、橋梁等へのメンテナンスを推進するための組織として、地方公共団体への技術支援を行っています。

地方公共団体からの技術相談の流れ ▶▶▶▶▶

相談受付・事前確認

地方公共団体からの技術支援の相談

電話もしくはメールでお問い合わせください。

「橋梁点検の診断結果が正しいか、教えてほしい。」

「補修方法を選定したいが、わからない。」

「委託業者の報告が正しいか、教えてほしい。」

など、様々な相談が寄せられています。

地方公共団体との事前調整

相談を受け付けた後、担当者から速やかにお返事
します。不安や悩みに合わせた支援をするために、
相談内容をお聞かせください。

お手持ちの資料(橋梁台帳など)を確認しながら、
現地調査に向けて準備を一緒に進めていきます。

回答

現地調査が不要な場合は、点検調書などのいただいた資料を参考に、メールなどにより回答いたします。

現地調査

現地では、当日の環境に応じて橋台から床版、高欄など、橋梁や道路の状況を細かく調査します。その際、ドローンや全天球カメラを使用し、多角的に現場状況の把握に努めます。



現地調査の様子

打ち合わせ

必要に応じて打ち合わせを行い、点検のポイントなどについて技術助言を行います。

なお、WEB会議システムによる打ち合わせも対応できます。



調査後の打ち合わせの様子

調查報告・技術的助言

調査終了後、損傷などの有無に係わる結果と、それに至った原因の推測、今後の対策などをまとめたレポートをお渡ししています。



調査レポートの一部

[illegible]

技術相談の他に、地方公共団体向けの研修の講師として職員を派遣しています。また、TEC-FORCEの一員として災害支援や、緊急かつ高度な技術力を要する橋梁等が対象の直轄診断を実施しています。道路構造物の老朽化などでお困りの際は、お問い合わせください。

道路構造物管理実務者(橋梁初級I)研修
※関東地方整備局主催(千葉県柏市内)



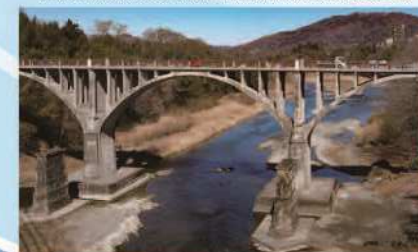
橋梁点検に関する点検研修会
(千葉県東庄町内)



秩父橋における直轄診断・修繕代行の実施（埼玉県秩父市内）



※修繕代行事業として補修工事が完成した秩父橋の全景



※設計・工事等にかかる費用は、
地方公共団体の負担となります。

技術支援窓口連絡先 TEL: 048-729-7780 (代表)

技術相談を含めた技術支援の要望は、随時受け付けていますので、お気軽にお問い合わせください。
※市町村の皆さまにつきましても、直接受け付けていますので、遠慮なくお問い合わせください。

[ホームページ](#)

関東道路メンテナンスセンター



相談や現地調査、研修講師に係る費用はかかりません

※ただし、技術支援の内容によって、他団体(国総研など)の協力が必要となった際や修繕代行は、費用負担が生じる場合があります。

パソコン、スマートフォンから入会申し込みができます。

インフラメンテナンス国民会議

検索

URL : <https://jcim.jp>

(インフラメンテナンス国民会議ウェブサイト)



2次元バーコード

① インフラメンテナンス国民会議「行政会員」の自治体が入会できます。
ID、PWで「マイページ」にログインし、入会申請をお願いします。

② インフラメンテナンス国民会議「行政会員」でない自治体は、この機会に「行政会員」の入会をご検討ください。

インフラメンテナンス国民会議の「行政会員」の入会と
インフラメンテナンス市区町村長会議関東ブロック入会の
「同時申し込み」が簡単にできるようになりました！

※インフラメンテナンス国民会議「行政会員」の入会、市区町村長会議関東ブロック入会、いずれも会費無料です。

お気軽にお問い合わせください。

国土交通省関東地方整備局企画部企画課 事業評価係

TEL 048-600-1329

Mail ktr-kanto-infuramente@gxb.mlit.go.jp

ウェブサイトイメージ



行政会員と同時申込の場合

会員情報

会員種別 ☐ 企業会員 ☒ 行政会員 ☐ 団体会員 ☐ 個人会員

登録種別について

☒ 新規会員登録 ☐ 既存会員登録

同時に市区町村会議に申し込む インフラメンテナンス市区町村長会議とは？

☒ 申し込む ☐ 申し込まない

※行政会員入会手続き中に「同時に市町村会議に申し込む」の項目で「申し込む」をご選択ください

高度成長期以降に整備した社会資本が今後急速に老朽化することを踏まえ、これまで様々な老朽化対策を推進。一方、特に小規模な市区町村では人員や予算不足で、予防保全への転換が不十分なだけでなく、事後保全段階の施設が多数存在し、放置すると重大な事故や致命的な損傷等を引き起こすリスクが高まることとなる。

市区町村における予防保全への本格転換や新技術活用等、**効率的・効果的なインフラメンテナンスの実現を目指す**

インフラメンテナンス国民会議【産・学・官・民が参画し、技術や知恵を総動員するプラットフォーム】

- ①革新的技術の発掘と社会実装
- ②企業等の連携の促進
- ③地方自治体への支援
- ④インフラメンテナンスの理念の普及
- ⑤インフラメンテナンスへの市民参画の推進



インフラメンテナンス市区町村長会議 関東ブロック【官】

- ①首長同士の意見交換によるメンテナンスの知見や意識の向上
- ②トップダウンによるインフラメンテナンスの強力な推進
- ③社会に対するインフラメンテナンスの必要性の啓発

関東地方フォーラム【産・学・官】

- ①関東自治体の課題解決に向けた支援
- ②技術開発、社会実装の促進
- ③人材育成 等

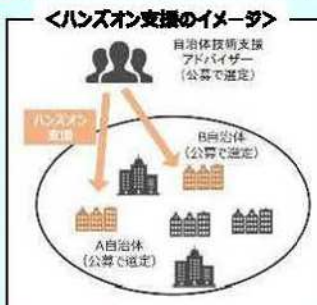
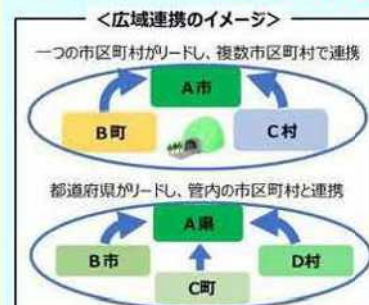
連携

連携

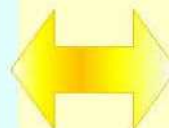
当面の具体的な取り組み（案）

河川、道路、公園等、**複数分野を対象**として、

- ①関東自治体首長からの情報発信
- ②関東地方フォーラムとの連携
- ③土木学会関東支部と連携した点検や診断等の検討、技術的助言等
- ④群マネ※（**広域・多分野連携**）、**ハンズオン支援**等のモデル事例紹介



必要に応じ
情報提供



※地域インフラ再生戦略マネジメント。行政区域に拘らない広域的な視点で、複数・多分野のインフラを群として捉え、効率的・効果的にマネジメントするもの。

河川、道路、公園等、各分野で実施されている
インフラメンテナンスに係る会議や研修等



【地方公共団体等との意見交換】



【地方公共団体管理橋梁への技術的支援】